

中央区高齢者の生活実態調査および 介護サービス利用状況等調査

報告書

令和 5(2023)年3月



目次

第1部 調査の概要

1 調査の目的	1
2 調査の全体設計	1
3 調査方法および客体	2
〔報告書の見方〕	6
〔ページの構成〕	7

第2部 調査の結果

I 高齢者福祉に関する生活実態調査（調査A）

1. 回答者の属性（状況）について	9
2. 経済状況や就労状態について	19
3. 外出や楽しみについて	28
4. 社会的な活動や地域活動への参加状況について	32
5. 日常生活に関する情報について	38
6. 健康教室や健康づくり事業への参加について	46
7. 交流サロン・趣味の講座・サークル活動への参加について	53
8. 災害時の対応について	58
9. 今後の介護の希望等について	62
10. 老い支度について	68
11. 今後の高齢者保健福祉施策について	71

II 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査（調査B）

1. 回答者の属性（状況）について	77
2. 家族・生活状況について	79
3. 運動器機能・閉じこもり傾向について	82
4. 栄養状態・口腔機能について	86
5. 日常生活の動作について	90
6. 地域での活動について	92
7. たすけあいの状況について	96
8. 健康について	100
9. 認知症について	103
10. 介護予防リスクについて	104

III 要介護・要支援認定者調査（調査C）	
1. 回答者の属性（状況）について	107
2. 家族・生活状況について	113
3. 介護サービスについて	119
4. サービスのあり方について	128
5. 相談や権利擁護について	134
6. 災害時の対応について	143
7. 今後の高齢者保健福祉施策について	146
IV 在宅介護実態調査（調査D）	
1. 基本調査項目（A票）	151
2. 主な介護者の調査項目（B票）	162
3. 要介護認定データ	167
V 介護保険サービス事業所調査（調査E）	
1. 事業所・施設情報について	173
2. 人材確保・人材育成等について	178
3. ICT機器・介護ロボットについて	189
4. 自立支援・重度化防止について	191
5. 医療・介護の連携について	192
6. 看取り・虐待防止について	194
7. 認知症の方や家族の支援について	199
8. 地域の課題について	203
9. 災害時の対応について	205
VI 在宅医療・介護に関する調査（調査F）	
1. 回答者の属性について	211
2. 在宅医療について	212
3. 日常的な在宅医療について	214
4. ICT機器の活用について	229
5. 看取りについて	232
6. 地域包括ケアシステムについて	237

資料編 アンケート調査票

高齢者福祉に関する生活実態調査（調査A）	241
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査（調査B）	250
要介護・要支援認定者調査（調査C）	254
在宅介護実態調査（調査D）	262
介護保険サービス事業所調査（調査E）	265
在宅医療・介護に関する調査（調査F）	271

第1部 調査の概要

第1部 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、令和6(2024)～令和8(2026)年度を計画期間とする「中央区高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画」の策定に向けて、中央区の要介護・要支援認定を受けていない一般高齢者等および要介護・要支援認定者の生活実態、介護保険サービスを提供している事業者および医療機関の実態等を把握し、必要な資料を得ることを目的として実施した。

2 調査の全体設計

本調査は、中央区の高齢者に対する調査(調査A～D)、区内の介護保険サービスを提供する事業者に対する調査(調査E)および医療機関に対する調査(調査F)の3つに大別される。

高齢者に対する調査には、区の独自調査に加えて、計画策定のためのツールとして国から示された「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」(調査B)および「在宅介護実態調査」(調査D)を含む。

調査結果から把握した実態やニーズを踏まえた施策の検討を目的として調査設計を行っており、それぞれの調査において、地域包括ケアシステムを構成する6つの分野「健康づくり(介護予防)」・「生活支援」・「認知症ケア」・「医療」・「介護」・「住まい」から対象者に合わせて項目および設問を設定している。

今回は、新型コロナウイルス感染症の拡大という大きな社会変化や高層住宅が年々増加し続けている本区の現状を捉えた設問を追加し、実態をより多面的に把握するとともに、回答者の利便性向上と高齢者分野でのデジタルツールの活用を目的としてインターネットによる回答方法を導入するなどの新たな取組を行った。

高齢者が住み慣れた地域での生活を最期まで自分らしくいきいきと継続できるように、中央区スタイルの地域包括ケアシステムを一層深化していくため、この調査によって見えてきた課題等を施策の検討に活用していく。

〔調査の全体設計〕

	属性		一般高齢者等	要支援認定者	要介護認定者
	年齢				
高齢者等向け調査	55～64 歳		調査A 高齢者福祉に関する 生活実態調査		
	65 歳以上		調査B 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	調査C 要介護・要支援認定者調査	調査D 在宅介護実態調査
介護保険サービス 事業所調査			調査E 介護保険サービス事業所調査		
医療機関調査			調査F 在宅医療・介護に関する調査		

◎対象者の抽出基準日：令和4年10月1日

◎要介護・要支援認定者には、40～64歳の第2号被保険者は含まない。

3 調査方法および客体

(1) 調査期間

令和4年10月20日（木）～令和4年11月9日（水）

(2) 調査方法

郵送配布、郵送またはインターネットにて回収、ハガキによる督促礼状1回

※「在宅介護実態調査」（調査D）は、令和4年6月～10月の間、認定調査員の聞き取り方式により実施した。

(3) 各調査の客体、内容、回収状況等

調査名	調査客体	調査内容	回収状況
調査A 高齢者福祉に関する生活実態調査	要介護・要支援認定を受けていない 55 歳以上の区民(一般高齢者等) 【抽出調査】	一般高齢者等の意識や生活実態、健康づくりの取組状況や生活習慣、社会活動への参加状況からみた課題やニーズを把握する。	・対象者数:3,000 人 ・有効回答数:1,731 件 (郵送:1,326、インターネット:405) ・回収率:57.7%
調査B 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	要介護・要支援認定を受けていない 65 歳以上の区民(一般高齢者)、総合事業対象者(※)および要支援認定者 国による必須調査 【抽出調査】	介護状態になる前の高齢者のリスクや生活状況等を調査し、国の地域包括ケア「見える化」システムによる地域診断を活用して、地域の高齢者の抱える課題やニーズを把握する。	・対象者数:2,500 人 ・有効回答数:1,859 件 (郵送:1,721、インターネット:138) ・回収率:74.4%
調査C 要介護・要支援認定者調査	要介護・要支援認定者 【抽出調査】	要介護・要支援認定を受けた地域の高齢者の生活実態、生活状態からみた課題やニーズを把握する。	・対象者数:3,500 人 ・有効回答数:2,092 件 (郵送:1,903、インターネット:189) ・回収率:59.8%
調査D 在宅介護実態調査	在宅で生活している要介護・要支援認定者のうち、調査期間(令和4年6月～10月)中に更新申請または区分変更申請に伴う認定調査を受けた者 国による必須調査 【全数調査】	「介護離職をなくしていくためにはどのようなサービスが必要か」といった観点から高齢者等の適切な在宅生活の継続および家族等介護者の就労継続などの実現に向けた介護サービスのあり方を検討する。	・対象者数:305 人 ・有効回答数:305 件 (認定調査員による聞き取り:305) ・回収率:100.0%
調査E 介護保険サービス事業所調査	区内の介護保険サービス事業所 【全数調査】	介護保険サービス事業所が提供するサービス内容や医療との連携などの実態と課題を把握することによって、介護保険サービスの質の向上に向けた方策を検討する。	・対象事業所数:96 ・有効回答数:60 件 (郵送:38、インターネット:22) ・回収率:62.5%
調査F 在宅医療・介護に関する調査	区内の医師会、歯科医師会、薬剤師会の会員(医療機関) 【全数調査】	医療機関側からみた在宅療養支援の実態や課題等を把握する。	・対象機関数:603 ・有効回答数:299 件 (郵送:203、インターネット:96) ・回収率:49.6%

※「総合事業対象者」とは要介護・要支援認定を受けていないが、生活機能の低下がある方を指す。

(4) 在宅介護実態調査(調査 D)の集計・分析について

① 分析方法

厚生労働省から配布された集計・分析ソフトを用いて、調査結果および認定データを関連付けし、そのクロス集計等のデータによる分析を行う。

クロス集計は、認定データから得られる現在のサービスの利用状況、要介護度、認知症日常生活自立度等に本人や家族等介護者の生活状況を合わせた分析を行い、「要介護者の在宅生活の継続・介護者の就労継続」および「支援・サービスの提供体制の検討」に向けた視点からのクロスを加え、A票・B票の調査結果に加えた。

② 用語の定義

【サービス利用の分析に用いた用語】

用語		定義
未利用		「住宅改修」、「福祉用具貸与・購入」のみを利用している方については、未利用として集計
訪問系		(介護予防) 訪問介護、(介護予防) 訪問入浴介護、(介護予防) 訪問看護、(介護予防) 訪問リハビリテーション、(介護予防) 居宅療養管理指導、夜間対応型訪問介護を「訪問系」として集計
通所系		(介護予防) 通所介護、(介護予防) 通所リハビリテーション、(介護予防) 認知症対応型通所介護を「通所系」として集計
短期系		(介護予防) 短期入所生活介護、(介護予防) 短期入所療養介護を「短期系」として集計
その他	小規模多機能	(介護予防) 小規模多機能型居宅介護を「小規模多機能」として集計
	看護多機能	看護小規模多機能型居宅介護を「看護多機能」として集計
	定期巡回	定期巡回・随時対応型訪問介護看護を「定期巡回」として集計

【サービス利用の組み合わせの分析に用いた用語】

用語	定義
未利用	上表と同じ
訪問系	上表の「訪問系」もしくは「定期巡回」のみの利用を集計
訪問系を含む組み合わせ	上表の「訪問系」+「通所系」、「訪問系」+「短期系」、「訪問系」+「通所系」+「短期系」、「小規模多機能」、「看護多機能」の利用を集計
通所系・短期系のみ	上表の「通所系」、「短期系」、「通所系」+「短期系」の利用を集計

③ 要介護認定データおよび掲載している分析項目

【介護保険認定データ】

- ① 年齢
- ② 性別
- ③ 要介護度（二次判定結果）
- ④ 障害高齢者の日常生活自立度
- ⑤ 認知症高齢者の日常生活自立度
- ⑥ サービス利用の組み合わせ
- ⑦ 訪問系サービスの合計利用回数
- ⑧ 通所系サービスの合計利用回数
- ⑨ 短期系サービスの合計利用回数

【在宅限界点の向上のための支援・サービスの提供体制に関する分析】

- ① 要介護度別・認知症自立度別の介護者が不安に感じる介護
- ② 要介護度別・認知症自立度別のサービス利用の組み合わせ
- ③ 要介護度別・認知症自立度別のサービス利用の組み合わせの内訳

【仕事と介護の両立に向けた支援に関する分析】

- ① 主な介護者の就労状況別・世帯類型
- ② 主な介護者の就労状況別・本人との関係
- ③ 主な介護者の就労状況別・主な介護者の年齢
- ④ 要介護度別・認知症自立度別の就労継続見込み（フルタイム・パートタイム勤務）
- ⑤ 就労継続見込み別・主な介護者の働き方の調査（フルタイム・パートタイム勤務）

④ その他

この調査におけるクロス集計表中の調査数は、配布された集計・分析ソフトに基づく集計結果をそのまま記載しており、ソフトの仕様上、同項目でも一致しない場合がある。

(5) 居住階数別の集計について

本調査では、本区に多い高層住宅のコミュニティの状況を把握するために、「住まいの階に関する質問」を一部の調査に追加し、集合住宅の居住階別のクロス集計を行った。

また、居住形態に関して、本調査と内閣府調査の結果の比較を行っている（P12）。

< P12の「内閣府調査」 >

調査名	令和3年度 高齢者の日常生活・地域社会への参加に関する調査
調査の目的	高齢者の日常生活および社会活動への参加などに関する実態と意識を把握し、令和4年版高齢社会白書の内容等の検討に当たっての基礎資料とするとともに、今後の高齢社会対策の推進に資するため
調査対象	全国の60歳以上（令和3年11月1日現在）の男女
有効回収数	2,435人（回収率 60.9%）

〔報告書の見方〕

- ・ **回収率(%)について**
回収率(%)は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。
- ・ **図表の記載にあたっての選択肢について**
本報告書における図表の記載にあたっては、回答の選択肢の文言を一部簡略化している場合がある。
- ・ **複数回答について**
複数回答を認める設問では、各選択肢の回答率は実際の回答者の実人数に対する各選択肢の回答者の実人数の割合であるため、回答率の合計が100%にならない場合がある。
- ・ **「N」の表示について**
図表内の「N」は回答者数を表している。
図表内の「0.0」は数値がないことを表している。
- ・ **クロス集計結果の分析について**
本調査では各質問について性別、年代別等によって分析する「クロス集計」を行い、特徴の見られるものについてはクロス集計表等を掲載し分析を記述しているが、回答者数の少ないもの、特に差が見られないものについては掲載していない。
また、設問によっては、その間に回答していない「無回答」を集計から除くため、単純集計の回答者数とクロス集計の回答者数の合計が一致しない場合がある。
- ・ **地域(日常生活圏域)による比較について**
高齢者の身近な生活圏域で、高齢者の生活の継続性が確保されるサービス提供体制を整備するため、「日常生活圏域」を定めている。本区においては、区民が最も馴染んでいる生活圏域であるとの観点から、「京橋地域」、「日本橋地域」および「月島地域」の3地域を日常生活圏域として設定している。



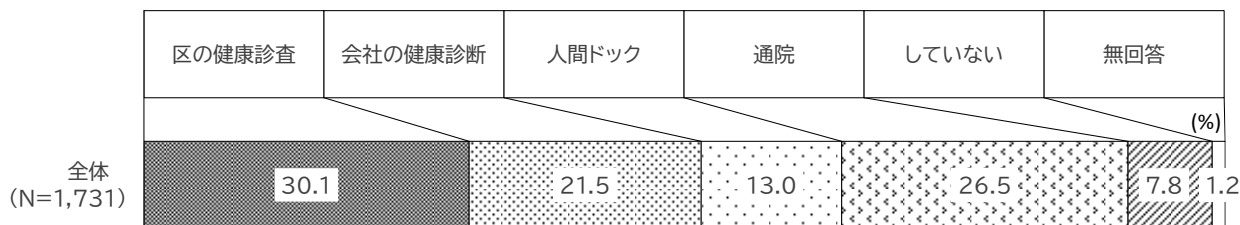
[ページの構成]

② 定期的な健康状態の把握状況

「区健康診断」が30.1%、「通院」が26.5%

単純集計結果のうち、割合の高い項目を主に記載しています。

問8-1. あなたは、健診等や通院により定期的に健康状態を把握していますか。(〇は1つ)



性別で見ると、大きな差は見られない。

年代別で見ると、55～64歳は他の年代と比べて、「会社健康診断」および「人間ドック」の割合が高い。75～84歳は他の年代と比べて「区健康診断」の割合が高い。

下記のクロス集計結果において、特に差異が生じている内容を説明しています。

		調査数	区健康診断	会社健康診断	人間ドック	通院	していない	無回答
全体		1,731	30.1	21.5	13.0	26.5	7.8	1.2
性別	男性	746	28.6	23.3	14.9	24.9	7.4	0.9
	女性	981	31.4	20.2	11.6	27.6	8.1	1.1
年代	55～64歳	768	17.1	38.8	20.6	15.8	7.3	0.5
	65～74歳	529	38.9	11.5	9.5	30.6	8.9	0.6
	75～84歳	333	44.4	0.9	4.5	42.3	6.3	1.5
	85歳以上	70	38.6	0.0	2.9	42.9	8.6	7.1

クロス集計表は、横軸の属性による集計結果のうち、最も割合の高い項目を網掛けしています。

第2部 調査の結果

I 高齢者福祉に関する生活実態調査(調査A)

第2部 調査の結果

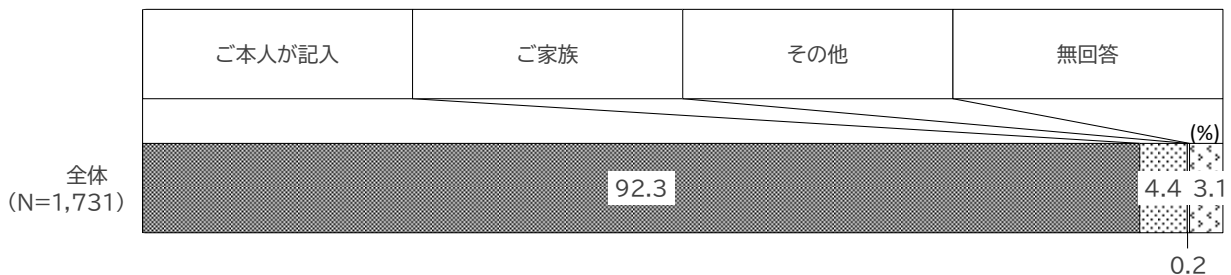
I 高齢者福祉に関する生活実態調査(調査A)

1. 回答者の属性(状況)について

(1) 調査票の記入者

「ご本人が記入」が92.3%

問1. 調査票を記入されたのはどなたですか。(〇は1つ)

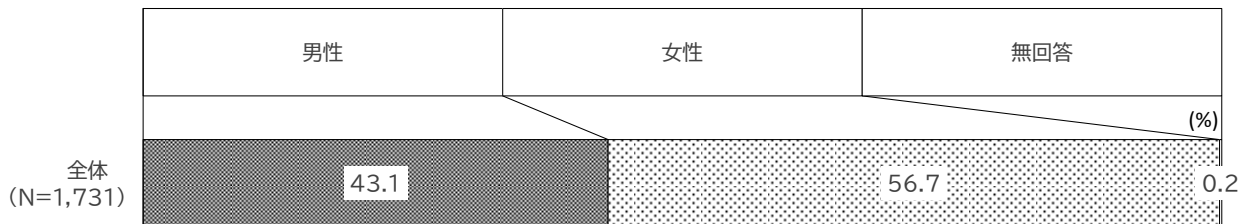


(2) 性別・年齢

問2. あなたの性別と令和4年10月1日現在の満年齢を記入してください。(〇は1つ、数値記述)

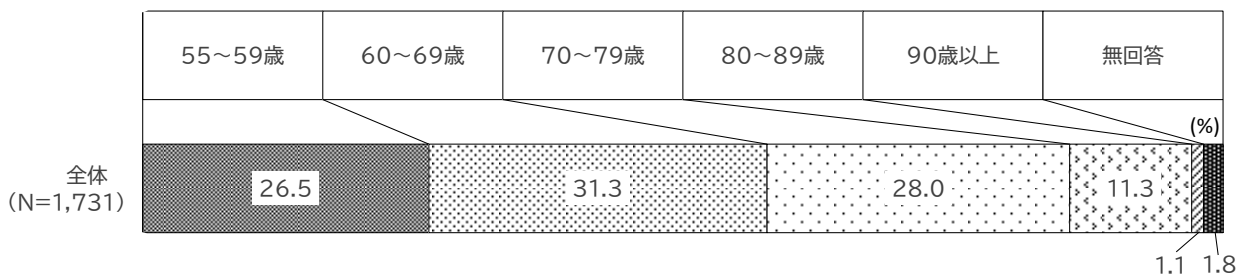
① 性別

「女性」が56.7%



② 満年齢

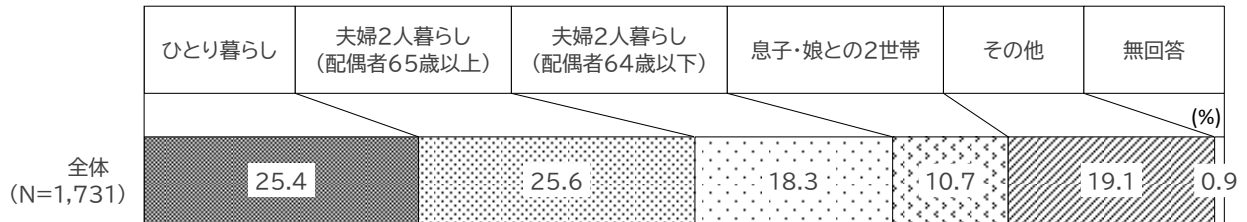
「60~69歳」が31.3%、「70~79歳」が28.0%



(3) 家族構成

「夫婦2人暮らし」(配偶者65歳以上と64歳以下を合計した割合)が43.9%、「ひとり暮らし」が25.4%

問3. 家族構成をお教えてください。(〇は1つ)



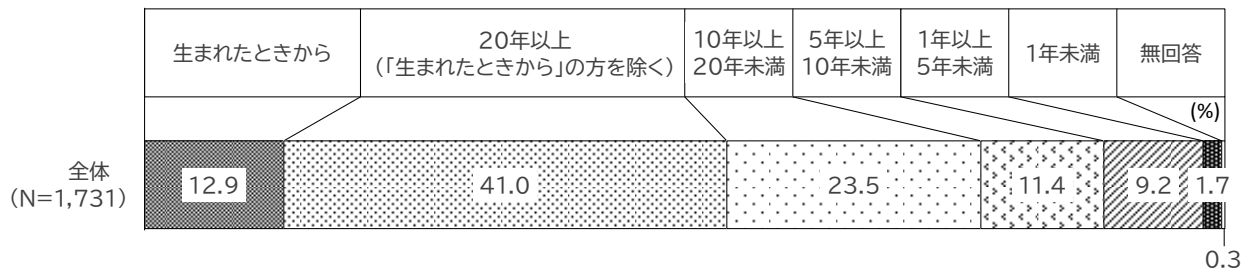
<その他の回答>

- 父・母、息子・娘との3世帯
- 息子・娘、孫との3世帯

(4) 居住期間

「20年以上(「生まれたときから」の方を除く)」が41.0%、「10年以上20年未満」が23.5%

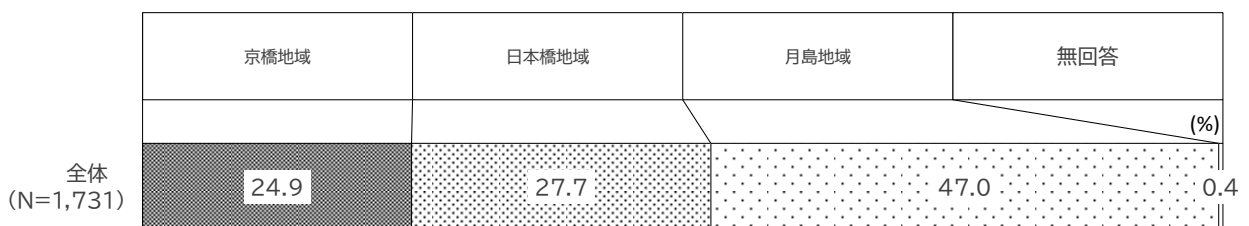
問4. あなたは、どのくらい中央区に住んでいますか。(〇は1つ)



(5) 居住地域

「月島地域」が47.0%、「日本橋地域」が27.7%

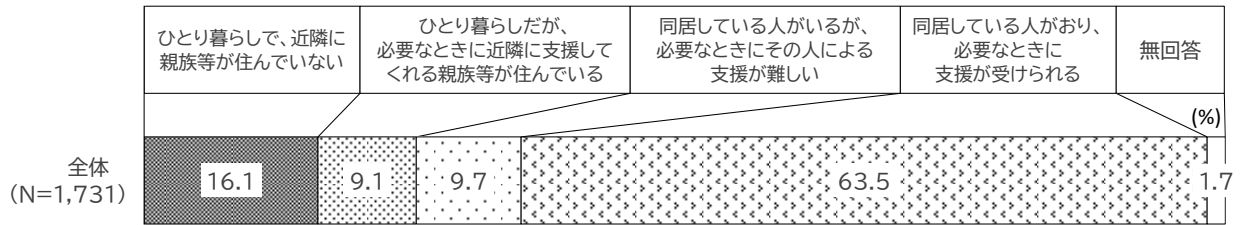
問5. 現在あなたのお住まいになっている地域はどこですか。(〇は1つ)



(6) 生活状況

「同居している人がおり、必要なときに支援が受けられる」が63.5%

問6. 現在のあなたの生活状況をお聞きします。(○は1つ)

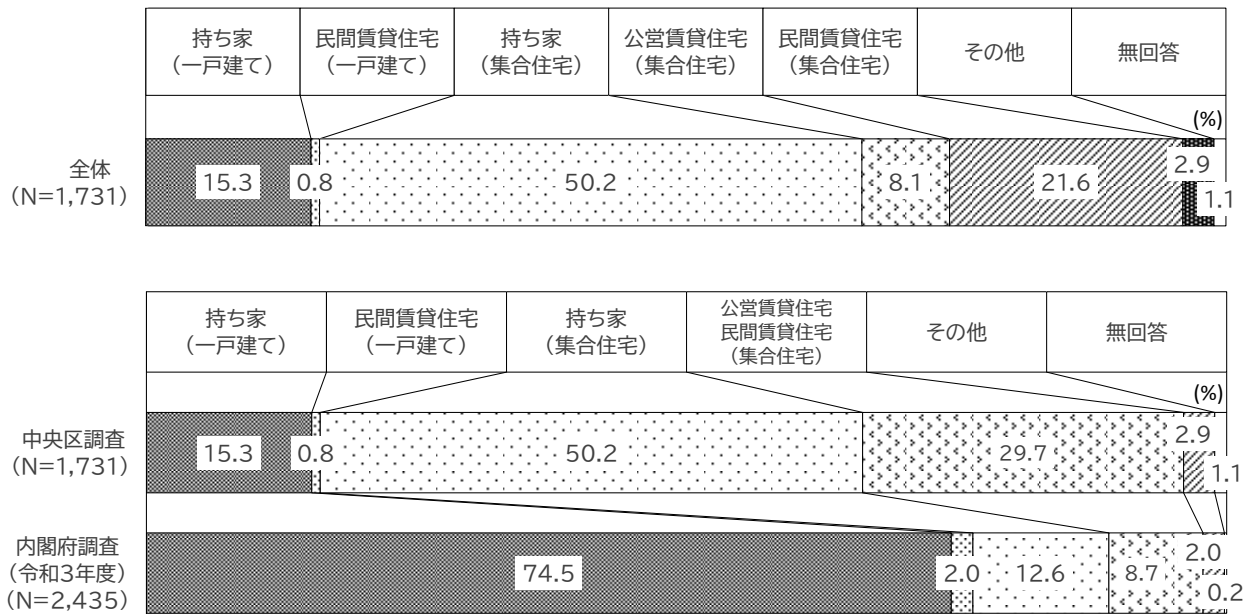


(7) 住宅状況

① 住宅種類

「持ち家（集合住宅）」が50.2%

問7. あなたのお住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(〇は1つ)



本区と内閣府の調査結果を比較すると、「持ち家（集合住宅）」が50.2%、「公営賃貸住宅・民間賃貸住宅（集合住宅）」が29.7%と、全国と比べて高い。

中央区調査項目	内閣府調査項目
持ち家（一戸建て）	持家（一戸建て）
民間賃貸住宅（一戸建て）	賃貸住宅（一戸建て）
持ち家（集合住宅）	持家（分譲マンション等の集合住宅）
公営賃貸住宅（集合住宅） 民間賃貸住宅（集合住宅）	賃貸住宅（アパート、マンション、公営・公団等の集合住宅）
その他（社宅、自社ビルなど）	給与住宅（社宅・官公舎など） 高齢者向け住宅・施設 その他
無回答	不明・無回答

※選択肢の項目が異なるため、上記の項目で比較している。（区内の公営賃貸住宅は集合住宅のみ。内閣府調査の給与住宅、高齢者向け住宅・施設はその他で集計。）

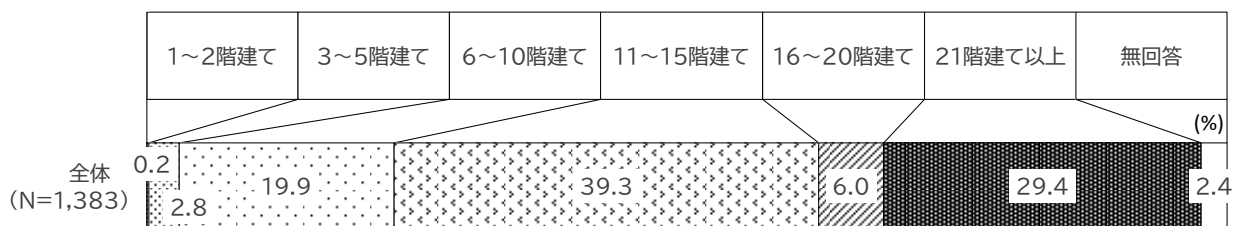
② 建物全体の階数・居住階数

- ・建物全体の階数は「11～15階建て」が39.3%、「21階建て以上」が29.4%
- ・居住階は「6～10階」が35.2%、「3～5階」が22.1%

【問7で集合住宅（「3. 持ち家（集合住宅）」、「4. 公営賃貸住宅（集合住宅）」または「5. 民間賃貸住宅（集合住宅）」と回答の方】

問7-1. あなたのお住まいは、何階建ての何階ですか。（○は1つ）

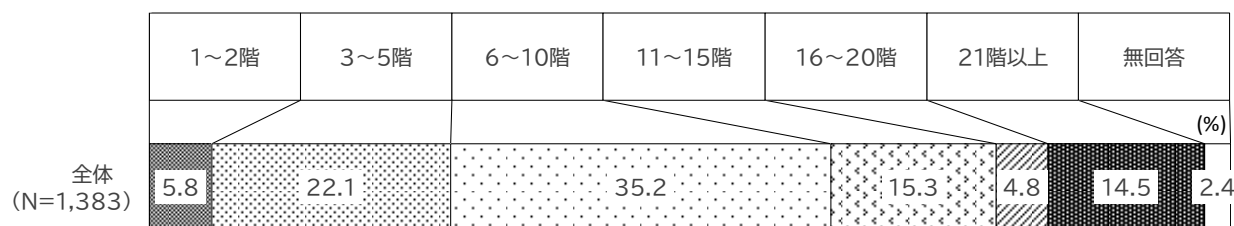
■建物全体の階数



居住地域別で見ると、月島地域は他の居住地域と比べて、「21階建て以上」の割合が高い。

		調査数	1 ～ 2 階 建 て	3 ～ 5 階 建 て	6 ～ 10 階 建 て	11 ～ 15 階 建 て	16 ～ 20 階 建 て	21 階 建 て 以 上	無 回 答
全 体		1,383	0.2	2.8	19.9	39.3	6.0	29.4	2.4
居住地域	京橋	325	0.0	3.7	19.1	57.5	4.3	13.8	1.5
	日本橋	377	0.0	4.2	30.8	53.6	6.4	3.2	1.9
	月島	678	0.4	1.6	14.2	22.7	6.6	51.5	2.9

■居住階数



居住地域別で見ると、月島地域は他の居住地域と比べて、「21階以上」の割合が高い。

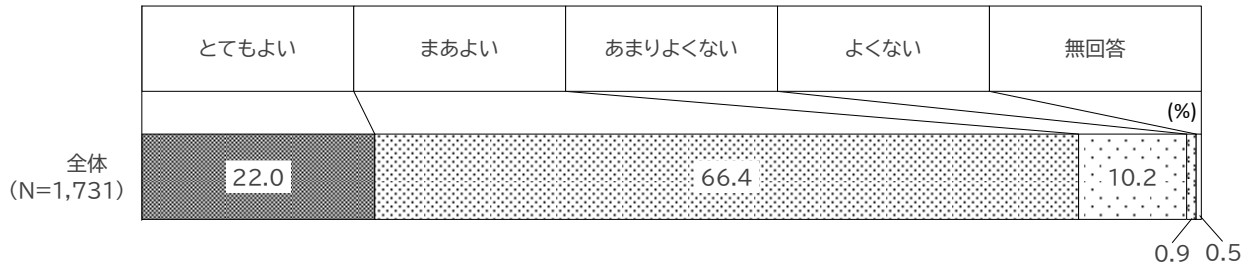
		調査数	1 ～ 2 階	3 ～ 5 階	6 ～ 10 階	11 ～ 15 階	16 ～ 20 階	21 階 以 上	無 回 答
全 体		1,383	5.8	22.1	35.2	15.3	4.8	14.5	2.4
居住地域	京橋	325	5.2	27.4	41.8	14.8	4.3	4.9	1.5
	日本橋	377	5.3	25.7	47.5	17.8	1.3	1.1	1.3
	月島	678	6.2	17.6	25.2	14.2	6.9	26.7	3.2

(8) 健康状態

① 主観的健康状態

「まあよい」が66.4%

問8. 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(〇は1つ)



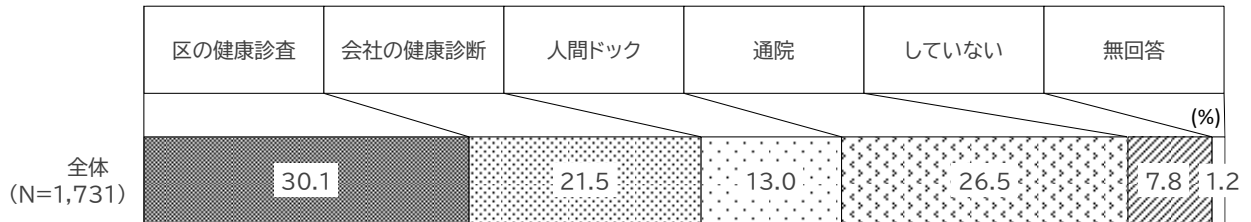
問10の経済的な生活感別で見ると、大変苦しいと感じている人は他の人と比べて、「あまりよくない」の割合が高い。大変ゆとりがあると感じている人は他の人と比べて、「とてもよい」の割合が高い。

		調査数	とてもよい	まあよい	あまりよくない	よくない	無回答
全体		1,731	22.0	66.4	10.2	0.9	0.5
経済的な生活感	大変苦しい	111	18.9	52.3	22.5	5.4	0.9
	やや苦しい	300	14.0	68.7	15.7	1.0	0.7
	ふつう	886	20.5	69.2	9.3	0.7	0.3
	ややゆとりがある	314	27.1	67.5	5.1	0.3	0.0
	大変ゆとりがある	113	45.1	48.7	6.2	0.0	0.0

② 定期的な健康状態の把握状況

「区健康診査」が30.1%、「通院」が26.5%

問8-1. あなたは、健診等や通院により定期的に健康状態を把握していますか。(〇は1つ)



性別で見ると、大きな差は見られない。

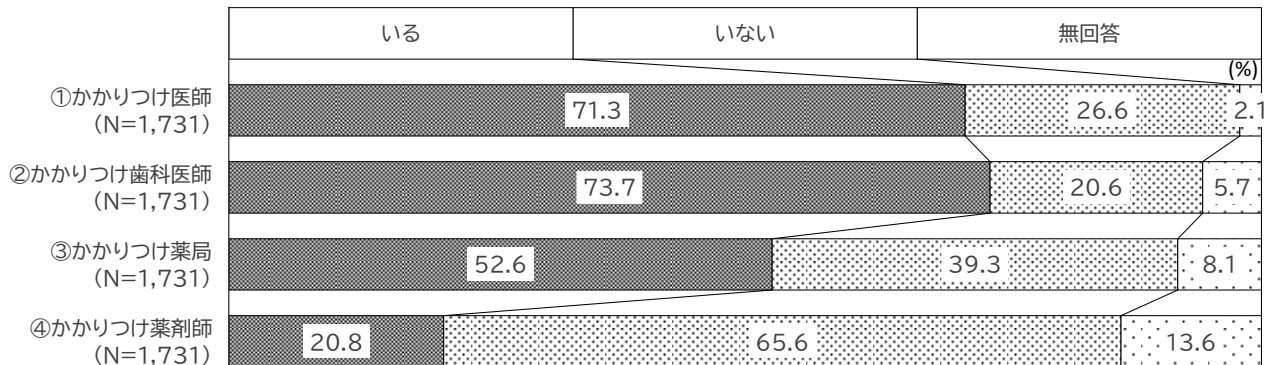
年代別で見ると、55～64歳は他の年代と比べて、「会社の健康診断」および「人間ドック」の割合が高い。75～84歳は他の年代と比べて、「区健康診査」の割合が高い。

		調査数	区健康診査 (%)	会社の健康診断 (%)	人間ドック (%)	通院 (%)	していない (%)	無回答 (%)
全体		1,731	30.1	21.5	13.0	26.5	7.8	1.2
性別	男性	746	28.6	23.3	14.9	24.9	7.4	0.9
	女性	981	31.4	20.2	11.6	27.6	8.1	1.1
年代	55～64歳	768	17.1	38.8	20.6	15.8	7.3	0.5
	65～74歳	529	38.9	11.5	9.5	30.6	8.9	0.6
	75～84歳	333	44.4	0.9	4.5	42.3	6.3	1.5
	85歳以上	70	38.6	0.0	2.9	42.9	8.6	7.1

(9) かかりつけ医の有無

- ①かかりつけ医師については「いる」が71.3%
- ②かかりつけ歯科医師については「いる」が73.7%
- ③かかりつけ薬局については「いる」が52.6%
- ④かかりつけ薬剤師については「いない」が65.6%

問9. あなたは、普段から治療を受けたり、日常の健康についての相談・指導を受けることができる、かかりつけの医師、歯科医師、薬局、薬剤師がいますか。(〇はそれぞれ1つ)



<①かかりつけ医師>

性別で見ると、大きな差は見られない。

年代別で見ると、55～64歳は他の年代と比べて、「いない」割合が高い。75歳以上の年代では「いる」割合が約9割を占めている。

		調査数	いる	いない	無回答
全体		1,731	71.3	26.6	2.1
性別	男性	746	71.2	27.1	1.7
	女性	981	71.6	26.3	2.1
年代	55～64歳	768	58.7	40.9	0.4
	65～74歳	529	77.7	20.2	2.1
	75～84歳	333	89.2	6.9	3.9
	85歳以上	70	88.6	4.3	7.1

<②かかりつけ歯科医師>

性別で見ると、男性は女性と比べて、「いない」割合が高い。

年代別で見ると、55～64歳は他の年代と比べて、「いない」割合が高い。75～84歳は他の年代と比べて、「いる」割合が高い。

(%)

		調査数	いる	いない	無回答
全 体		1,731	73.7	20.6	5.7
性別	男性	746	71.2	23.7	5.1
	女性	981	75.9	18.1	5.9
年代	55～64歳	768	70.8	27.3	1.8
	65～74歳	529	75.8	19.1	5.1
	75～84歳	333	80.2	8.1	11.7
	85歳以上	70	65.7	12.9	21.4

<③かかりつけ薬局>

性別で見ると、男性は女性と比べて、「いない」割合が高い。

年代別で見ると、55～64歳は他の年代と比べて、「いない」割合が高い。75～84歳は他の年代と比べて、「いる」割合が高い。

(%)

		調査数	いる	いない	無回答
全 体		1,731	52.6	39.3	8.1
性別	男性	746	49.9	42.9	7.2
	女性	981	54.8	36.6	8.6
年代	55～64歳	768	41.4	56.0	2.6
	65～74歳	529	59.0	34.6	6.4
	75～84歳	333	67.3	14.4	18.3
	85歳以上	70	62.9	8.6	28.6

I 高齢者福祉に関する生活実態調査(調査A)

<④かかりつけ薬剤師>

性別で見ると、大きな差は見られない。

年代別で見ると、55～64歳は他の年代と比べて、「いない」割合が高い。85歳以上は他の年代と比べて、「いる」割合が高い。

(%)

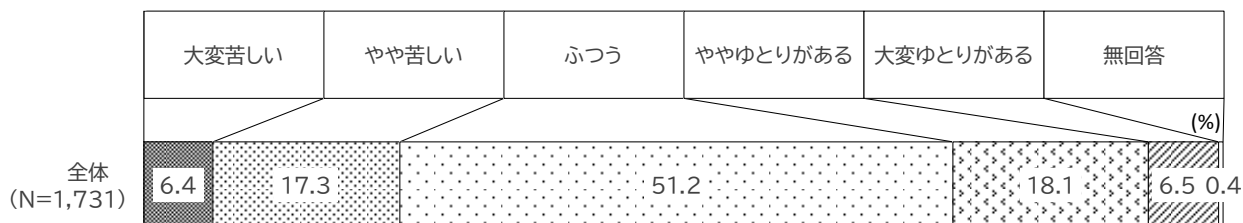
		調査数	いる	いない	無回答
全 体		1,731	20.8	65.6	13.6
性別	男性	746	19.8	67.7	12.5
	女性	981	21.6	64.2	14.2
年代	55～64歳	768	13.0	82.8	4.2
	65～74歳	529	24.8	63.1	12.1
	75～84歳	333	29.1	40.2	30.6
	85歳以上	70	35.7	21.4	42.9

2. 経済状況や就労状態について

(1) 経済的な生活感

「ふつう」が51.2%、「苦しい」(「大変苦しい」と「やや苦しい」を合計した割合)が23.7%

問10. 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(〇は1つ)



性別で見ると、男性は女性と比べて、「ややゆとりがある」の割合が高い。女性は男性と比べて、「ふつう」の割合が高い。

年代別で見ると、85歳以上は他の年代と比べて、「ふつう」の割合が高い。

家族構成別で見ると、夫婦2人暮らしは他の家族構成と比べて、「大変ゆとりがある」の割合が高い。

居住地域別で見ると、大きな差は見られない。

(%)

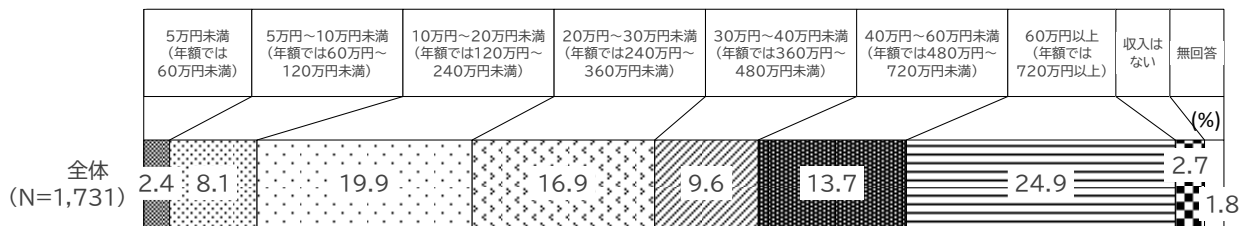
		調査数	大変苦しい	やや苦しい	ふつう	ややゆとりがある	大変ゆとりがある	無回答
全体		1,731	6.4	17.3	51.2	18.1	6.5	0.4
性別	男性	746	7.2	16.6	46.9	21.2	7.9	0.1
	女性	981	5.7	17.9	54.5	15.9	5.5	0.4
年代	55～64歳	768	6.1	16.7	47.9	22.8	6.5	0.0
	65～74歳	529	7.0	18.0	52.9	13.8	7.9	0.4
	75～84歳	333	5.4	19.8	55.0	13.8	5.1	0.9
	85歳以上	70	5.7	11.4	61.4	18.6	2.9	0.0
家族構成	ひとり暮らし	440	9.1	22.0	49.3	14.8	4.5	0.2
	夫婦2人暮らし	761	4.3	13.7	50.7	20.9	10.1	0.3
	息子・娘との2世帯	185	5.4	17.3	51.9	21.1	3.8	0.5
	その他	330	7.9	18.8	55.5	14.8	2.7	0.3
居住地域	京橋	431	4.4	17.2	50.6	20.4	7.4	0.0
	日本橋	480	6.5	15.6	53.1	17.9	6.9	0.0
	月島	813	7.3	18.6	50.4	17.2	5.9	0.6

(2) 収入

「60万円以上（年額では720万円以上）」が24.9%、「10万円～20万円未満（年額では120万円～240万円未満）」が19.9%

問 11. あなたの収入（年金を含む）をすべて合計すると、税込みで1か月あたりの平均額（ボーナスがある場合は、それを含めて平均した額）はおよそいくらくらいになりますか。

※ご夫婦の場合はお二人の収入の合計をお答えください。（○は1つ）



性別で見ると、男性は女性と比べて、「60万円以上（年額では720万円以上）」の割合が高い。女性は男性と比べて、「5万円～10万円未満（年額では60万円～120万円未満）」および「10万円～20万円未満（年額では120万円～240万円未満）」の割合が高い。

年代別で見ると、55～64歳は他の年代と比べて、「60万円以上（年額では720万円以上）」の割合が高い。

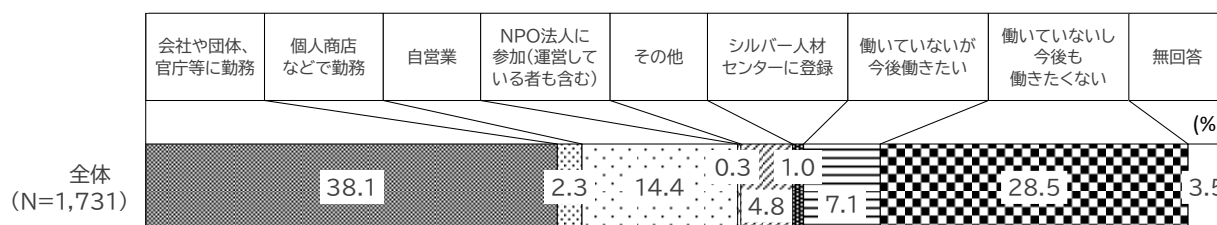
		調査数	収入区分 (%)								
			5万円未満 (年額では60万円未満)	5万円～10万円未満 (年額では60万円～120万円未満)	10万円～20万円未満 (年額では120万円～240万円未満)	20万円～30万円未満 (年額では240万円～360万円未満)	30万円～40万円未満 (年額では360万円～480万円未満)	40万円～60万円未満 (年額では480万円～720万円未満)	60万円以上 (年額では720万円以上)	収入はない	無回答
全体		1,731	2.4	8.1	19.9	16.9	9.6	13.7	24.9	2.7	1.8
性別	男性	746	1.3	5.2	16.1	17.3	9.8	14.7	33.1	1.9	0.5
	女性	981	3.2	10.4	22.8	16.6	9.5	12.9	18.8	3.4	2.4
年代	55～64歳	768	2.1	4.3	10.4	13.0	9.0	15.9	40.4	4.0	0.9
	65～74歳	529	1.1	10.8	24.4	19.8	11.7	14.0	15.7	1.1	1.3
	75～84歳	333	3.9	12.0	32.7	20.1	8.1	9.0	9.0	2.1	3.0
	85歳以上	70	8.6	14.3	30.0	22.9	7.1	7.1	4.3	2.9	2.9

(3) 就労状況

① 働き方

「会社や団体、官庁等に勤務」が38.1%、「働いていないし今後も働きたくない」が28.5%

問12. あなたは現在、働いていますか。複数の仕事をしている場合は収入の最も多いものをお答えください。(〇は1つ)



性別で見ると、男性は女性と比べて、「会社や団体、官庁等に勤務」および「自営業」の割合が高い。女性は男性と比べて、「働いていないし今後も働きたくない」の割合が高い。

年代別で見ると、55～64歳は他の年代と比べて、「会社や団体、官庁等に勤務」の割合が高い。75歳以上の年代になると、「働いていないし今後も働きたくない」の割合が半数を超えている。

(%)

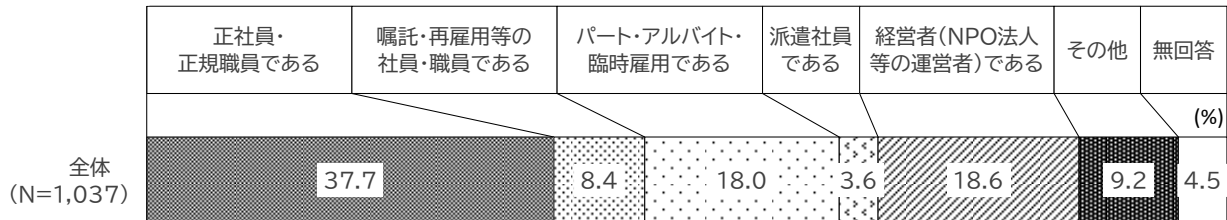
		調査数	会社や団体、官庁等に勤務	個人商店などで勤務	自営業	(NPO法人に参加している者も含む)	その他	登録シルバー人材センターに	働いていないが今後働きたい	働いていないし今後も働きたくない	無回答
全体		1,731	38.1	2.3	14.4	0.3	4.8	1.0	7.1	28.5	3.5
性別	男性	746	46.5	2.0	18.1	0.3	3.9	1.3	5.2	20.8	1.9
	女性	981	31.9	2.4	11.5	0.4	5.5	0.7	8.5	34.5	4.6
年代	55～64歳	768	62.2	2.5	13.3	0.1	4.2	0.0	7.9	9.1	0.7
	65～74歳	529	25.0	3.0	16.4	0.2	6.0	1.7	8.3	37.4	1.9
	75～84歳	333	9.6	0.9	14.4	0.9	4.5	2.4	3.6	54.4	9.3
	85歳以上	70	5.7	1.4	15.7	1.4	2.9	0.0	4.3	52.9	15.7

② 就労形態

「正社員・正規職員である」が37.7%、「経営者（NPO法人等の運営者）である」が18.6%

【問12で「1. 会社や団体、官庁等に勤務」、「2. 個人商店などで勤務」、「3. 自営業」、「4. NPO法人に参加（運営している者も含む）」、「5. その他」と回答の方】

問12-1. 現在働いている方にうかがいます。現在の就労形態は何ですか。（〇は1つ）



<その他の回答>

○自営業 ○個人事業主 ○家族従業員（自営業・家業の手伝い等）

性別で見ると、男性は女性と比べて、「経営者（NPO法人等の運営者）である」の割合が高い。女性は男性と比べて、「パート・アルバイト・臨時雇用である」の割合が高い。

年代別で見ると、55～64歳は他の年代と比べて、「正社員・正規職員である」の割合が高い。65～74歳は他の年代と比べて、「パート・アルバイト・臨時雇用である」の割合が高い。75歳以上は他の年代と比べて、「経営者（NPO法人等の運営者）である」の割合が高い。

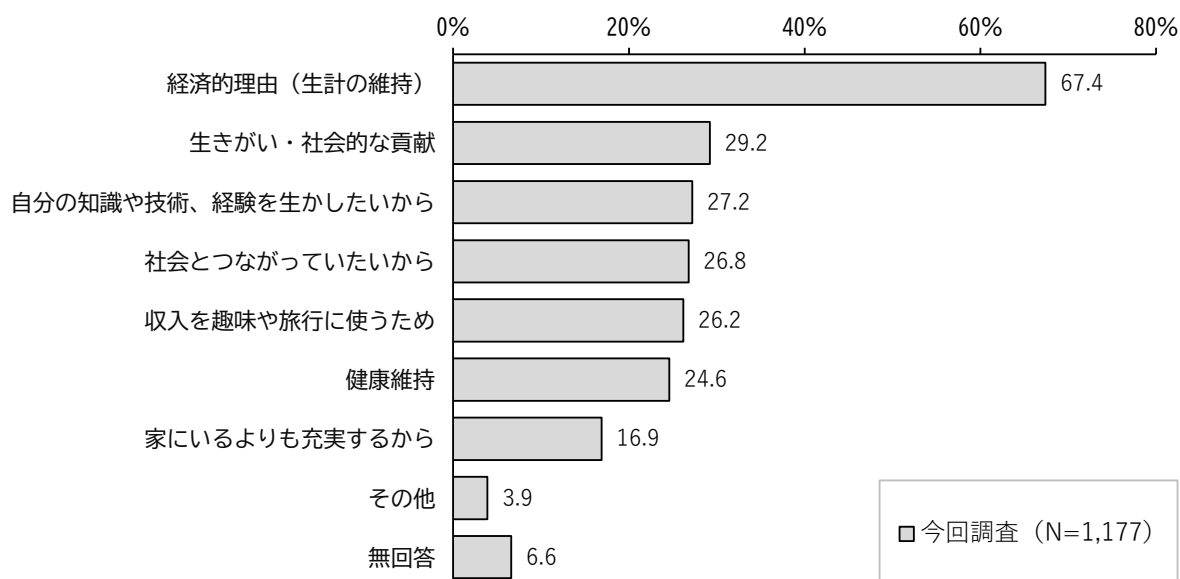
		調査数	正社員・正規職員である	嘱託・再雇用等の社員・職員である	パート・アルバイト・臨時雇用である	派遣社員である	経営者（NPO法人等の運営者）である	その他	無回答
全体		1,037	37.7	8.4	18.0	3.6	18.6	9.2	4.5
性別	男性	528	39.4	9.8	10.6	1.7	25.8	8.9	3.8
	女性	508	36.0	6.9	25.8	5.5	11.0	9.4	5.3
年代	55～64歳	632	50.2	7.9	15.7	4.6	14.4	5.9	1.4
	65～74歳	268	18.3	11.2	27.2	2.6	22.4	13.4	4.9
	75～84歳	101	16.8	5.0	12.9	0.0	29.7	20.8	14.9
	85歳以上	19	10.5	5.3	0.0	0.0	47.4	0.0	36.8

③ 仕事の目的・理由

「経済的理由(生計の維持)」が67.4%、「生きがい、社会的な貢献」が29.2%

【問12で「1. 会社や団体、官庁等に勤務」、「2. 個人商店などで勤務」、「3. 自営業」、「4. NPO法人に参加(運営している者も含む)」、「5. その他」、「6. シルバー人材センターに登録」、「7. 働いていないが今後働きたい」と回答の方】

問12-2. 仕事をしている(またはしたい)目的・理由は何ですか。【複数回答】



性別で見ると、男性は女性と比べて、「経済的理由(生計の維持)」および「生きがい・社会的な貢献」の割合が高い。女性は男性と比べて、「社会とつながっていたいから」および「家にいるよりも充実するから」の割合が高い。

年代別で見ると、55～64歳は他の年代と比べて、「経済的理由(生計の維持)」、「生きがい・社会的な貢献」および「収入を趣味や旅行に使うため」の割合が高い。また、75～84歳は他の年代と比べて、「健康維持」の割合が高い。

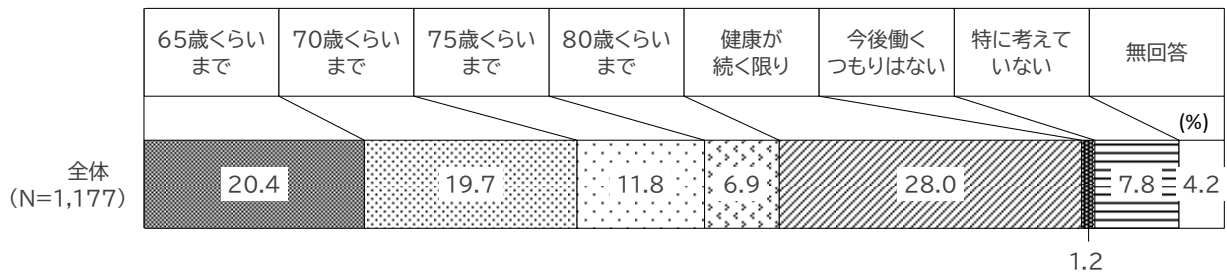
		調査数	経済的理由(生計の維持)	生きがい・社会的な貢献	自分の知識や技術、経験を生かしたいから	社会とつながっていたいから	収入を趣味や旅行に使うため	健康維持	家にいるよりも充実するから	その他	無回答
全体		1,177	67.4	29.2	27.2	26.8	26.2	24.6	16.9	3.9	6.6
性別	男性	577	70.7	32.6	28.8	23.4	24.8	25.8	12.7	3.6	6.6
	女性	598	64.0	26.1	25.8	30.1	27.6	23.6	21.1	4.2	6.7
年代	55～64歳	693	79.4	32.5	28.6	28.9	32.8	21.6	16.7	4.0	2.7
	65～74歳	321	54.8	25.2	26.5	23.7	19.3	27.7	17.4	4.4	9.3
	75～84歳	121	39.7	24.0	21.5	26.4	9.9	36.4	17.4	2.5	15.7
	85歳以上	22	27.3	18.2	31.8	9.1	13.6	22.7	9.1	4.5	27.3

④ 何歳まで仕事をしたいか

「健康が続く限り」が28.0%、「65歳くらいまで」が20.4%

【問12で「1. 会社や団体、官庁等に勤務」、「2. 個人商店などで勤務」、「3. 自営業」、「4. NPO法人に参加(運営している者も含む)」、「5. その他」、「6. シルバー人材センターに登録」、「7. 働いていないが今後働きたい」と回答の方】

問12-3. 何歳くらいまで仕事をしたいですか。(〇は1つ)



年代別で見ると、55～64歳は他の年代と比べて、「健康が続く限り」の割合が低い。

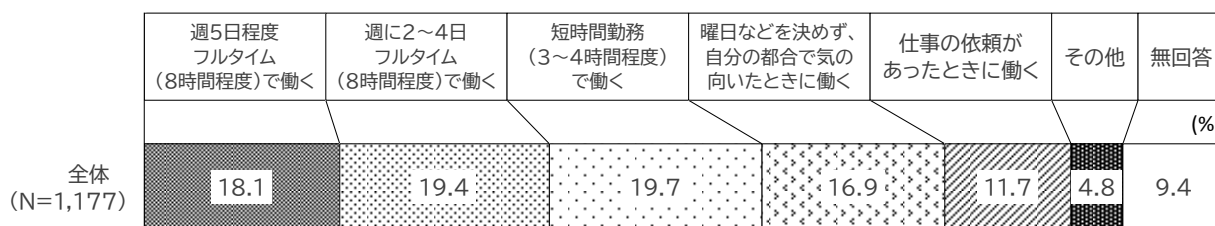
		調査数	65歳くらいまで	70歳くらいまで	75歳くらいまで	80歳くらいまで	健康が続く限り	今後働くつもりはない	特に考えていない	無回答
全体		1,177	20.4	19.7	11.8	6.9	28.0	1.2	7.8	4.2
年代	55～64歳	693	33.6	25.7	7.4	3.0	19.9	1.2	7.8	1.4
	65～74歳	321	0.3	15.3	27.1	10.6	32.7	1.2	7.2	5.6
	75～84歳	121	0.0	0.0	0.8	19.0	57.0	0.8	10.7	11.6
	85歳以上	22	0.0	0.0	0.0	9.1	68.2	0.0	9.1	13.6

⑤ 希望する今後の働き方

「短時間勤務（3～4時間程度）で働く」が19.7%、「週に2～4日フルタイム（8時間程度）で働く」が19.4%

【問12で「1. 会社や団体、官庁等に勤務」、「2. 個人商店などで勤務」、「3. 自営業」、「4. NPO法人に参加（運営している者も含む）」、「5. その他」、「6. シルバー人材センターに登録」、「7. 働いていないが今後働きたい」と回答の方】

問12-4. 今後（定年前の方は定年退職後）どのような働き方を望みますか。（〇は1つ）



性別で見ると、男性は女性と比べて、「週5日程度フルタイム（8時間程度）で働く」の割合が高い。女性は男性と比べて、「短時間勤務（3～4時間程度）で働く」の割合が高い。

年代別で見ると、55～64歳は他の年代と比べて、「週5日程度フルタイム（8時間程度）で働く」および「週に2～4日フルタイム（8時間程度）で働く」の割合が高い。65～74歳は他の年代と比べて、「短時間勤務（3～4時間程度）で働く」の割合が高い。85歳以上は他の年代と比べて、「仕事の依頼があったときに働く」の割合が高い。

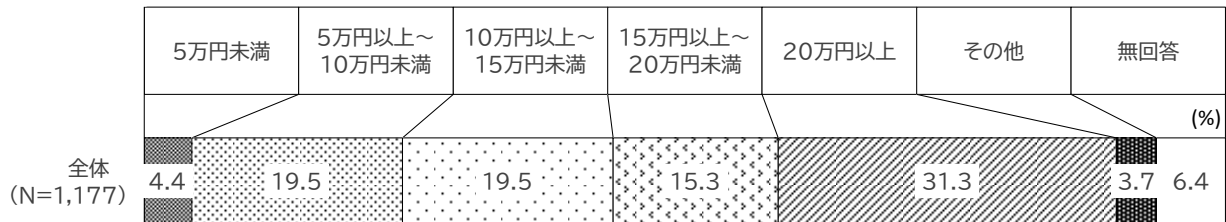
		調査数	週5日程度フルタイム (8時間程度)で働く (%)	週に2～4日フルタイム (8時間程度)で働く (%)	短時間勤務 (3～4時間程度)で働く (%)	曜日などを決めず、自分の都合で気の向いたときに働く (%)	仕事の依頼があったときに働く (%)	その他 (%)	無回答 (%)
全体		1,177	18.1	19.4	19.7	16.9	11.7	4.8	9.4
性別	男性	577	22.9	20.6	13.9	17.5	11.8	4.9	8.5
	女性	598	13.5	18.2	25.4	16.4	11.5	4.5	10.4
年代	55～64歳	693	23.5	25.5	17.5	16.9	10.4	3.3	2.9
	65～74歳	321	11.5	13.4	26.5	16.2	12.5	5.3	14.6
	75～84歳	121	4.1	5.0	19.0	19.0	13.2	9.9	29.8
	85歳以上	22	13.6	0.0	9.1	18.2	36.4	4.5	18.2

⑥ 希望する就労による収入

「20万円以上」が31.3%、「5万円以上～10万円未満」および「10万円以上～15万円未満」が19.5%

【問12で「1. 会社や団体、官庁等に勤務」、「2. 個人商店などで勤務」、「3. 自営業」、「4. NPO法人に参加（運営している者も含む）」、「5. その他」、「6. シルバー人材センターに登録」、「7. 働いていないが今後働きたい」と回答の方】

問12-5. 年金受給額とは別に、就労によって月にどのくらいの収入を得たいと思いますか。(〇は1つ)



性別で見ると、男性は女性と比べて、「20万円以上」の割合が高い。女性は男性と比べて、「5万円以上～10万円未満」の割合が高い。

年代別で見ると、55～64歳は他の年代と比べて、「20万円以上」の割合が高い。

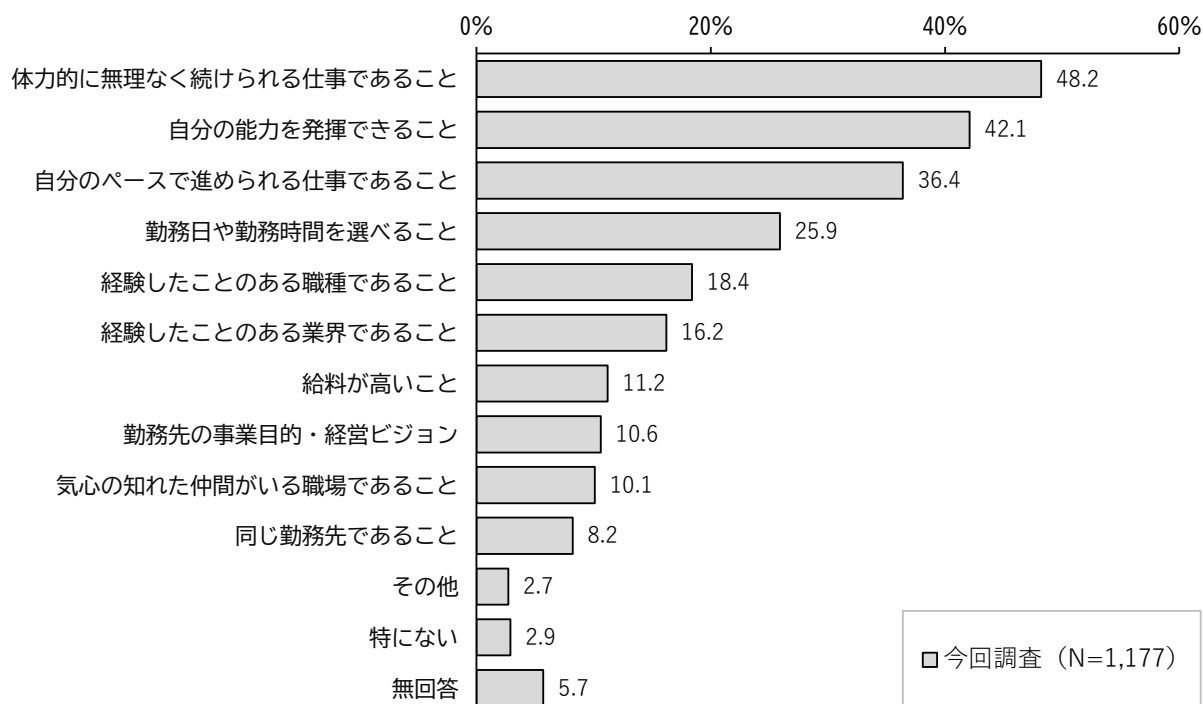
		調査数	5万円未満	5万円以上～10万円未満	10万円以上～15万円未満	15万円以上～20万円未満	20万円以上	その他	無回答
全体		1,177	4.4	19.5	19.5	15.3	31.3	3.7	6.4
性別	男性	577	3.5	11.4	17.5	14.9	42.5	4.0	6.2
	女性	598	5.2	27.3	21.4	15.7	20.6	3.3	6.5
年代	55～64歳	693	3.6	17.5	22.8	15.9	34.8	2.9	2.6
	65～74歳	321	5.3	23.4	17.1	14.6	27.4	4.0	8.1
	75～84歳	121	6.6	19.8	10.7	13.2	21.5	5.8	22.3
	85歳以上	22	4.5	27.3	13.6	9.1	31.8	0.0	13.6

⑦ 働くうえで重視していること

「体力的に無理なく続けられる仕事であること」が48.2%、「自分の能力を發揮できること」が42.1%

【問12で「1. 会社や団体、官庁等に勤務」、「2. 個人商店などで勤務」、「3. 自営業」、「4. NPO法人に参加(運営している者も含む)」、「5. その他」、「6. シルバー人材センターに登録」、「7. 働いていないが今後働きたい」と回答の方】

問12-6. 働く上で、重視していることは何ですか。【複数回答：3つまで】



性別で見ると、男性は女性と比べて、「経験したことのある業界であること」および「勤務先の事業目的・経営ビジョン」の割合が高い。女性は男性と比べて、「体力的に無理なく続けられる仕事であること」および「勤務日や勤務時間を選べること」の割合が高い。

年代別で見ると、55～64歳は他の年代と比べて、「自分の能力を發揮できること」、「勤務日や勤務時間を選べること」、「給料が高いこと」および「勤務先の事業目的・経営ビジョン」の割合が高い。また、すべての年代で「自分のペースで進められる仕事であること」の割合が約3割を占めている

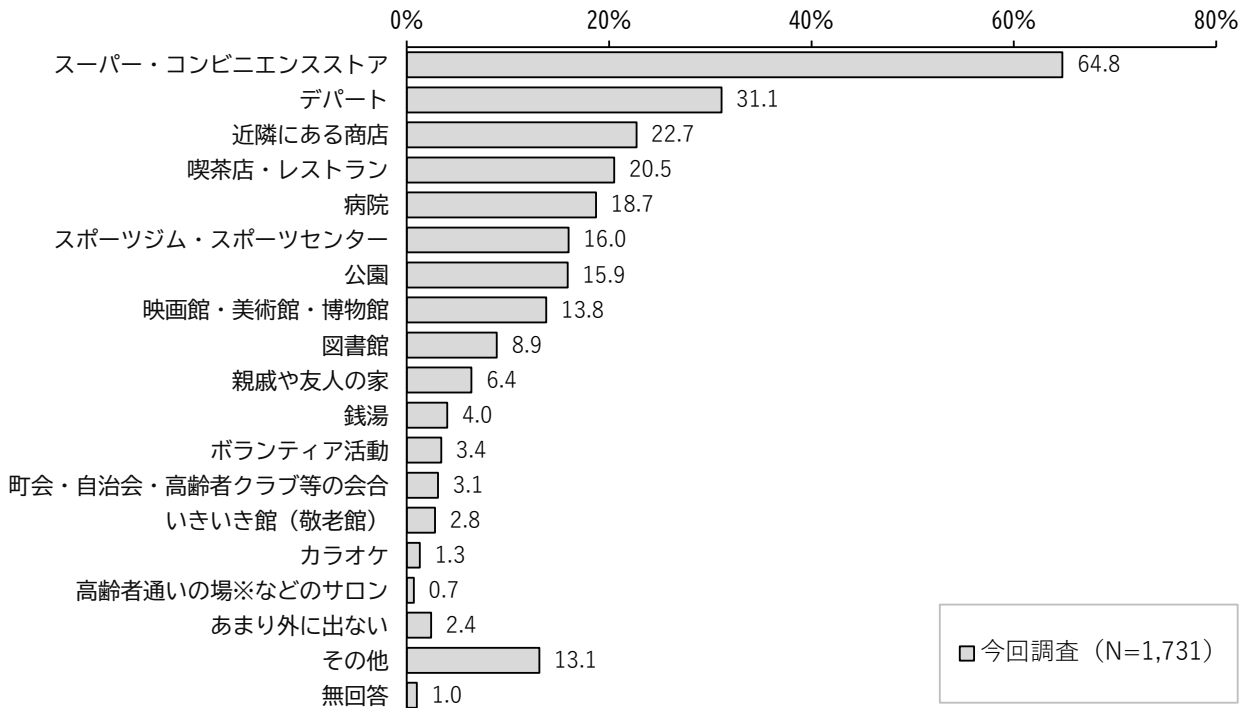
		調査数	体力的に無理なく続けられる仕事であること	自分の能力を發揮できること	自分のペースで進められる仕事であること	勤務日や勤務時間を選べること	経験したことのある職種であること	経験したことのある業界であること	給料が高いこと	勤務先の事業目的・経営ビジョン	気心の知れた仲間がいる職場であること	同じ勤務先であること	その他	特にない	無回答
全体		1,177	48.2	42.1	36.4	25.9	18.4	16.2	11.2	10.6	10.1	8.2	2.7	2.9	5.7
性別	男性	577	40.9	42.1	34.8	17.7	18.9	22.7	10.9	14.0	10.4	8.3	2.9	3.5	6.2
	女性	598	55.2	42.1	38.0	33.9	17.9	10.0	11.5	7.2	9.7	8.0	2.5	2.3	5.2
年代	55～64歳	693	49.1	48.8	37.4	29.1	18.8	17.3	15.7	13.0	11.3	7.4	3.3	1.4	2.3
	65～74歳	321	48.9	35.8	36.1	23.1	19.6	14.3	5.9	7.2	10.3	8.4	2.2	4.0	7.8
	75～84歳	121	45.5	25.6	34.7	18.2	13.2	11.6	1.7	7.4	3.3	8.3	1.7	7.4	15.7
	85歳以上	22	45.5	27.3	31.8	9.1	13.6	22.7	0.0	4.5	9.1	18.2	0.0	4.5	18.2

3. 外出や楽しみについて

(1) 外出先

「スーパー・コンビニエンスストア」が64.8%、「デパート」が31.1%

問13. あなたは、普段どこへ出かけることが多いですか。(仕事を除く)【複数回答：3つまで】



<その他の回答>

○趣味や習い事の活動の場 ○ゴルフ ○散歩(散策、街歩き、ウォーキング、ランニング、など)

性別で見ると、男性は女性と比べて、「喫茶店・レストラン」および「公園」の割合が高い。女性は男性と比べて、「スーパー・コンビニエンスストア」、「デパート」、「近隣にある商店」および「病院」の割合が高い。

年代別で見ると、55～64歳は他の年代と比べて、「スーパー・コンビニエンスストア」、「デパート」および「喫茶店・レストラン」の割合が高い。75歳以上は74歳以下の年代と比べて、「病院」の割合が高い。85歳以上は他の年代と比べて、「あまり外に出ない」の割合が高い。

家族構成別で見ると、大きな差は見られない。

居住地域別で見ると、京橋地域は他の地域と比べて、「スーパー・コンビニエンスストア」の割合が低く、「デパート」の割合が高い。また、日本橋地域は他の居住地域と比べて、「近隣にある商店」の割合が高い。

I 高齢者福祉に関する生活実態調査(調査A)

		調査数	コンビニエンスストア	デパート	近隣にある商店	喫茶店・レストラン	病院	スポーツセンター	公園	映画館・美術館・博物館	図書館	親戚や友人の家
全体		1,731	64.8	31.1	22.7	20.5	18.7	16.0	15.9	13.8	8.9	6.4
性別	男性	746	60.3	23.1	18.8	25.3	15.3	17.0	19.6	12.3	8.7	3.5
	女性	981	68.2	37.2	25.7	16.9	21.3	15.3	13.3	15.0	9.1	8.7
年代	55～64歳	768	69.9	34.8	21.1	26.8	9.5	18.0	15.9	17.4	7.3	7.0
	65～74歳	529	63.3	28.9	25.9	17.4	18.5	17.6	15.3	13.8	10.4	6.0
	75～84歳	333	57.7	27.3	24.9	14.1	35.7	11.7	18.6	6.6	9.0	6.0
	85歳以上	70	57.1	25.7	11.4	8.6	40.0	7.1	7.1	8.6	11.4	5.7
家族構成	ひとり暮らし	440	66.6	29.8	21.6	20.2	17.5	16.4	15.0	17.5	10.9	7.5
	夫婦2人暮らし	761	60.7	33.2	22.5	23.1	17.9	18.0	17.0	12.9	8.9	6.3
	息子・娘との2世帯	185	67.6	26.5	23.8	15.1	21.1	15.1	16.2	10.8	7.0	7.0
	その他	330	70.0	30.9	24.2	18.2	20.3	12.1	14.8	13.0	7.6	5.2
居住地域	京橋	431	58.5	41.1	21.3	23.0	16.2	16.0	13.7	13.9	9.5	4.4
	日本橋	480	64.6	33.1	27.5	20.6	17.5	19.2	16.0	13.3	9.0	6.9
	月島	813	68.1	24.6	20.8	19.2	20.5	14.3	17.1	14.1	8.6	7.3

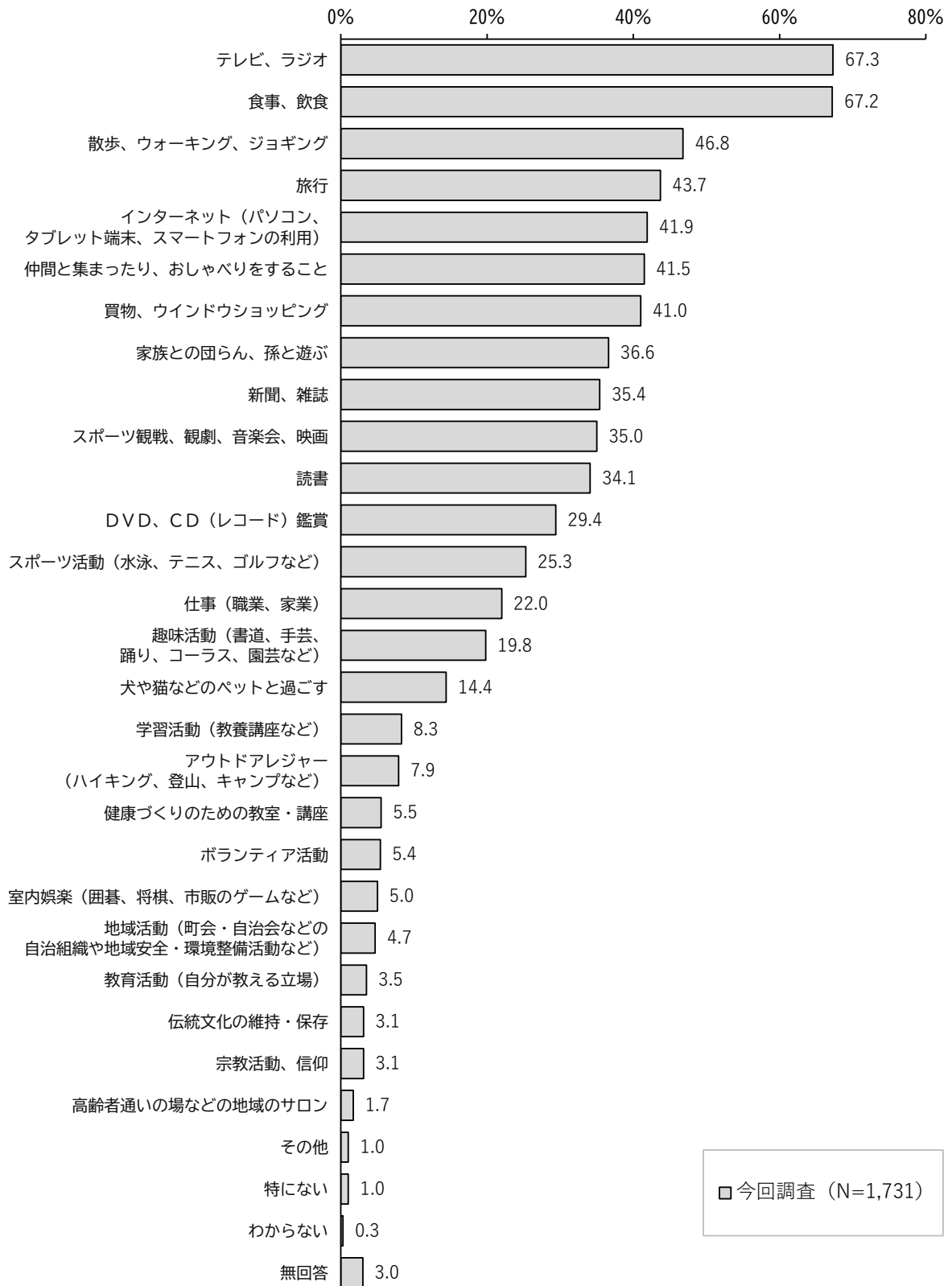
		調査数	銭湯	ボランティア活動	町会・自治会・高齢者クラブ等の会合	いきいき館(敬老館)	カラオケ	高齢者通いの場※などのサロン	あまり外に出ない	その他	無回答
全体		1,731	4.0	3.4	3.1	2.8	1.3	0.7	12.3	13.1	1.0
性別	男性	746	4.2	3.5	3.6	2.0	2.0	0.7	12.5	15.0	1.2
	女性	981	3.8	3.4	2.7	3.5	0.8	0.7	12.1	11.6	0.7
年代	55～64歳	768	2.3	2.2	0.8	0.1	1.7	0.1	9.8	13.2	0.3
	65～74歳	529	5.3	4.5	3.2	3.6	1.3	1.3	11.9	14.0	1.5
	75～84歳	333	5.7	5.1	6.3	6.6	0.9	0.6	16.5	12.6	0.6
	85歳以上	70	4.3	1.4	10.0	7.1	0.0	2.9	22.9	10.0	4.3
家族構成	ひとり暮らし	440	7.0	2.0	1.8	2.7	2.5	0.7	13.2	13.2	1.1
	夫婦2人暮らし	761	3.0	3.5	3.7	3.2	0.9	1.1	9.9	13.9	0.4
	息子・娘との2世帯	185	4.9	2.7	4.9	3.8	1.1	0.5	14.6	10.8	1.6
	その他	330	1.5	5.2	2.1	1.8	0.9	0.0	14.8	12.7	1.2
居住地域	京橋	431	4.2	3.0	3.2	4.2	0.9	0.9	12.5	13.5	0.7
	日本橋	480	3.1	4.2	3.8	2.9	1.5	0.2	12.1	12.3	0.6
	月島	813	4.3	3.2	2.6	2.1	1.5	0.9	12.3	13.4	1.2

(2) 普段の生活で楽しいこと、今後取り組みたいこと

① 普段の生活で楽しいこと

「テレビ、ラジオ」が67.3%、「食事、飲食」が67.2%

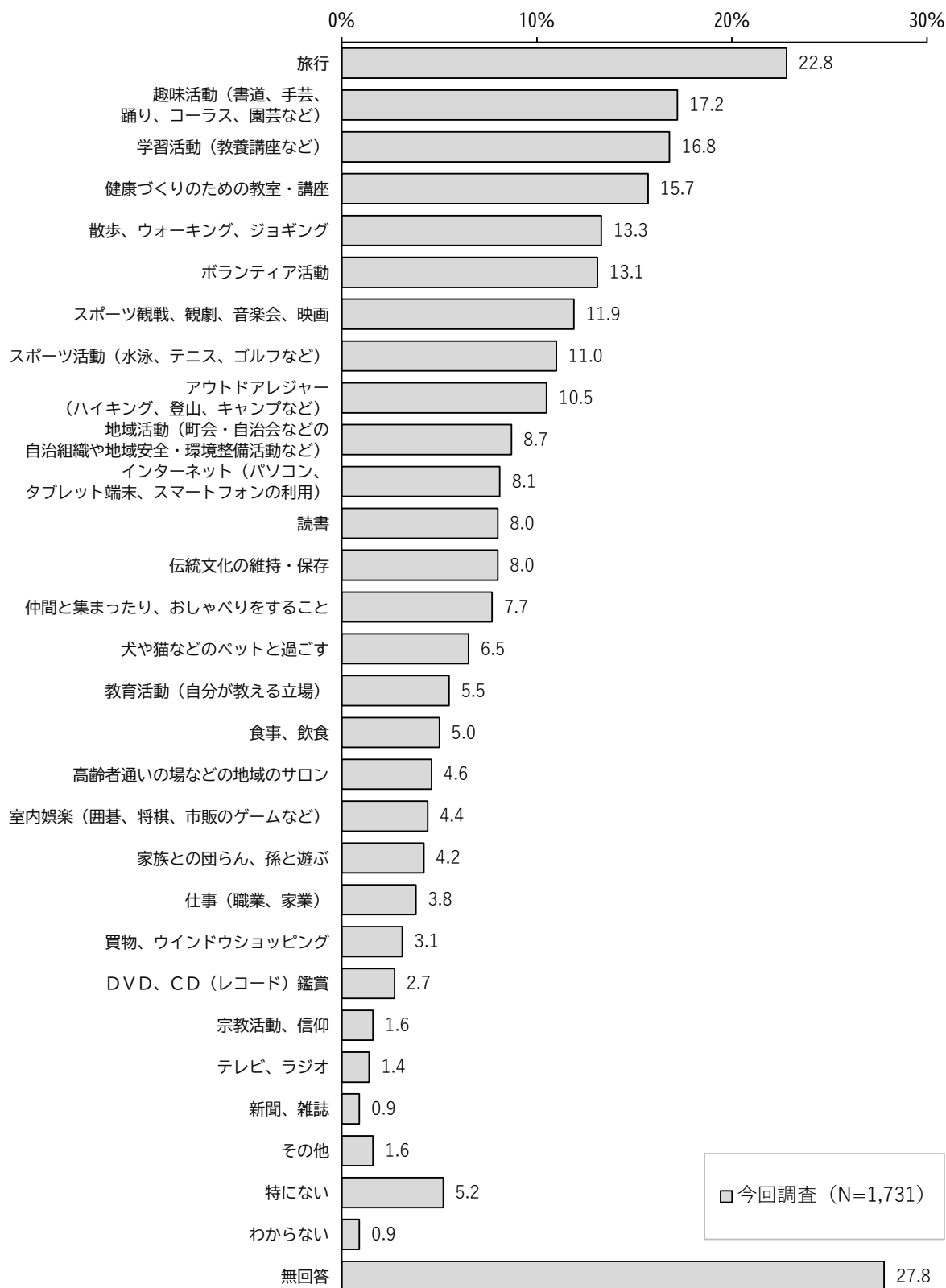
問 14(1). あなたが、(1) 普段の生活で楽しいこと、(2) 今後新たに取り組みたいことは何ですか。感染症拡大による外出自粛などは考慮せず、通常の生活を前提としてお答えください。【複数回答】



② 今後取り組みたいこと

「旅行」が22.8%、「趣味活動（書道、手芸、踊り、コーラス、園芸など）」が17.2%、「学習活動（教養講座など）」が16.8%

問 14(2). あなたが、(1) 普段の生活で楽しいこと、(2) 今後新たに取り組みたいことは何ですか。感染症拡大による外出自粛などは考慮せず、通常の生活を前提としてお答えください。【複数回答】

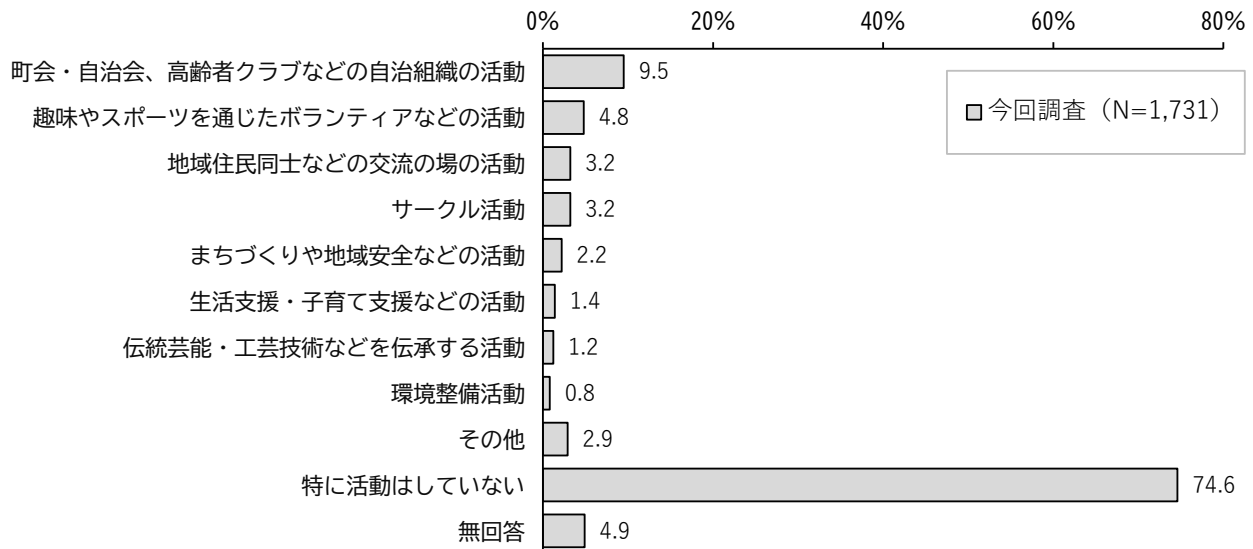


4. 社会的な活動や地域活動への参加状況について

(1) 社会的な活動や地域活動への参加状況

「特に活動はしていない」が74.6%、「町会・自治会、高齢者クラブなどの自治組織の活動」が9.5%、「趣味やスポーツを通じたボランティアなどの活動」が4.8%

問15. あなたは現在、支援したり運営したりする側（担い手）として、何らかの社会的活動や地域活動を行っていますか。【複数回答】



年代別で見ると、55～64歳は他の年代と比べて、「町会・自治会、高齢者クラブなどの自治組織の活動」の割合が低い。

居住地域別で見ると、大きな差は見られない。

居住形態別で見ると、「持ち家（一戸建て）」、「公営賃貸住宅（集合住宅）」および「その他」は「町会・自治会、高齢者クラブなどの自治組織の活動」の割合が高い。集合住宅の居住階数別で見ると、「1～10階」で「町会・自治会、高齢者クラブなどの自治組織の活動」の割合が高い。

		調査数	町会・自治会、高齢者クラブなどの自治組織の活動 (%)	趣味やスポーツを通じたボランティアなどの活動 (%)	地域住民同士などの交流の場の活動 (%)	サークル活動 (%)	まちづくりや地域安全などの活動 (%)	生活支援・子育て支援などの活動 (%)	伝統芸能・工芸技術などを伝承する活動 (%)	環境整備活動 (%)	その他 (%)	特に活動はしていない (%)	無回答 (%)
全体		1,731	9.5	4.8	3.2	3.2	2.2	1.4	1.2	0.8	2.9	74.6	4.9
年代	55～64歳	768	5.5	4.6	1.7	2.7	0.9	1.3	1.6	0.4	2.5	83.1	1.0
	65～74歳	529	12.3	4.5	3.4	1.9	2.6	2.3	0.4	0.9	3.6	73.5	3.4
	75～84歳	333	13.5	6.0	6.0	5.7	3.3	0.9	1.8	1.2	2.7	62.5	11.1
	85歳以上	70	14.3	2.9	5.7	5.7	5.7	0.0	0.0	1.4	4.3	54.3	21.4
居住地域	京橋	431	9.5	3.5	3.7	3.0	1.4	1.6	0.9	0.7	2.3	75.9	5.1
	日本橋	480	13.5	5.0	4.2	3.1	3.3	1.3	1.5	0.4	4.0	70.6	3.8
	月島	813	7.3	5.4	2.5	3.2	2.0	1.5	1.1	1.1	2.6	76.6	5.2
居住形態	持ち家(一戸建て)	264	17.8	4.9	6.4	3.4	4.5	2.3	2.7	0.8	1.9	64.4	7.2
	持ち家(集合住宅)	869	7.5	4.8	2.8	3.1	1.5	1.4	1.2	0.6	3.5	76.3	4.0
	公営賃貸住宅(集合住宅)	140	17.9	3.6	3.6	2.9	2.1	1.4	0.7	1.4	2.1	70.7	5.0
	民間賃貸住宅(集合住宅)	374	3.5	4.8	1.3	2.9	1.9	1.1	0.3	1.1	2.7	82.9	3.2
	その他	65	21.5	7.7	7.7	4.6	4.6	1.5	1.5	1.5	4.6	56.9	10.8
集合住宅	1～10階	872	9.3	3.1	1.8	3.7	0.7	4.7	1.0	1.5	2.9	74.4	4.6
	11～20階	277	4.0	0.4	1.4	1.4	0.0	4.7	0.0	1.1	3.6	84.5	2.2
	21階以上	201	4.5	2.5	1.0	2.5	2.5	4.0	1.0	1.0	3.5	82.6	1.5

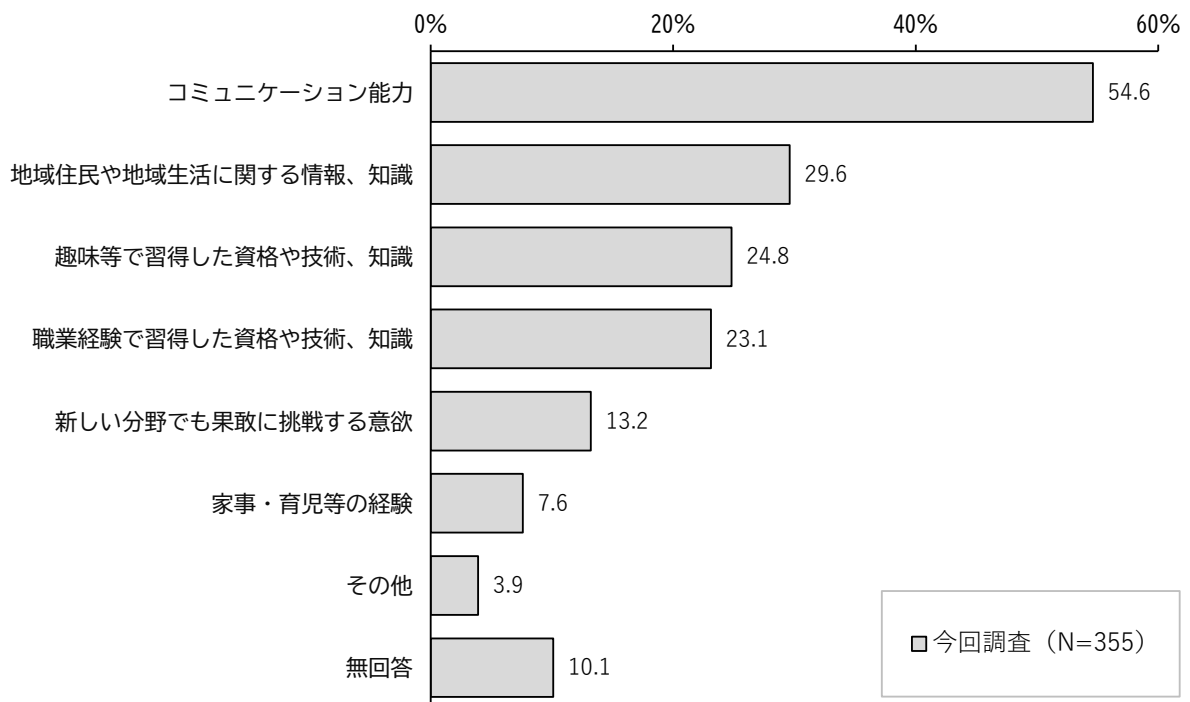
(2) 現在行っている活動について

① 活動に役立っている能力

「コミュニケーション能力」が54.6%、「地域住民や地域生活に関する情報、知識」が29.6%

【問15で「1. 町会・自治会、高齢者クラブなどの自治組織の活動」、「2. 地域住民同士などの交流の場の活動」、「3. まちづくりや地域安全などの活動」、「4. サークル活動」、「5. 環境整備活動」、「6. 趣味やスポーツを通じたボランティアなどの活動」、「7. 伝統芸能・工芸技術などを伝承する活動」、「8. 生活支援・子育て支援などの活動」、「9. その他」と回答の方】

問15-1. 現在行っている社会的活動や地域活動において、役立っている能力、知識についてあてはまるものは何ですか。【複数回答】

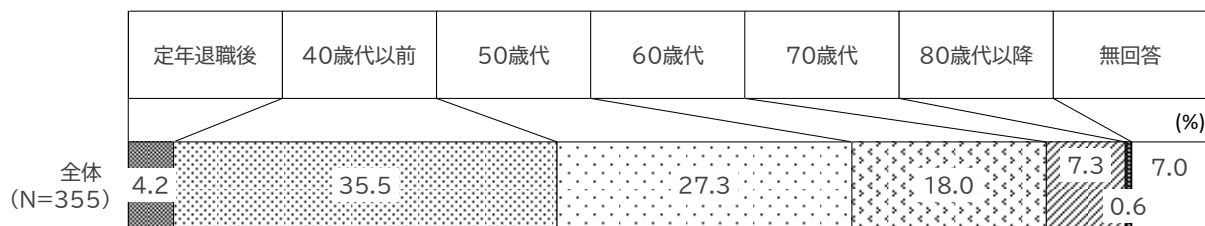


② 活動を始めた時期

「40歳代以前」が35.5%、「50歳代」が27.3%

【問15で「1. 町会・自治会、高齢者クラブなどの自治組織の活動」、「2. 地域住民同士などの交流の場の活動」、「3. まちづくりや地域安全などの活動」、「4. サークル活動」、「5. 環境整備活動」、「6. 趣味やスポーツを通じたボランティアなどの活動」、「7. 伝統芸能・工芸技術などを伝承する活動」、「8. 生活支援・子育て支援などの活動」、「9. その他」と回答の方】

問15-2. 現在行っている社会的活動や地域活動を始めた時期はいつ頃ですか。複数の活動をしている場合は、最も古いものについてお答えください。(〇は1つ)

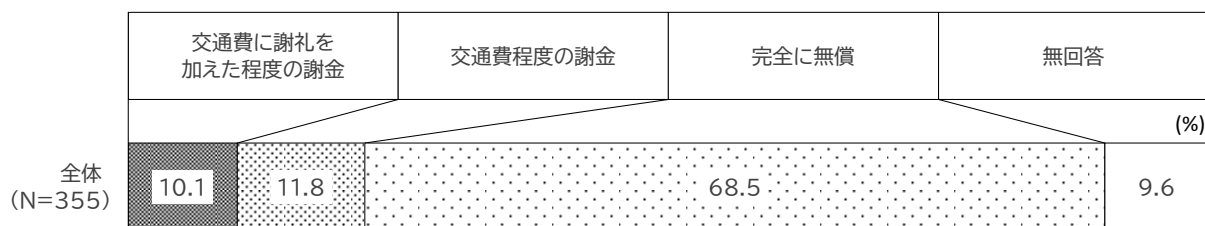


③ 有償か無償か

「完全に無償」が68.5%

【問15で「1. 町会・自治会、高齢者クラブなどの自治組織の活動」、「2. 地域住民同士などの交流の場の活動」、「3. まちづくりや地域安全などの活動」、「4. サークル活動」、「5. 環境整備活動」、「6. 趣味やスポーツを通じたボランティアなどの活動」、「7. 伝統芸能・工芸技術などを伝承する活動」、「8. 生活支援・子育て支援などの活動」、「9. その他」と回答の方】

問15-3. 現在行っている社会的な活動や地域活動は有償ですか。複数の活動をしている場合は、最も力を入れている活動についてお答えください。(〇は1つ)

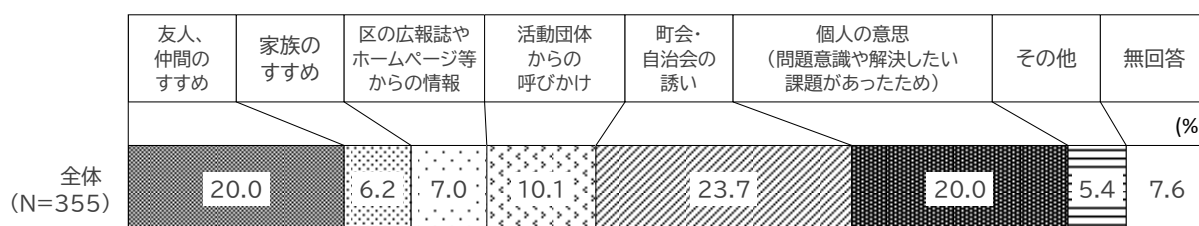


④ 活動を始めたきっかけ

「町会・自治会の誘い」が23.7%、「友人、仲間のすすめ」および「個人の意味(問題意識や解決したい課題があったため)」が20.0%

【問15で「1. 町会・自治会、高齢者クラブなどの自治組織の活動」、「2. 地域住民同士などの交流の場の活動」、「3. まちづくりや地域安全などの活動」、「4. サークル活動」、「5. 環境整備活動」、「6. 趣味やスポーツを通じたボランティアなどの活動」、「7. 伝統芸能・工芸技術などを伝承する活動」、「8. 生活支援・子育て支援などの活動」、「9. その他」と回答の方】

問15-4. 現在行っている社会的な活動や地域活動を始めたきっかけは何ですか。複数の活動をしている場合は、最も力を入れている活動についてお答えください。(〇は1つ)



<その他の回答>

○前任者からの依頼 ○マンションの理事会 ○持回り方式 ○学校からの紹介

性別で見ると、男性は女性と比べて、「友人、仲間のすすめ」および「個人の意味(問題意識や解決したい課題があったため)」の割合が高い。女性は男性と比べて、「区の広報誌やホームページ等からの情報」の割合が高い。

年代別で見ると、55～64歳は他の年代と比べて、「個人の意味(問題意識や解決したい課題があったため)」の割合が高い。75～84歳は他の年代と比べて、「友人、仲間のすすめ」の割合が高い。

居住地域別で見ると、月島地域は他の地域と比べて、「町会・自治会の誘い」の割合が低く、「個人の意味(問題意識や解決したい課題があったため)」の割合が高い。

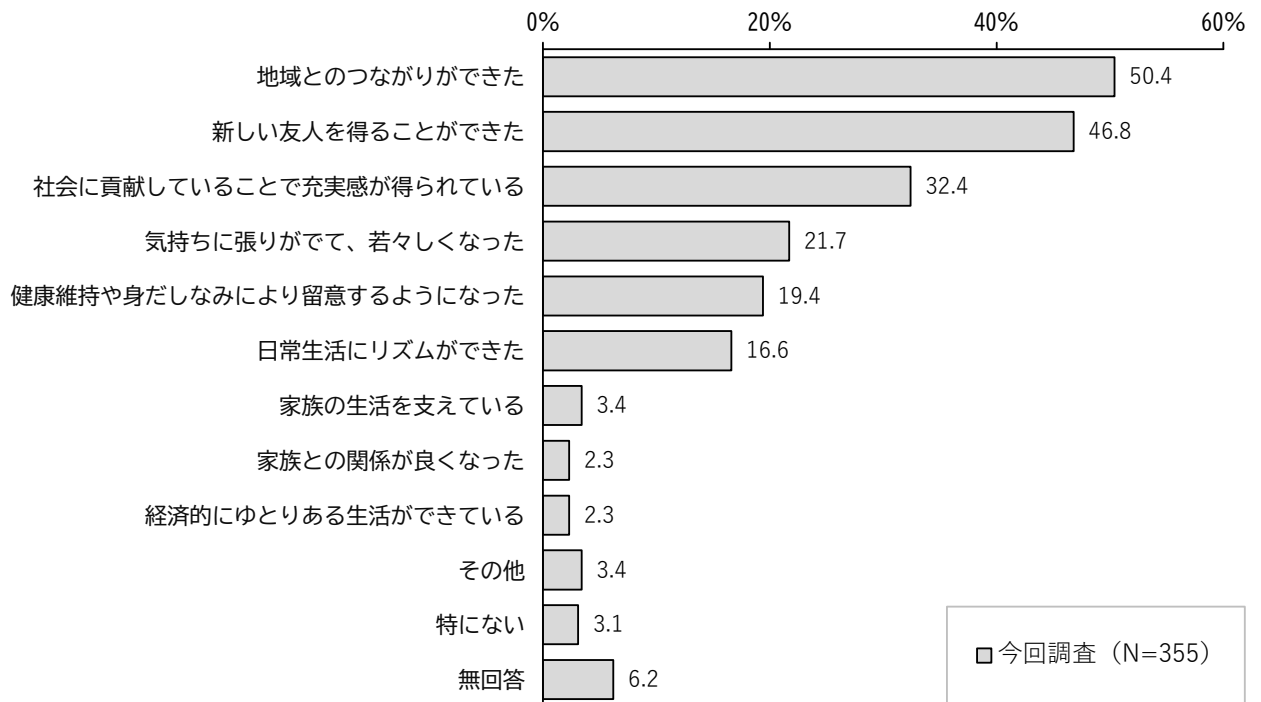
		調査数	友人、仲間のすすめ	家族のすすめ	区の広報誌やホームページ等からの情報	活動団体からの呼びかけ	町会・自治会の誘い	個人の問題意識や解決したい課題があったため	その他	無回答
全体		355	20.0	6.2	7.0	10.1	23.7	20.0	5.4	7.6
性別	男性	164	23.2	6.1	3.7	11.6	21.3	24.4	2.4	7.3
	女性	190	17.4	6.3	10.0	8.9	25.8	16.3	7.9	7.4
年代	55～64歳	122	17.2	8.2	8.2	10.7	22.1	26.2	4.9	2.5
	65～74歳	122	14.8	5.7	9.0	10.7	30.3	18.0	7.4	4.1
	75～84歳	88	34.1	4.5	3.4	10.2	14.8	14.8	3.4	14.8
	85歳以上	17	11.8	0.0	5.9	5.9	35.3	17.6	0.0	23.5
居住地域	京橋	82	14.6	8.5	7.3	12.2	29.3	17.1	7.3	3.7
	日本橋	123	24.4	4.9	5.7	12.2	29.3	17.1	4.1	2.4
	月島	148	19.6	6.1	8.1	7.4	16.2	24.3	4.7	13.5

⑤ 活動をしてよかったと思うこと

「地域とのつながりができた」が50.4%、「新しい友人を得ることができた」が46.8%

【問15で「1. 町会・自治会、高齢者クラブなどの自治組織の活動」、「2. 地域住民同士などの交流の場の活動」、「3. まちづくりや地域安全などの活動」、「4. サークル活動」、「5. 環境整備活動」、「6. 趣味やスポーツを通じたボランティアなどの活動」、「7. 伝統芸能・工芸技術などを伝承する活動」、「8. 生活支援・子育て支援などの活動」、「9. その他」と回答の方】

問15-5. 現在、社会的な活動や地域活動をしていてよかったと思うことは何ですか。複数の活動をしている場合は、最も力を入れている活動についてお答えください。【複数回答】

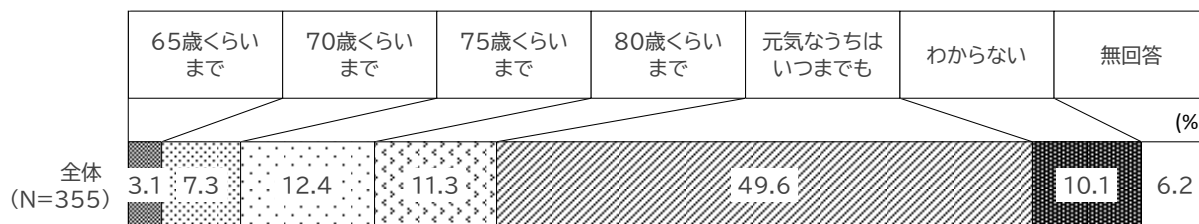


⑥ 何歳まで活動をしたいか

「元気なうちはいつまでも」が49.6%、「75歳くらいまで」が12.4%

【問15で「1. 町会・自治会、高齢者クラブなどの自治組織の活動」、「2. 地域住民同士などの交流の場の活動」、「3. まちづくりや地域安全などの活動」、「4. サークル活動」、「5. 環境整備活動」、「6. 趣味やスポーツを通じたボランティアなどの活動」、「7. 伝統芸能・工芸技術などを伝承する活動」、「8. 生活支援・子育て支援などの活動」、「9. その他」と回答の方】

問15-6. 何歳まで社会的な活動や地域活動を続けたいですか。(〇は1つ)

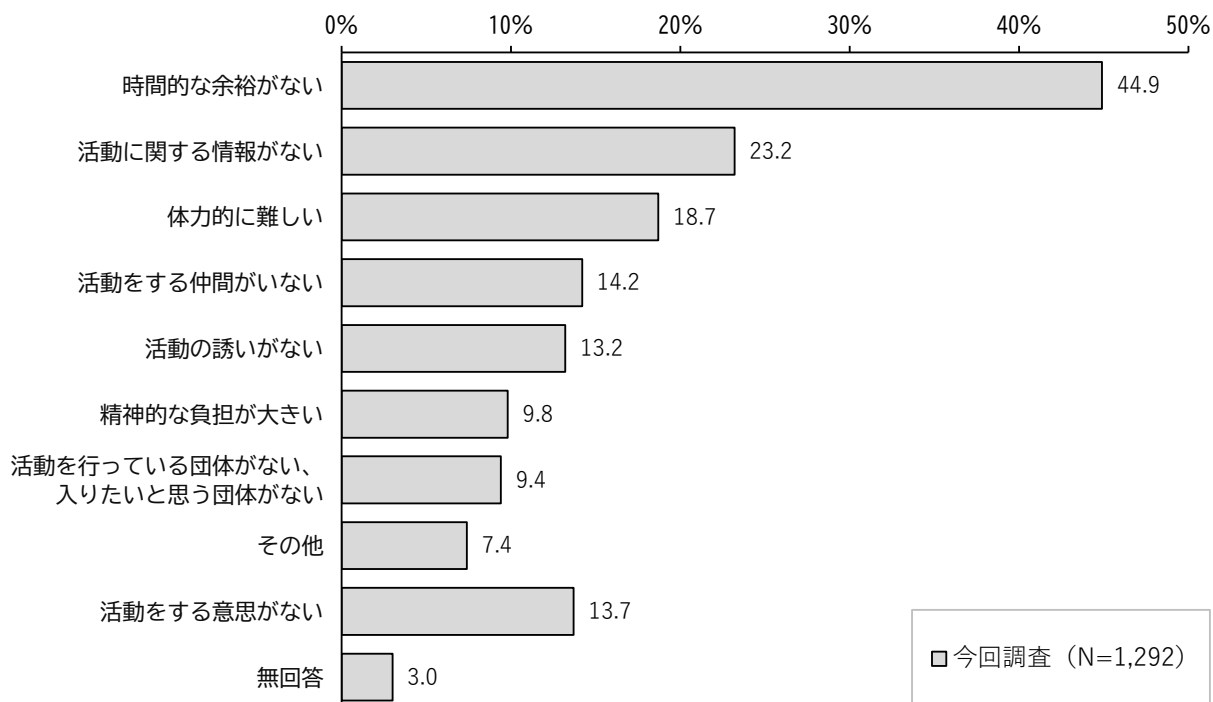


⑦ 社会的な活動や地域活動をしていない理由

「時間的な余裕がない」が44.9%、「活動に関する情報がない」が23.2%

【問15で「10. 特に活動はしていない」と回答の方】

問15-7. 現在、支援したり運営したりする側(担い手)として社会的な活動や地域活動をしていない理由は何ですか。【複数回答】



<その他の回答>

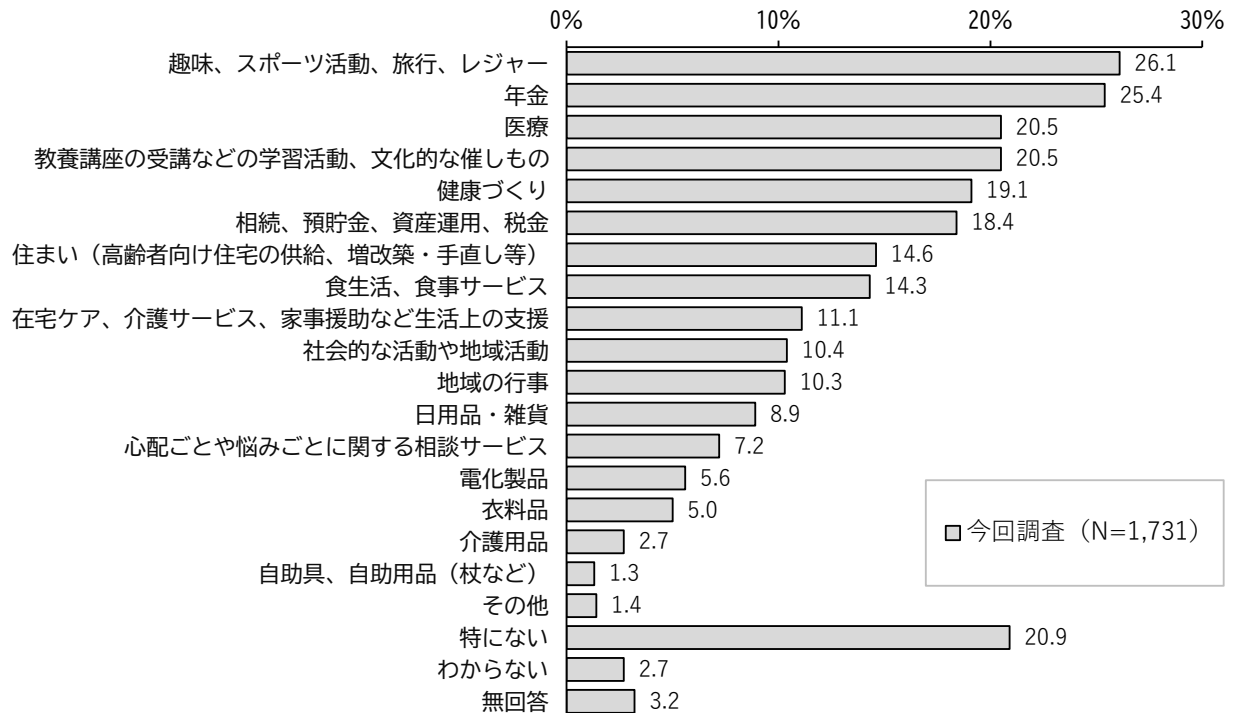
- 健康上の理由(持病がある・療養中)
- 仕事があるため
- 家族の介護をしているため

5. 日常生活に関する情報について

(1) 日常生活でもっとほしいと思う情報

「趣味、スポーツ活動、旅行、レジャー」が26.1%、「年金」が25.4%

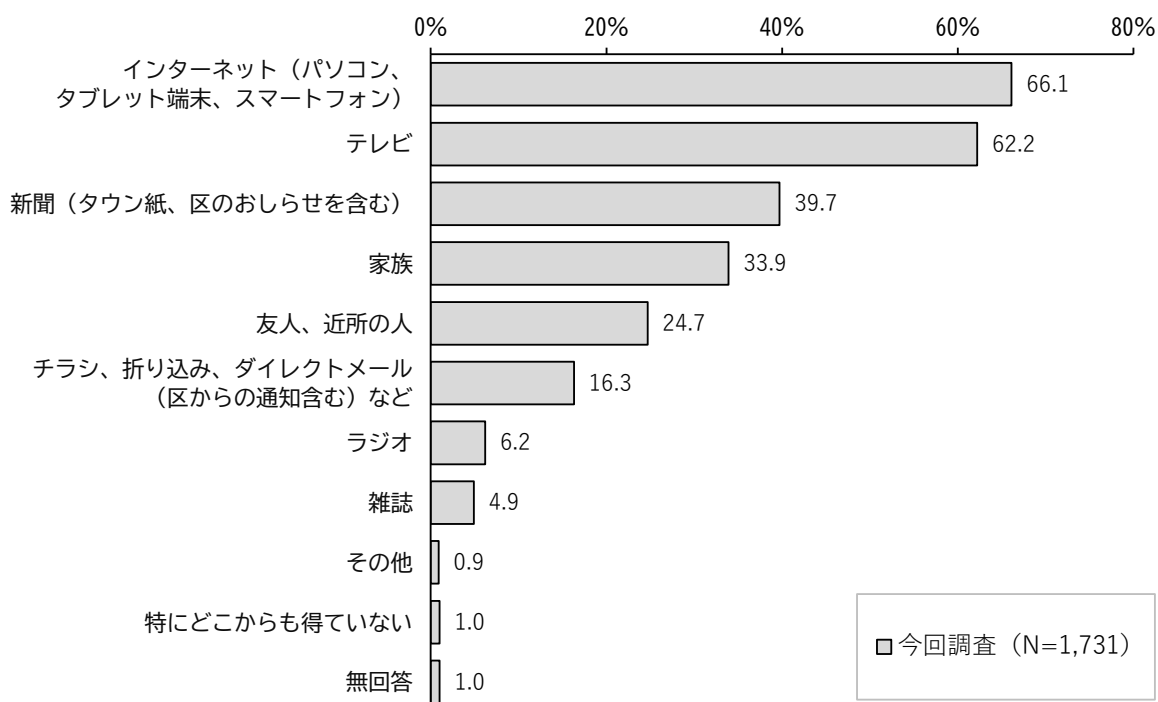
問16. あなたが日常生活に関する情報で、もっと欲しいと思う内容は何か。【複数回答】



(2) 日常生活に関する情報の入手先

「インターネット（パソコン、タブレット端末、スマートフォン）」が66.1%、「テレビ」が62.2%

問17. あなたは、日常生活に関する情報をどこから得ていますか。【複数回答：3つまで】



性別で見ると、男性は女性と比べて、「インターネット（パソコン、タブレット端末、スマートフォン）」の割合が高い。女性は男性と比べて、「テレビ」および「友人、近所の人」の割合が高い。

年代別で見ると、55～64歳は他の年代と比べて、「インターネット（パソコン、タブレット端末、スマートフォン）」の割合が高い。75～84歳は他の年代と比べて、「新聞（タウン紙、区のおしらせを含む）」、「家族」および「友人、近所の人」の割合が高い。

家族構成別で見ると、ひとり暮らしは他の家族構成と比べて、「友人、近所の人」の割合が高い。夫婦2人暮らしおよび息子・娘との2世帯は他の家族構成と比べて、「新聞（タウン紙、区のおしらせを含む）」の割合が高い。

(%)

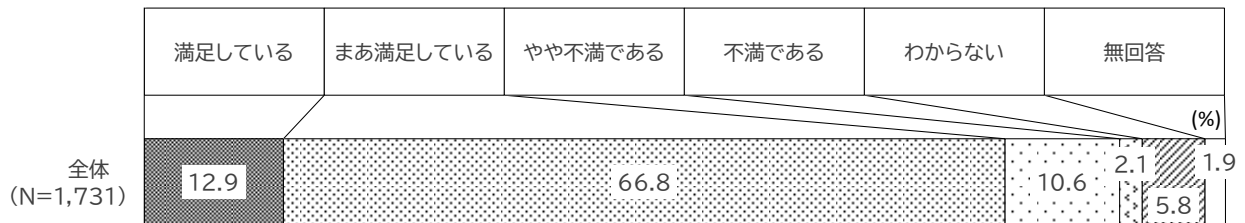
	調査数	インターネット（パソコン、タブレット端末、スマートフォン）	テレビ	新聞（タウン紙、区のおしらせを含む）	家族	友人、近所の人	チラシ、折り込み、ダイレクトメール（区からの通知含む）など	ラジオ	雑誌	その他	特にどこからも得ていない	無回答	
全体	1,731	66.1	62.2	39.7	33.9	24.7	16.3	6.2	4.9	0.9	1.0	1.0	
性別	男性	746	71.7	58.0	34.0	17.6	14.2	6.7	5.1	1.5	0.9	1.1	
	女性	981	62.2	65.4	39.8	33.7	30.1	17.9	5.8	0.4	1.0	0.9	
年代	55～64歳	768	88.5	51.4	29.6	24.9	12.9	3.6	4.7	0.9	0.9	0.4	
	65～74歳	529	63.7	68.1	45.0	32.1	23.1	7.6	4.3	0.9	0.8	0.9	
	75～84歳	333	30.9	73.9	53.2	39.3	30.3	20.7	6.3	0.3	1.5	1.2	
	85歳以上	70	8.6	77.1	47.1	32.9	15.7	21.4	8.6	4.3	2.9	0.0	7.1
家族構成	ひとり暮らし	440	65.5	65.2	34.3	13.2	31.6	17.5	8.0	5.0	0.9	1.8	0.9
	夫婦2人暮らし	761	68.1	62.7	44.4	38.1	22.3	16.2	5.5	5.1	0.8	0.7	0.7
	息子・娘との2世帯	185	60.0	57.8	41.1	52.4	26.5	14.1	8.6	5.4	0.0	0.0	1.1
	その他	330	67.0	59.7	35.5	41.2	20.3	15.8	4.2	3.9	1.5	1.5	1.5

(3) 日常生活に関する情報に対する満足度

① 満足度

「まあ満足している」が66.8%

問 18. あなたは、日常生活に関する情報に満足していますか。(○は1つ)

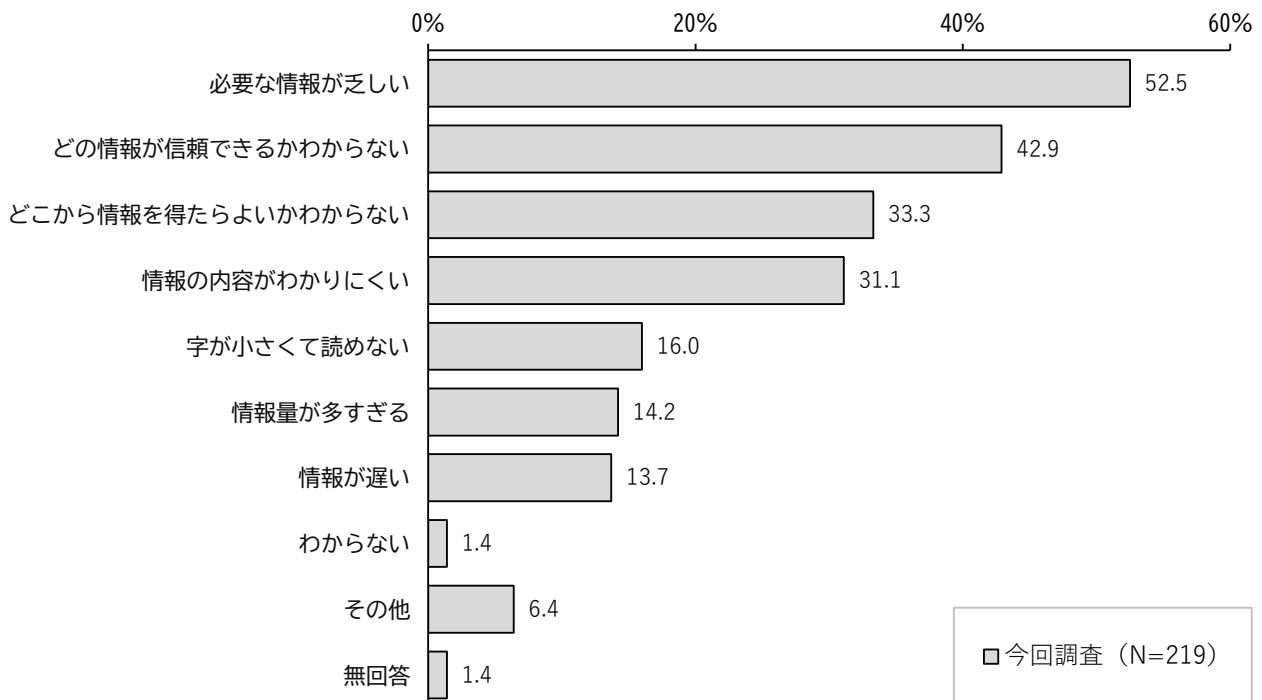


② 不満の内容

「必要な情報が乏しい」が52.5%、「どの情報が信頼できるかわからない」が42.9%

【問 18 で「3. やや不満である」または「4. 不満である」と回答の方】

問 18-1. 不満の内容は何ですか。【複数回答】



<その他の回答>

○表面的な情報しか得られない ○情報の更新時期が分からない

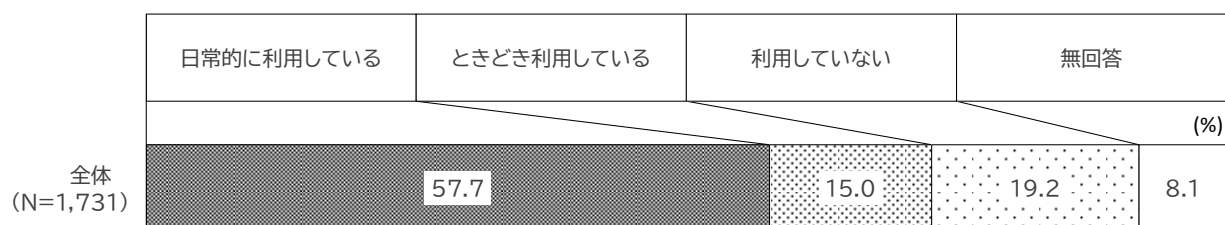
○情報を得るための時間が足りない ○情報の収集方法を教えてくれる人がいない

(4) インターネットの利用

① 情報収集のためのインターネット利用頻度

「日常的に利用している」が57.7%

問19. あなたは、情報収集の手段として、インターネットを利用していますか。(〇は1つ)



性別で見ると、男性は女性と比べて、「日常的に利用している」の割合が高い。一方、女性は男性と比べて、「利用していない」の割合が高い。

年代別で見ると、55～64歳は他の年代と比べて、「日常的に利用している」の割合が高い。年代が上がるほど、「利用していない」の割合が高くなっている。

経済的な生活感別で見ると、ややゆとりがある、大変ゆとりがあると感じている人は他の人と比べて、「日常的に利用している」の割合が高い。

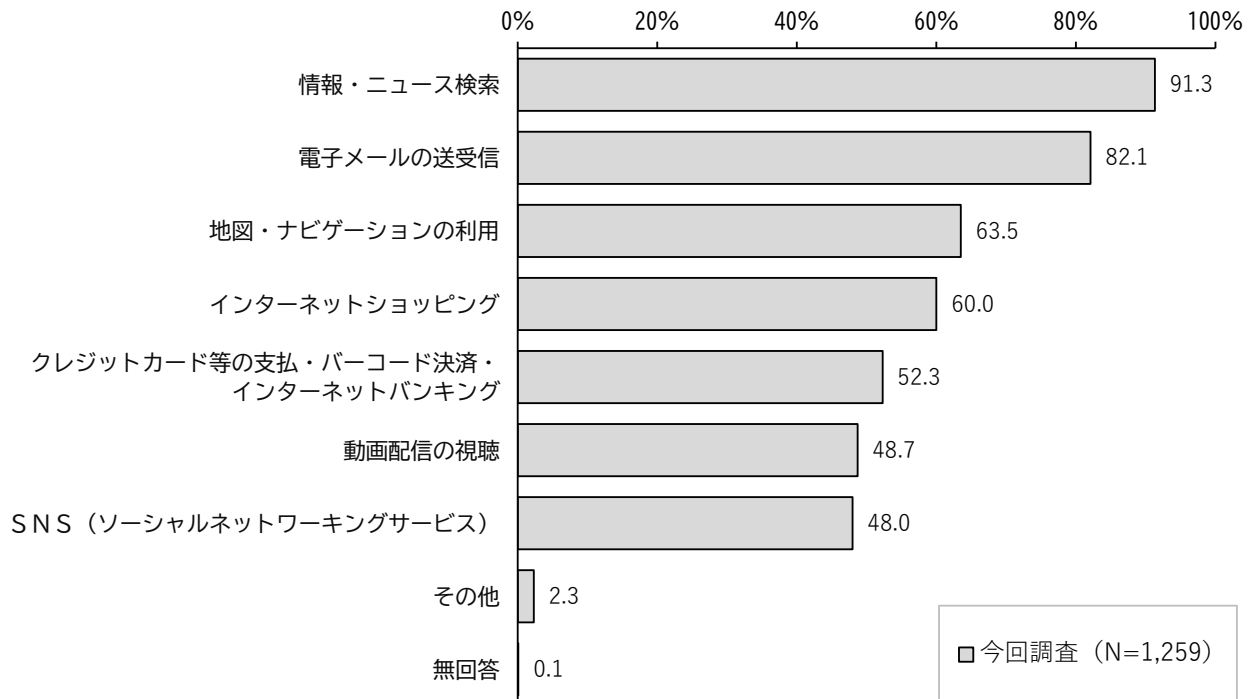
		調査数	日常的に利用している	とくどき利用している	利用していない	無回答
全 体		1,731	57.7	15.0	19.2	8.1
性別	男性	746	65.1	14.5	13.7	6.7
	女性	981	52.3	15.5	23.2	9.0
年代	55～64歳	768	81.5	11.5	2.3	4.7
	65～74歳	529	52.7	20.2	20.4	6.6
	75～84歳	333	24.3	16.8	47.4	11.4
	85歳以上	70	4.3	7.1	60.0	28.6
経済的な生活感	大変苦しい	111	41.4	18.0	24.3	16.2
	やや苦しい	300	49.7	14.3	26.7	9.3
	ふつう	886	54.9	16.1	21.8	7.2
	ややゆとりがある	314	72.3	14.0	8.0	5.7
	大変ゆとりがある	113	78.8	8.8	4.4	8.0

② インターネットの利用目的

「情報・ニュース検索」が91.3%、「電子メールの送受信」が82.1%

【問19で「1. 日常的に利用している」または「2. ときどき利用している」と回答の方】

問19-1. あなたは、どのような目的でインターネットを利用していますか。【複数回答】



性別で見ると、女性は男性と比べて、「SNS (ソーシャルネットワーキングサービス)」の割合が高い。
 年代別で見ると、65～74歳でも半数がインターネットショッピングを利用している。84歳以下の年代では、年代が下がるほど、その他を除くすべての利用割合が高くなっている。

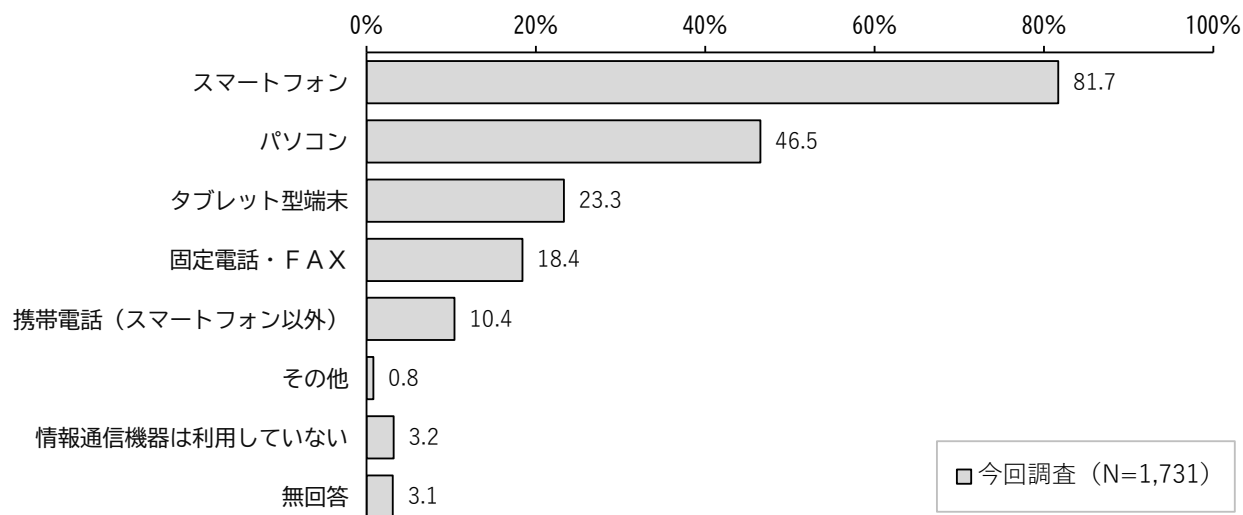
		調査数	情報・ニュース検索	電子メールの送受信	地図・ナビゲーションの利用	インターネットショッピング	クレジットカード・決済・インターネットバンキング等の支払	動画配信の視聴	SNS (ソーシャルネットワーキングサービス)	その他	無回答
全体		1,259	91.3	82.1	63.5	60.0	52.3	48.7	48.0	2.3	0.1
性別	男性	594	93.3	83.3	63.3	59.1	54.7	50.2	44.1	1.7	0.2
	女性	665	89.6	81.1	63.6	60.9	50.2	47.4	51.4	2.9	0.0
年代	55～64歳	714	93.4	84.5	67.8	73.0	63.0	56.9	56.9	1.8	0.0
	65～74歳	386	90.2	80.3	61.7	50.3	43.5	41.7	39.6	3.4	0.0
	75～84歳	137	84.7	78.1	49.6	25.5	26.3	28.5	27.7	2.2	0.7
	85歳以上	8	87.5	37.5	25.0	37.5	25.0	12.5	12.5	0.0	0.0

(5) 情報通信機器の使用

① 利用している情報機器

「スマートフォン」が81.7%、「パソコン」が46.5%

問20. あなたは、ふだんどのような情報通信機器を利用していますか。【複数回答】



性別で見ると、男性は女性と比べて、「パソコン」および「タブレット端末」の割合が高い。

年代別で見ると、75～84歳でも、「スマートフォン」の利用割合が約6割を占めている。年代が上がるほど「固定電話・FAX」の利用割合が高くなっている。

経済的な生活感別で見ると、大変苦しいと感じている人でも約7割がスマートフォンを利用している。

(%)

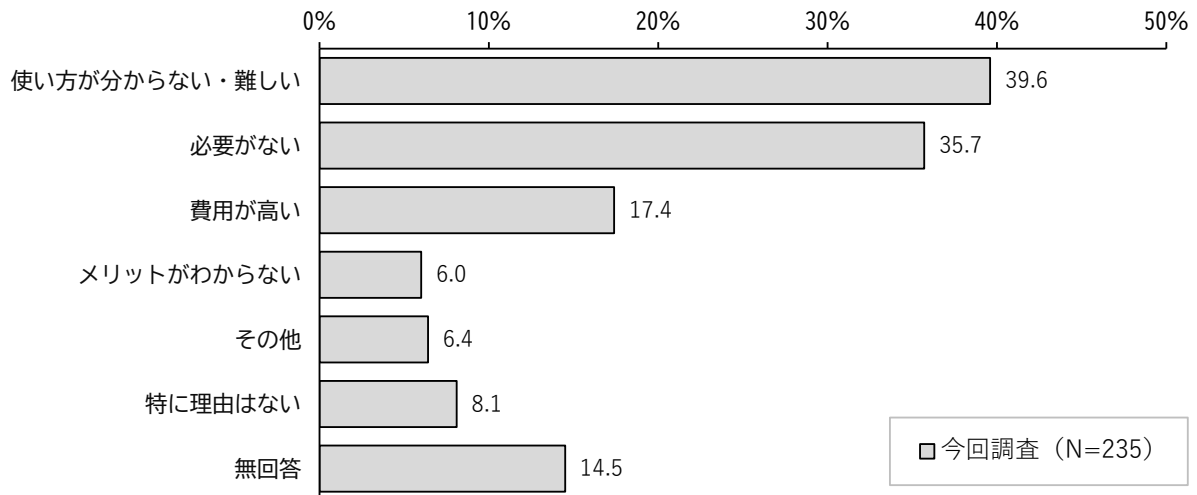
	調査数	スマートフォン	パソコン	タブレット型端末	固定電話・FAX	(携帯電話(スマートフォン以外))	その他	情報通信機器は利用していない	無回答	
全体	1,731	81.7	46.5	23.3	18.4	10.4	0.8	3.2	3.1	
性別	男性	746	81.4	61.1	27.6	17.3	12.9	0.8	2.7	2.3
	女性	981	82.3	35.6	20.2	19.3	8.6	0.7	3.5	3.6
年代	55～64歳	768	95.7	63.9	32.0	13.5	6.0	0.4	0.4	0.1
	65～74歳	529	82.6	42.3	21.9	17.2	10.6	0.4	3.4	2.6
	75～84歳	333	60.4	21.9	12.0	27.6	17.7	1.8	7.8	6.3
	85歳以上	70	24.3	8.6	0.0	37.1	24.3	2.9	10.0	22.9
経済的な生活感	大変苦しい	111	72.1	37.8	12.6	18.9	10.8	4.5	4.5	6.3
	やや苦しい	300	75.3	37.0	20.0	16.3	10.3	1.0	5.3	5.0
	ふつう	886	80.9	43.2	23.1	18.3	11.3	0.6	3.4	3.2
	ややゆとりがある	314	89.5	62.7	28.7	19.7	9.2	0.0	1.0	0.3
	大変ゆとりがある	113	94.7	63.7	31.0	20.4	7.1	0.0	0.9	0.0

② スマートフォンを使用していない理由

「使い方が分からない・難しい」が39.6%、「必要がない」が35.7%

【問20で「3. 携帯電話（スマートフォン以外）」、「4. パソコン」、「5. 固定電話・FAX」、「6. その他」、「7. 情報通信機器は利用していない」と回答の方で、スマートフォンとタブレット端末を利用していない方】

問20-1. スマートフォンを利用していない理由は何ですか。【複数回答】



<その他の回答>

○購入・使用予定 ○機能・情報量が多すぎる

性別で見ると、男性は女性と比べて、「費用が高い」および「メリットがわからない」の割合が高い。女性は男性と比べて、「使い方が分からない・難しい」の割合が高い。

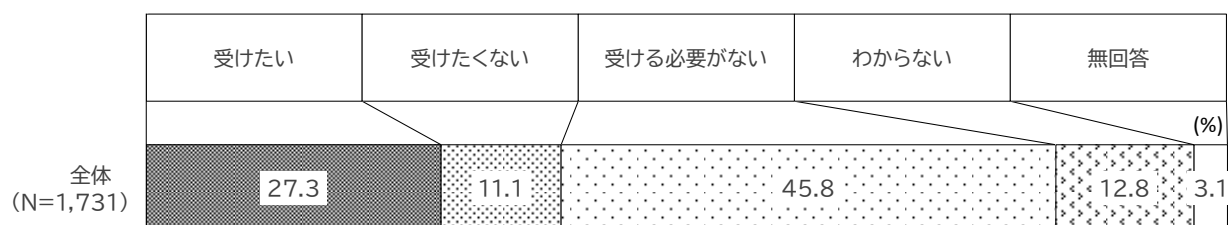
年代別で見ると、55～64歳は他の年代と比べて、「費用が高い」の割合が高い。75～84歳は他の年代と比べて、「使い方が分からない・難しい」の割合が高い。85歳以上は他の年代と比べて、「必要がない」の割合が高い。

		調査数	使い方が分からない・難しい	必要がない	費用が高い	メリットがわからない	その他	特に理由はない	無回答
全体		235	39.6	35.7	17.4	6.0	6.4	8.1	14.5
性別	男性	111	33.3	37.8	21.6	10.8	9.0	9.0	11.7
	女性	123	44.7	33.3	13.8	1.6	4.1	7.3	17.1
年代	55～64歳	21	23.8	28.6	33.3	14.3	14.3	0.0	19.0
	65～74歳	69	37.7	37.7	23.2	10.1	11.6	11.6	7.2
	75～84歳	104	45.2	34.6	13.5	2.9	1.9	6.7	17.3
	85歳以上	37	37.8	43.2	8.1	2.7	5.4	5.4	18.9

(6) スマートフォンやアプリの使い方講座への参加意向

「受ける必要がない」が45.8%、「受けたい」が27.3%

問 21. あなたは、スマートフォンの操作方法など、情報通信機器の使い方を教えてくれる高齢者向けの講座を受けたいと思いますか。(〇は1つ)



性別で見ると、男性は女性と比べて、「受ける必要がない」の割合が高い。女性は男性と比べて、「受けたい」の割合が高い。

年代別で見ると、75～84歳は他の年代と比べて、「受けたい」の割合が高い。

		調査数	受けたい	受けたくない	受ける必要がない	わからない	無回答
全体		1,731	27.3	11.1	45.8	12.8	3.1
性別	男性	746	22.8	11.0	52.5	11.7	2.0
	女性	981	30.7	11.2	40.7	13.7	3.8
年代	55～64歳	768	16.1	8.9	60.7	12.4	2.0
	65～74歳	529	32.9	13.2	41.8	10.0	2.1
	75～84歳	333	42.9	11.7	24.3	16.2	4.8
	85歳以上	70	32.9	14.3	21.4	18.6	12.9

6. 健康教室や健康づくり事業への参加について

(1) 参加状況等

① スポーツクラブや体操教室等への参加の有無

「参加していない」が74.6%

問22. あなたは、健康づくりのためにスポーツクラブや体操教室等に参加していますか。(〇は1つ)



性別で見ると、男性は女性と比べて、「参加していない」の割合が高い。

居住形態別で見ると、持ち家(集合住宅)は他の居住形態と比べて、「参加している」の割合が高い。

集合住宅の居住階数別で見ると、大きな差は見られない。

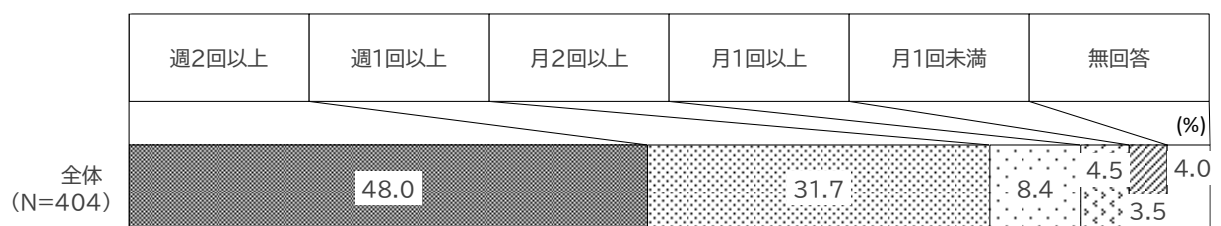
		調査数	い参加して	い参加して	無回答
全体		1,731	23.3	74.6	2.0
性別	男性	746	18.4	80.0	1.6
	女性	981	27.1	70.7	2.1
居住形態	持ち家(一戸建て)	264	19.7	77.7	2.7
	持ち家(集合住宅)	869	27.0	71.7	1.3
	公営賃貸住宅(集合住宅)	140	15.0	80.0	5.0
	民間賃貸住宅(集合住宅)	374	22.2	76.2	1.6
	その他	65	16.9	80.0	3.1
集合住宅	1~10階	872	24.9	73.4	1.7
	11~20階	277	25.3	73.3	1.4
	21階以上	201	23.4	76.1	0.5

② その参加頻度

「週2回以上」が48.0%、「週1回以上」が31.7%

【問22で「1. 参加している」と回答の方】

問22-1. 現在の参加頻度は、どの程度ですか。(〇は1つ)

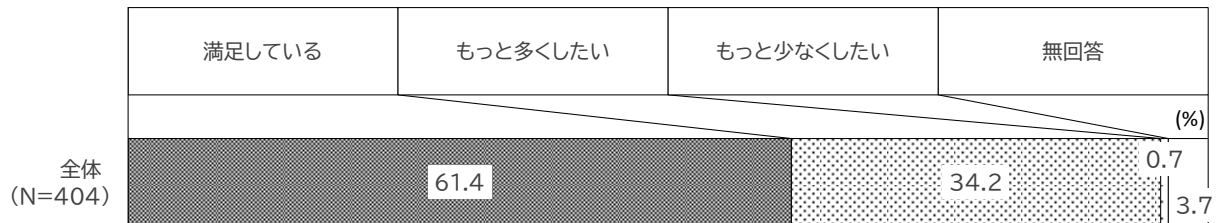


③ 参加頻度への満足度

「満足している」が61.4%

【問22で「1. 参加している」と回答の方】

問22-2. 現在の参加頻度に満足していますか。(○は1つ)

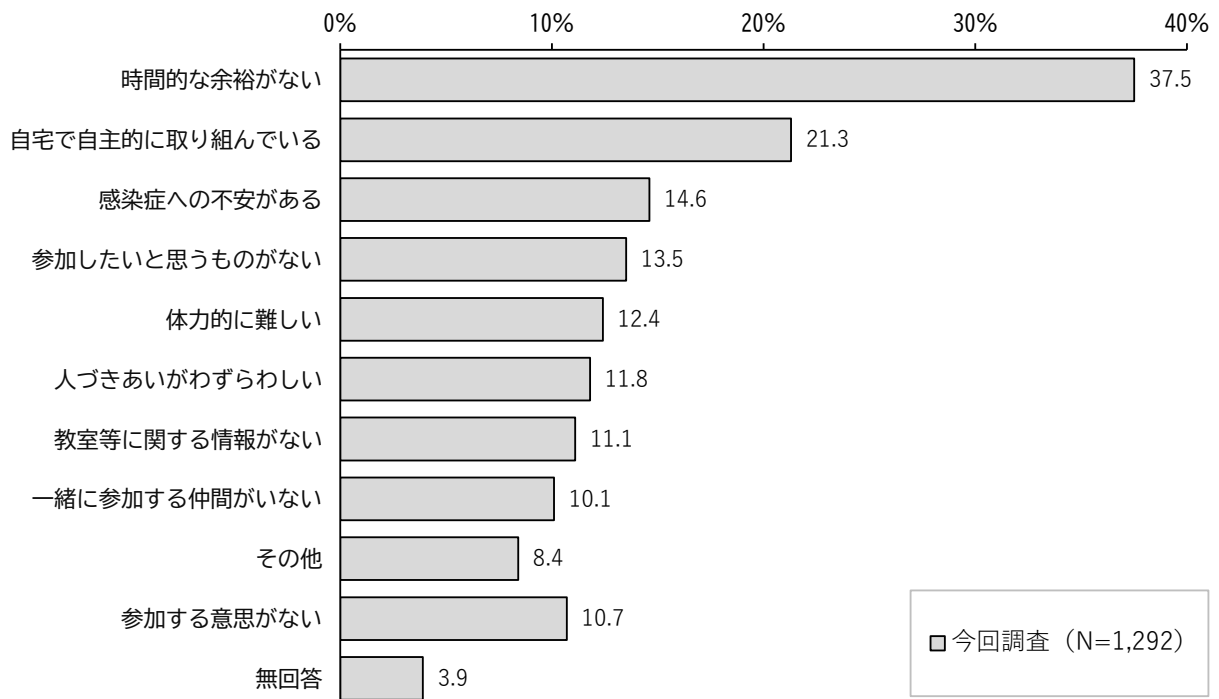


④ 健康づくり教室等に参加していない理由

「時間的な余裕がない」が37.5%、「自宅で自主的に取り組んでいる」が21.3%

【問22で「2. 参加していない」と回答の方】

問22-3. 健康づくりのためにスポーツクラブや体操教室等に参加していない理由は何ですか。【複数回答】



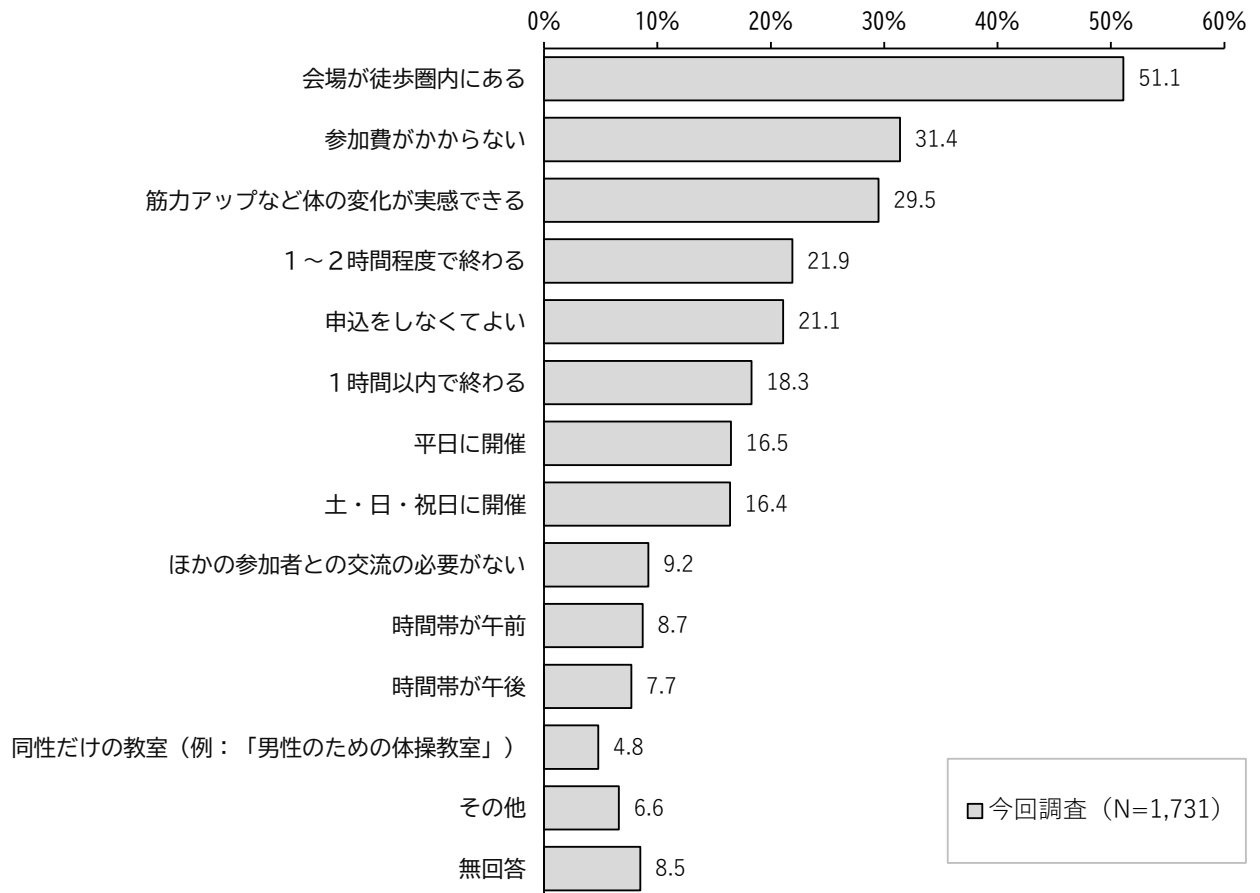
<その他の回答>

- 健康上の理由(持病がある・療養中)
- 近所がない、なくなった
- 経済的な余裕がない

(2) 参加しようと思う条件

「会場が徒歩圏内にある」が51.1%、「参加費がかからない」が31.4%

問 23. スポーツクラブや体操教室等に参加しようと思う条件は何ですか。【複数回答】



<その他の回答>

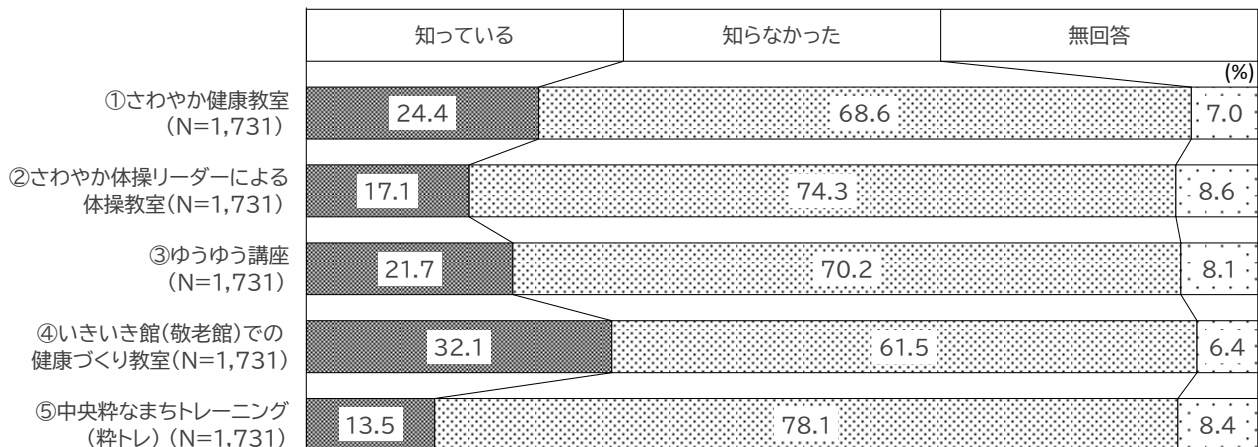
- 時間帯が自由、24時間
- 時間帯が夜間
- 自分に合ったレベル・プログラムであること

(3) 中央区の高齢者健康づくり事業

① 区で行っている高齢者健康づくり事業の認知度

- ①さわやか健康教室については、「知らなかった」が68.6%
 ②さわやか体操リーダーによる体操教室については、「知らなかった」が74.3%
 ③ゆうゆう講座については、「知らなかった」が70.2%
 ④いきいき館(敬老館)での健康づくり教室については、「知らなかった」が61.5%
 ⑤中央粋なまちトレーニング(粋トレ)については、「知らなかった」が78.1%

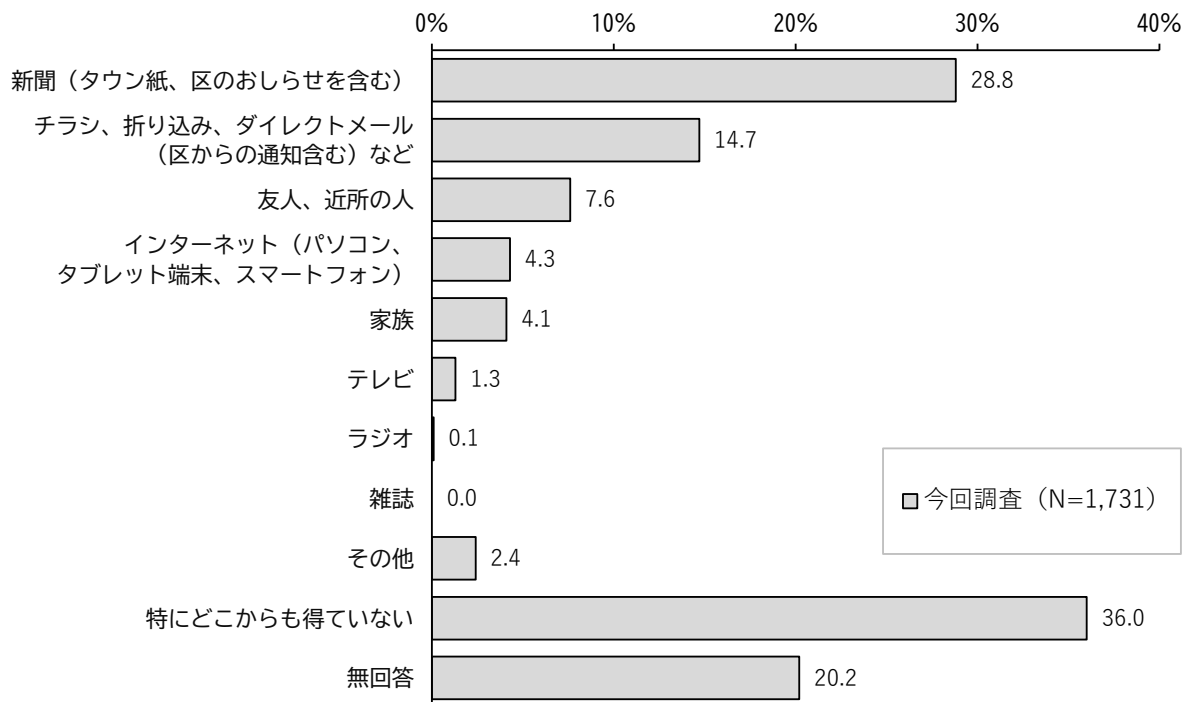
問24. あなたは、中央区が行っている次のような高齢者健康づくり事業をご存知ですか。(〇はそれぞれ1つ)



② 高齢者健康づくり事業の情報入手先

「特にどこからも得ていない」が36.0%、「新聞(タウン紙、区のおしらせを含む)」が28.8%

問25. 前問の高齢者健康づくり事業について、どこでその情報を知りましたか。【複数回答】



性別で見ると、男性は女性と比べて、「特にどこからも得ていない」の割合が高い。女性は男性と比べて、「新聞(タウン紙、区のおしらせを含む)」および「友人、近所の人」の割合が高い。

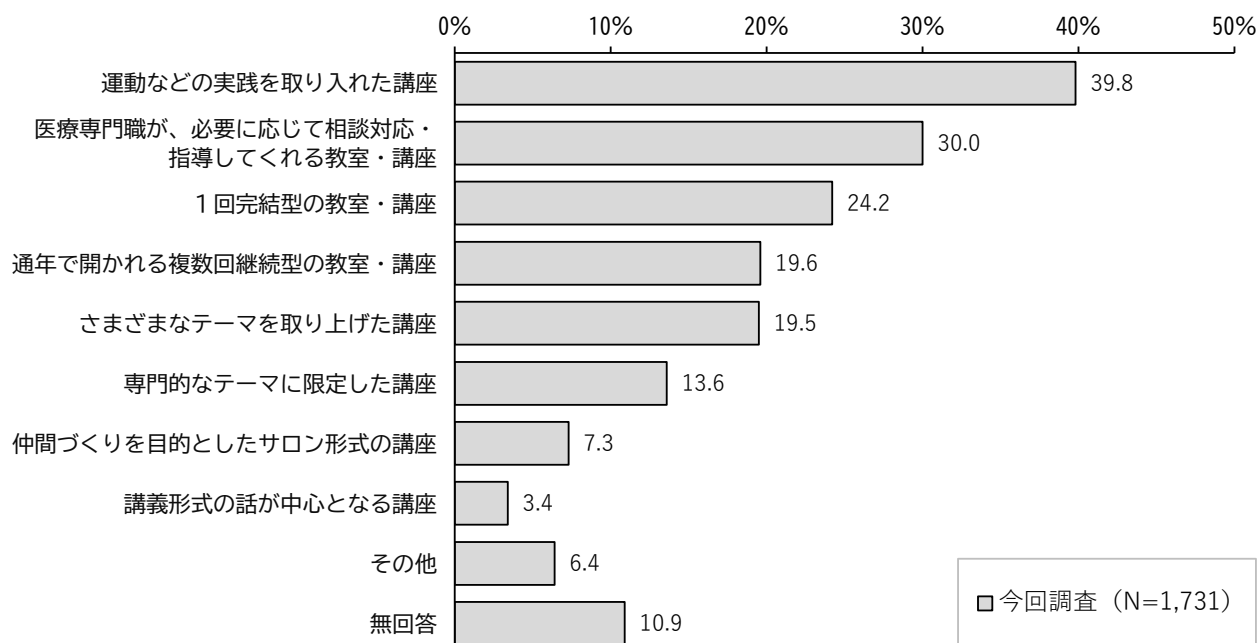
年代別で見ると、55~64歳は他の年代と比べて、「特にどこからも得ていない」の割合が高い。65~84歳の年代は他の年代と比べて、「新聞(タウン紙、区のおしらせを含む)」の割合が高い。また、75歳以上の年代は74歳以下の年代と比べて、「チラシ、折り込み、ダイレクトメール(区からの通知含む)など」の割合が高い。

		調査数	新聞(タウン紙、区のおしらせを含む)	チラシ、折り込み、ダイレクトメール(区からの通知含む)など	友人、近所の人	インターネット(パソコン、タブレット端末、スマートフォン)	家族	テレビ	ラジオ	雑誌	その他	特にどこからも得ていない	無回答
全体		1,731	28.8	14.7	7.6	4.3	4.1	1.3	0.1	0.0	2.4	36.0	20.2
性別	男性	746	22.9	13.5	3.6	4.6	5.6	0.8	0.0	0.0	2.4	45.8	17.7
	女性	981	33.4	15.7	10.6	4.2	3.0	1.6	0.1	0.0	2.2	28.5	22.1
年代	55~64歳	768	16.7	7.6	2.0	3.6	3.0	0.5	0.1	0.0	1.8	54.9	18.1
	65~74歳	529	41.2	18.7	11.2	6.8	5.7	1.3	0.0	0.0	3.0	23.1	19.5
	75~84歳	333	39.9	23.7	13.2	2.4	3.0	2.4	0.0	0.0	2.4	16.2	23.4
	85歳以上	70	20.0	21.4	17.1	2.9	8.6	4.3	0.0	0.0	2.9	17.1	34.3

③ 参加したいと思う健康づくり事業

「運動などの実践を取り入れた講座」が39.8%、「医療専門職が、必要に応じて相談対応・指導してくれる教室・講座」が30.0%

問26. あなたは、どのような健康づくり事業なら参加したいと思いますか。【複数回答：3つまで】



<その他の回答>

- 目的別の運動講座 (種目、設備や器具)
- 徒歩圏内であること
- 個別指導を受けられること

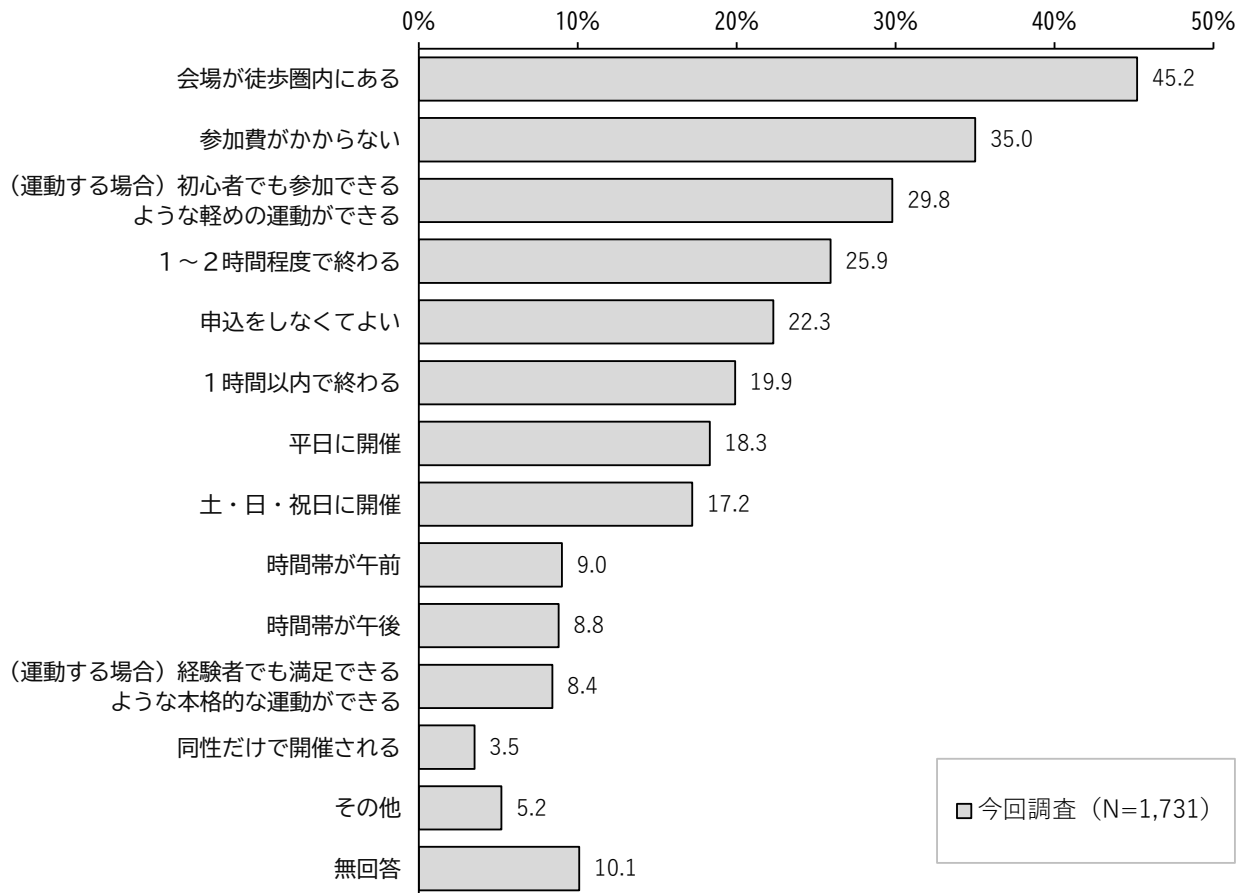
年代別で見ると、55～64歳は他の年代と比べて、「運動などの実践を取り入れた講座」の割合が高い。
 居住形態別で見ると、持ち家(集合住宅)は他の居住形態と比べて、「運動などの実践を取り入れた講座」の割合が高い。集合住宅の居住階数別で見ると、「21階以上」では「さまざまなテーマを取り上げた講座」の割合が低い。

		調査数	運動などの実践を取り入れた講座	医療専門職が、必要に応じて相談対応・指導してくれる教室・講座	1回完結型の教室・講座	通年で開かれる複数回継続型の教室・講座	さまざまなテーマを取り上げた講座	専門的なテーマに限定した講座	仲間づくりを目的としたサロン形式の講座	講義形式の話が中心となる講座	その他	無回答
全体		1,731	39.8	30.0	24.2	19.6	19.5	13.6	7.3	3.4	6.4	10.9
年代	55～64歳	768	45.8	32.9	27.6	18.9	19.7	17.6	6.9	2.3	4.9	3.9
	65～74歳	529	37.6	26.5	26.1	20.6	20.4	13.2	6.2	4.3	8.1	11.7
	75～84歳	333	30.9	29.1	16.8	20.4	18.9	6.9	10.5	4.2	6.0	20.7
	85歳以上	70	31.4	30.0	10.0	17.1	17.1	5.7	4.3	1.4	8.6	31.4
居住形態	持ち家(一戸建て)	264	37.9	26.9	23.1	19.3	16.3	10.2	5.7	2.3	9.1	16.3
	持ち家(集合住宅)	869	42.8	30.5	25.8	20.6	20.6	14.5	8.7	3.7	6.0	8.5
	公営賃貸住宅(集合住宅)	140	33.6	30.7	28.6	15.0	20.7	7.9	5.7	2.9	9.3	15.0
	民間賃貸住宅(集合住宅)	374	37.2	31.3	21.7	19.3	19.5	17.4	6.7	3.7	4.3	9.4
	その他	65	38.5	27.7	12.3	21.5	15.4	7.7	4.6	3.1	6.2	16.9
集合住宅	1～10階	872	39.1	28.9	25.7	18.9	20.6	13.4	8.4	4.5	6.5	9.5
	11～20階	277	43.3	34.7	23.5	22.4	23.5	15.9	6.9	1.4	2.5	10.8
	21階以上	201	39.8	31.3	23.9	17.4	15.4	18.4	7.0	3.5	7.5	7.5

④ 継続的参加のための条件

「会場が徒歩圏内にある」が45.2%、「参加費がかからない」が35.0%

問27. 上記の健康づくり事業に継続的に参加するための条件は何ですか。【複数回答】



<その他の回答>

○時間帯が自由、24時間 ○時間帯が夜間 ○時間的な余裕ができる ○効果・変化が実感できる

7. 交流サロン・趣味の講座・サークル活動への参加について

(1) 参加状況等

① 交流サロン・趣味の講座・サークル活動への参加の有無

「参加していない」が89.9%

問 28. あなたは、友達づくりや生きがいのために地域住民同士が集う交流サロンや趣味の講座、サークル活動等に参加していますか。(〇は1つ)



性別で見ると、大きな差は見られない。

年代別で見ると、74歳以下の年代は75歳以上の年代と比べて、「参加していない」の割合が高い。

		調査数	参加している	参加していない	無回答
全 体		1,731	6.7	89.9	3.4
性別	男性	746	5.0	92.0	3.1
	女性	981	8.0	88.7	3.4
年代	55～64歳	768	2.3	96.6	1.0
	65～74歳	529	7.9	90.4	1.7
	75～84歳	333	12.6	79.3	8.1
	85歳以上	70	17.1	68.6	14.3

② その参加頻度

「月2回以上」が25.0%、「週2回以上」が22.4%

【問28で「1. 参加している」と回答の方】

問28-1. 現在の参加頻度は、どの程度ですか。(○は1つ)

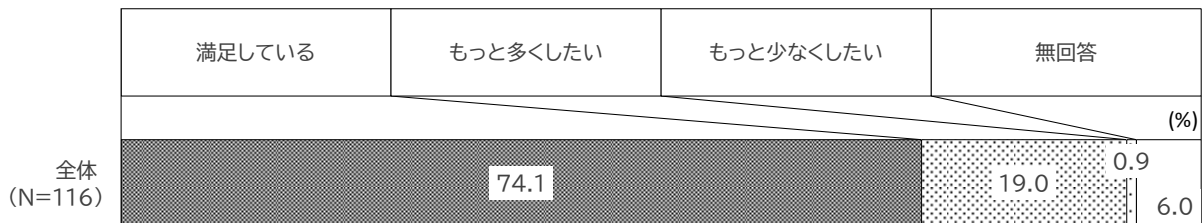


③ 参加頻度への満足度

「満足している」が74.1%

【問28で「1. 参加している」と回答の方】

問28-2. 現在の参加頻度に満足していますか。(○は1つ)



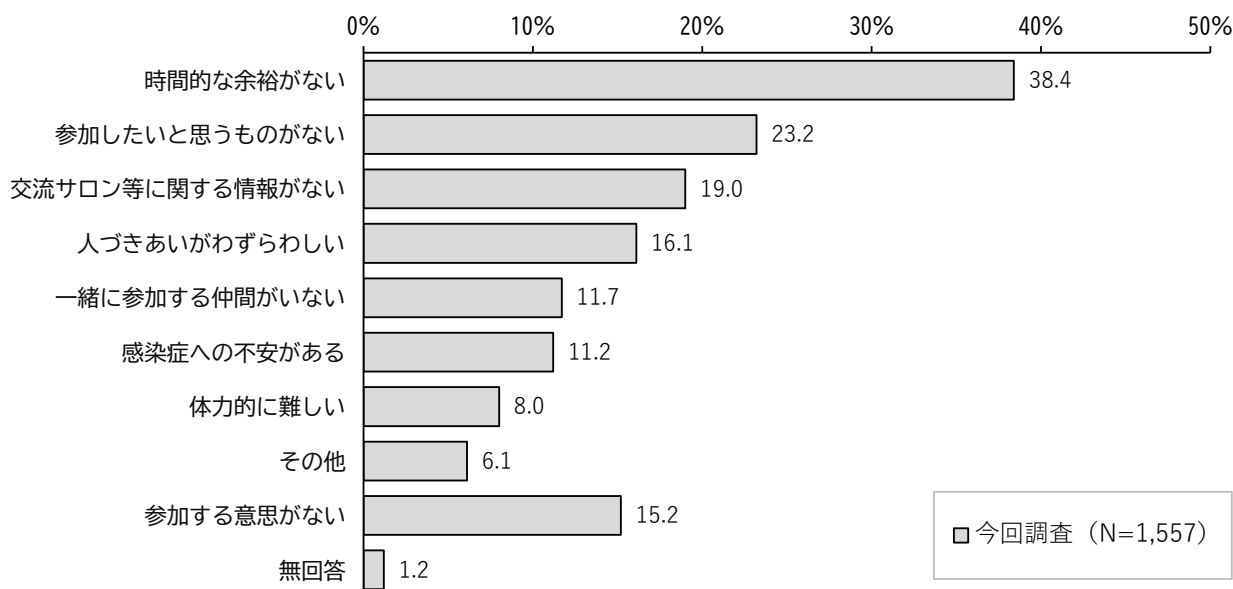
④ 参加していない理由

「時間的な余裕がない」が38.4%、「参加したいと思うものがない」が23.2%

【問28で「2. 参加していない」と回答の方】

問28-3. 地域住民同士が集う交流サロンや趣味の講座、サークル活動等に参加していない理由は何ですか。

【複数回答】



<その他の回答>

- 家族や地域外の友人・知人との交流、他の活動に満足している
- 仕事をしている
- 健康上の理由(持病がある・療養中)
- 初回から参加したい、途中から参加したくない

性別で見ると、男性は女性と比べて、「参加する意思がない」の割合が高い。女性は男性と比べて、「感染症への不安がある」の割合が高い。

年代別で見ると、55～64歳は他の年代と比べて、「時間的な余裕がない」の割合が高い。85歳以上は他の年代と比べて、「交流サロン等に関する情報がない」および「体力的に難しい」の割合が高い。

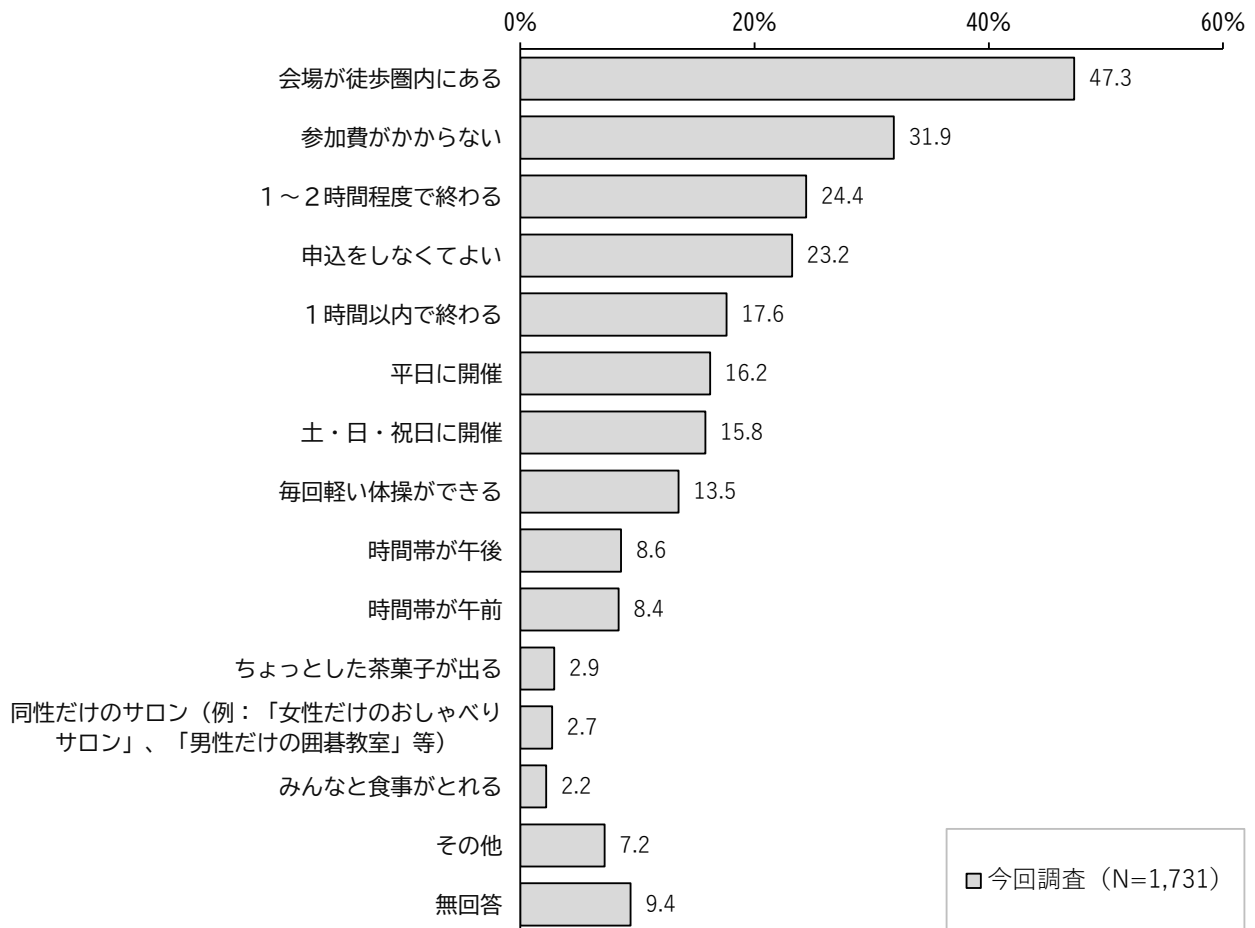
		調査数	時間的な余裕がない	参加したいと思うものがない	交流サロン等に関する情報がない	人づきあいがわずらわしい	一緒に参加する仲間がいない	感染症への不安がある	体力的に難しい	その他	参加する意思がない	無回答
全体		1,557	38.4	23.2	19.0	16.1	11.7	11.2	8.0	6.1	15.2	1.2
性別	男性	686	36.3	24.2	17.2	15.7	11.5	8.3	8.5	5.0	20.3	1.2
	女性	870	40.1	22.3	20.5	16.3	11.8	13.4	7.6	7.0	11.3	1.3
年代	55～64歳	742	51.1	19.8	21.4	13.7	9.2	8.2	3.1	4.4	15.2	0.3
	65～74歳	478	31.2	27.2	16.7	19.2	12.8	14.0	7.5	7.3	15.7	1.9
	75～84歳	264	20.8	26.9	14.4	17.4	17.0	12.5	17.4	8.7	14.4	2.3
	85歳以上	48	16.7	22.9	27.1	12.5	12.5	14.6	39.6	6.3	8.3	4.2

(2) 参加しようと思う条件

「会場が徒歩圏内にある」が47.3%、「参加費がかからない」が31.9%

問 29. 地域住民同士が集う交流サロンや趣味の講座、サークル活動等に参加しようと思う条件は何ですか。

【複数回答】



<その他の回答>

- 興味のある内容
- 時間的な余裕
- 時間帯が自由、24時間
- 参加者同士の趣味や目的が同じであること

性別で見ると、女性は男性と比べて、「会場が徒歩圏内にある」、「平日に開催」および「毎回軽い体操ができる」の割合が高い。

年代別で見ると、55～64歳は他の年代と比べて、「土・日・祝日に開催」の割合が高い。65～74歳は他の年代と比べて、「1～2時間程度で終わる」の割合が高い。また、年代が上がるほど「毎回軽い体操ができる」の割合が高くなっている。

		調査数	会場が徒歩圏内にある	参加費がかからない	1～2時間程度で終わる	申込をしなくてよい	1時間以内で終わる	平日に開催	土・日・祝日に開催	毎回軽い体操ができる
全 体		1,731	47.3	31.9	24.4	23.2	17.6	16.2	15.8	13.5
性別	男性	746	41.6	32.0	23.5	23.7	14.9	10.9	18.5	9.5
	女性	981	51.8	31.9	25.3	22.8	19.7	20.2	13.8	16.4
年代	55～64歳	768	48.7	32.2	22.5	21.2	18.9	11.6	23.0	9.1
	65～74歳	529	49.7	33.1	30.1	26.3	16.8	18.9	11.3	14.2
	75～84歳	333	42.9	30.0	21.9	23.4	15.6	21.3	7.2	19.8
	85歳以上	70	38.6	24.3	18.6	24.3	18.6	14.3	7.1	22.9

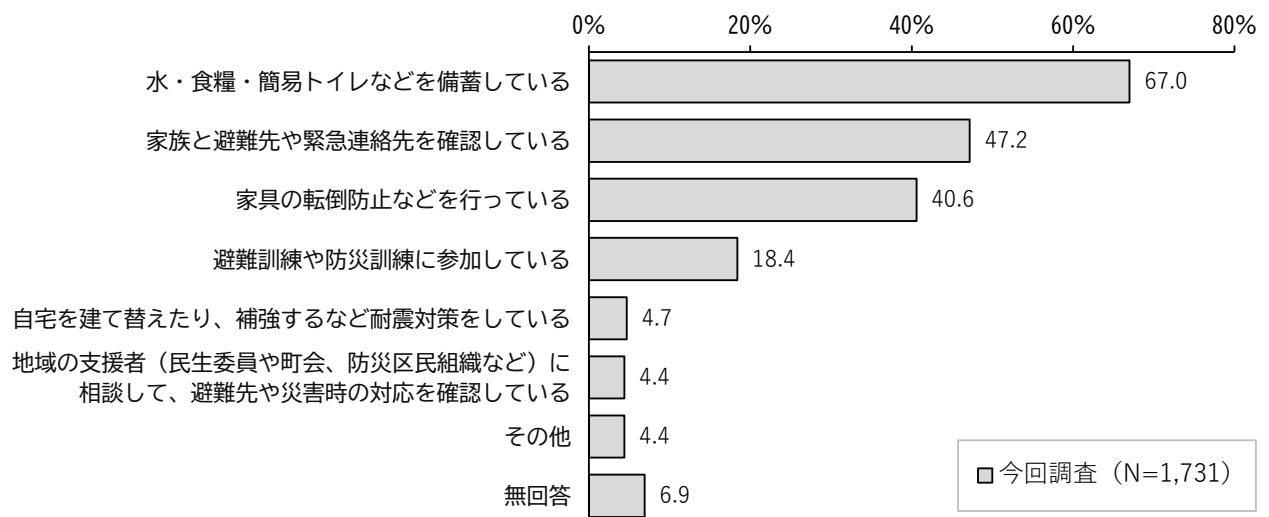
		調査数	時間帯が午後	時間帯が午前	ちよつとした茶菓子が出る	「だ同性のだけのサロンの例：「女性だけのサロンの例：「女性だけのサロンの例：「女性だけのサロンの例：」等）」	みんなと食事がとれる	その他	無回答
全 体		1,731	8.6	8.4	2.9	2.7	2.2	7.2	9.4
性別	男性	746	6.3	6.3	2.0	0.5	1.7	8.4	9.8
	女性	981	10.3	10.1	3.7	4.3	2.5	6.3	8.8
年代	55～64歳	768	4.6	6.1	2.6	0.9	1.8	8.2	3.3
	65～74歳	529	11.0	9.5	3.6	5.3	2.1	7.4	9.1
	75～84歳	333	12.6	13.8	2.1	2.7	2.4	5.1	18.9
	85歳以上	70	15.7	1.4	4.3	1.4	5.7	5.7	27.1

8. 災害時の対応について

(1) 災害に備えてしていること

「水・食糧・簡易トイレなどを備蓄している」が67.0%、「家族と避難先や緊急連絡先を確認している」が47.2%

問30. あなたは、地震などの災害に備えてどのようなことをしていますか。【複数回答】



年代別で見ると、85歳以上は他の年代と比べて、「地域の支援者（民生委員や町会、防災区民組織など）に相談して、避難先や災害時の対応を確認している」の割合が高い。

家族構成別で見ると、ひとり暮らしは他の家族構成と比べて、「地域の支援者（民生委員や町会、防災区民組織など）に相談して、避難先や災害時の対応を確認している」および「その他」を除くすべての項目について、割合が低い。息子・娘との2世帯は他の家族構成と比べて、「家族と避難先や緊急連絡先を確認している」および「避難訓練や防災訓練に参加している」の割合が高い。

居住地域別で見ると、京橋地域は他の居住地域と比べて、「避難訓練や防災訓練に参加している」の割合が低い。

居住形態別で見ると、持ち家（集合住宅）は他の居住形態と比べて、「水・食料・簡易トイレなどを備蓄している」および「家具の転倒防止などを行っている」の割合が高い。持ち家（一戸建て）は、「自宅を建て替えたり、補強するなど耐震対策をしている」の割合が高い。

集合住宅の居住階数別で見ると、21階以上は他の階数と比べて、「水・食料・簡易トイレなどを備蓄している」の割合が高く、「家具の転倒防止などを行っている」の割合が低い。

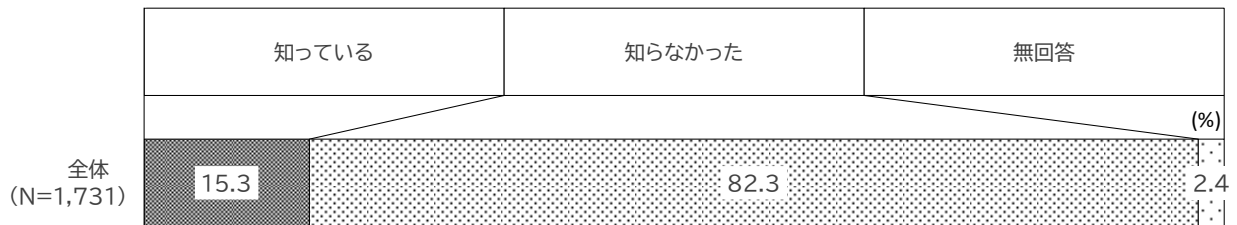
(%)

	調査数	水・食料・簡易トイレなどを備蓄している	緊急連絡先や避難先を確認している	家具の転倒防止などを行っている	避難訓練や防災訓練に参加している	補強するなど耐震対策をしている	自宅を建て替えたり、補強するなど耐震対策をしている	地域の支援者（民生委員や町会、防災区民組織など）に相談して、避難先や災害時の対応を確認している	その他	無回答
全体	1,731	67.0	47.2	40.6	18.4	4.7	4.4	4.4	6.9	
年代	55～64歳	768	71.2	48.7	39.7	15.5	3.8	3.5	4.0	4.6
	65～74歳	529	68.2	49.5	42.3	19.7	3.4	4.0	5.3	4.9
	75～84歳	333	62.5	45.0	41.4	21.9	8.1	4.5	3.0	11.7
	85歳以上	70	44.3	30.0	41.4	25.7	10.0	14.3	5.7	15.7
家族構成	ひとり暮らし	440	59.5	28.9	31.1	14.8	1.8	5.2	7.0	12.3
	夫婦2人暮らし	761	70.6	53.7	44.3	19.1	4.7	3.7	3.4	4.9
	息子・娘との2世帯	185	74.6	58.9	38.9	25.9	7.6	8.6	2.2	3.2
	その他	330	64.8	50.3	46.7	17.9	7.0	2.7	4.8	5.8
居住地域	京橋	431	65.7	44.8	38.5	12.8	5.6	4.2	4.6	8.6
	日本橋	480	68.3	50.4	43.8	19.4	6.0	5.2	4.4	4.8
	月島	813	66.9	46.9	39.9	20.9	3.4	4.2	4.4	7.1
居住形態	持ち家（一戸建て）	264	61.7	45.8	40.2	22.3	18.9	8.7	3.4	8.3
	持ち家（集合住宅）	869	73.6	49.6	46.3	20.4	2.8	3.8	2.5	5.1
	公営賃貸住宅（集合住宅）	140	62.1	44.3	32.9	22.9	0.0	7.1	5.0	10.7
	民間賃貸住宅（集合住宅）	374	60.7	46.3	32.4	9.1	1.1	2.4	7.5	8.6
	その他	65	49.2	41.5	33.8	21.5	4.6	3.1	13.8	4.6
集合住宅	1～10階	872	67.7	49.7	42.7	16.6	2.2	4.1	4.6	7.2
	11～20階	277	68.6	48.4	41.5	17.7	2.2	3.2	2.2	6.1
	21階以上	201	76.1	43.8	32.8	21.4	1.5	2.5	4.5	2.5

(2) 「中央区災害時地域たすけあい名簿」の認知度

「知らなかった」が82.3%

問31. あなたは、「中央区災害時地域たすけあい名簿」についてご存知ですか。(〇は1つ)



年代別で見ると、55～64歳は他の年代と比べて、「知らなかった」の割合が高い。75歳以上は74歳以下の年代と比べて、「知っている」の割合が高い。

居住形態別で見ると、持ち家（一戸建て）および公営賃貸住宅（集合住宅）は他の居住形態と比べて、「知っている」の割合が高い。民間賃貸住宅（集合住宅）は他の居住形態と比べて、「知らなかった」の割合が高い。

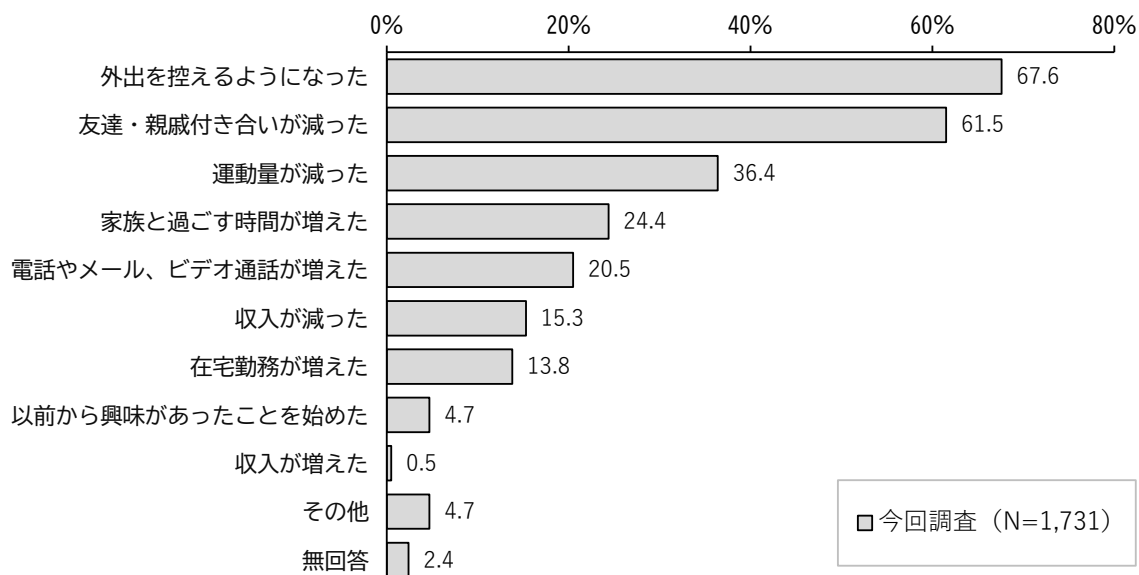
集合住宅の居住階数別で見ると、大きな差は見られない。

		調査数	知っている	知らなかった	無回答
全体		1,731	15.3	82.3	2.4
年代	55～64歳	768	7.7	91.5	0.8
	65～74歳	529	19.8	78.8	1.3
	75～84歳	333	24.3	69.4	6.3
	85歳以上	70	24.3	68.6	7.1
居住形態	持ち家(一戸建て)	264	26.9	68.2	4.9
	持ち家(集合住宅)	869	13.8	84.8	1.4
	公営賃貸住宅(集合住宅)	140	22.1	72.1	5.7
	民間賃貸住宅(集合住宅)	374	8.0	90.6	1.3
	その他	65	20.0	76.9	3.1
集合住宅	1～10階	872	13.6	84.3	2.1
	11～20階	277	11.2	87.0	1.8
	21階以上	201	11.4	87.6	1.0

(3) 新型コロナウイルス感染症による生活の変化

「外出を控えるようになった」が67.6%、「友達・親戚付き合いが減った」が61.5%

問 32. あなたは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって、生活にどのような変化がありましたか。【複数回答】



性別で見ると、男性は女性と比べて、「収入が減った」および「在宅勤務が増えた」の割合が高い。女性は男性と比べて、「外出を控えるようになった」および「友達・親戚付き合いが減った」の割合が高い。

年代別で見ると、55～64歳は他の年代と比べて、「外出を控えるようになった」の割合が低く、「在宅勤務が増えた」の割合が高い。また、すべての年代で、「運動量が減った」の割合は約3割にとどまっている。

家族構成別で見ると、ひとり暮らしは他の家族構成と比べて、「外出を控えるようになった」および「友達・親戚付き合いが減った」の割合が低い。

(%)

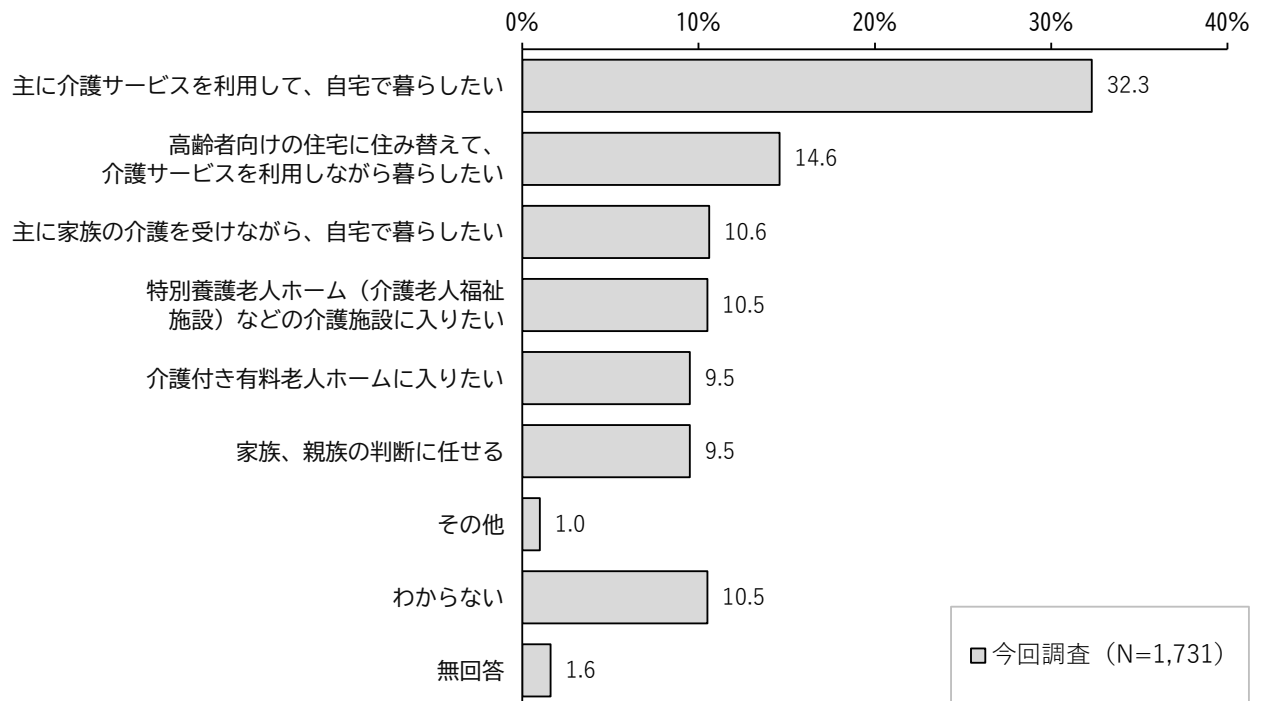
	調査数	外出を控えるようになった	友達・親戚付き合いが減った	運動量が減った	家族と過ごす時間が増えた	電話やメール、ビデオ通話が増えた	収入が減った	在宅勤務が増えた	以前から興味があったことを始めた	収入が増えた	その他	無回答	
全 体	1,731	67.6	61.5	36.4	24.4	20.5	15.3	13.8	4.7	0.5	4.7	2.4	
性別	男性	746	64.6	56.0	36.9	25.6	18.6	18.8	3.6	0.8	5.4	2.8	
	女性	981	70.0	65.6	36.1	23.5	21.9	12.7	10.8	5.6	4.1	1.9	
年代	55～64歳	768	61.6	61.3	36.7	27.2	20.8	19.0	24.5	6.3	1.0	4.3	1.0
	65～74歳	529	72.8	62.6	37.4	24.2	21.0	15.5	7.6	4.2	0.0	5.3	1.3
	75～84歳	333	72.1	62.5	35.1	21.0	21.9	8.1	1.5	2.7	0.0	4.8	5.1
	85歳以上	70	74.3	57.1	34.3	14.3	10.0	7.1	0.0	4.3	1.4	2.9	8.6
家族構成	ひとり暮らし	440	62.7	55.9	34.3	3.2	20.2	17.5	16.4	5.7	0.0	6.6	3.9
	夫婦2人暮らし	761	68.9	62.8	37.3	32.6	21.0	13.3	13.8	4.2	0.4	3.9	1.7
	息子・娘との2世帯	185	68.6	63.2	36.2	32.4	19.5	15.7	6.5	5.4	1.1	2.7	1.1
	その他	330	70.3	65.5	37.3	29.1	20.3	16.4	15.2	4.2	1.2	4.8	2.1

9. 今後の介護の希望等について

(1) 今後希望する介護

「主に介護サービスを利用して、自宅で暮らしたい」が32.3%、「高齢者向けの住宅に住み替えて、介護サービスを利用しながら暮らしたい」が14.6%

問33. あなたは、要介護状態になった場合、どのような介護を希望しますか。(〇は1つ)



性別で見ると、男性は女性と比べて、「主に家族の介護を受けながら、自宅で暮らしたい」の割合が高い。女性は男性と比べて、「主に介護サービスを利用して、自宅で暮らしたい」および「高齢者向けの住宅に住み替えて、介護サービスを利用しながら暮らしたい」の割合が高い。

年代別で見ると、55～64歳は他の年代と比べて、「高齢者向けの住宅に住み替えて、介護サービスを利用しながら暮らしたい」の割合が高い。85歳以上は他の年代と比べて、「主に家族の介護を受けながら、自宅で暮らしたい」の割合が高い。

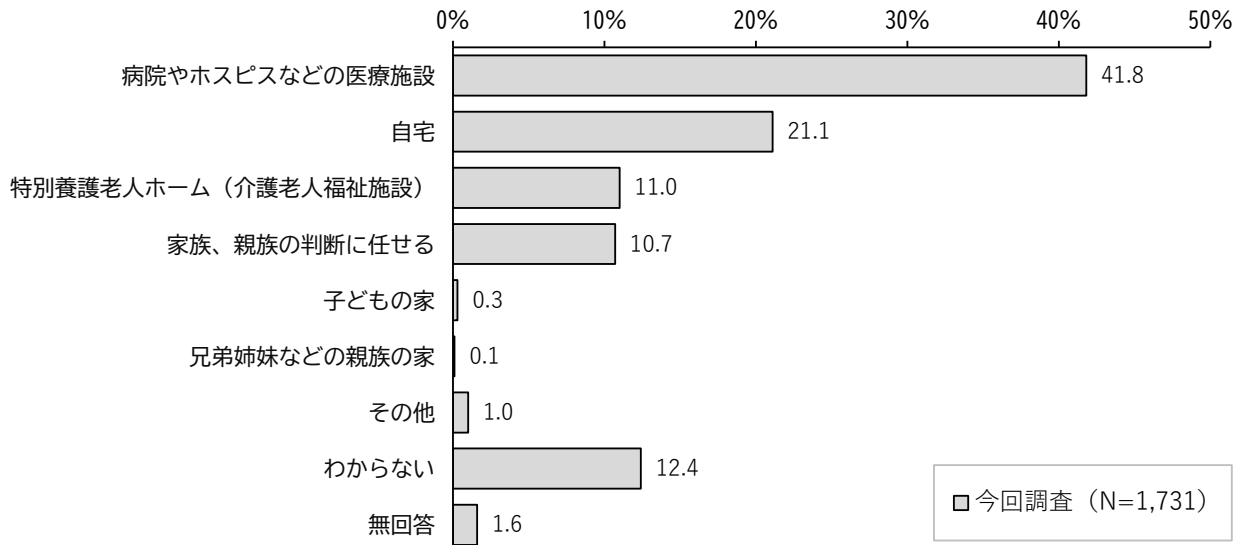
家族構成別で見ると、ひとり暮らしは他の家族構成と比べて、「家族、親族の判断に任せる」の割合が低い。

			(%)									
		調査数	自宅で暮らしたい	主に介護サービスを利用して暮らしたい	高齢者向けの住宅に住み替えて暮らしたい	主に家族の介護を受けながら暮らしたい	特別養護老人ホームへの介護施設に入りたい	介護付き有料老人ホームに入りたい	家族、親族の判断に任せる	その他	わからない	無回答
全 体		1,731	32.3	14.6	10.6	10.5	9.5	9.5	1.0	10.5	1.6	
性別	男性	746	29.4	11.0	15.7	11.1	8.0	11.1	1.5	11.1	1.1	
	女性	981	34.7	17.3	6.5	10.0	10.6	8.4	0.7	9.9	1.9	
年代	55～64歳	768	32.4	18.4	7.4	8.6	9.6	8.3	1.2	13.2	0.9	
	65～74歳	529	32.5	12.9	10.2	13.8	9.1	10.6	0.9	9.1	0.9	
	75～84歳	333	33.9	9.6	15.3	9.6	9.6	11.1	0.3	7.2	3.3	
	85歳以上	70	30.0	8.6	24.3	8.6	11.4	5.7	4.3	2.9	4.3	
家族構成	ひとり暮らし	440	33.9	16.8	3.9	12.5	11.6	4.3	1.1	14.1	1.8	
	夫婦2人暮らし	761	32.6	13.8	12.9	9.2	10.0	10.2	1.1	9.3	0.9	
	息子・娘との2世帯	185	33.0	15.7	14.1	9.7	5.4	15.1	0.0	5.4	1.6	
	その他	330	28.5	13.0	12.1	11.2	8.2	11.8	1.5	11.2	2.4	

(2) 終末期に介護を受けたい場所

「病院やホスピスなどの医療施設」が41.8%、「自宅」は21.1%

問 34. あなたは、病気が治る可能性がなくなり、終末期になった場合、どこで介護を受けたいと思いますか。(〇は1つ)



性別で見ると、男性は女性と比べて、「自宅」の割合が高い。女性は男性と比べて、「病院やホスピスなどの医療施設」の割合が高い。

年代別で見ると、55～64歳は他の年代と比べて、「わからない」の割合が高い。85歳以上は他の年代と比べて「家族・親族の判断に任せる」の割合が高い。

家族構成別で見ると、ひとり暮らしは他の家族構成と比べて、「特別養護老人ホーム (介護老人福祉施設)」の割合が高く、「家族・親族の判断に任せる」の割合が低い。息子・娘との2世帯は他の家族構成と比べて、「家族・親族の判断に任せる」の割合が高い。ひとり暮らしおよびその他の世帯は、他の家族構成と比べて、「自宅」の割合が低い。

		調査数	医療院やホスピスなどの施設	自宅	(特別養護老人福祉施設)	家族、親族の判断に任せる	子どもの家	兄弟姉妹などの親族の家	その他	わからない	無回答 (%)
全体		1,731	41.8	21.1	11.0	10.7	0.3	0.1	1.0	12.4	1.6
性別	男性	746	36.2	24.1	10.9	12.6	0.4	0.0	1.3	13.3	1.2
	女性	981	46.2	18.9	11.0	9.2	0.2	0.2	0.8	11.7	1.8
年代	55～64歳	768	42.7	20.6	9.0	10.2	0.3	0.0	1.4	15.2	0.7
	65～74歳	529	41.6	22.5	13.0	10.8	0.2	0.2	0.9	10.2	0.6
	75～84歳	333	41.4	20.4	12.3	10.5	0.6	0.0	0.6	9.6	4.5
	85歳以上	70	34.3	24.3	10.0	15.7	0.0	1.4	0.0	10.0	4.3
家族構成	ひとり暮らし	440	43.4	17.7	14.8	6.1	0.2	0.5	1.4	14.8	1.1
	夫婦2人暮らし	761	40.7	23.9	10.0	11.6	0.3	0.0	0.9	11.2	1.4
	息子・娘との2世帯	185	37.3	25.9	9.2	16.2	0.5	0.0	0.5	9.2	1.1
	その他	330	44.8	16.1	9.7	11.5	0.3	0.0	1.2	14.2	2.1

(3) 延命治療についての考え

「昏睡状態で、意識を取り戻したり回復する見込みがない場合は、延命治療はしないでほしい」が58.1%

問35. あなたは、延命のための医療を受けることについてどう思いますか。(〇は1つ)



性別で見ると、大きな差は見られない。

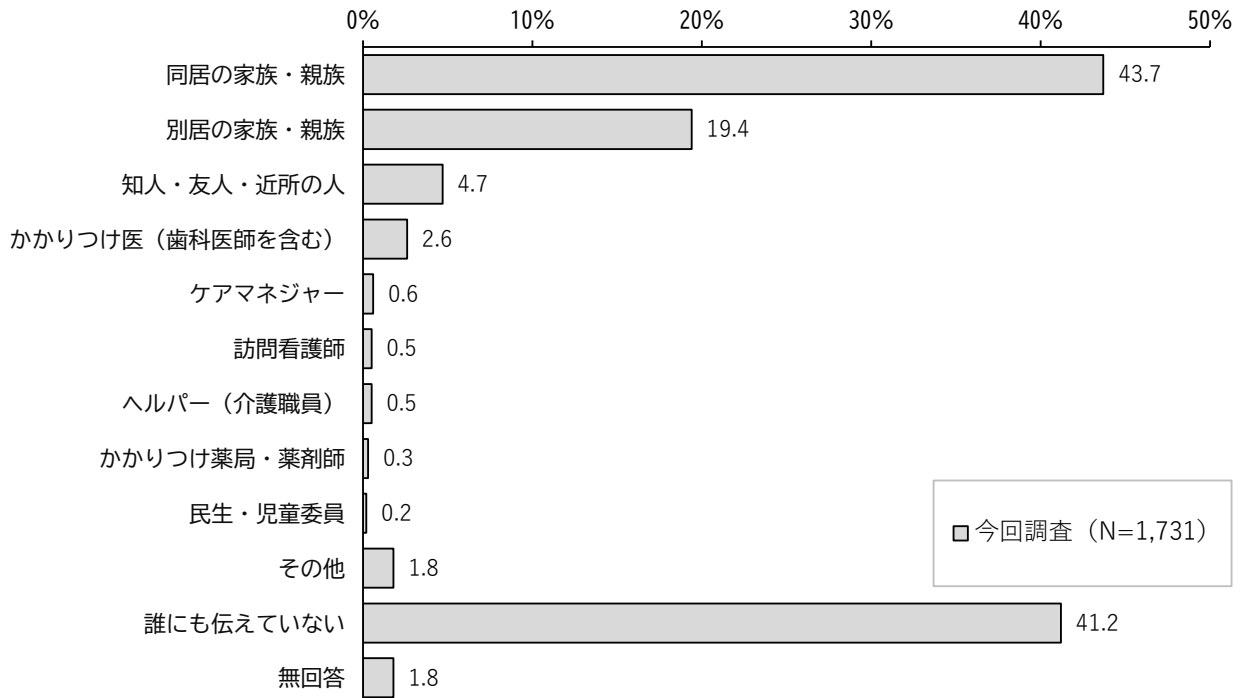
年代別で見ても、大きな差は見られない。

		調査数	最期までできる限りの延命治療	延命治療より緩和的治療を希望	昏睡状態で意識を取り戻す見込みがない場合は延命治療をしない	その他	無回答
全体		1,731	1.9	36.5	58.1	1.4	2.1
性別	男性	746	2.5	33.8	59.7	2.1	1.9
	女性	981	1.4	38.6	57.0	0.9	2.0
年代	55～64歳	768	1.8	38.9	56.1	2.2	0.9
	65～74歳	529	0.9	35.0	61.2	0.9	1.9
	75～84歳	333	3.3	34.5	58.3	0.9	3.0
	85歳以上	70	4.3	31.4	57.1	0.0	7.1

(4) 介護・延命治療の希望を伝えた人

「同居の家族・親族」が43.7%、「誰にも伝えていない」が41.2%

問 36. あなたは、介護や延命治療（問 33 から問 35 までの内容）についての希望を誰かに伝えていますか。【複数回答】



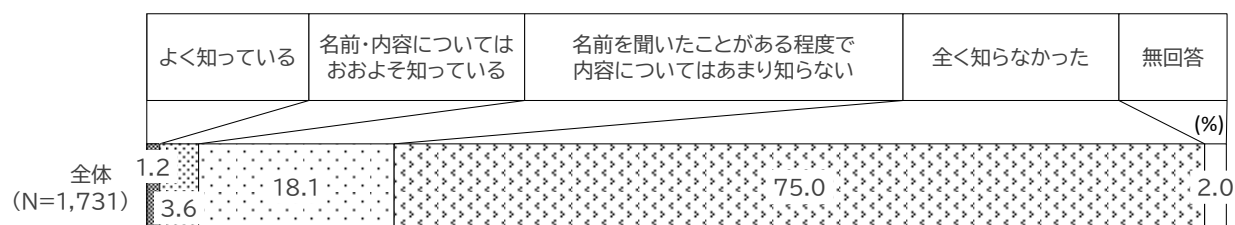
性・年代別で見ると、男女ともに55～64歳は他の性・年代と比べて、「誰にも伝えていない」の割合が高い。また、男性75～84歳は他の性・年代と比べて、「同居の家族・親族」の割合が高い。

		調査数	同居の家族・親族	別居の家族・親族	知人・友人・近所の人	かかりつけ医 (歯科医師を含む)	ケアマネジャー	訪問看護師	ヘルパー (介護職員)	かかりつけ薬局・薬剤師	民生・児童委員	その他	誰にも伝えていない	無回答
全体		1,731	43.7	19.4	4.7	2.6	0.6	0.5	0.5	0.3	0.2	1.8	41.2	1.8
性・年代別	男性55～64歳	329	42.2	9.7	2.4	2.4	0.3	0.6	0.3	0.3	0.0	0.6	51.4	0.9
	男性65～74歳	239	50.2	13.4	1.7	2.5	0.0	0.4	0.8	0.0	0.4	3.3	38.5	1.7
	男性75～84歳	135	57.8	17.0	3.0	5.9	0.7	0.7	1.5	0.7	0.7	1.5	29.6	3.7
	男性85歳以上	30	43.3	33.3	0.0	13.3	6.7	6.7	6.7	3.3	0.0	0.0	16.7	6.7
	女性55～64歳	439	37.1	18.5	3.9	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	50.8	0.5
	女性65～74歳	290	47.2	28.3	10.0	2.1	0.7	0.0	0.0	0.3	0.0	2.4	34.1	0.7
	女性75～84歳	198	44.9	30.3	9.1	2.5	0.0	0.5	0.5	0.5	0.5	4.0	26.3	4.5
	女性85歳以上	39	25.6	30.8	0.0	5.1	7.7	2.6	2.6	0.0	0.0	2.6	35.9	7.7

(5) ACP (アドバンス・ケア・プランニング) の理解度

「全く知らなかった」が75.0%

問37. あなたは、「ACP(アドバンス・ケア・プランニング)」についてどの程度ご存知ですか。(〇は1つ)



性別で見ると、大きな差は見られない。

年代別で見ると、55～64歳は他の年代と比べて、「全く知らなかった」の割合が高い。

(%)

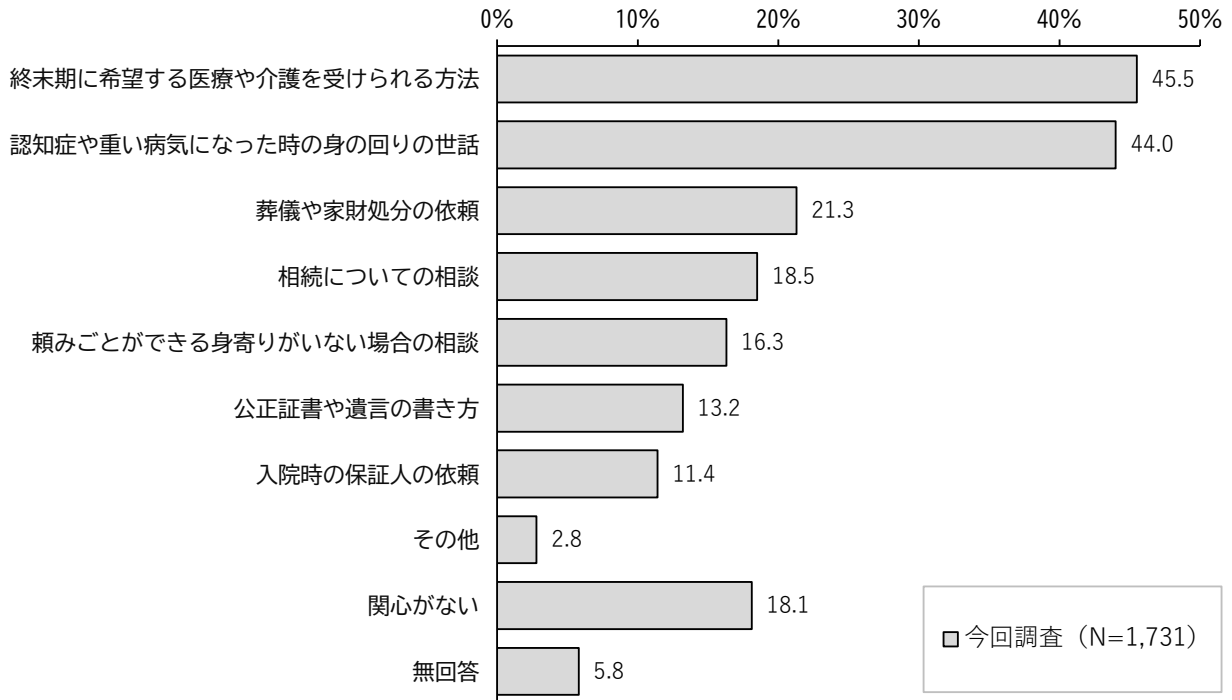
		調査数	よく知っている	名前・内容については おおそ知っている	名前を聞いたことがある程度で 内容についてはあまり知らない	全く知らなかった	無回答
全 体		1,731	1.2	3.6	18.1	75.0	2.0
性別	男性	746	0.9	4.0	15.8	77.9	1.3
	女性	981	1.4	3.4	20.0	73.0	2.2
年代	55～64歳	768	1.6	3.0	13.8	81.1	0.5
	65～74歳	529	1.1	4.2	21.0	72.4	1.3
	75～84歳	333	0.9	4.2	22.8	67.3	4.8
	85歳以上	70	0.0	2.9	25.7	65.7	5.7

10. 老い支度について

(1) 老い支度として関心があること

「終末期に希望する医療や介護を受けられる方法」が45.5%、「認知症や重い病気になった時の身の回りの世話」が44.0%。

問38. ご自身の老いへの備えとして、医療・介護の希望や葬儀、家財の処分、相続などについて、現在関心のあることはありますか。【複数回答】



性別で見ると、男性は女性と比べて、「相続についての相談」および「関心がない」の割合が高い。女性は男性と比べて、「終末期に希望する医療や介護を受けられる方法」、「認知症や重い病気になった時の身の回りの世話」および「頼みごとができる身寄りがない場合の相談」の割合が高い。

年代別で見ると、55～64歳は他の年代と比べて、「頼みごとができる身寄りがない場合の相談」、「入院時の保証人の依頼」および「関心がない」の割合が高い。65～74歳は他の年代と比べて、「終末期に希望する医療や介護を受けられる方法」の割合が高い。

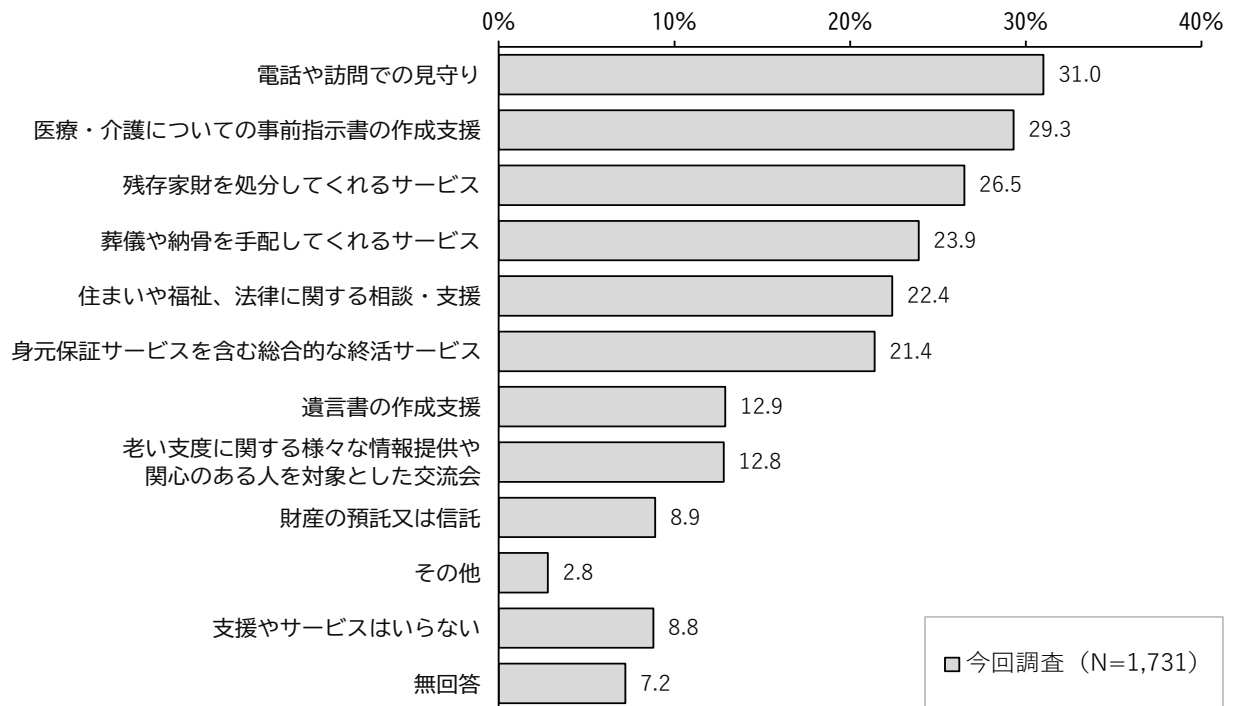
家族構成別で見ると、ひとり暮らしは他の家族構成と比べて、「葬儀や家財処分の依頼」、「頼みごとができる身寄りがない場合の相談」および「入院時の保証人の依頼」の割合が高い。息子・娘との2世帯は他の家族構成と比べて、「関心がない」の割合が高い。

		調査数	終末期に希望する医療や介護を受けられる方法	世話をした時の身の回りの世話	認知症や重い病気の回復	葬儀や家財処分の依頼	相続についての相談	頼みごとができる身寄りがない場合の相談	公正証書や遺言の書き方	入院時の保証人の依頼	その他	関心がない	無回答
全体		1,731	45.5	44.0	21.3	18.5	16.3	13.2	11.4	2.8	18.1	5.8	
性別	男性	746	40.8	40.6	20.2	21.4	13.0	12.7	9.9	2.0	24.5	3.5	
	女性	981	49.1	46.6	22.2	16.3	19.0	13.7	12.5	3.5	13.3	7.2	
年代	55～64歳	768	44.9	47.0	24.5	21.7	25.4	16.4	15.6	2.0	21.5	1.4	
	65～74歳	529	50.9	45.7	21.0	14.9	11.7	10.2	10.0	2.6	15.9	4.0	
	75～84歳	333	41.7	34.5	16.5	16.8	5.4	12.9	5.4	4.8	13.2	15.9	
	85歳以上	70	35.7	41.4	17.1	21.4	7.1	7.1	2.9	1.4	15.7	17.1	
家族構成	ひとり暮らし	440	47.5	45.2	26.8	12.7	24.8	10.7	19.1	3.0	17.7	7.0	
	夫婦2人暮らし	761	46.8	47.6	20.4	21.0	16.6	15.8	9.5	2.4	16.7	4.2	
	息子・娘との2世帯	185	40.5	37.8	15.1	17.3	5.9	10.8	3.2	1.1	23.8	7.0	
	その他	330	42.7	37.6	20.3	21.2	10.6	12.1	10.6	4.5	18.8	6.4	

(2) 支援があったらよいこと

「電話や訪問での見守り」が31.0%、「医療・介護についての事前指示書の作成支援」が29.3%

問39. ご自身の老いへの備えとして、どのような支援・サービスがあったらいいと思いますか。【複数回答】



性別で見ると、男性は女性と比べて、「支援やサービスはいらない」の割合が高い。女性は男性と比べて、「残存家財を処分してくれるサービス」の割合が高い。

年代別で見ると、55～64歳は他の年代と比べて、「残存家財を処分してくれるサービス」、「葬儀や納骨を手配してくれるサービス」、「住まいや福祉、法律に関する相談・支援」、「身元保証サービスを含む総合的な終活サービス」および「財産の預託又は信託」の割合が高い。

家族構成別で見ると、ひとり暮らしは他の家族構成と比べて、「残存家財を処分してくれるサービス」および「身元保証サービスを含む総合的な終活サービス」の割合が高い。息子・娘との2世帯は他の家族構成と比べて、「支援やサービスはいらない」の割合が高い。

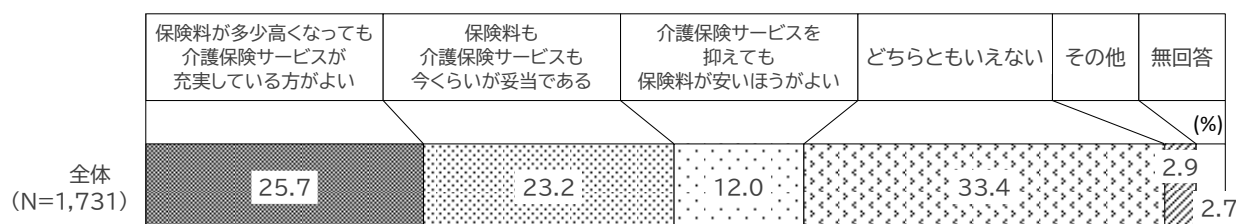
		調査数	電話や訪問での見守り	医療・介護についての事前指示書の作成支援	残存家財を処分してくれるサービス	葬儀や納骨を手配してくれるサービス	住まいや福祉、法律に関する相談・支援	身元保証サービスを含む総合的な終活サービス	遺言書の作成支援	老い支度に関する様々な情報提供や関心のある人を対象とした交流会	財産の預託又は信託	その他	支援やサービスはいらない	無回答
全体		1,731	31.0	29.3	26.5	23.9	22.4	21.4	12.9	12.8	8.9	2.8	8.8	7.2
性別	男性	746	29.4	28.7	22.9	23.9	24.0	20.2	14.5	11.1	11.3	2.9	11.8	6.0
	女性	981	32.3	30.0	29.4	24.0	21.3	22.3	11.7	14.2	7.1	2.7	6.5	7.7
年代	55～64歳	768	31.9	28.5	33.3	28.6	28.9	27.5	15.1	14.3	13.5	2.7	7.9	2.1
	65～74歳	529	33.8	32.3	22.1	23.6	19.5	20.6	11.0	13.0	5.7	3.0	9.1	6.8
	75～84歳	333	26.4	26.7	21.0	13.8	13.2	10.8	12.6	10.2	4.5	2.4	9.6	16.8
	85歳以上	70	27.1	30.0	14.3	18.6	20.0	12.9	8.6	12.9	4.3	0.0	10.0	17.1
家族構成	ひとり暮らし	440	33.6	27.0	34.1	27.5	18.9	26.6	9.3	12.7	8.0	1.8	8.0	6.8
	夫婦2人暮らし	761	31.1	31.7	27.7	25.1	22.7	20.6	15.8	13.0	9.9	2.5	7.5	5.9
	息子・娘との2世帯	185	31.9	23.8	12.4	13.0	23.2	11.9	11.4	13.0	7.0	2.7	15.7	8.6
	その他	330	27.0	30.6	22.1	22.7	26.1	22.1	12.1	13.0	9.4	4.8	9.4	8.2

11. 今後の高齢者保健福祉施策について

(1) 介護保険サービスと介護保険料のあり方

「どちらともいえない」が33.4%、「保険料が多少高くなっても介護保険サービスが充実している方がよい」が25.7%

問40. 今後、高齢者が増加していくにつれて介護保険料が高くなることが想定されますが、あなたは、今後の介護保険料のあり方についてどう思いますか。(〇は1つ)



性別で見ると、男性は女性と比べて、「保険料が多少高くなっても介護保険サービスが充実している方がよい」の割合が高い。女性は男性と比べて、「どちらともいえない」の割合が高い。

年代別で見ると、85歳以上は他の年代と比べて、「保険料も介護保険サービスも今くらいが妥当である」の割合が高い。

家族構成別で見ると、ひとり暮らしは他の家族構成と比べて、「どちらともいえない」の割合が高い。夫婦2人暮らしは他の家族構成と比べて、「保険料が多少高くなっても介護保険サービスが充実している方がよい」の割合が高い。

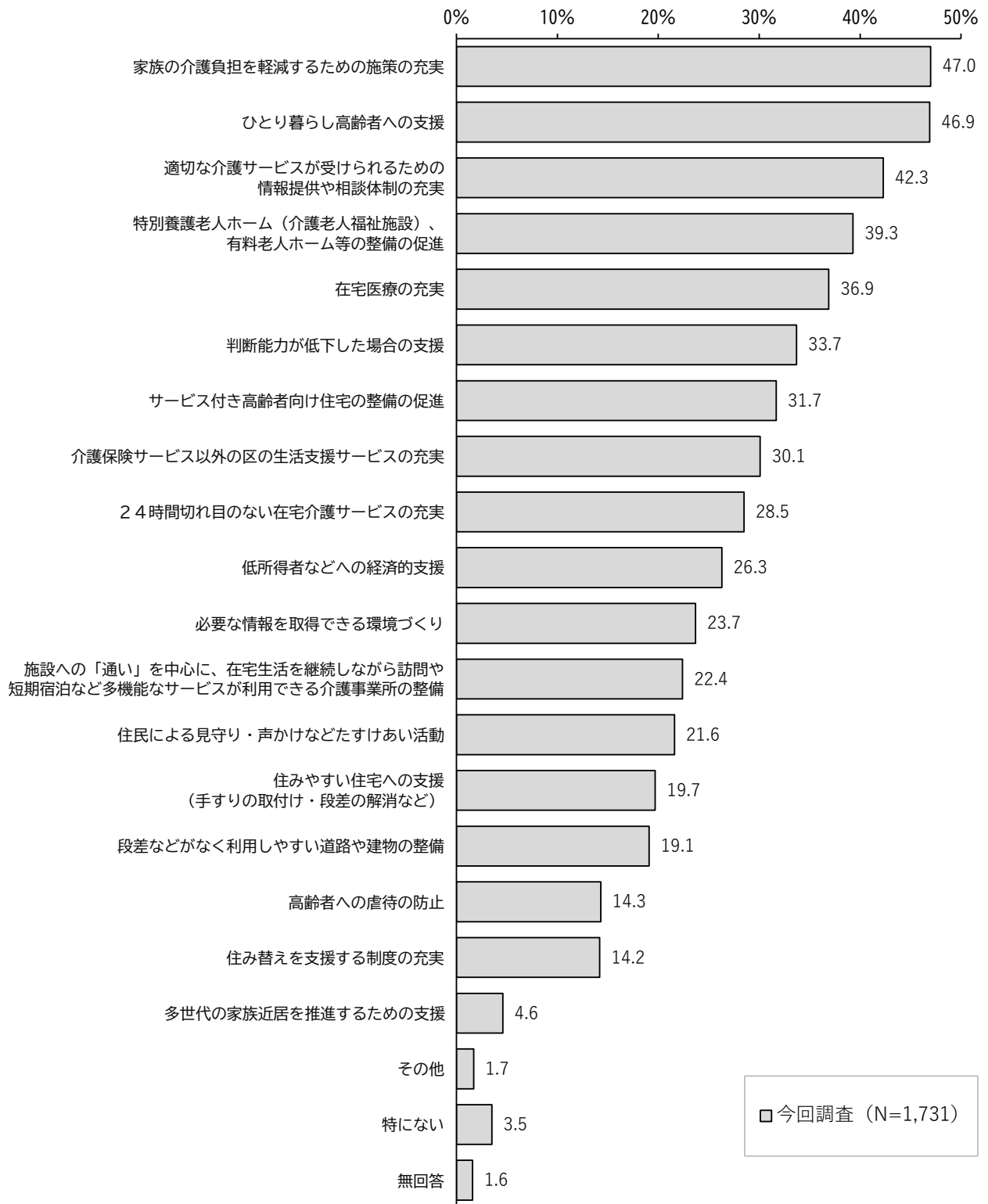
(%)

	調査数	充実し ても保 険料が 多い方 がよい	保険料 もサ ービス も今 くらい が妥 当であ る	介護保 険サ ービス を抑 えても 保険料 が安い ほうが よい	抑え ないほ うも保 険サ ービス 料が 安い	ど ち ら と も い え な い	そ の 他	無 回 答
全 体	1,731	25.7	23.2	12.0	33.4	2.9	2.7	
性別	男性	746	30.0	22.1	14.6	28.7	3.1	1.5
	女性	981	22.5	24.1	10.1	37.2	2.9	3.3
年代	55～64歳	768	28.9	22.9	9.4	34.6	2.9	1.3
	65～74歳	529	23.4	22.9	15.3	34.0	2.5	1.9
	75～84歳	333	23.1	22.8	12.6	32.7	3.6	5.1
	85歳以上	70	27.1	27.1	10.0	28.6	1.4	5.7
家族構成	ひとり暮らし	440	23.2	20.9	11.6	37.7	3.4	3.2
	夫婦2人暮らし	761	29.2	23.8	11.0	31.8	2.5	1.7
	息子・娘との2世帯	185	21.6	27.6	14.6	31.9	2.7	1.6
	その他	330	23.9	23.0	13.6	32.1	3.6	3.6

(2) 今後力を入れるべき高齢者保健福祉施策

「家族の介護負担を軽減するための施策の充実」が47.0%、「ひとり暮らし高齢者への支援」が46.9%

問41. 住み慣れた地域で暮らし続けるために、これからの高齢者保健福祉施策で中央区が力を入れていくべきものは何だと思えますか。【複数回答】



性別で見ると、女性は男性と比べて、「ひとり暮らし高齢者への支援」、「適切な介護サービスが受けられるための情報提供や相談体制の充実」、「判断能力が低下した場合の支援」、「施設への「通い」を中心に、在宅生活を継続しながら訪問や短期宿泊など多機能なサービスが利用できる介護事業所の整備」および「高齢者への虐待の防止」の割合が高い。

年代別で見ると、55～64歳は他の年代と比べて、「ひとり暮らし高齢者への支援」の割合が高い。85歳以上は他の年代と比べて、「住民による見守り・声かけなどたすけあい活動」の割合が高い。

家族構成別で見ると、ひとり暮らしは他の家族構成と比べて、「ひとり暮らし高齢者への支援」の割合が高い。

居住地域別で見ると、京橋地域は他の居住地域と比べて、「在宅医療の充実」の割合が高い。また、日本橋地域は他の居住地域と比べて、「適切な介護サービスが受けられるための情報提供や相談体制の充実」、「サービス付き高齢者向け住宅の整備の促進」および「住民による見守り・声かけなどたすけあい活動」の割合が高い。

		調査数	家族の介護負担を軽減するための充実	ひとり暮らし高齢者への支援	適切な介護サービスが提供される体制の充実	特別養護老人ホーム（介護老人福祉施設等）の整備の促進	在宅医療の充実	判断能力が低下した場合の支援	サービスの促進	介護保険サービス以外の充実	24時間切れ目のない在宅介護サービスの充実	低所得者などへの経済的支援	必要なく情報を取得できる
全体		1,731	47.0	46.9	42.3	39.3	36.9	33.7	31.7	30.1	28.5	26.3	23.7
性別	男性	746	48.7	42.9	36.2	39.9	35.4	29.2	29.2	27.7	28.2	28.0	21.4
	女性	981	45.9	50.2	47.1	38.8	38.1	37.2	33.7	32.0	28.8	25.0	25.5
年代	55～64歳	768	45.8	55.7	43.9	40.9	35.8	37.1	37.6	32.4	31.9	25.4	26.4
	65～74歳	529	50.7	42.5	42.5	39.7	38.8	35.0	31.0	31.4	28.7	28.2	24.6
	75～84歳	333	44.4	36.0	39.3	36.3	37.8	26.7	22.5	24.9	23.4	26.7	16.8
	85歳以上	70	51.4	34.3	41.4	35.7	31.4	25.7	21.4	22.9	15.7	21.4	17.1
家族構成	ひとり暮らし	440	22.7	70.0	40.7	34.1	32.7	36.8	32.0	29.5	27.7	28.6	19.1
	夫婦2人暮らし	761	53.1	42.3	43.1	39.9	39.7	33.1	32.2	30.9	27.5	21.6	25.8
	息子・娘との2世帯	185	59.5	27.0	38.9	38.9	33.5	28.6	28.6	23.8	27.0	26.5	21.6
	その他	330	58.5	38.5	44.5	46.4	38.8	34.8	33.3	32.7	33.3	33.6	26.7
居住地域	京橋	431	46.2	49.2	40.4	41.3	41.8	35.0	32.3	31.8	30.9	26.7	26.9
	日本橋	480	48.3	46.9	46.3	44.2	36.5	34.2	37.3	30.0	30.8	24.8	24.0
	月島	813	46.7	45.9	41.0	35.3	34.7	33.0	28.3	29.2	25.8	26.7	21.9

		調査数	短期宿泊など多機能なサービスが利用できる介護事業所の整備	在宅生活を継続しながら訪問や施設への「通い」を中心にしたサービス	住民による見守り・声かけなどたすけあい活動	住みやすい住宅への支援の解消（手すりの取付け・段差の解消など）	利用しやすい道路や建物の整備	高齢者への虐待の防止	住み替えを支援する制度の充実	多世代の家族近居を推進するための支援	その他	特になし	無回答
全体		1,731	22.4	21.6	19.7	19.1	14.3	14.2	4.6	1.7	3.5	1.6	
性別	男性	746	17.8	21.3	17.0	16.8	10.9	11.9	4.7	1.9	5.4	1.6	
	女性	981	25.9	21.9	21.8	21.0	16.9	16.0	4.6	1.6	2.0	1.4	
年代	55～64歳	768	22.7	19.9	22.3	21.0	16.0	16.7	4.8	1.3	3.9	0.7	
	65～74歳	529	23.4	23.3	18.5	17.6	14.4	15.3	5.5	2.3	1.9	1.9	
	75～84歳	333	21.9	21.6	16.8	16.5	11.4	7.5	2.4	2.1	4.2	3.3	
	85歳以上	70	15.7	30.0	20.0	25.7	11.4	8.6	4.3	0.0	2.9	0.0	
家族構成	ひとり暮らし	440	17.5	19.8	15.9	15.0	14.5	15.9	2.5	2.3	4.5	1.1	
	夫婦2人暮らし	761	21.6	21.8	19.1	17.6	13.7	12.5	3.8	1.3	2.4	1.1	
	息子・娘との2世帯	185	30.3	27.0	20.0	21.6	13.0	14.6	8.6	1.6	4.3	2.2	
	その他	330	26.7	20.3	26.7	27.3	15.8	15.8	7.3	2.1	4.2	2.1	
居住地域	京橋	431	25.1	19.7	20.0	19.7	13.0	16.0	5.3	0.7	3.2	2.6	
	日本橋	480	22.3	25.8	22.3	20.2	14.0	14.4	5.4	1.7	3.1	1.0	
	月島	813	21.0	20.2	18.1	18.3	15.0	13.0	3.7	2.3	3.8	1.2	

(3) 高齢者向けサービスなどに関する自由意見

問 42. 高齢者向けのサービスなどに関するご意見をご自由にご記入ください。【自由記述】

(1) 外出や楽しみについて

- ・夫婦で健康に生活しているので、先日は観劇を楽しませていただいた。大変楽しい時間を過ごすことができ、感謝している。これからもこのような企画があれば、参加したいと思っている。
- ・音楽(コンサート)、美術館、歌舞伎、文楽等の鑑賞に対する支援を充実してほしい(高齢者割引等)。
- ・70歳になり、シルバーパスをいただいた。このところあまり家から遠出しなかったが、バスに乗って日比谷公園まで行ってきた。少しずつ散歩が増えて嬉しい。友人たちからは、地域のとても素敵な取組を聞いた。高齢者向けのさまざまな楽しみができることを期待している。

(2) 社会的な活動や地域活動等について

- ・75歳になるが会社に勤務し、仕事で忙しい日々を送っている。今後、仕事をリタイヤした時に、区の高齢者向けの充実したサービスや、元気な状況であれば、社会貢献できるようなサポートを提供してほしい。
- ・高齢になっても社会に必要とされることが、何より長生き健康の秘訣だと思っている。仕事となるとさまざまな制約が出てくる。ボランティア活動は人のためというより、自分自身のために、また、仲間の助け合いによって成り立つため、無理が少ないので活動しやすいと思っている。ボランティア活動の場をもっと広げてほしい。
- ・ひとり暮らしなど高齢者の方への見守りをどのようにしたらよいかに関心がある。個人情報も大切だが、年齢に関係なく、何とか支えられないか。70代・80代でも手伝いができると思う。

(3) 日常生活に関する情報について

- ・区役所の高齢者向けサービスの窓口を1本化して、1つの窓口で、総合的に手続きが完了できるシステムを構築してほしい。
- ・豊富なサービスがあるが、まず最初にどこに相談すればよいのか分からない。
- ・将来、身寄りがなくなった場合のために、準備すべきことを相談できる窓口がほしい。
- ・高齢者になるとすべてにおいて自らの情報収集や行動が難しくなるので、サポートを充実してほしい。
- ・安心して、講演会やスポーツサークルなどの高齢者向け情報を簡単に検索できるサイト。スマートフォンでも見られるサイトをつくってほしい。
- ・今は何でもパソコン、スマートフォンの時代。スマートフォンがなければ情報を取り入れることも、さまざまな申し込みひとつもできない時代。私たちの年代でも、操作は習えば使えるようになると思うが、本体そのものが経済的に入手しにくく、他区でスマートフォンの貸出や配布などの支援があると聞いている。私たちにもスマートフォンが使える機会が与えられたら、いろいろな情報や仲間に触れ、行動範囲も広がるかもしれない。少しでも生活が楽しくなれば嬉しいと思う。
- ・ケアマネジャーの知識が少ないと自分で調べなくてはならず、困った経験があり、区の制度を各事業者などに周知してもらいたい。

(4) 健康教室や健康づくり事業について

- ・高齢者健康づくりサービスの内容が、体を動かすことや交流の場しかない。食べ物で身体はつくられているので、高齢者向けのメニューや食材、調味料など、栄養バランスや調理法について教えてもらえる場が

ほしい。病気にかかりにくい身体づくりができれば、医療費や介護サービス費の削減になると思う。

- ・年齢別の集まりなどをつくってくれると、健康のことや世間話で、お互いに話す時間が少しでもできる。栄養のことや運動の仕方などを教えてくれる会があるとよい。

(5) 交流サロンや趣味の講座等について

- ・低所得の高齢者や単身の高齢者専用の都や区が管理する集合住宅があるとよいと思う。そうすると自然に同年代・同じ境遇の方々とコミュニティができやすくなり、声かけや他からの支援も把握しやすくなると思う。
- ・今後も高齢者が多くなるので、気楽に食事できる場所があれば、孤食、または認知になる人が少なくなるのではないかと。
- ・高齢者が集まって、ゆっくりお話ができる場所が近くにあれば嬉しい。気軽に暇な人が寄り集まって、お話をできればよい。

(6) 災害時の対応について

- ・災害時・緊急時に相談できる人がいると嬉しい。

(7) 介護の希望や老い支度について

- ・在宅で高齢者を介護している立場の者として、在宅でのリハビリなど受けられるサービスの種類が増えるとうれしい。
- ・独身でひとり暮らしなので、将来に対する不安はとてもある。今は、友人たちと、これから毎朝LINEで生存確認しないとねと言って笑っているが、仕事を完全に辞めて、社会とのつながりがなくなった時に、家で倒れたら誰にも気づいてもらえないと思うので、何らかの方法による確認が必要だと思う。
- ・自宅で終末期を迎えたいと希望するひとり暮らし（近くに親族がいない）の高齢者に、情報提供や支援をしてほしい。
- ・今は健康で、働くことができているが、仕事を辞めた場合に今の状態を維持できるか不安だ。できれば自宅で最後まで暮らしていけたらと思う。
- ・終末期に病院ではなく、自宅や共同で生活できる一般住宅で過ごしたいと思う。そのようなサービスがあれば知りたいし、なければ検討してほしい。
- ・できる限り一人で自立した生活を営みたいと希望している。そのための準備を最近気にしはじめた。どのようなところに電話または相談に伺ったらよいのか、分かりやすく周知してもらいたい。
- ・一番の心配は、保証人がいなくて入院できないこと。どうすればよいか、情報やサポートがほしい。
- ・私は62歳だが、まだ仕事をしており、定年もないため、しばらく働くつもりでいる。ただ、現在、健康なのでそう考えているが、病気になれば状況が変わると思う。安心して暮らせる仕組みをつくっていただけると嬉しい。

(8) 高齢者保健福祉施策について

●生活支援サービス

- ・ひとり暮らしになった時、例えば、朝起きてポットを動かせば今日は生きているということが区役所（公の所）等で把握してもらえれば、死んで何日も分からないでいるということがないので助かると思う。
- ・高齢者が孤独・孤立状態にならないような対策が必要と考える。いざという時に頼れるのは誰か？と考え

I 高齢者福祉に関する生活実態調査(調査A)

たところ、皆、年上か同年代の方たちばかり。自分より若い世代の方たちと関係が持てるようになればと思っています。そうした関係を築く方策を望む。

- ・買い物の荷物が重く、大変な思いをしている。買い物カートの貸出や購入助成などをしてもらえないか。

●住まい

- ・民間の賃貸なので家賃が高く、安く住めるところを増やしてほしい。
- ・現在、賃貸住宅に住んでいる。今後、高齢になって、このまま住み続けられるかとても心配している。少しでも多く、安価な高齢者住宅を増やしていただけるとありがたい。
- ・長い間、事業主として働いてきたが、コロナ禍ですべての仕事がとまってしまい、収入が大きく減り、住んでいたマンションの家賃が払えず、退室させられた。高齢者が民間賃貸住宅に住み続けることは難しい。
- ・単身で住宅を借りようとするとよく断られる。入院・手術時に、家族がいなくても医療を受けたい。
- ・ひとり暮らしの人たちのための集合住宅の設立。
- ・介護が必要になり、今の住まいを退却させられる不安をなくしたい。だが、一人で暮らせる間は自立して生きたい。
- ・身体状況に合わせた介護を受けられる住宅への住み替えがスムーズにできる仕組み。

●経済的な支援策

- ・(特に高齢者向けに限ったことではないが) 低所得者への支援がいつも区民税の納付者か否かで区切られるのは、かろうじて均等割分のみ納められている者としては、実質所得は低所得の人より少ない気がしてしまう。

●まちづくり

- ・健康のためや気分転換に散歩を心がけているが、商業地に居住しているので、車の往来や道路のデコボコによる足元の不安など、危険が伴い、思うように外出できない。地域を不安なく散歩できる付添サービス等があればよいと思う。
- ・マンションのバリアフリー改築への支援体制が必要。
- ・区内の建物や道路などのバリアフリーをもっと進めるべきだと思う。

●家族の介護

- ・今は介護している身だが、老老介護はとても大変だ。主人はデイサービスに一日お世話になっているが、月に一度でもショートステイでお願いできたらよいと思う。自分のことが何もできない。
- ・中央区に限らず、全国的に高齢者の虐待問題について、真剣に取り組んでほしい。

Ⅱ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査(調査B)

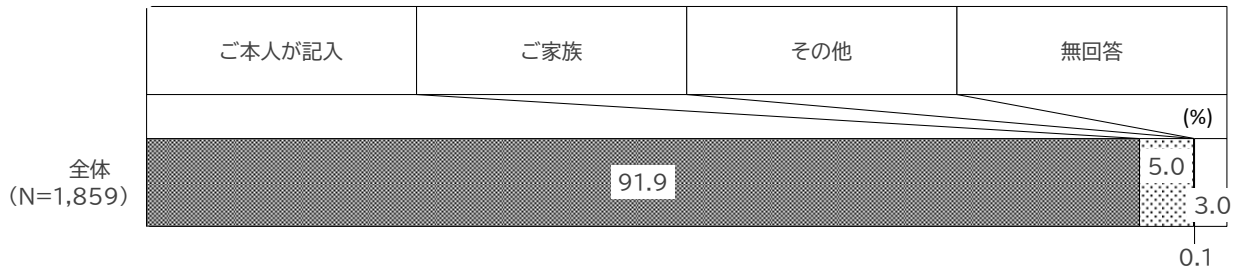
Ⅱ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査(調査B)

1. 回答者の属性(状況)について

(1) 調査票の記入者

「ご本人が記入」が91.9%

問1. 調査票を記入されたのはどなたですか。(〇は1つ)

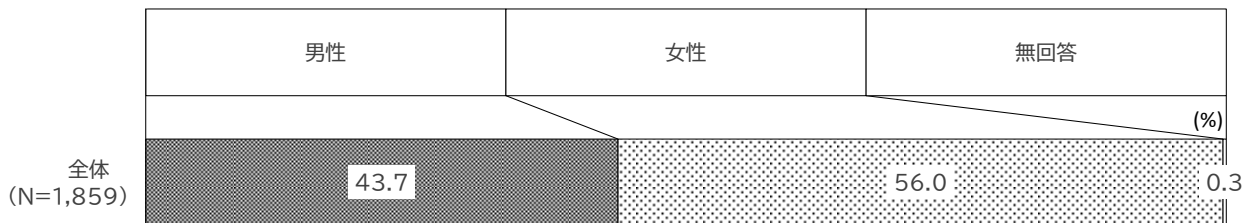


(2) 性別・年齢

問2. あなたの性別と令和4年10月1日現在の満年齢を記入してください。(〇は1つ、数値記述)

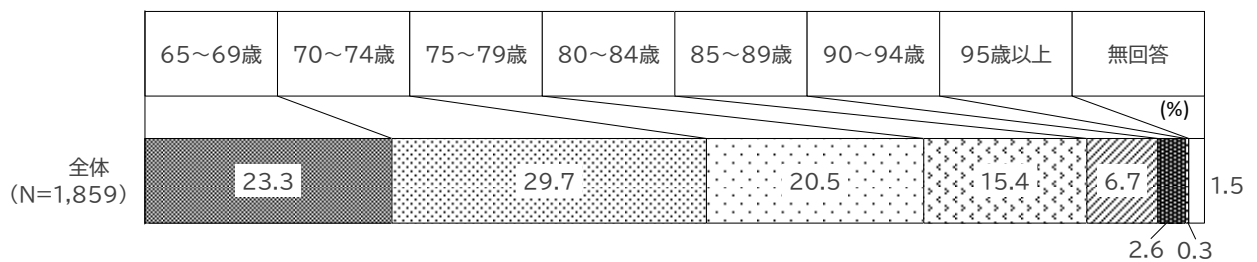
① 性別

「女性」が56.0%



② 満年齢

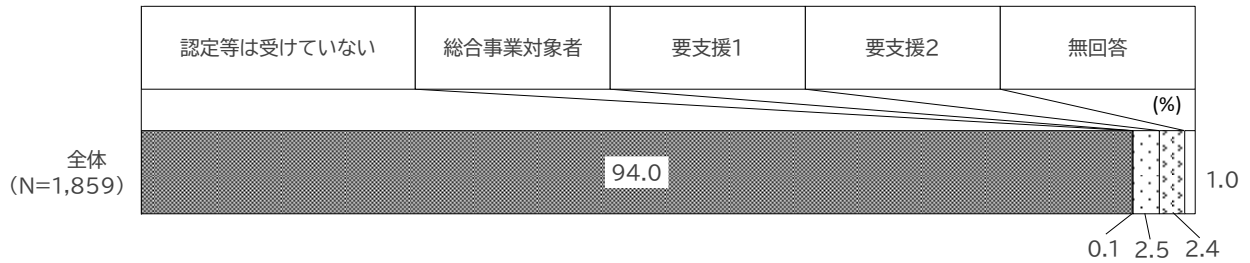
「70～74歳」が29.7%、「65～69歳」が23.3%



(3) 要介護度

「認定等は受けていない」が94.0%

問3. あなたの現在の要介護度等をお答えください。(○は1つ)



(4) 居住地域

「月島地域」が48.5%、「日本橋地域」が25.9%

問4. 現在あなたのお住まいになっている地域はどこですか。(○は1つ)



2. 家族・生活状況について

(1) 家族構成

「夫婦2人暮らし」(配偶者65歳以上と64歳以下を合計した割合)が45.5%、「ひとり暮らし」が26.0%

問5. 家族構成をお教えてください。(〇は1つ)



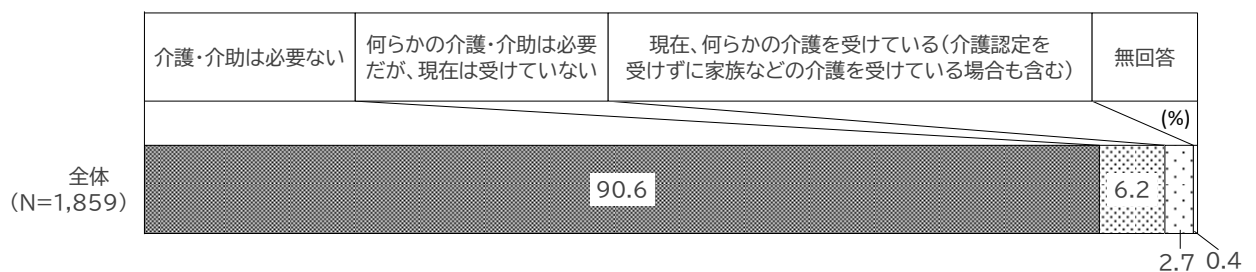
<その他の回答>

○父・母、息子・娘との3世帯 ○息子・娘、孫との3世帯 ○兄弟・姉妹との2人暮らし

(2) 介護・介助の要否

「介護・介助は必要ない」が90.6%

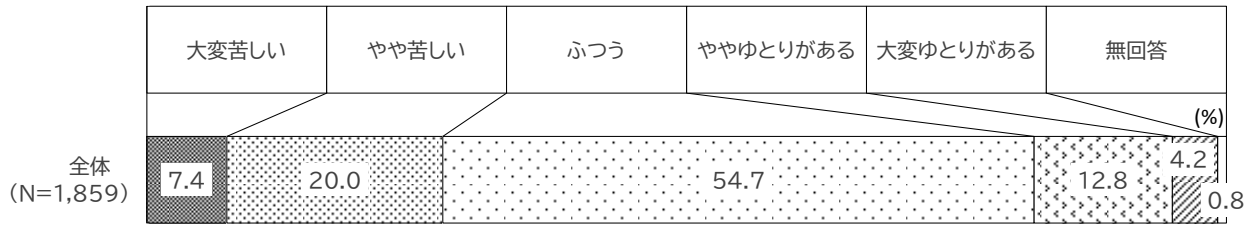
問6. あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(〇は1つ)



(3) 経済的な生活感

「ふつう」が54.7%、「苦しい」(「大変苦しい」と「やや苦しい」を合計した割合)が27.4%

問7. 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(〇は1つ)

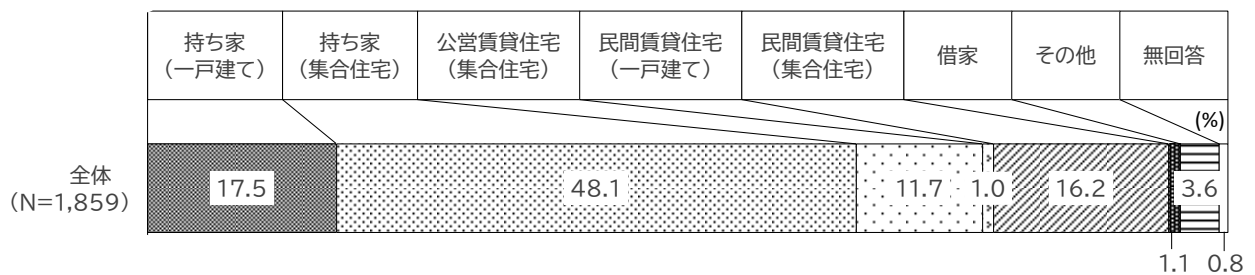


(4) 住宅状況

① 住宅の種類

「持ち家 (集合住宅)」が48.1%、「持ち家 (一戸建て)」が17.5%

問8. お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(〇は1つ)



居住地域別で見ると、日本橋地域は他の居住地域と比べて、「持ち家 (一戸建て)」の割合が高い。月島地域は他の居住地域と比べて、「公営賃貸住宅」の割合が高い。

		調査数	(持ち家 (一戸建て))	(持ち家 (集合住宅))	公営賃貸住宅	(民間賃貸住宅 (一戸建て))	(民間賃貸住宅 (集合住宅))	借家	その他	無回答
全体		1,859	17.5	48.1	11.7	1.0	16.2	1.1	3.6	0.8
居住地域	京橋	465	20.2	50.5	6.7	0.9	16.1	0.4	4.3	0.9
	日本橋	482	27.8	50.8	1.2	1.0	14.5	0.8	3.1	0.6
	月島	901	10.8	45.2	20.0	1.1	17.3	1.6	3.6	0.6

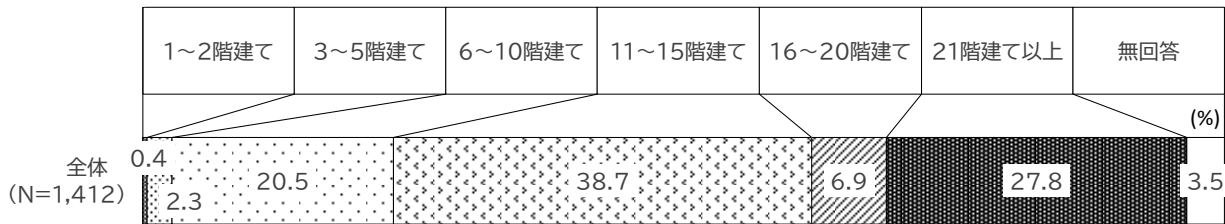
② 建物全体の階数・居住階数

- ・建物全体の階数は「11～15階建て」が38.7%、「21階建て以上」が27.8%
- ・居住階は「6～10階」が33.6%、「3～5階」が21.5%

【問8で集合住宅(「2. 持ち家(集合住宅)」、「3. 公営賃貸住宅(集合住宅)」または「5. 民間賃貸住宅(集合住宅)」)と回答の方】

問8-1. あなたのお住まいは、何階建ての何階ですか。(数値回答)

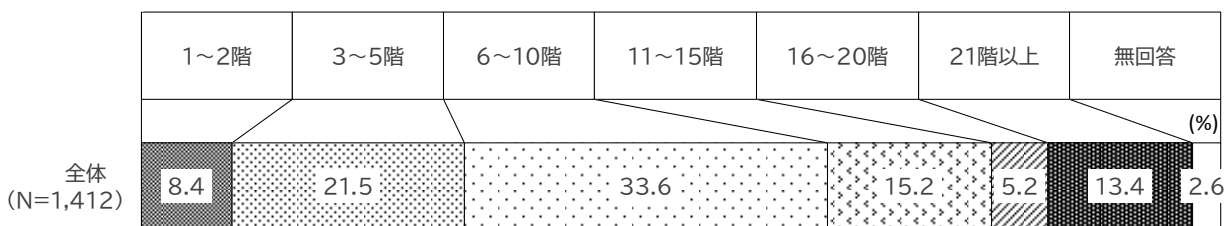
■建物全体の階数



居住地域別で見ると、月島地域は他の居住地域と比べて、「21階建て以上」の割合が高い。

		調査数	1 ～ 2 階 建 て	3 ～ 5 階 建 て	6 ～ 10 階 建 て	11 ～ 15 階 建 て	16 ～ 20 階 建 て	21 階 建 て 以 上	無 回 答
全 体		1,412	0.4	2.3	20.5	38.7	6.9	27.8	3.5
居住地域	京橋	341	0.3	2.9	28.7	51.9	5.6	8.5	2.1
	日本橋	321	0.6	3.1	28.3	53.0	7.8	4.7	2.5
	月島	743	0.3	1.6	13.5	26.5	7.3	46.7	4.2

■居住階数



居住地域別で見ると、京橋地域および日本橋地域は居住階数が10階以下の割合が約8割を占めているのに対し、月島地域は居住階数が11階以上の割合が約5割を占めている。

		調査数	1 ～ 2 階	3 ～ 5 階	6 ～ 10 階	11 ～ 15 階	16 ～ 20 階	21 階 以 上	無 回 答
全 体		1,412	8.4	21.5	33.6	15.2	5.2	13.4	2.6
居住地域	京橋	341	9.4	30.8	39.0	12.6	3.8	2.6	1.8
	日本橋	321	11.2	22.1	48.0	12.1	1.9	2.5	2.2
	月島	743	6.9	16.8	25.3	17.8	7.3	23.1	2.8

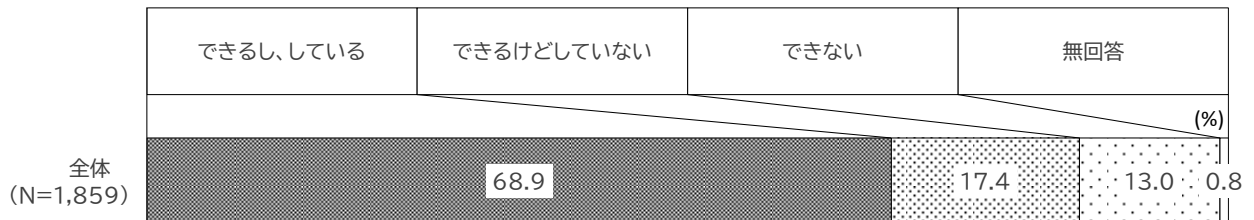
3. 運動器機能・閉じこもり傾向について

(1) 運動器機能

① 階段

「できるし、している」が68.9%

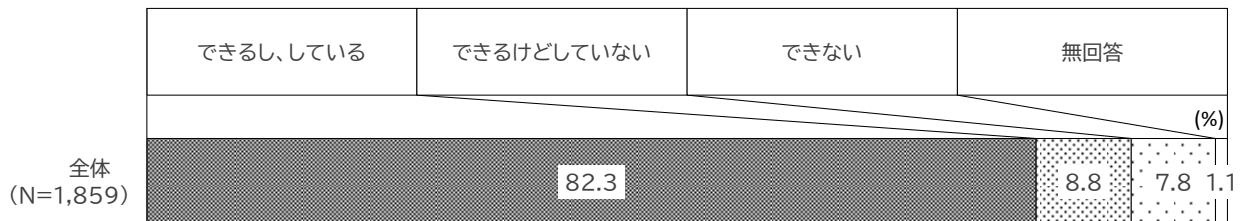
問9. 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(〇は1つ)



② 椅子立ち上がり

「できるし、している」が82.3%

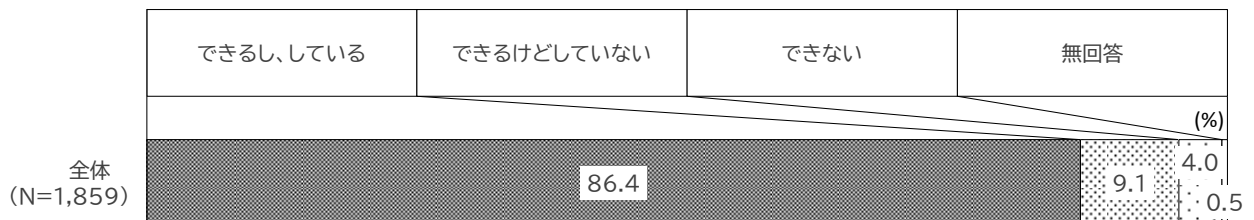
問10. 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(〇は1つ)



③ 連続歩行

「できるし、している」が86.4%

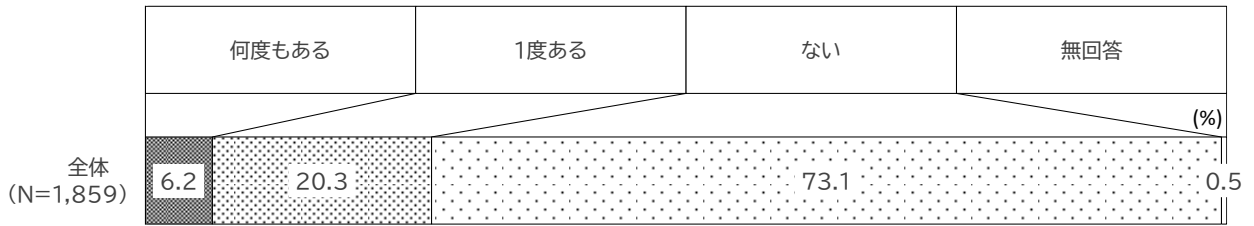
問11. 15分位続けて歩いていますか。(〇は1つ)



④ 転倒経験

「ない」が73.1%、「何度もある」が6.2%

問12. 過去1年間に転んだ経験がありますか。(〇は1つ)



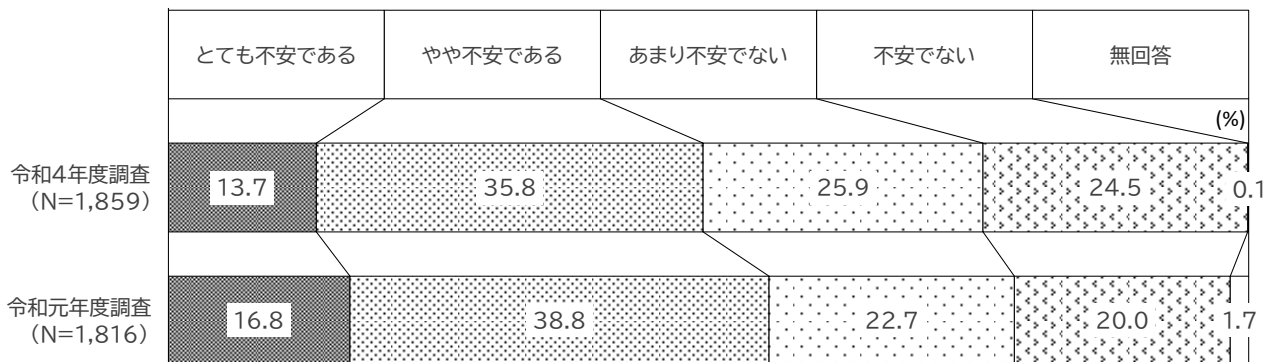
年代別で見ると、85歳以上は他の年代と比べて「何度もある」の割合が高い。

		調査数	何度もある (%)	1度ある (%)	ない (%)	無回答 (%)
全 体		1,859	6.2	20.3	73.1	0.4
年代	65～74歳	986	4.5	17.4	77.9	0.2
	75～84歳	668	6.3	22.5	70.7	0.6
	85歳以上	178	15.2	26.4	58.4	0.0

⑤ 転倒に対する不安度

不安に感じていない割合（「あまり不安でない」と「不安でない」を合計した割合）が50.4%

問13. 転倒に対する不安は大きいですか。(〇は1つ)

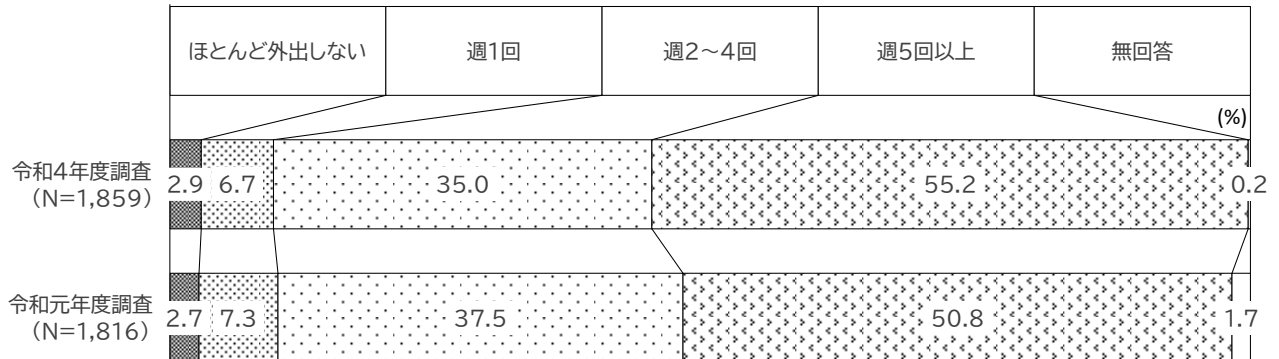


令和元年度調査と比べて、不安に感じていない割合（「あまり不安でない」と「不安でない」を合計した割合）が7.7ポイント増えている。

⑥ 外出の頻度

「週5回以上」が55.2%、「週2～4回」が35.0%

問14. 週に1回以上は外出していますか。(○は1つ)



令和元年度調査と比べて「週5回以上」の割合が4.4ポイント増えている。

年代別で見ると、65～74歳は他の年代と比べて「週5回以上」の割合が高い。85歳以上は他の年代と比べて「ほとんど外出しない」の割合が高い。

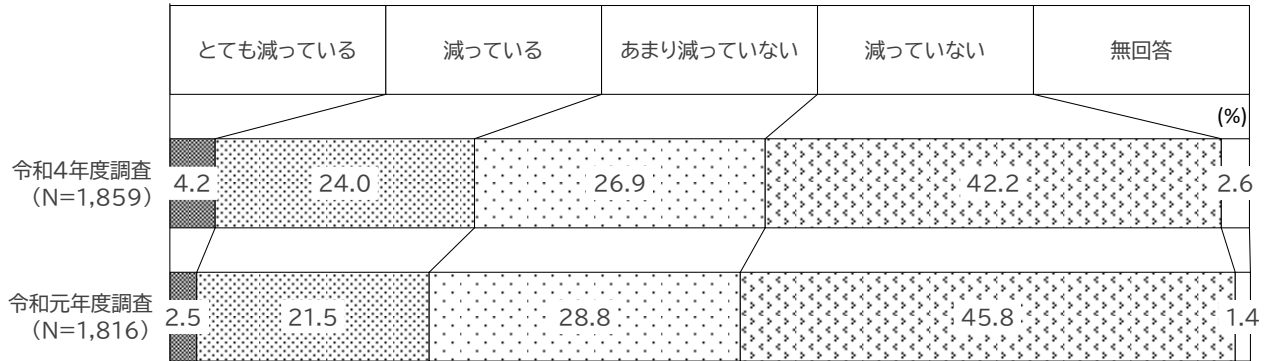
家族構成別で見ると、夫婦2人暮らしは他の家族構成と比べて、「週5回以上」の割合が高い。

		調査数	ほとんど外出しない	週1回	週2～4回	週5回以上	無回答
全体		1,859	2.9	6.7	35.0	55.2	0.2
年代	65～74歳	986	1.5	5.0	30.7	62.8	0.0
	75～84歳	668	3.3	8.1	39.2	49.3	0.1
	85歳以上	178	8.4	10.7	42.7	37.1	1.1
家族構成	ひとり暮らし	484	2.5	7.4	38.8	51.0	0.2
	夫婦2人暮らし	846	2.2	6.5	31.3	59.9	0.0
	息子・娘との2世帯	209	3.8	7.2	35.9	53.1	0.0
	その他	309	4.5	6.1	37.2	51.8	0.3

⑦ 外出が減っているか

「減っていない」が42.2%、「減っている」が24.0%

問 15. 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(〇は1つ)



令和元年度調査と比べると、大きな差は見られない。

4. 栄養状態・口腔機能について

(1) 身長・体重・BMI

問16. 身長 [cm]・体重 [kg] (数値回答)

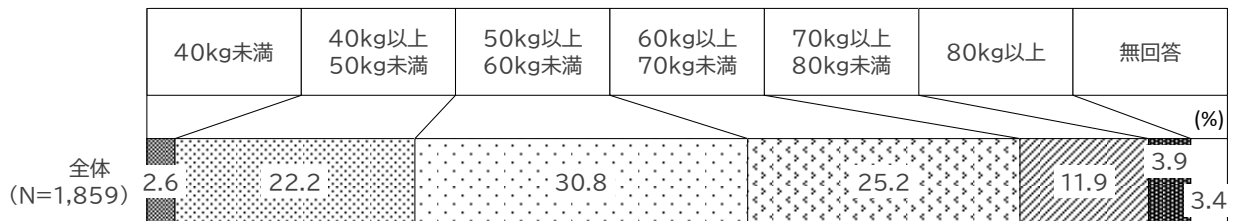
① 身長

「150cm以上160cm未満」が36.9%、「160cm以上170cm未満」が31.3%



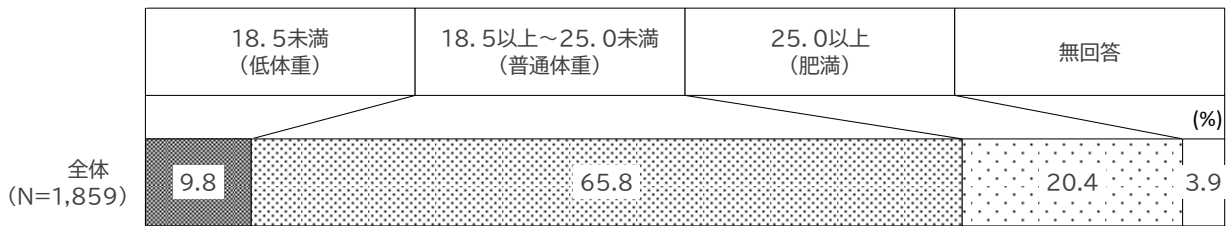
② 体重

「50kg以上60kg未満」が30.8%、「60kg以上70kg未満」が25.2%



③ BMI

「18.5以上～25.0未満(普通体重)」が65.8%



BMI (ボディマス指数) : 体重と身長の関係から肥満度を表す体格指数

- ・ BMI = 体重 (kg) ÷ (身長 (m) × 身長 (m))
- ・ 18.5 未満 : 低体重 / 18.5～25 未満 : 普通体重 / 25 以上 : 肥満

性・年代別で見ると、男性65～74歳は他の性・年代と比べて、「25.0以上(肥満)」の割合が高い。

		調査数	(18.5未満) 9.8	(18.5以上～25.0未満) 65.8	(25.0以上) 20.4	無回答 3.9
全体		1,859	9.8	65.8	20.4	3.9
性・年代別	男性65～74歳	468	3.6	66.7	27.8	1.9
	男性75～84歳	268	4.1	68.3	22.0	5.6
	男性85歳以上	59	10.2	64.4	20.3	5.1
	女性65～74歳	517	15.3	66.0	16.6	2.1
	女性75～84歳	400	13.5	64.5	18.3	3.8
	女性85歳以上	117	13.7	64.1	12.0	10.3

(2) 口腔機能 (咀嚼)

「いいえ」が71.5%

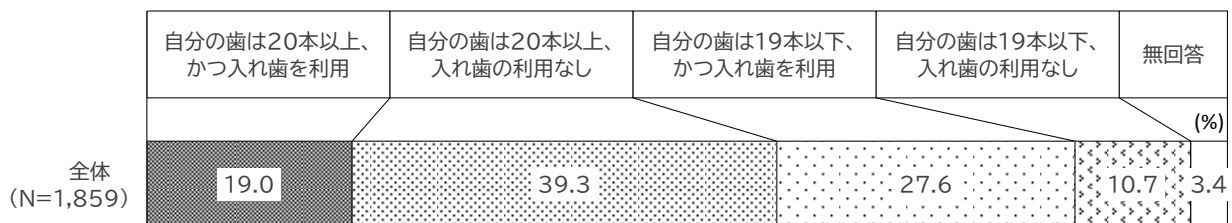
問 17. 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(〇は1つ)



(3) 入れ歯の有無と歯の数

「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が39.3%、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が27.6%

問 18. 歯の数と入れ歯の利用状況をお聞きします。(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)
(〇は1つ)



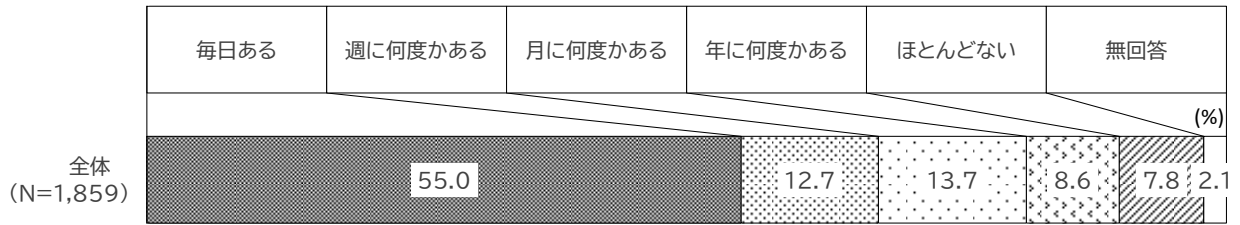
年代別で見ると、65～74歳は「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」の割合が半数を占めている。85歳以上は「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の割合が半数を占めている。

		(%)					
		調査数	か 自 つ 入 れ 歯 は 2 利 用 本 以 上、	入 自 れ 分 の 歯 は 2 利 用 な し 本 以 上、	か 自 つ 入 れ 歯 は 1 利 用 本 以 下、	入 自 れ 分 の 歯 は 1 利 用 な し 本 以 下、	無 回 答
全 体		1,859	19.0	39.3	27.6	10.7	3.4
年代	65～74歳	986	17.2	48.6	21.3	11.4	1.5
	75～84歳	668	22.6	31.9	31.4	9.9	4.2
	85歳以上	178	15.7	15.2	48.9	10.7	9.6

(4) 孤食の状況

「毎日ある」が55.0%

問19. どなたかと食事をともしる機会がありますか。(○は1つ)

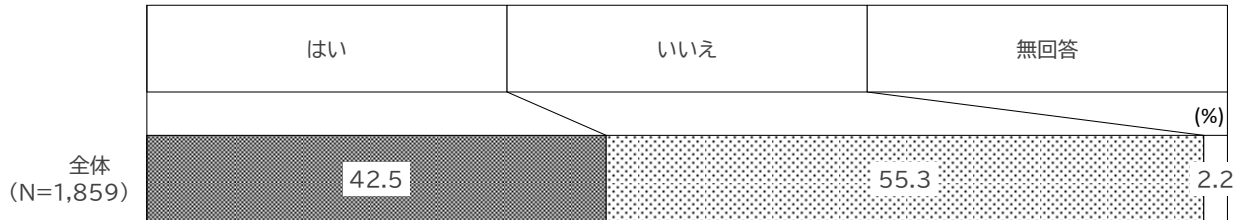


5. 日常生活の動作について

(1) 認知機能

「いいえ」が55.3%

問20. 物忘れが多いと感じますか。(○は1つ)



性・年代別で見ると、男性および女性の85歳以上は他の年代と比べて「はい」の割合が高い。女性75～84歳は男性75～84歳と比べて「はい」の割合が高い。

		調査数	はい (%)	いいえ (%)	無回答 (%)
全体		1,859	42.5	55.3	2.2
性・年代別	男性65～74歳	468	38.9	59.6	1.5
	男性75～84歳	268	40.7	56.3	3.0
	男性85歳以上	59	54.2	40.7	5.1
	女性65～74歳	517	38.9	60.3	0.8
	女性75～84歳	400	47.3	50.0	2.8
	女性85歳以上	117	54.7	39.3	6.0

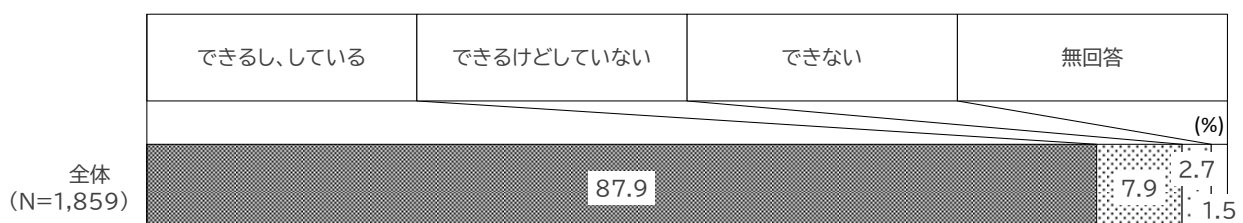
(2) 手段的日常生活動作 (IADL)

※ 手段的日常生活動作 (IADL: Instrumental Activities of Daily Living) とは、モノや道具を使って行う生活能力のことをいい、日常の動作より応用的な動作が必要な活動 (バスに乗って買い物に行く、食事の支度をするなど) を指す。

① 1人での外出

「できるし、している」が87.9%

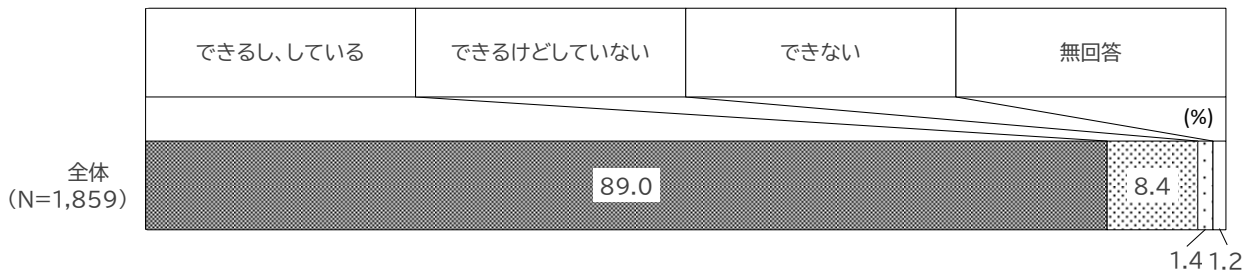
問21. バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可)。(○は1つ)



② 買物

「できるし、している」が89.0%

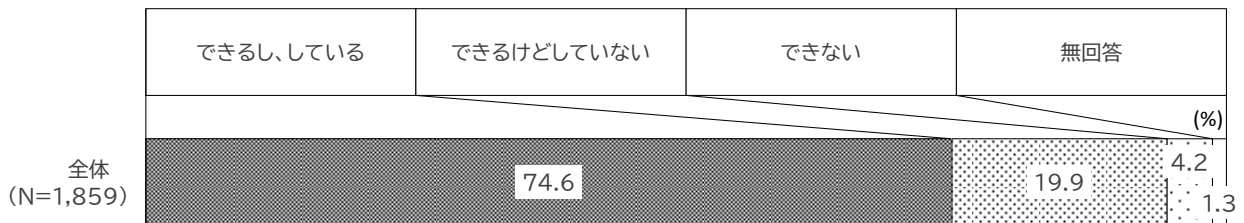
問22. 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(○は1つ)



③ 食事の用意

「できるし、している」が74.6%

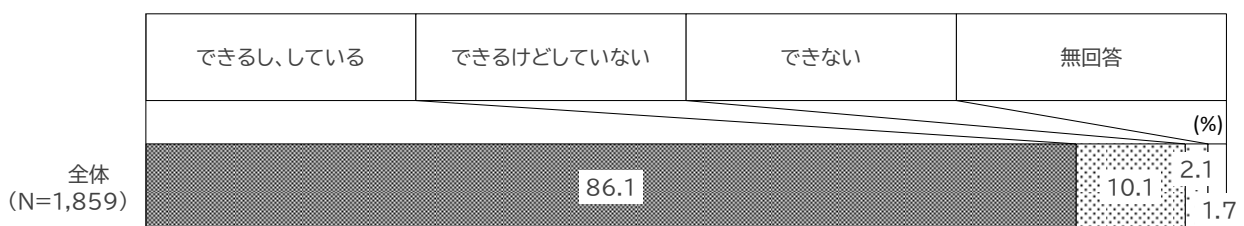
問23. 自分で食事の用意をしていますか。(○は1つ)



④ 自分で請求書の支払いができるか

「できるし、している」が86.1%

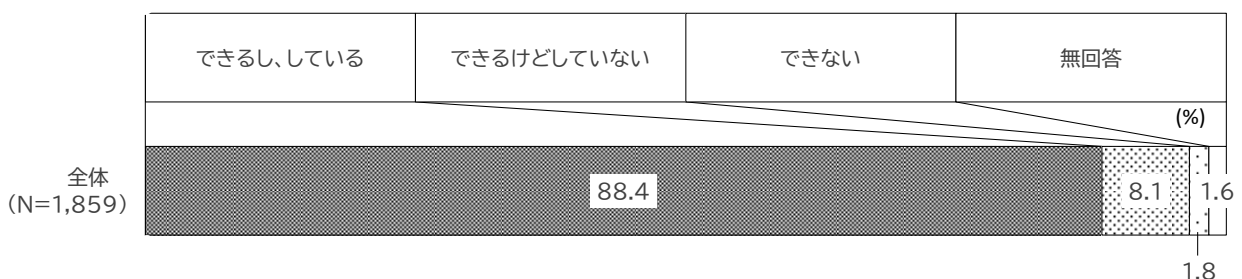
問24. 自分で請求書の支払いをしていますか。(○は1つ)



⑤ 自分で預貯金の出し入れができるか

「できるし、している」が88.4%

問25. 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(○は1つ)



6. 地域での活動について

(1) 社会参加の状況

「収入のある仕事」を除くすべての活動で、「参加していない」が6割を超えている

問26. 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。(それぞれ〇は1つ)

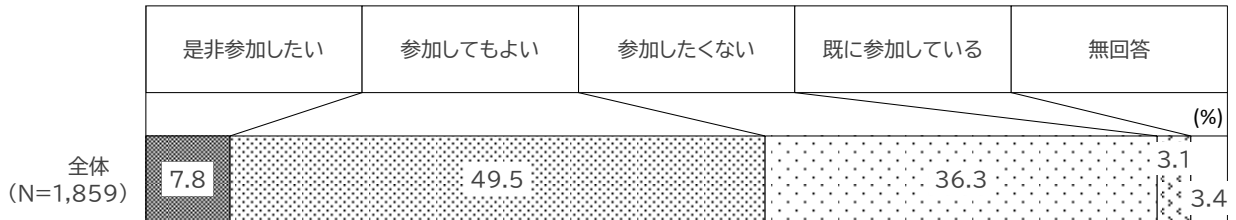


(2) 参加者として参加したいか

① 参加者として

「参加してもよい」が49.5%、「参加したくない」が36.3%

問27. 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(○は1つ)



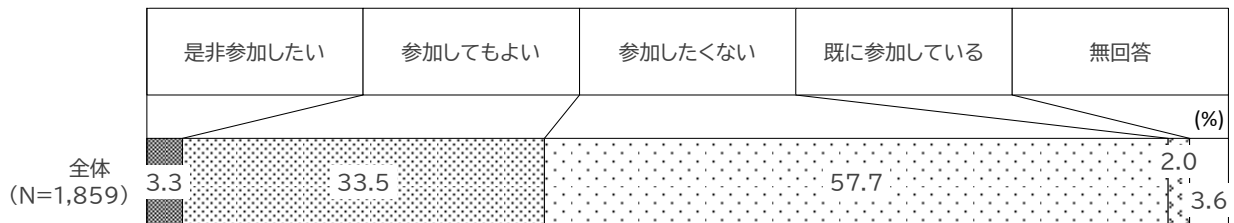
性・年代別で見ると、男性はすべての年代で、「参加してもよい」の割合がほぼ半数を占めている。女性は年代が下がるほど「参加してもよい」の割合が低くなっている。

		調査数	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	既に参加している	無回答
全体		1,859	7.8	49.5	36.3	3.1	3.4
性・年代別	男性65～74歳	468	4.3	48.7	43.2	1.5	2.4
	男性75～84歳	268	5.6	50.4	38.8	2.2	3.0
	男性85歳以上	59	5.1	47.5	32.2	3.4	11.9
	女性65～74歳	517	10.6	54.4	30.8	3.1	1.2
	女性75～84歳	400	11.0	49.0	31.0	4.8	4.3
	女性85歳以上	117	5.1	29.9	50.4	5.1	9.4

② 企画・運営として

「参加したくない」が57.7%、「参加してもよい」が33.5%

問 28. 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（〇は1つ）



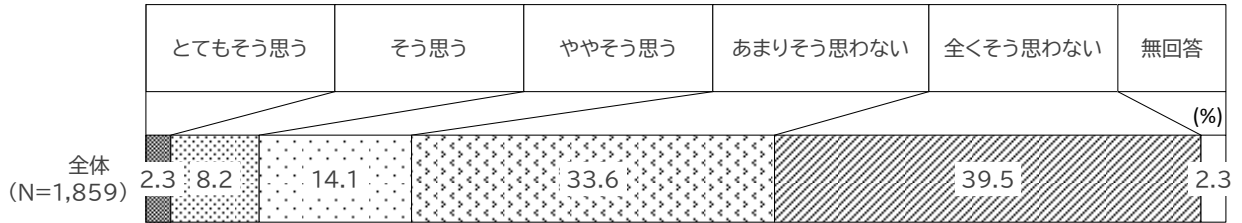
性・年代別で見ると、女性85歳以上を除き、すべての性・年代別で「参加してもよい」の割合が3割を超えている。

		調査数	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	既に参加している	無回答
全 体		1,859	3.3	33.5	57.7	2.0	3.6
性・年代別	男性65～74歳	468	2.8	34.6	58.3	1.9	2.4
	男性75～84歳	268	3.0	35.4	57.1	1.1	3.4
	男性85歳以上	59	1.7	33.9	50.8	1.7	11.9
	女性65～74歳	517	3.9	36.2	56.7	2.1	1.2
	女性75～84歳	400	4.3	31.0	58.0	1.8	5.0
	女性85歳以上	117	2.6	16.2	67.5	5.1	8.5

(3) 地域の人からの期待や頼り

「全くそう思わない」が39.5%、「あまりそう思わない」が33.6%

問 29. あなたは地域の人等から何らかの役割を期待されたり頼りにされていると思いますか。(○は1つ)



性・年代別で見ると、男性75歳以上の年代は、地域から何らかの役割を期待されていると感じている人の割合（「とてもそう思う」、「そう思う」および「ややそう思う」を合計した割合）が3割を超えている。

		調査数	とてもそう思う	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない	無回答
全 体		1,859	2.3	8.2	14.1	33.6	39.5	2.3
性・年代別	男性65～74歳	468	4.1	7.1	12.6	31.6	43.8	0.9
	男性75～84歳	268	1.9	11.2	17.5	35.8	32.1	1.5
	男性85歳以上	59	1.7	15.3	15.3	25.4	35.6	6.8
	女性65～74歳	517	1.2	5.6	14.7	33.5	43.5	1.5
	女性75～84歳	400	2.5	9.8	13.8	35.3	35.0	3.8
	女性85歳以上	117	1.7	6.8	10.3	36.8	40.2	4.3

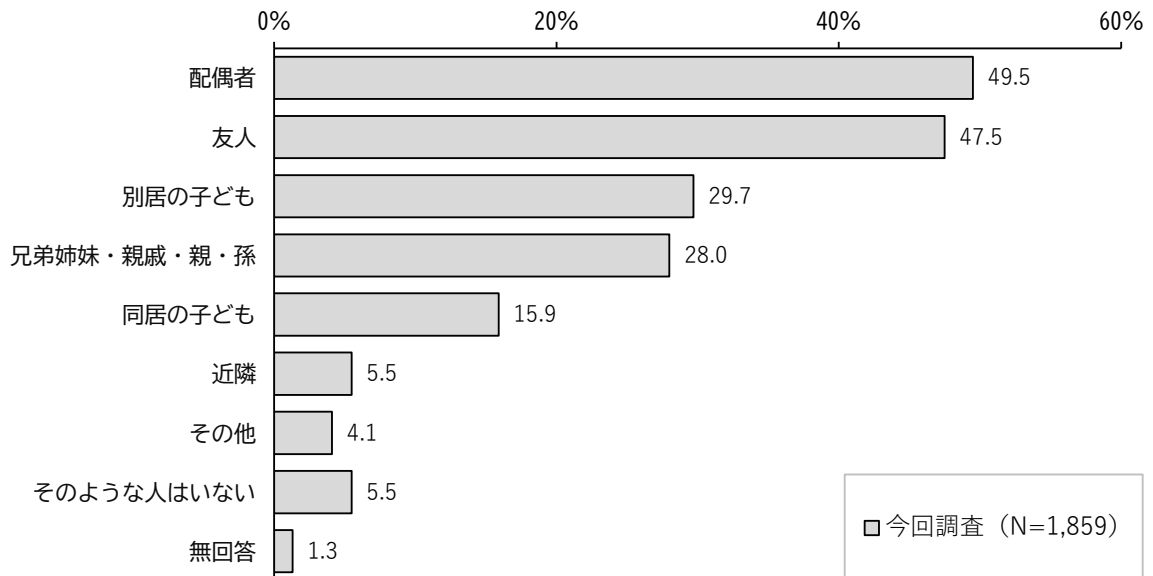
7. たすけあいの状況について

(1) 相談相手や世話役

① 愚痴を聞いてくれる人

「配偶者」が49.5%、「友人」が47.5%

問30. あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人はいますか。【複数回答】



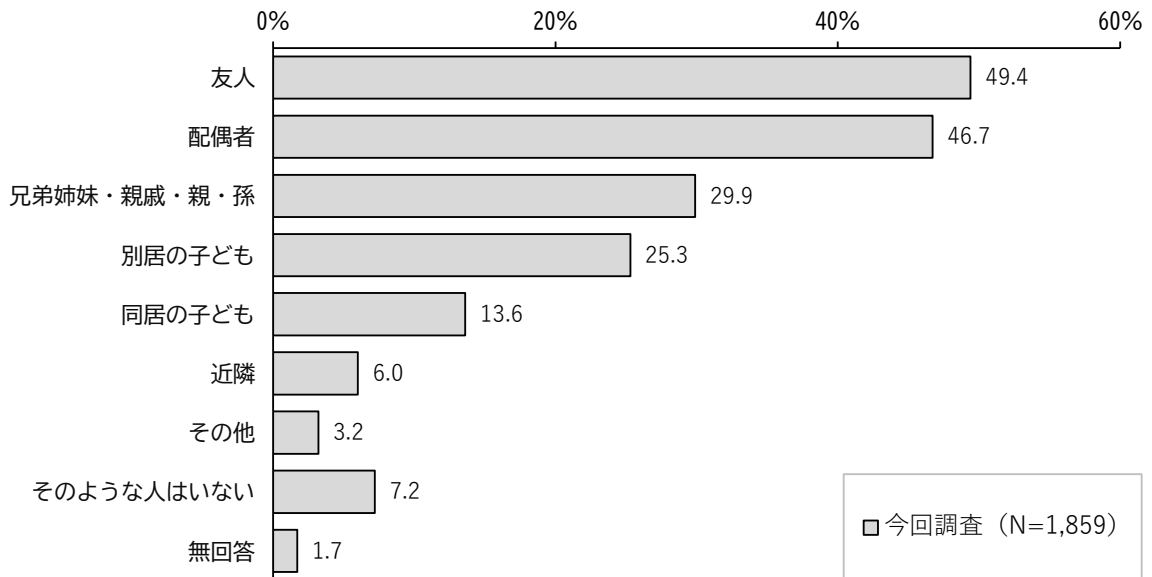
性別で見ると、男性は女性と比べて「配偶者」の割合が高い。女性は男性と比べて「友人」、「別居の子ども」、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」および「同居の子ども」の割合が高い。

		調査数	配偶者	友人	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	同居の子ども	近隣	その他	そのような人はいない	無回答
全体		1,859	49.5	47.5	29.7	28.0	15.9	5.5	4.1	5.5	1.3
性別	男性	812	65.8	35.0	20.4	15.4	10.0	3.1	4.1	8.4	1.4
	女性	1,041	36.9	57.3	37.1	37.8	20.7	7.4	3.9	3.3	1.2

② 愚痴を聞いてあげる人

「友人」が49.4%、「配偶者」が46.7%

問31. 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人はいますか。【複数回答】



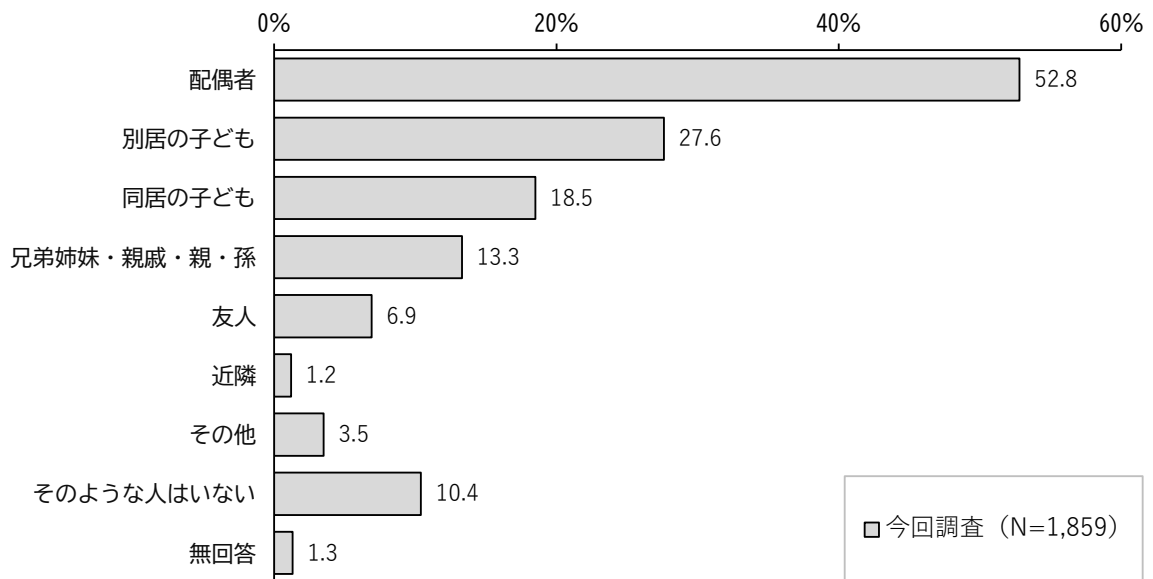
性別で見ると、男性は女性と比べて「配偶者」の割合が高い。女性は男性と比べて「友人」、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」、「別居の子ども」および「同居の子ども」の割合が高い。

		調査数	友人	配偶者	兄弟姉妹・親戚・親・孫	別居の子ども	同居の子ども	近隣	その他	そのような人はいない	無回答
全体		1,859	49.4	46.7	29.9	25.3	13.6	6.0	3.2	7.2	1.7
性別	男性	812	35.1	64.0	17.6	19.0	9.1	3.1	3.8	10.1	1.5
	女性	1,041	60.5	33.4	39.4	30.4	17.2	8.4	2.6	5.0	1.8

③ 看病してくれる人

「配偶者」が52.8%、「別居の子ども」が27.6%

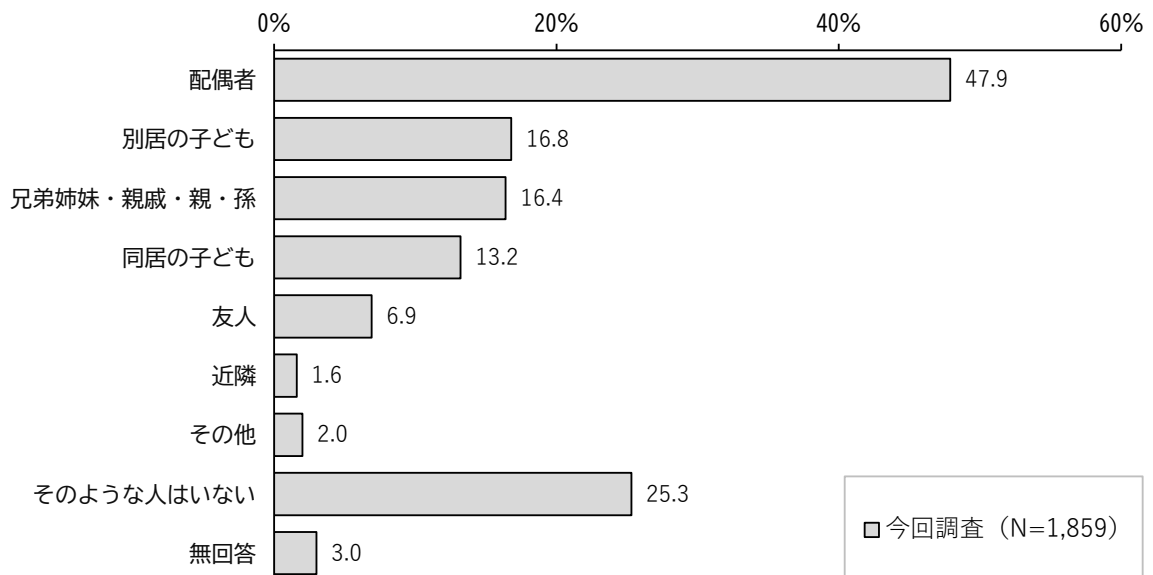
問32. あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はいますか。【複数回答】



④ 看病してあげる人

「配偶者」が47.9%、「別居の子ども」が16.8%

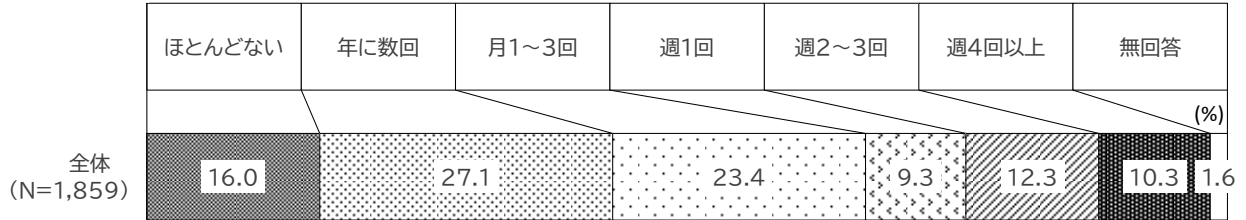
問33. 反対に、看病や世話をしてあげる人はいますか。【複数回答】



⑤ 友人・知人と会う頻度

「年に数回」が27.1%、「月1～3回」が23.4%

問34. 友人・知人と会う頻度はどのくらいですか。(〇は1つ)



性別で見ると、大きな差は見られない。

年代別で見ると、85歳以上では他の年代と比べて、「ほとんどない」の割合が高く、「年に数回」の割合が低い。

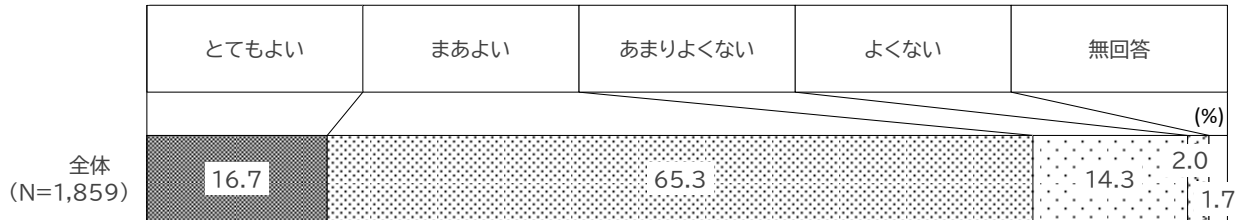
		調査数	ほとんどない	年に数回	月1～3回	週1回	週2～3回	週4回以上	無回答
全体		1,859	16.0	27.1	23.4	9.3	12.3	10.3	1.6
性別	男性	812	16.9	28.0	20.7	10.5	10.5	12.1	1.5
	女性	1,041	15.3	26.5	25.4	8.5	13.8	8.9	1.6
年代	65～74歳	986	15.6	27.3	24.7	8.9	10.9	11.7	0.9
	75～84歳	668	14.1	28.4	21.9	10.2	14.4	9.6	1.5
	85歳以上	178	25.8	20.2	20.2	8.4	13.5	6.7	5.1

8. 健康について

(1) 主観的健康感

「まあよい」が65.3%

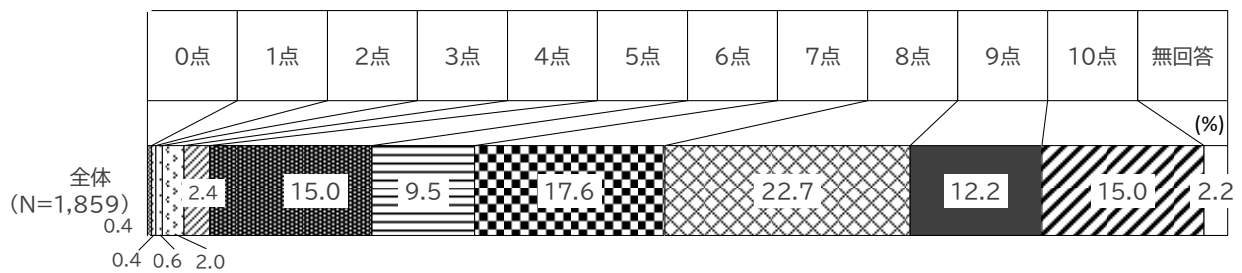
問35. 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(〇は1つ)



(2) 主観的幸福感

「8点」が22.7%、「7点」から「10点」までを合わせると67.5%

問36. あなたは、現在どの程度幸せですか。(〇は1つ)

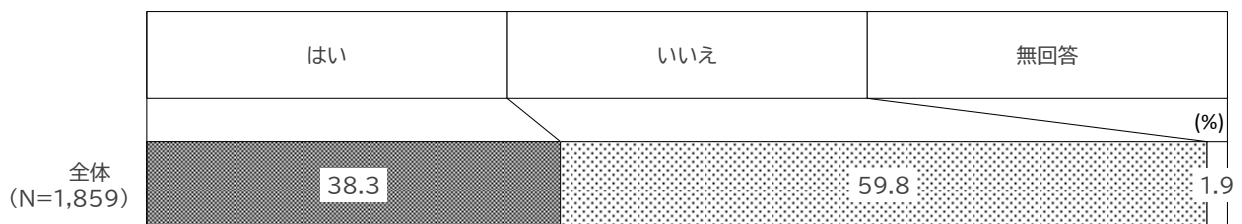


(3) うつの状況

① ゆううつ感

「いいえ」が59.8%

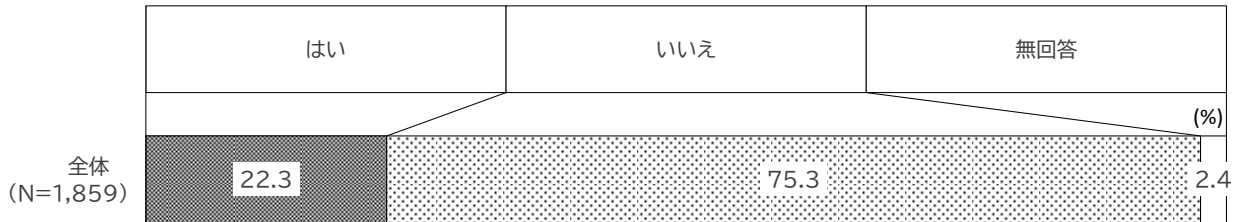
問37. この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(〇は1つ)



② 物事に対する興味

「いいえ」が75.3%

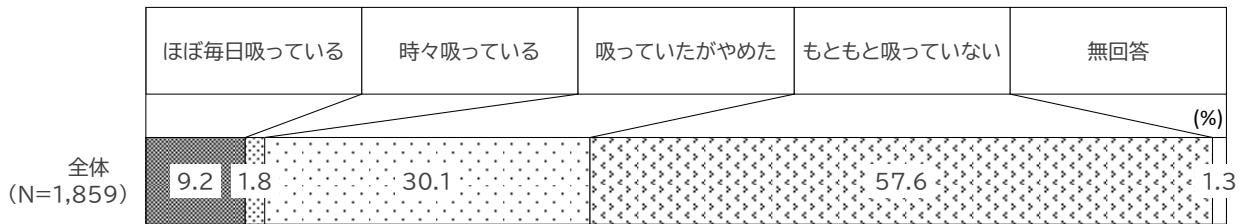
問38. この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがありましたか。(〇は1つ)



(4) 喫煙の習慣

「もともと吸っていない」が57.6%

問39. タバコは吸っていますか。(〇は1つ)



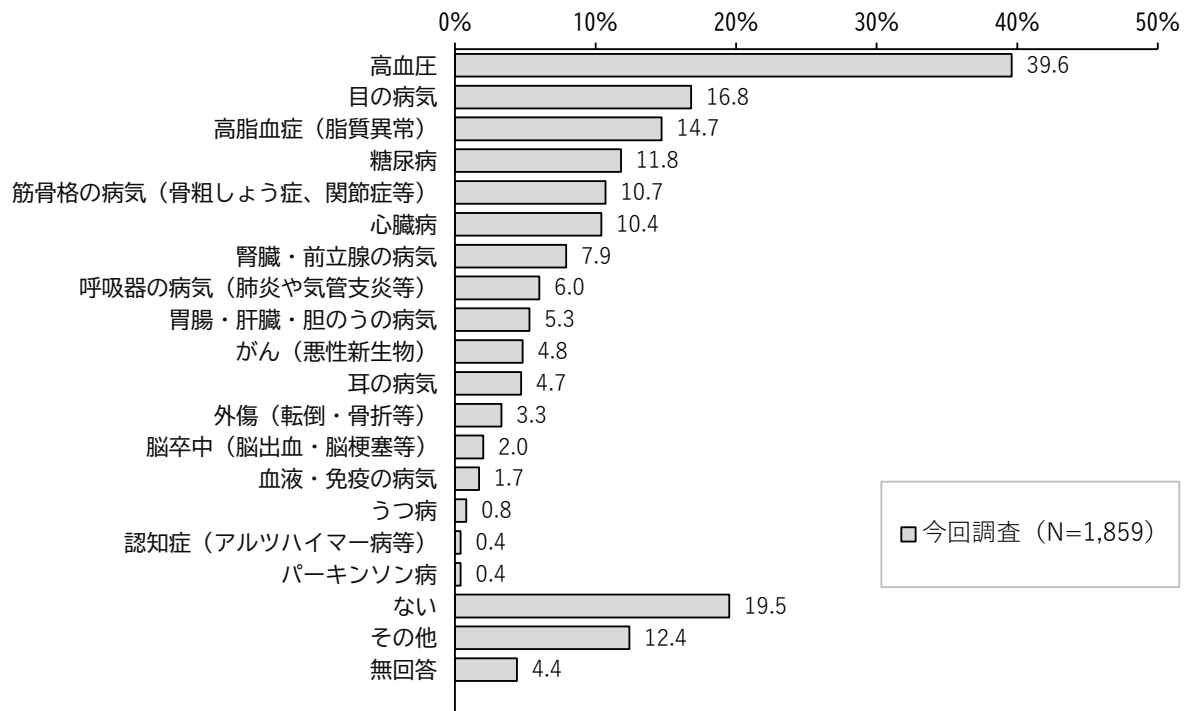
主観的健康感別で見ると、「とてもよい」は他の健康感と比べて「もともと吸っていない」の割合が高い。

		調査数	ほぼ毎日吸っている	時々吸っている	吸っていたがやめた	もともと吸っていない	無回答
全体		1,859	9.2	1.8	30.1	57.6	1.3
主観的健康感	とてもよい	310	8.7	2.6	27.4	61.3	0.0
	まあよい	1,213	9.3	1.7	30.7	58.0	0.3
	あまりよくない	266	9.8	1.1	31.6	57.1	0.4
	よくない	38	13.2	2.6	39.5	44.7	0.0

(5) 疾病

「高血圧」が39.6%、「ない」が19.5%

問40. 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。【複数回答】



<その他の回答>

- アレルギー疾患 ○鼻炎(慢性鼻炎、アレルギー性鼻炎、蓄膿症、副鼻腔炎、鼻づまり)
- リウマチ ○橋本病(甲状腺機能低下症) ○腰痛 ○脊柱管狭窄症 ○坐骨神経痛
- 皮膚炎(湿疹、アトピー性皮膚炎) ○帯状疱疹 ○睡眠時無呼吸症候群 ○不整脈

9. 認知症について

(1) 認知症の症状の有無

「いいえ」が90.2%

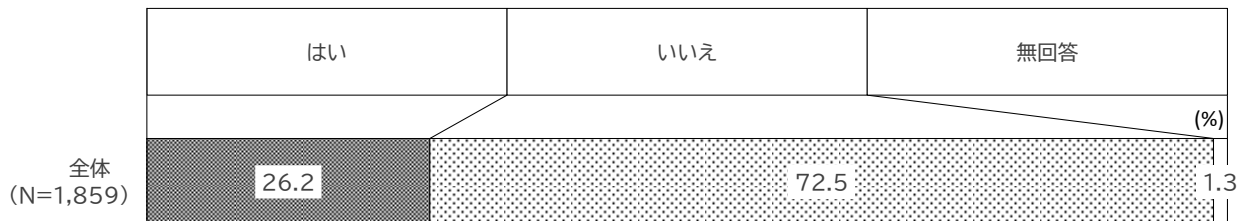
問 41. 認知症の症状があるまたは家族に認知症の症状がある人がいますか。(〇は1つ)



(2) 認知症に関する相談窓口の認知状況

「いいえ」が72.5%

問 42. 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(〇は1つ)



10. 介護予防リスクについて

(1) 運動器の機能低下

「低下は見られない」が90.1%



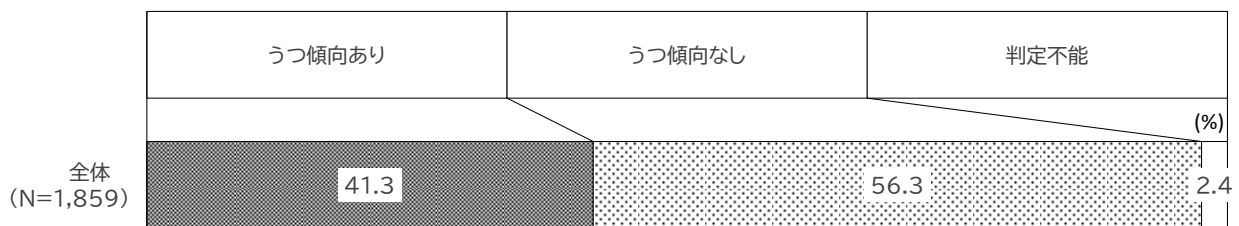
■運動器の機能評価

問9～13のうち、3問以上該当する選択肢が回答された場合、運動器の機能に低下が見られると判断

設問	該当する選択肢
問9 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。	「できない」
問10 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。	
問11 15分位続けて歩いていますか。	
問12 過去1年間に転んだ経験がありますか。	「何度もある」または「1度ある」
問13 転倒に対する不安は大きいですか。	「とても不安である」または「やや不安である」

(2) うつ傾向

「うつ傾向なし」が56.3%



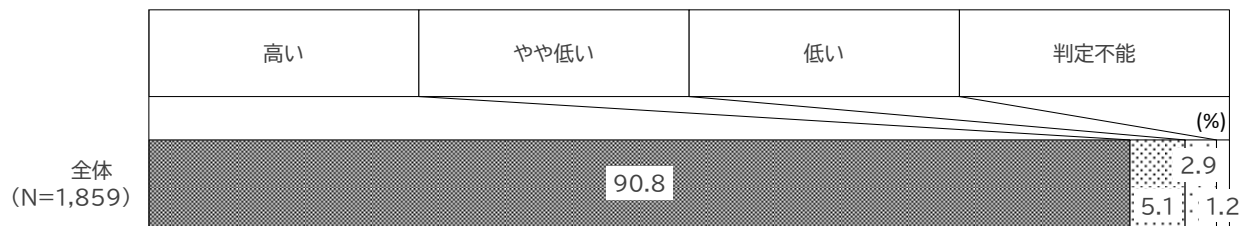
■うつ傾向の評価

問37、問38のいずれかで「はい」と回答された場合、うつ傾向であると評価する。

設問	該当する選択肢
問37 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。	「はい」
問38 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。	

(3) IADL (生活機能評価)

「高い」が90.8%



■手段的日常生活動作 (IADL) の評価

問21～25の選択肢ごとの配点による合計点で評価を行う。

5点を「高い」、4点を「やや低い」、3点以下を「低い」と評価する。

設問	選択肢ごとの配点
問21 バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)	「できるし、している」または 「できるけどしていない」：1点 「できない」：0点
問22 自分で食品・日用品の買物をしていますか。	
問23 自分で食事の用意をしていますか。	
問24 自分で請求書の支払いをしていますか。	
問25 自分で預貯金の出し入れをしていますか。	

Ⅲ 要介護・要支援認定者調査(調査C)

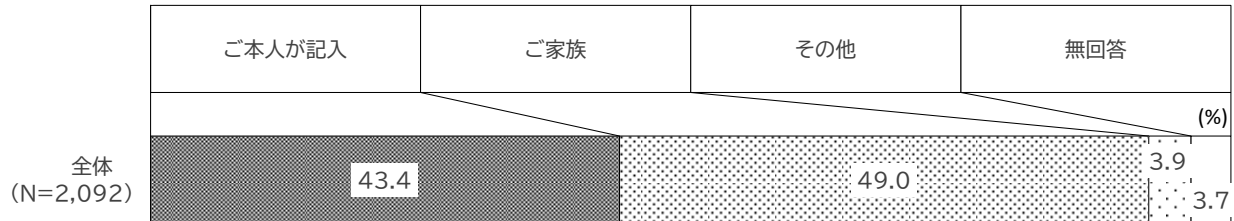
Ⅲ 要介護・要支援認定者調査 (調査C)

1. 回答者の属性 (状況) について

(1) 調査票の記入者

「ご家族」が49.0%、「ご本人が記入」が43.4%

問1. 調査票を記入されたのはどなたですか。(〇は1つ)



(2) 性別・年齢

問2. あなたの性別と令和4年10月1日現在の満年齢を記入してください。(〇は1つ、数値記述)

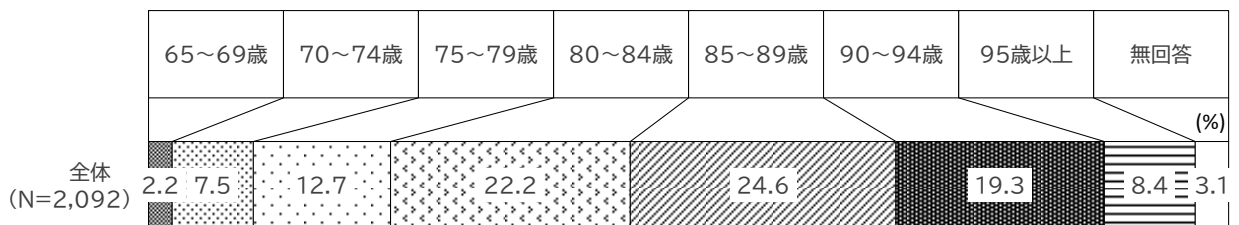
① 性別

「女性」が70.6%



② 満年齢

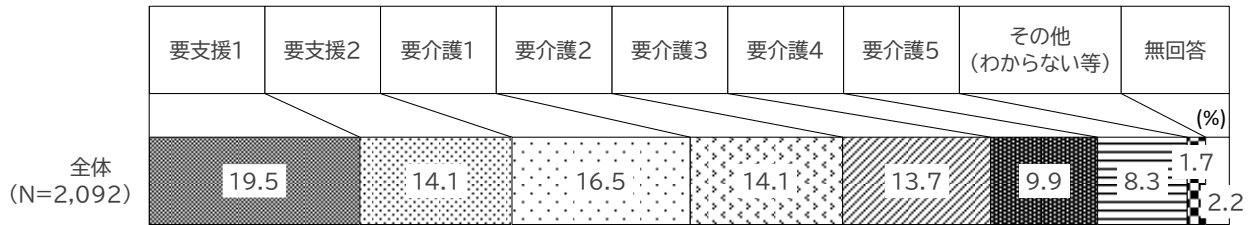
「85～89歳」が24.6%、「80～84歳」が22.2%



(3) 要介護度

「要支援1」が19.5%、「要介護1」が16.5%

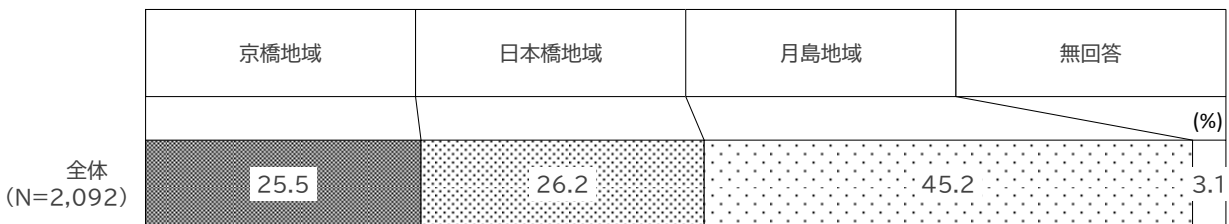
問3. あなたの現在の要介護度は何ですか。(〇は1つ)



(4) 居住地域

「月島地域」が45.2%、「日本橋地域」が26.2%

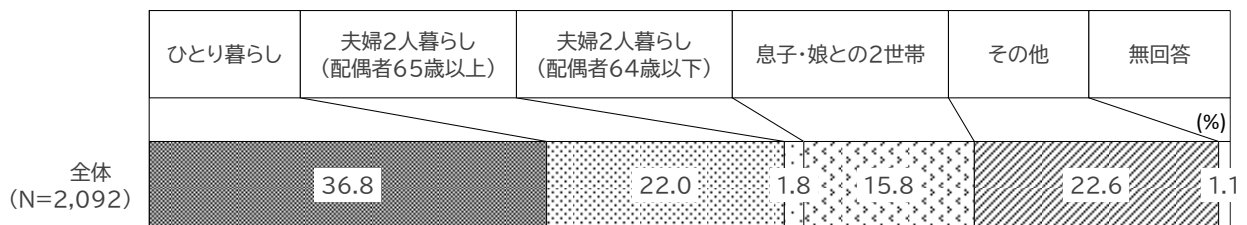
問4. あなたがお住まいになっている地域はどこですか。(〇は1つ)



(5) 家族構成

「ひとり暮らし」が36.8%、「夫婦2人暮らし」(配偶者65歳以上と64歳以下を合計した割合)が23.8%

問5. 家族構成をお教えてください。(〇は1つ)



<その他の回答>

- グループホーム ○介護施設 ○特別養護老人ホーム(特養) ○老人ホーム
- 父・母、息子・娘との3世帯 ○息子・娘、孫との3世帯 ○兄弟・姉妹との2人暮らし

性別で見ると、男性は女性と比べて、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」の割合が高い。女性は男性と比べて、「ひとり暮らし」、「息子・娘との2世帯」および「その他」の割合が高い。

年代別で見ると、75～84歳は他の年代と比べて、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」の割合が高い。85歳以上は他の年代と比べて、「ひとり暮らし」の割合が高い。

要介護度別で見ると、要介護度が上がるほど、「ひとり暮らし」の割合が低くなっている。

要介護3を除く他の要介護度では、要介護度が上がるほど、「息子・娘との2世帯」の割合が高くなっている。

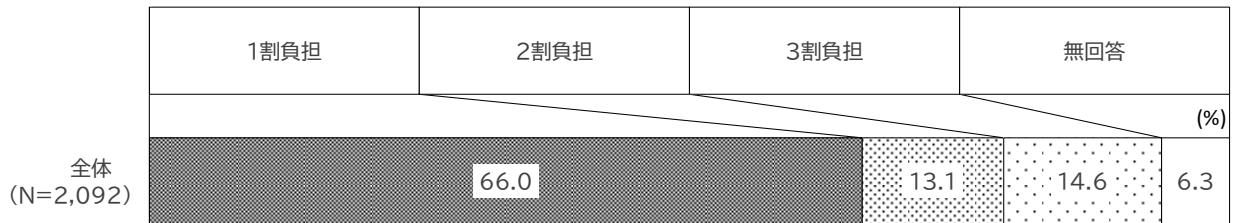
要介護4は他の要介護度と比べて、「その他」の割合が高い。

		調査数	ひとり暮らし	(夫婦2人暮らし65歳以上)	(夫婦2人暮らし64歳以下)	息子・娘との2世帯	その他	無回答
			(%)					
全 体		2,092	36.8	22.0	1.8	15.8	22.6	1.1
性別	男性	605	23.5	43.1	3.8	10.9	18.2	0.5
	女性	1,477	42.2	13.4	0.8	17.9	24.4	1.3
年代	65～74歳	202	30.7	27.2	5.4	14.9	21.8	0.0
	75～84歳	730	34.1	32.5	1.5	12.3	18.6	1.0
	85歳以上	1,095	40.2	14.0	0.8	18.2	25.6	1.3
要介護度	要支援1	408	45.6	25.7	2.9	6.9	17.2	1.7
	要支援2	295	43.1	23.4	0.7	11.9	20.3	0.7
	要介護1	345	37.4	23.2	2.0	18.3	18.6	0.6
	要介護2	294	33.7	25.9	1.7	19.7	18.7	0.3
	要介護3	286	32.5	19.9	0.7	17.8	28.3	0.7
	要介護4	208	26.0	13.0	1.9	21.6	36.1	1.4
	要介護5	173	24.9	17.9	2.3	24.3	30.1	0.6

(6) 介護保険の自己負担割合

「1割負担」が66.0%

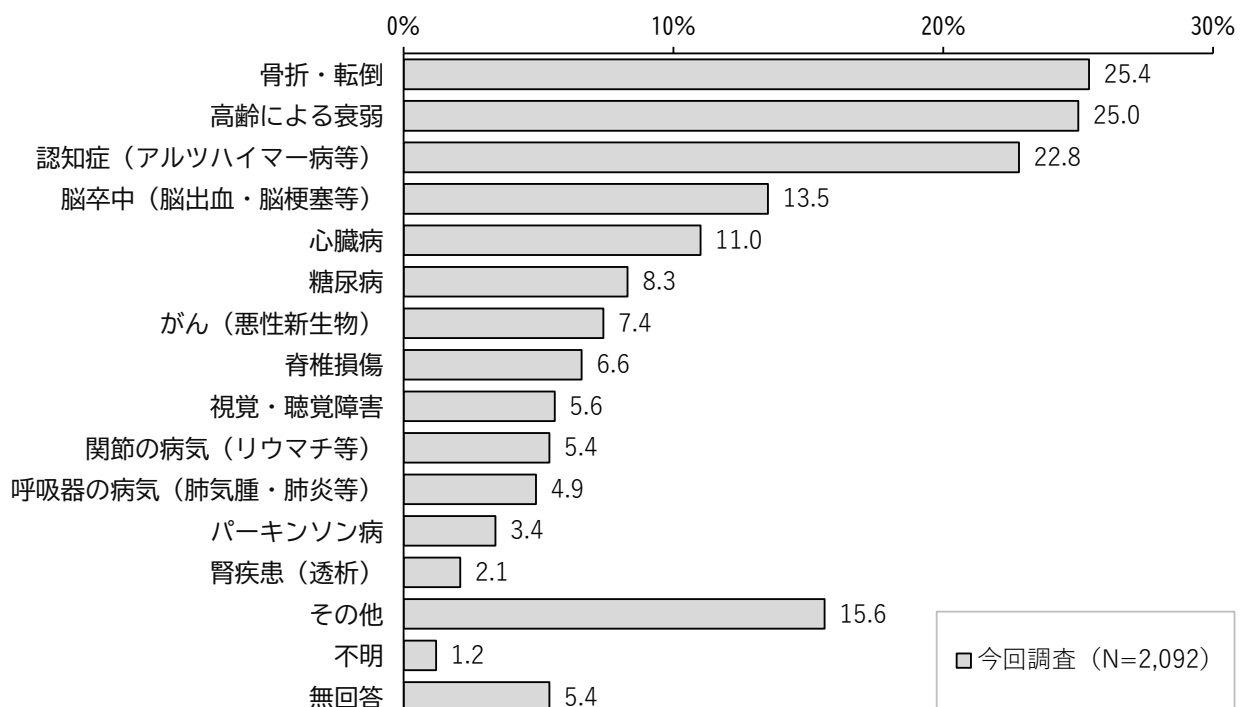
問6. 介護保険の自己負担割合を教えてください。(○は1つ)



(7) 介護・介助が必要になった原因

「骨折・転倒」が25.4%、「高齢による衰弱」が25.0%

問7. 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。【複数回答】



<その他の回答>

- アルコール依存症 ○うつ病 ○リウマチ ○胃ろう ○股関節の手術 ○交通事故
 ○高血圧 ○腰痛 ○脊柱管狭窄症 ○骨粗しょう症 ○歩行困難 ○膠原病

性別で見ると、男性は女性と比べて、「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」および「糖尿病」の割合が高い。女性は男性と比べて、「骨折・転倒」および「認知症（アルツハイマー病等）」の割合が高い。

年代別で見ると、65～74歳は他の年代と比べて、「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」の割合が高い。85歳以上は他の年代と比べて、「骨折・転倒」、「高齢による衰弱」および「認知症（アルツハイマー病等）」の割合が高い。

要介護度別で見ると、要介護4は他の要介護度と比べて、「骨折・転倒」の割合が高い。要介護3以上では、「認知症（アルツハイマー病等）」の割合が約4割を占めている。

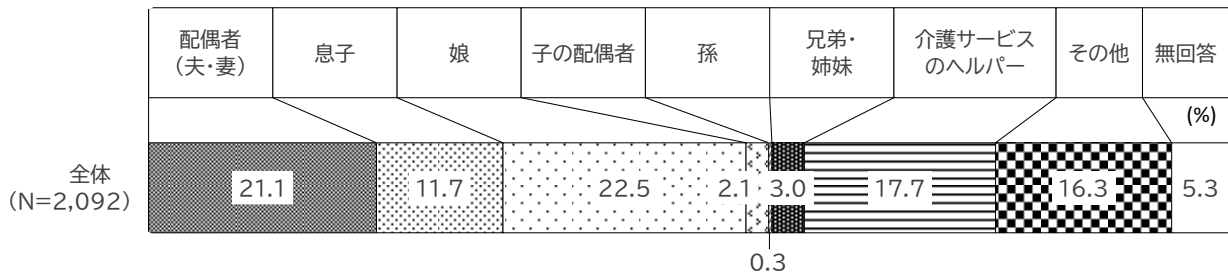
		調査数	骨折・転倒	高齢による衰弱	認知症 (アルツハイマー病等)	脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	心臓病	糖尿病	がん (悪性新生物)	脊椎損傷	(%)
全 体		2,092	25.4	25.0	22.8	13.5	11.0	8.3	7.4	6.6	
性別	男性	605	15.5	24.5	19.2	23.0	14.0	13.4	10.7	7.1	
	女性	1,477	29.4	25.5	24.4	9.6	9.7	6.2	6.0	6.4	
年代	65～74歳	202	16.8	5.9	10.9	22.8	6.9	9.4	14.9	6.4	
	75～84歳	730	21.5	15.6	20.5	16.4	9.3	10.1	10.3	7.1	
	85歳以上	1,095	29.3	34.8	27.0	9.9	13.0	6.8	4.2	6.2	
要介護度	要支援1	408	20.6	17.9	3.4	11.3	9.1	6.9	7.1	7.1	
	要支援2	295	27.1	25.4	5.8	8.5	10.5	10.8	8.1	10.8	
	要介護1	345	26.4	28.1	19.1	9.9	14.8	9.3	8.4	4.3	
	要介護2	294	26.5	33.3	27.6	11.6	11.9	8.5	10.2	7.5	
	要介護3	286	22.7	19.9	44.1	17.5	7.3	7.7	5.2	5.2	
	要介護4	208	37.0	31.3	39.9	22.6	14.9	7.2	5.8	5.3	
	要介護5	173	20.8	28.3	48.0	23.7	9.8	6.9	5.2	6.4	

		調査数	視覚・聴覚障害	関節の病気 (リウマチ等)	呼吸器の病気 (肺炎等)	パーキンソン病	腎疾患 (透析)	その他	不明	無回答	(%)
全 体		2,092	5.6	5.4	4.9	3.4	2.1	15.6	1.2	5.4	
性別	男性	605	6.4	3.8	6.9	4.1	3.5	14.2	0.8	4.8	
	女性	1,477	5.3	6.1	4.0	3.1	1.5	16.1	1.3	5.8	
年代	65～74歳	202	2.5	7.9	3.0	5.4	4.5	19.3	1.5	3.0	
	75～84歳	730	3.6	6.0	4.4	4.7	2.6	17.4	1.4	7.1	
	85歳以上	1,095	7.6	4.4	5.6	1.9	1.1	13.6	1.0	4.9	
要介護度	要支援1	408	4.9	7.1	3.2	1.2	1.0	20.6	2.5	12.3	
	要支援2	295	5.1	10.8	6.1	1.7	2.7	17.6	1.4	8.8	
	要介護1	345	7.5	4.9	7.5	2.3	2.6	14.8	0.9	1.7	
	要介護2	294	5.8	3.4	4.4	3.7	2.7	11.6	0.3	1.0	
	要介護3	286	7.0	3.5	4.5	4.5	1.7	16.4	1.0	0.7	
	要介護4	208	6.7	1.4	4.3	4.3	1.0	16.8	0.0	0.0	
	要介護5	173	2.9	4.0	5.2	10.4	2.3	11.0	0.0	0.0	

(8) 主な介護・介助者

「娘」が22.5%、「配偶者(夫・妻)」が21.1%

問8. 主にあなたの介護、介助をしている方はどなたですか。(○は1つ)



<その他の回答>

○グループホーム、老人ホーム、介護施設の職員およびスタッフ

○いない ○甥 ○息子、娘 ○病院 ○訪問看護師

性別で見ると、男性は女性と比べて、「配偶者(夫・妻)」の割合が高い。女性は男性と比べて、「息子」、「娘」および「介護サービスのヘルパー」の割合が高い。

年代別で見ると、84歳以下は85歳以上の年代と比べて、「配偶者(夫・妻)」の割合が高い。85歳以上は84歳以下の年代と比べて、「娘」の割合が高い。

要介護度別で見ると、要介護1は他の要介護度と比べて、「娘」の割合が高い。要介護2は他の要介護度と比べて、「配偶者(夫・妻)」の割合が高い。要介護4以上は他の要介護度と比べて、「その他」の割合が高い。

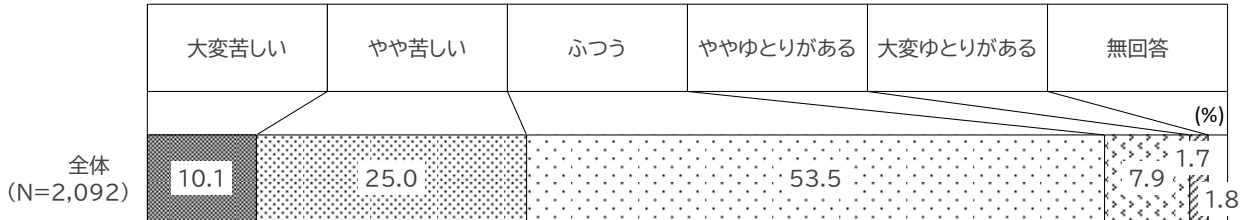
		調査数	配偶者(夫・妻)	息子	娘	子の配偶者	孫	兄弟・姉妹	介護サービスのヘルパー	その他	無回答
全体		2,092	21.1	11.7	22.5	2.1	0.3	3.0	17.7	16.3	5.3
性別	男性	605	46.9	7.3	11.1	1.3	0.2	2.0	13.4	14.4	3.5
	女性	1,477	10.6	13.5	27.0	2.4	0.3	3.4	19.6	17.3	6.0
年代	65~74歳	202	38.6	7.4	8.4	0.0	0.0	7.9	15.8	17.3	4.5
	75~84歳	730	29.7	9.9	19.3	1.0	0.0	3.0	16.0	15.3	5.8
	85歳以上	1,095	11.9	13.7	27.0	3.2	0.5	2.0	18.9	17.5	5.2
要介護度	要支援1	408	22.8	10.5	21.3	0.5	0.5	2.9	12.3	16.7	12.5
	要支援2	295	20.0	11.5	22.0	2.4	0.0	3.7	17.6	12.5	10.2
	要介護1	345	21.7	13.6	30.4	2.9	0.3	2.6	18.8	8.4	1.2
	要介護2	294	29.3	14.6	21.4	4.8	0.0	2.4	16.3	10.2	1.0
	要介護3	286	21.0	10.1	25.5	1.0	0.7	3.1	19.6	18.5	0.3
	要介護4	208	12.0	11.5	19.7	1.0	0.0	3.4	21.6	30.8	0.0
	要介護5	173	19.1	8.7	15.0	1.7	0.6	1.7	24.9	28.3	0.0

2. 家族・生活状況について

(1) 経済的な生活感

「ふつう」が53.5%、「苦しい」(「大変苦しい」と「やや苦しい」を合計した割合)が35.1%

問9. あなたは、現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(○は1つ)

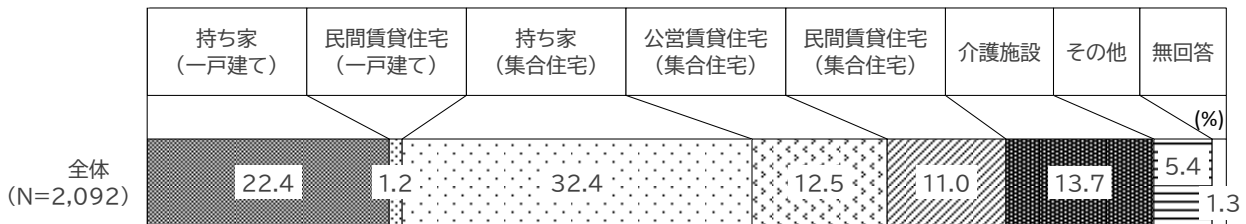


(2) 住宅状況

① 住宅の種類

「持ち家 (集合住宅)」が32.4%、「持ち家 (一戸建て)」が22.4%

問10. あなたのお住まいは、下記のどの種類にあてはまりますか。(○は1つ)



<その他の回答>

○グループホーム ○持ちビル ○社宅

地域別で見ると、日本橋地域は他の地域と比べて、「持ち家 (一戸建て)」の割合がやや高い。月島地域は他の地域と比べて、「公営賃貸住宅 (集合住宅)」の割合が高い。

		調査数	(持ち家一戸建て)	(民間賃貸住宅一戸建て)	(持ち家集合住宅)	(公営賃貸住宅集合住宅)	(民間賃貸住宅集合住宅)	介護施設	その他	無回答
全体		2,092	22.4	1.2	32.4	12.5	11.0	13.7	5.4	1.3
地域	京橋	534	26.8	1.5	36.7	5.4	10.3	12.7	5.6	0.9
	日本橋	548	31.4	1.5	39.4	2.6	10.6	8.2	5.1	1.3
	月島	946	16.0	1.1	27.8	23.0	12.2	13.5	5.0	1.5

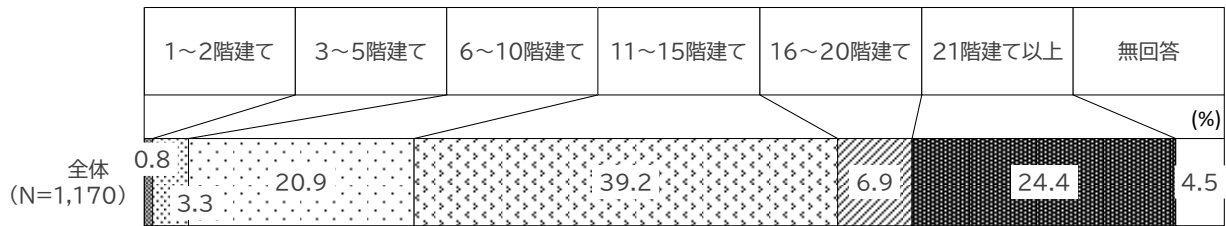
② 建物全体の階数・居住階数

- ・建物全体の階数は「11～15階建て」が39.2%、「21階建て以上」が24.4%
- ・居住階は「6～10階」が31.5%、「3～5階」が26.6%

【問10で集合住宅（「3. 持ち家（集合住宅）」、「4. 公営賃貸住宅（集合住宅）」または「5. 民間賃貸住宅（集合住宅）」）と回答の方】

問10-1. あなたのお住まいは、何階建ての何階ですか。（数値回答）

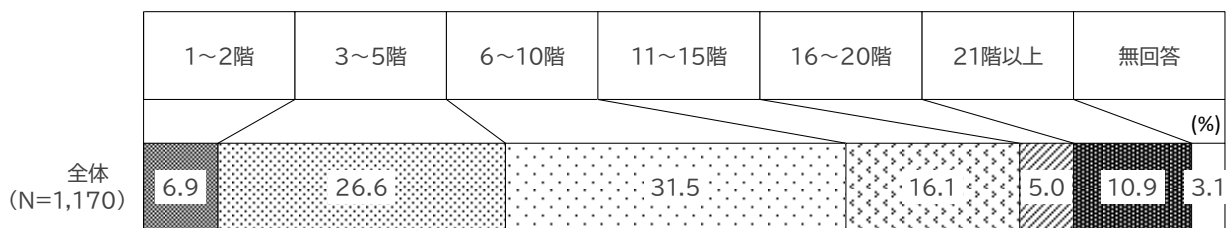
■建物全体の階数



居住地域別で見ると、月島地域は他の地域と比べて、「21階建て以上」の割合が高い。

		調査数	1 ＼ 2 階 建 て	3 ＼ 5 階 建 て	6 ＼ 10 階 建 て	11 ＼ 15 階 建 て	16 ＼ 20 階 建 て	21 階 建 て 以 上	無 回 答
全 体		1,170	0.8	3.3	20.9	39.2	6.9	24.4	4.5
地 域	京橋	280	0.4	3.9	26.1	50.4	5.0	9.3	5.0
	日本橋	288	0.3	6.9	31.9	50.0	3.8	5.6	1.4
	月島	596	1.0	1.2	12.8	29.2	9.4	40.8	5.7

■居住階数



地域別で見ると、日本橋地域は他の地域と比べて、「3～5階」の割合が高い。月島地域は他の地域と比べて、「21階以上」の割合が高い。

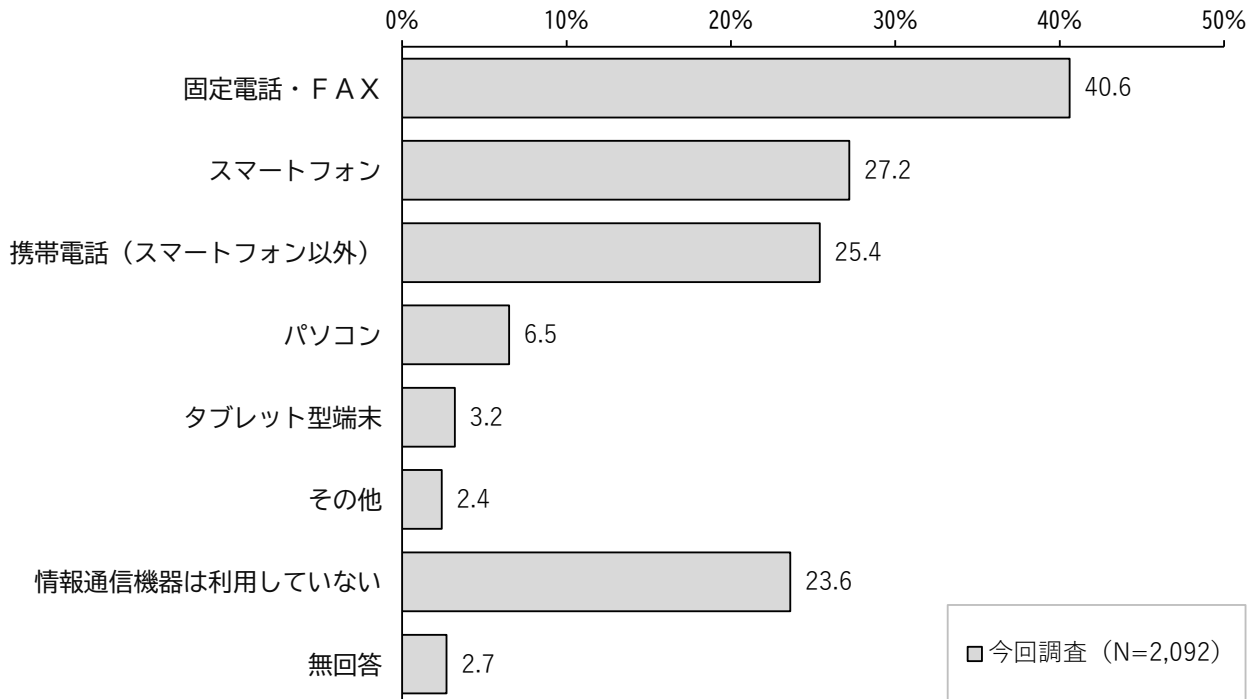
		調査数	1 ＼ 2 階	3 ＼ 5 階	6 ＼ 10 階	11 ＼ 15 階	16 ＼ 20 階	21 階 以 上	無 回 答
全 体		1,170	6.9	26.6	31.5	16.1	5.0	10.9	3.1
地 域	京橋	280	6.8	27.1	39.6	16.8	2.9	2.9	3.9
	日本橋	288	10.8	36.1	32.3	17.0	1.4	1.7	0.7
	月島	596	4.9	21.8	27.3	15.4	7.7	19.1	3.7

(3) 情報通信機器の使用

① 利用している情報機器

「固定電話・FAX」が40.6%、「スマートフォン」が27.2%

問11. あなたは、ふだんどのような情報通信機器を利用していますか。【複数回答】



Ⅲ 要介護・要支援認定者調査(調査C)

性別で見ると、男性は女性と比べて、「スマートフォン」および「パソコン」の割合が高い。女性は男性と比べて、「情報通信機器は利用していない」の割合が高い。

年代別で見ると、65～74歳は他の年代と比べて、「スマートフォン」および「パソコン」の割合が高い。85歳以上は他の年代と比べて、「情報通信機器は利用していない」の割合が高い。

要介護度別で見ると、要介護4以下では、要介護度が上がるほど「固定電話・FAX」および「スマートフォン」の割合が低くなっている。要介護3以上では他の要介護度と比べて、「情報通信機器は利用していない」の割合が高い。

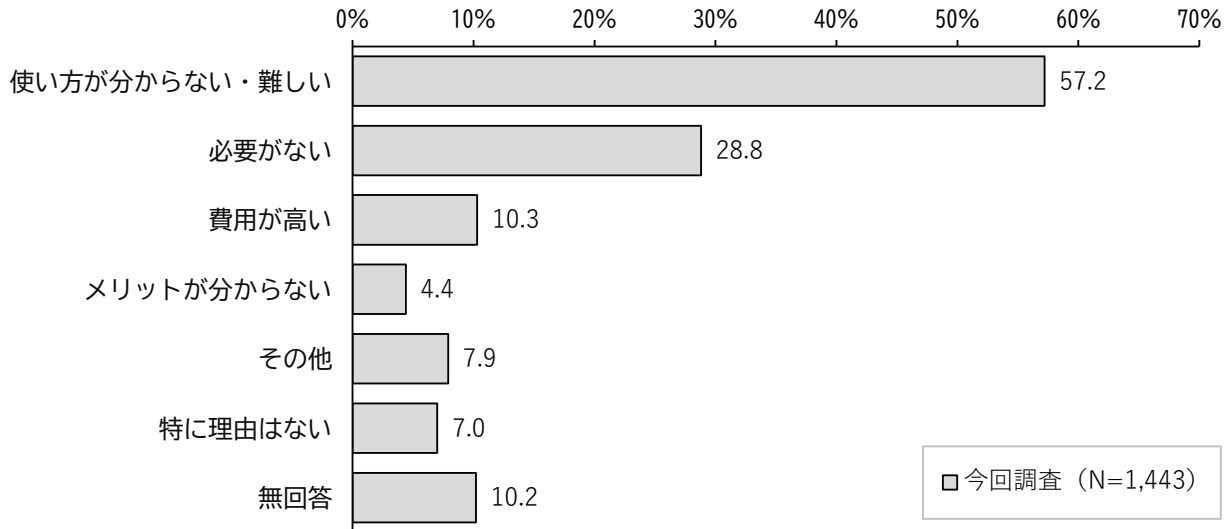
		調査数	固定電話・FAX	スマートフォン	携帯電話以外(スマートフォン)	パソコン	タブレット型端末	その他	情報通信機器は利用していない	無回答
全体		2,092	40.6	27.2	25.4	6.5	3.2	2.4	23.6	2.7
性別	男性	605	38.8	31.7	24.1	12.9	4.3	2.5	20.0	2.8
	女性	1,477	41.2	25.3	26.0	3.9	2.8	2.3	25.2	2.6
年代	65～74歳	202	32.7	56.4	21.8	16.8	8.4	1.0	10.4	3.0
	75～84歳	730	40.7	36.7	27.1	9.3	4.0	2.3	17.5	2.3
	85歳以上	1,095	41.9	15.7	25.0	2.6	1.9	2.6	30.5	2.7
要介護度	要支援1	408	51.2	40.2	28.7	10.5	5.4	1.7	5.9	2.0
	要支援2	295	48.5	37.6	33.9	9.8	4.7	1.7	7.1	3.7
	要介護1	345	49.9	30.4	30.4	9.0	4.1	2.6	13.9	1.7
	要介護2	294	43.2	26.5	28.6	4.4	2.4	2.4	18.4	1.4
	要介護3	286	32.2	13.6	19.6	2.8	1.4	3.1	42.7	2.1
	要介護4	208	16.3	13.0	13.5	1.4	0.5	2.9	55.8	3.4
	要介護5	173	17.9	15.0	10.4	2.3	2.3	4.0	55.5	4.0

② スマートフォンを使用していない理由

「使い方が分からない・難しい」が57.2%、「必要がない」が28.8%

【問11で「3. 携帯電話（スマートフォン以外）」、「4. パソコン」、「5. 固定電話・FAX」、「6. その他」、「7. 情報通信機器は利用していない」と答えた方で、スマートフォンとタブレット端末を利用していない方】

問11-1. スマートフォンを利用していない理由は何ですか。【複数回答】



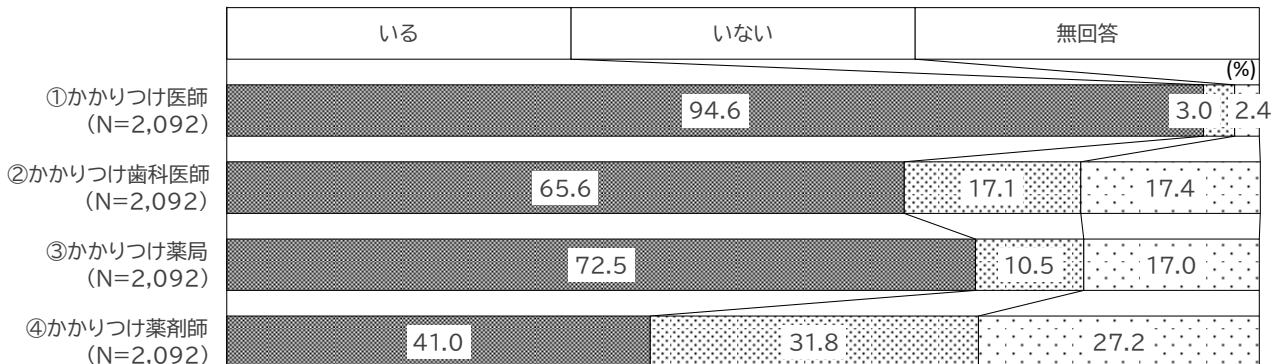
<その他の回答>

- 使えない、使用できない ○視覚障害 ○耳が遠いため ○手足が不自由 ○認知症

(4) かかりつけ医の有無

①かかりつけ医師については「いる」が94.6%
 ②かかりつけ歯科医師については「いる」が65.6%
 ③かかりつけ薬局については「いる」が72.5%
 ④かかりつけ薬剤師については「いる」が41.0%

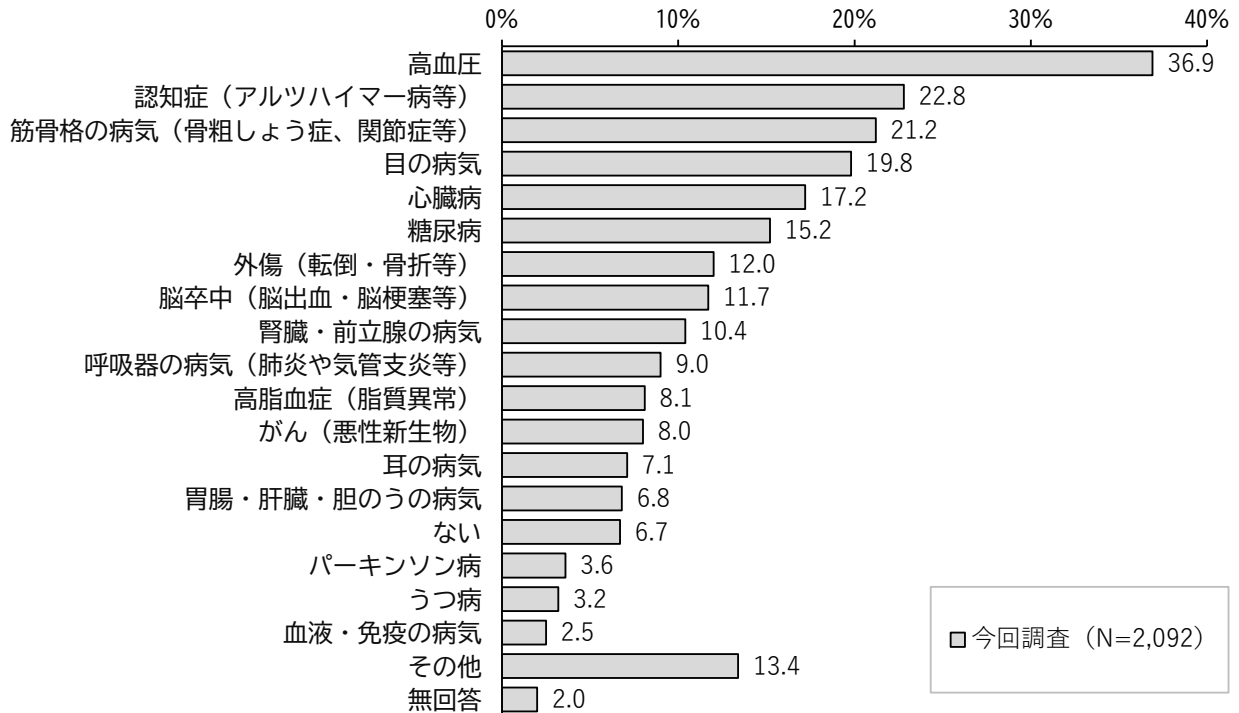
問12. あなたは、普段から治療を受けたり、日常の健康についての相談・指導を受けることができる、かかりつけの医師、歯科医師、薬局、薬剤師がいますか。(○はそれぞれ1つ)



(5) 現在治療中または後遺症のある病気

「高血圧」が36.9%、「認知症（アルツハイマー病等）」が22.8%

問 13. あなたは現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。【複数回答】



<その他の回答>

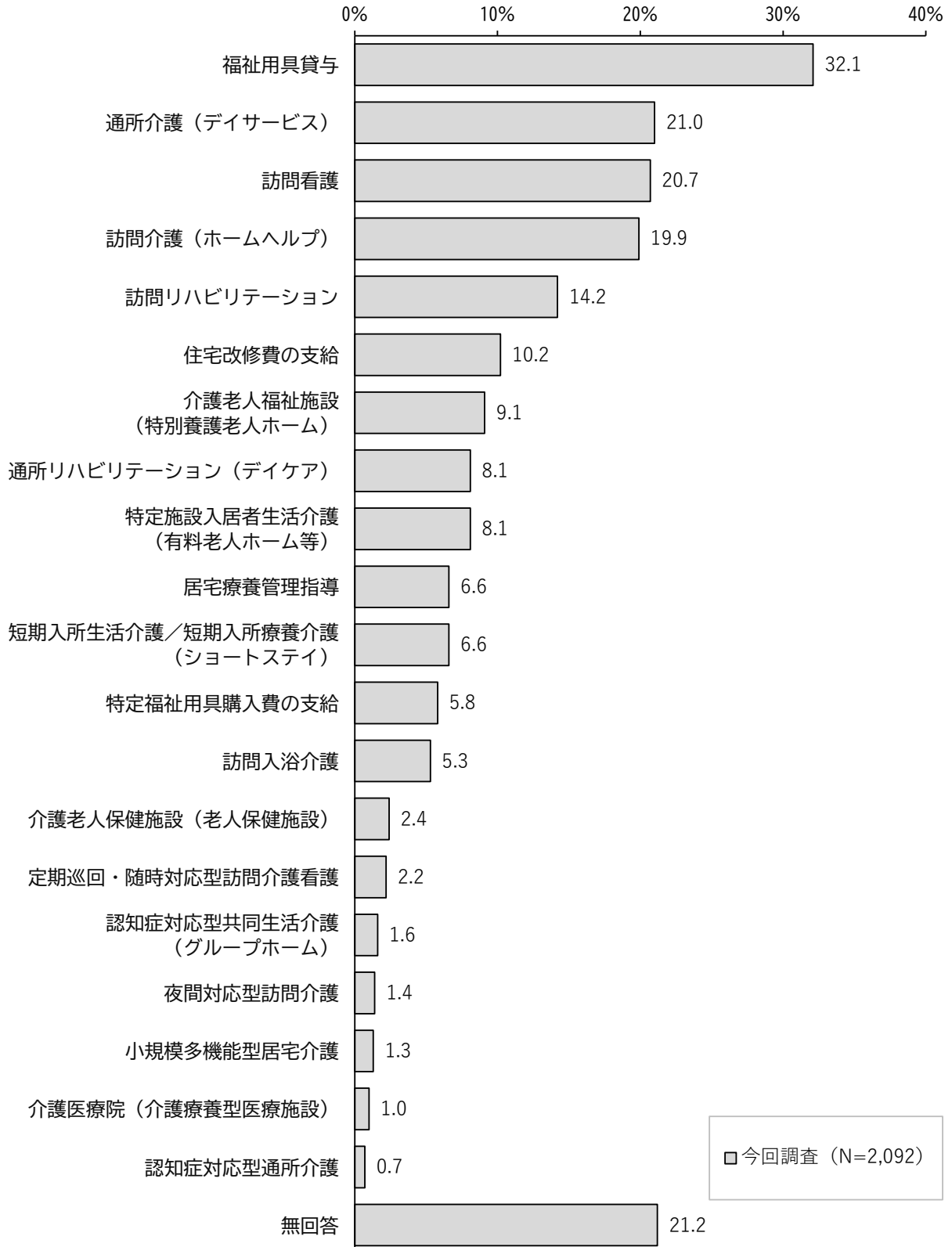
- リウマチ
 後縦靭帯骨化症
 甲状腺（橋本病）
 高次脳機能障害
 腰痛
 歯
心不全
心房細動
脊柱管狭窄症
多系統萎縮症
便秘
歩行困難
膠原病

3. 介護サービスについて

(1) 現在利用している介護保険サービス

「福祉用具貸与」が32.1%、「通所介護（デイサービス）」が21.0%

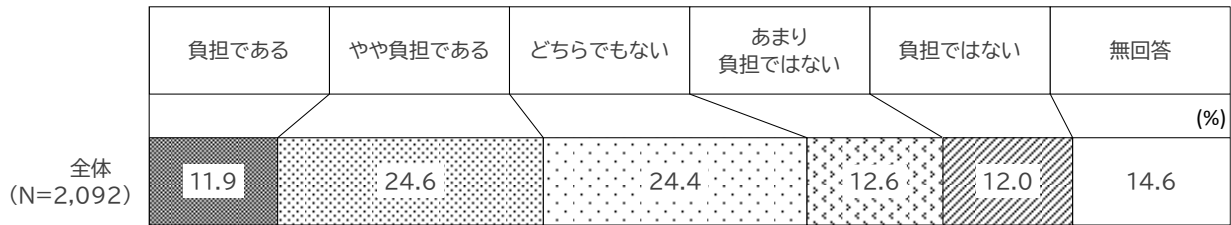
問14. 現在、あなたが利用している介護保険サービス(介護予防サービスを含む。)は何ですか。【複数回答】



(2) 介護保険サービス利用料の負担感

「やや負担である」が24.6%、「どちらでもない」が24.4%

問 15. 現在利用されている介護保険サービスの利用料は、あなたにとってどの程度負担ですか。(○は1つ)



要介護度別で見ると、要介護2以上は他の要介護度と比べて、「負担である」の割合が高い。要支援1および2は他の要介護度と比べて、「負担ではない」の割合が高い。

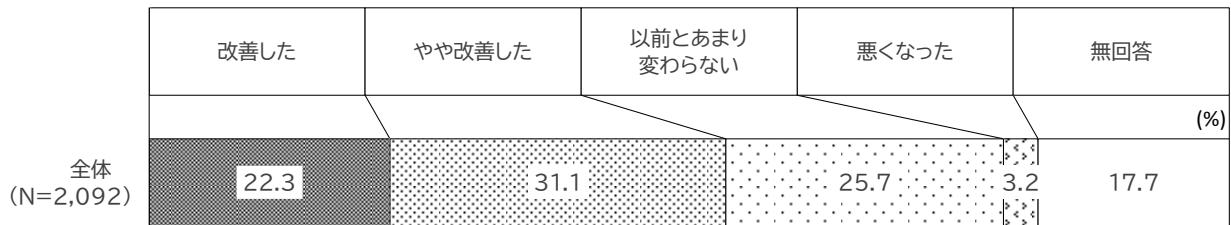
家族構成別で見ると、夫婦2人暮らしは他の家族構成と比べて、「あまり負担ではない」の割合が高い。

		調査数	負担である	やや負担である	どちらでもない	あまり負担ではない	負担ではない	無回答
全 体		2,092	11.9	24.6	24.4	12.6	12.0	14.6
要介護度	要支援1	408	4.9	12.5	20.8	14.7	15.4	31.6
	要支援2	295	7.5	18.6	20.0	13.9	18.6	21.4
	要介護1	345	8.1	27.0	29.3	16.2	10.4	9.0
	要介護2	294	15.3	29.3	27.2	13.3	10.5	4.4
	要介護3	286	19.6	32.2	25.2	8.7	9.8	4.5
	要介護4	208	19.7	35.6	22.6	9.6	8.7	3.8
	要介護5	173	19.1	31.8	28.9	8.7	4.0	7.5
家族構成	ひとり暮らし	769	11.7	23.7	25.7	10.4	13.4	15.1
	夫婦2人暮らし	497	8.7	21.9	22.9	16.3	12.3	17.9
	息子・娘との2世帯	331	14.8	28.1	25.1	12.4	10.6	9.1
	その他	472	13.8	27.1	23.1	12.1	10.4	13.6

(3) サービス利用後の生活環境、身体状況の変化

「やや改善した」が31.1%、「以前とあまり変わらない」が25.7%

問 16. 介護保険サービスを利用するようになってから、あなたの生活環境や身体状況はどのようになりましたか。(○は1つ)



要介護度別で見ると、要介護2以上は他の要介護度と比べて、「改善した」の割合が高い。要介護1から3は他の要介護度と比べて、「やや改善した」の割合が高い。要介護度が上がると、「悪くなった」の割合が高くなっている。

利用サービス別で見ると、居宅サービスは他の利用サービスと比べて、「やや改善した」の割合が高い。居住系サービスは他の利用サービスと比べて、「改善した」の割合が高い。施設サービスは他の利用サービスと比べて、「悪くなった」の割合が高い。

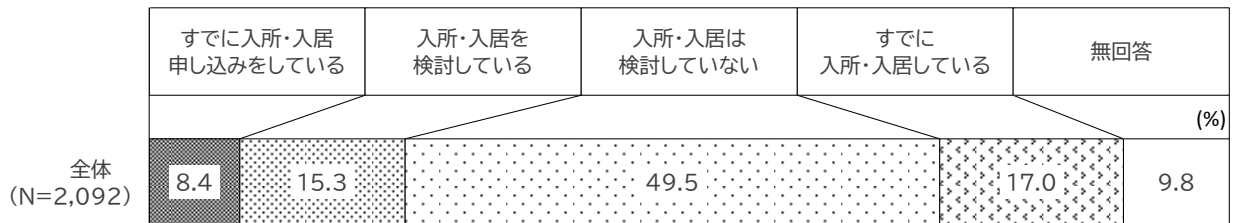
		調査数	改善した	やや改善した	変以前とあまり変わらない	悪くなった	無回答
全 体		2,092	22.3	31.1	25.7	3.2	17.7
要介護度	要支援1	408	14.0	22.8	24.5	1.5	37.3
	要支援2	295	19.3	30.2	24.1	1.0	25.4
	要介護1	345	20.9	38.3	27.8	1.4	11.6
	要介護2	294	26.2	37.8	25.9	2.4	7.8
	要介護3	286	29.0	35.0	26.2	3.5	6.3
	要介護4	208	26.9	30.8	28.8	7.2	6.3
利用サービス	要介護5	173	29.5	26.0	25.4	11.0	8.1
	未利用	443	5.4	8.4	17.4	0.7	68.2
	居宅サービス	1,271	24.6	41.5	27.2	2.4	4.2
	居住系サービス	198	42.4	23.2	26.3	5.1	3.0
	施設サービス	256	27.7	27.0	30.5	10.2	4.7

(4) 施設等への入所・入居の検討状況

① 施設等への入所・入居の検討状況

「入所・入居は検討していない」が49.5%

問17. あなたは、施設等への入所・入居を検討していますか。(○は1つ)



要介護度別で見ると、要介護2は他の要介護度と比べて、「入所・入居を検討している」の割合が高い。要介護3以上は他の要介護度と比べて、「すでに入所・入居申し込みをしている」の割合が高い。要介護4および5は他の要介護度と比べて、「すでに入所・入居している」の割合が高い。

家族構成別で見ると、夫婦2人暮らしおよび息子・娘との2世帯は他の家族構成と比べて、「入所・入居は検討していない」の割合が高い。その他は他の家族構成と比べて、「すでに入所・入居している」の割合が高い。

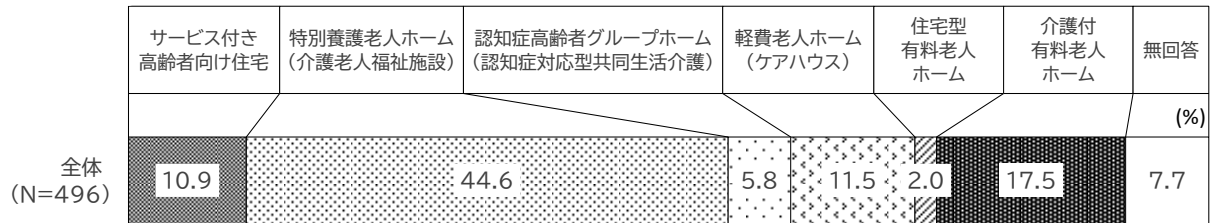
		調査数	すでに申し込みを所して入居する	検入所して入居を	検入所して入居ない	入すでに入居している	無回答
全体		2,092	8.4	15.3	49.5	17.0	9.8
要介護度	要支援1	408	1.5	15.0	58.1	6.6	18.9
	要支援2	295	2.4	16.9	58.3	6.8	15.6
	要介護1	345	3.8	16.5	65.2	9.3	5.2
	要介護2	294	6.5	22.8	52.0	12.2	6.5
	要介護3	286	19.6	16.1	36.7	24.5	3.1
	要介護4	208	19.7	8.2	26.9	42.8	2.4
家族構成	ひとり暮らし	769	8.6	19.1	43.7	17.6	11.1
	夫婦2人暮らし	497	5.0	16.7	57.9	8.2	12.1
	息子・娘との2世帯	331	7.9	12.1	60.4	13.6	6.0
	その他	472	12.1	10.6	43.2	26.9	7.2

② 希望する施設等の種類

「特別養護老人ホーム（介護老人福祉施設）」が44.6%、「介護付有料老人ホーム」が17.5%

【問17で「1. すでに入所・入居申し込みをしている」または「2. 入所・入居を検討している」と回答の方】

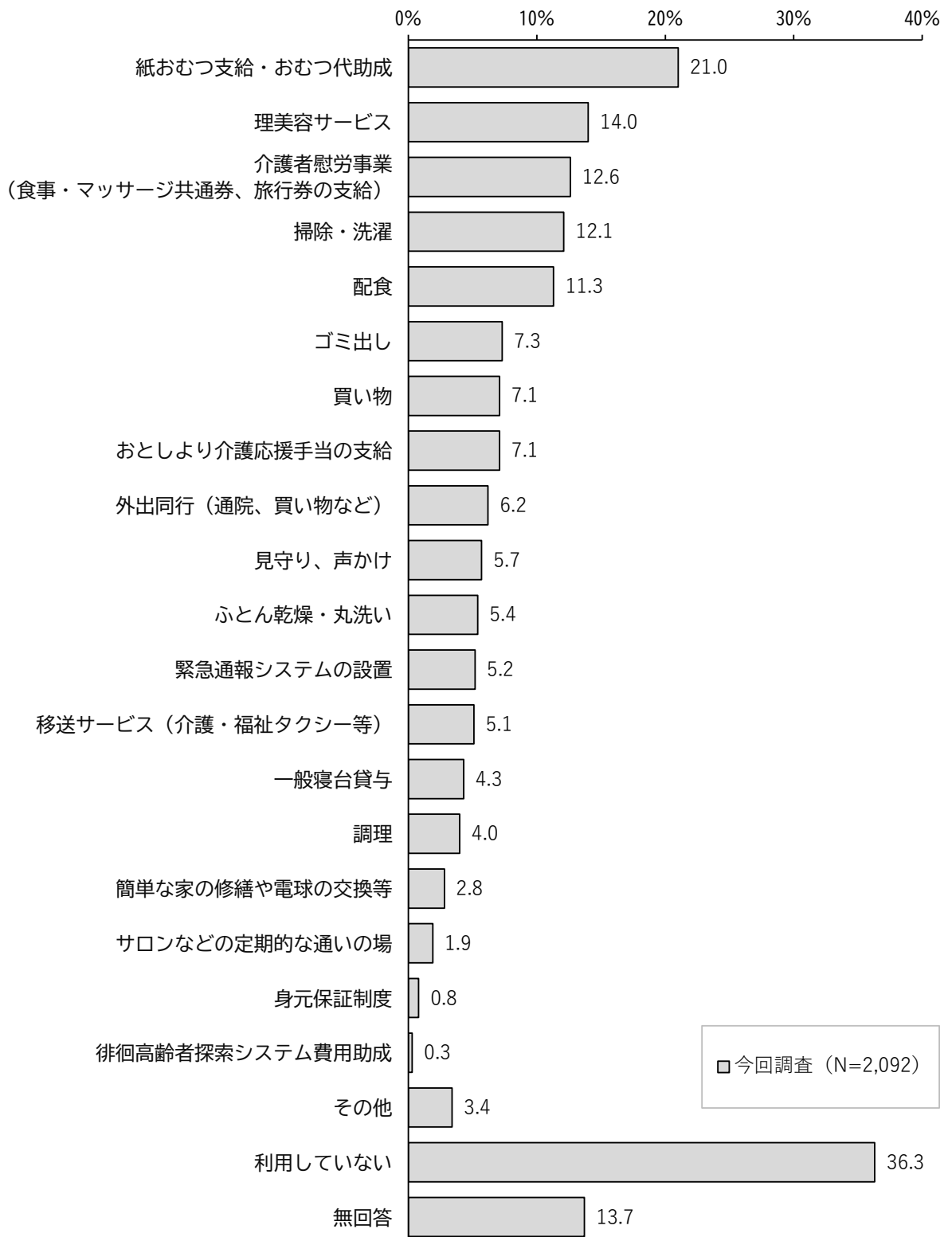
問17-1. 希望する施設等の種類は次のどれですか。(○は1つ)



(5) 現在利用している介護保険外サービス

「紙おむつ支給・おむつ代助成」が21.0%、「理美容サービス」が14.0%

問 18. あなたが、現在利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスは何ですか。【複数回答】



要介護度別で見ると、要介護2以上は他の要介護度と比べて、「紙おむつ支給・おむつ代助成」、「理美容サービス」および「介護者慰労事業（食事・マッサージ共通券、旅行券の支給）」の割合が高い。要介護3以上は他の要介護度と比べて、「おとしより介護応援手当の支給」の割合が高い。

家族構成別で見ると、ひとり暮らしは他の家族構成と比べて、「掃除・洗濯」、「配食」、「ゴミ出し」および「緊急通報システムの設置」の割合が高い。息子・娘との2世帯は他の家族構成と比べて、「紙おむつ支給・おむつ代助成」の割合が高い。

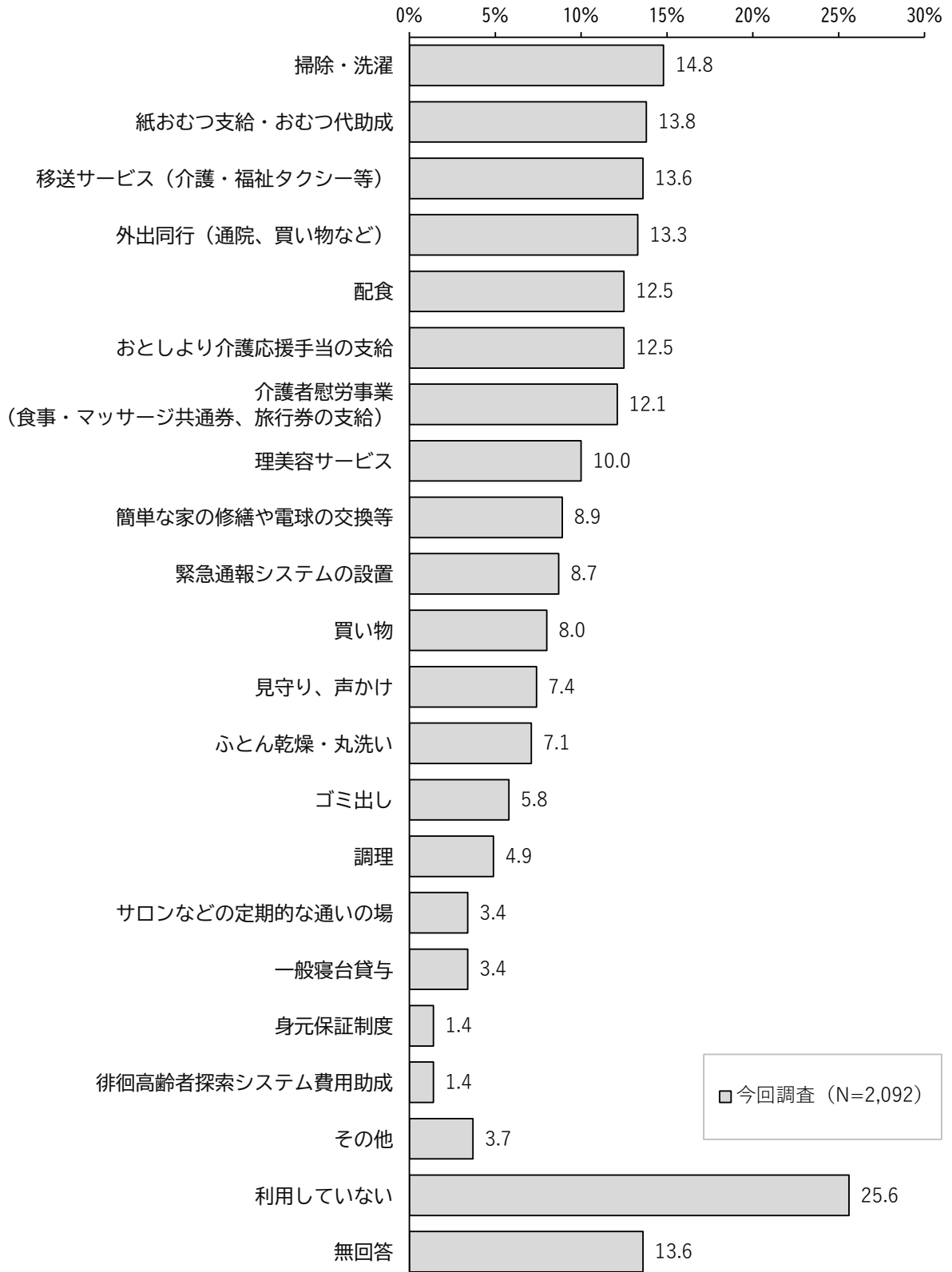
		(%)											
		調査数	紙おむつ支給・おむつ代助成	理美容サービス	介護者慰労事業（食事・マッサージ共通券の支給）	掃除・洗濯	配食	ゴミ出し	買い物	おとしより介護応援手当の支給	外出同行（通院、買い物など）	見守り、声かけ	ふとん乾燥・丸洗い
全 体		2,092	21.0	14.0	12.6	12.1	11.3	7.3	7.1	7.1	6.2	5.7	5.4
要介護度	要支援1	408	1.2	2.2	2.0	11.8	7.6	4.2	3.9	1.0	2.9	4.7	3.2
	要支援2	295	7.8	5.4	6.4	11.9	7.8	7.1	6.4	0.7	5.1	4.4	3.7
	要介護1	345	3.8	6.7	2.0	14.5	16.5	11.3	9.3	0.9	9.6	7.0	5.2
	要介護2	294	35.0	19.7	23.5	14.6	15.0	10.5	8.8	3.7	9.5	6.8	8.8
	要介護3	286	45.1	25.9	28.7	10.8	11.2	4.9	5.9	20.6	5.6	6.6	8.4
	要介護4	208	43.8	27.9	20.2	9.1	9.6	5.8	7.2	19.2	6.3	4.8	4.8
家族構成	要介護5	173	39.9	28.9	20.2	10.4	12.1	7.5	8.1	17.3	4.0	5.2	5.8
	ひとり暮らし	769	14.3	12.0	6.0	18.9	16.5	12.0	9.5	4.0	7.9	8.6	7.0
	夫婦2人暮らし	497	22.1	12.9	17.5	9.7	9.3	5.8	6.8	8.7	5.6	3.8	4.8
	息子・娘との2世帯	331	29.9	16.0	19.6	6.0	6.9	2.4	3.9	10.3	3.9	3.0	3.9
その他	472	24.6	17.6	14.0	7.6	8.1	4.7	5.5	8.7	5.1	4.7	4.7	

		(%)												
		調査数	緊急通報システムの設置	社移タクシーサービス（介護・福祉）	一般寝台貸与	調理	簡単な家の修繕や電球の交換等	いサロンの場	身元保証制度	費用助成	徘徊高齢者探索システム	その他	利用していない	無回答
全 体		2,092	5.2	5.1	4.3	4.0	2.8	1.9	0.8	0.3	3.4	36.3	13.7	
要介護度	要支援1	408	4.7	1.2	1.5	2.9	3.2	1.7	1.2	0.0	4.2	46.1	19.1	
	要支援2	295	6.4	3.4	4.1	2.4	1.7	2.7	0.7	0.0	4.1	41.7	15.6	
	要介護1	345	7.8	3.2	4.1	4.3	3.5	2.9	0.6	0.3	1.2	46.1	12.2	
	要介護2	294	5.4	5.1	6.8	6.8	3.7	2.0	0.0	0.3	3.1	27.2	8.5	
	要介護3	286	4.2	8.0	3.8	2.8	1.4	0.7	0.7	0.7	4.2	24.8	9.1	
	要介護4	208	3.8	10.6	6.3	4.3	1.9	1.0	1.9	0.5	4.3	25.0	11.5	
家族構成	要介護5	173	3.5	9.2	6.9	5.2	1.7	1.7	0.0	0.6	3.5	30.1	14.5	
	ひとり暮らし	769	9.0	4.7	5.1	3.5	4.7	2.6	1.3	0.7	3.9	32.6	12.6	
	夫婦2人暮らし	497	3.6	6.0	6.2	5.0	2.0	1.2	0.2	0.0	3.2	34.4	17.5	
	息子・娘との2世帯	331	1.2	5.1	2.7	2.7	0.3	2.4	0.6	0.3	3.9	43.2	7.9	
その他	472	3.6	4.7	2.3	4.2	2.1	1.1	0.6	0.0	2.5	39.8	14.2		

(6) 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

「掃除・洗濯」が14.8%、「紙おむつ支給・おむつ代助成」が13.8%

問 19. あなたが、今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）は何ですか。【複数回答：3つまで】



利用サービス別で見ると、居宅サービスは他の利用サービスと比べて、「掃除・洗濯」、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」、「外出同行(通院、買い物など)」、「配食」、「おとしより介護応援手当の支給」および「介護者慰労事業(食事・マッサージ共通券、旅行券の支給)」の割合が高い。居住系サービスは施設サービスと比べて、「紙おむつ支給・おむつ代助成」および「理美容サービス」の割合が高い。未利用および居宅サービスは他の利用サービスと比べて、「簡単な家の修繕や電球の交換等」の割合が高い。

		調査数	掃除・洗濯	紙おむつ支給・おむつ代助成	移送サービス(介護・福祉タクシー等)	外出同行(通院、買い物など)	配食	おとしより介護応援手当の支給	介護者慰労事業(食事・マッサージ共通券、旅行券の支給)	理美容サービス	簡単な家の修繕や電球の交換等	緊急通報システムの設置	買い物
全体		2,092	14.8	13.8	13.6	13.3	12.5	12.5	12.1	10.0	8.9	8.7	8.0
利用サービス	未利用	443	12.0	7.9	8.4	9.7	8.6	8.1	9.5	5.4	10.2	7.9	7.0
	居宅サービス	1,271	19.1	17.1	17.1	16.5	16.2	15.3	14.8	12.6	10.5	10.5	10.1
	居住系サービス	198	7.6	15.7	11.1	11.6	9.6	9.1	5.1	10.6	3.0	3.5	4.0
	施設サービス	256	4.3	8.6	9.0	7.0	6.6	9.4	9.4	6.3	3.5	4.3	3.5

		調査数	見守り、声かけ	ふとん乾燥・丸洗い	ゴミ出し	調理	サロンなどの定期的な通い	一般寝台貸与	身元保証制度	徘徊高齢者探索システム費用助成	その他	特になし	無回答
全体		2,092	7.4	7.1	5.8	4.9	3.4	3.4	1.4	1.4	3.7	25.6	13.6
利用サービス	未利用	443	5.6	5.2	4.3	3.8	3.8	1.1	1.8	0.7	3.8	24.6	24.6
	居宅サービス	1,271	8.7	9.5	7.6	6.3	4.0	4.8	1.2	1.7	3.6	20.2	7.3
	居住系サービス	198	9.6	3.0	3.0	2.5	2.5	3.5	3.5	1.5	5.6	32.3	19.2
	施設サービス	256	4.3	2.0	1.2	1.2	0.4	2.0	0.8	0.8	2.7	47.7	21.5

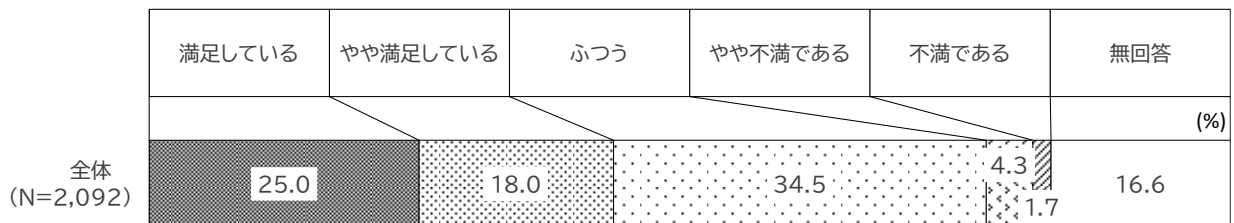
4. サービスのあり方について

(1) ケアプラン

① ケアプランの満足度

「ふつう」が34.5%、「満足している」が25.0%

問20. あなたは、現在の介護サービス計画書（ケアプラン）に満足していますか。（○は1つ）

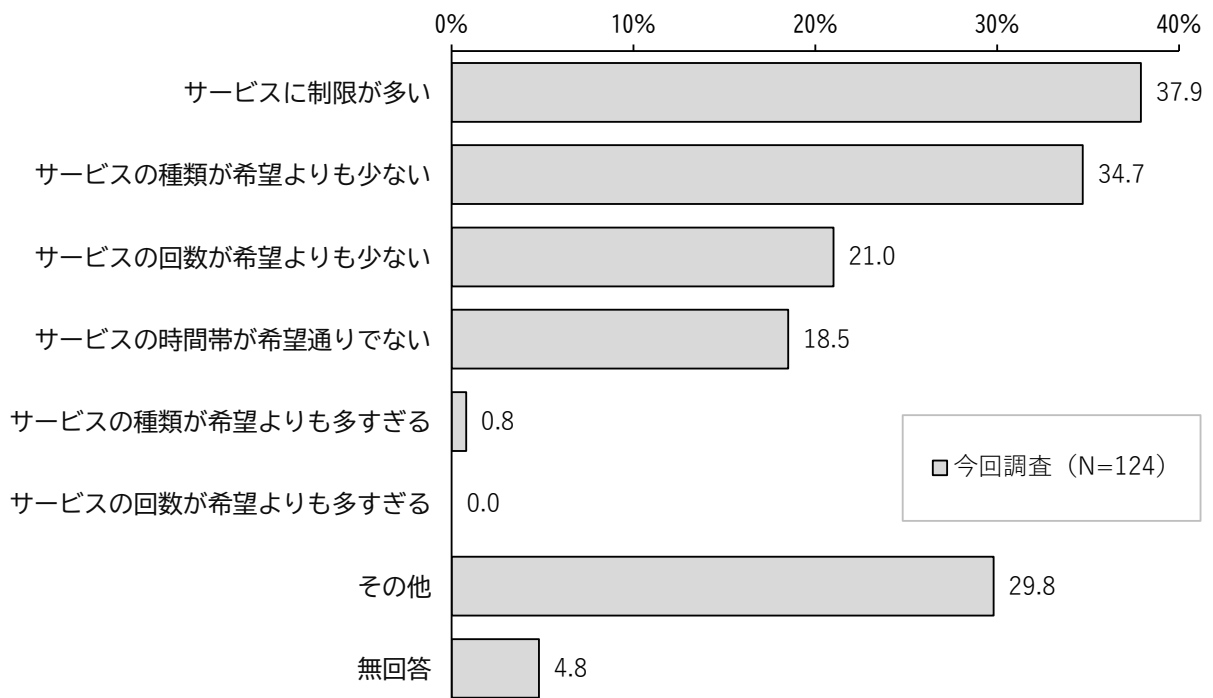


② 不満の理由

「サービスに制限が多い」が37.9%、「サービスの種類が希望よりも少ない」が34.7%

【問20で「4. やや不満である」または「5. 不満である」と回答の方】

問20-1. 不満の理由は何ですか。【複数回答】



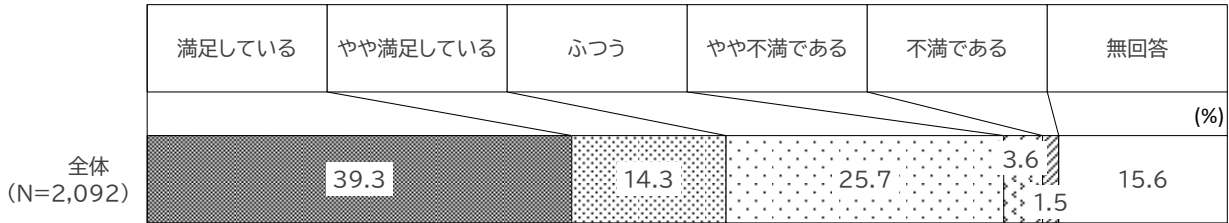
<その他の回答>

- サービス自体がわからない、相談してくれない
- 価格が高い
- 手続きが面倒
- 家族と情報共有できない

(2) ケアマネジャーの満足度

「満足している」が39.3%、「ふつう」が25.7%

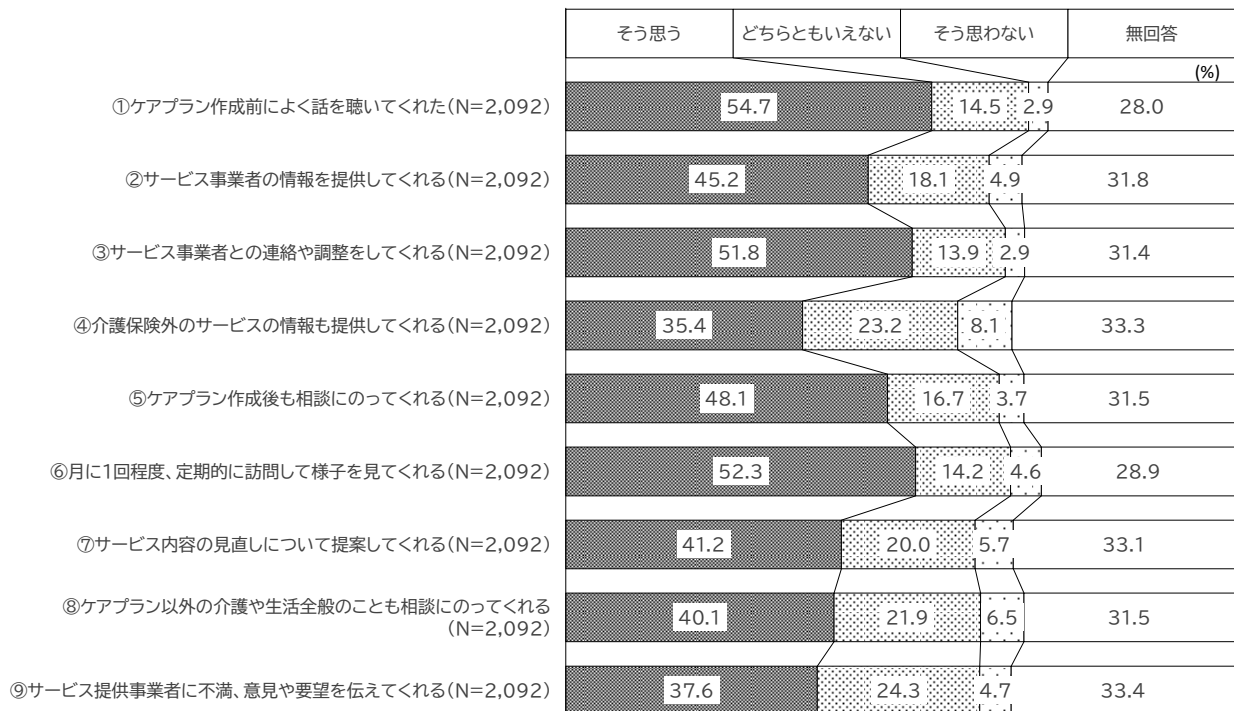
問21. あなたは、ケアマネジャー（介護支援専門員）に満足していますか。（○は1つ）



(3) ケアマネジャーの仕事への評価

「①ケアプラン作成前によく話を聴いてくれた」が54.7%、「⑥月に1回程度、定期的に訪問して様子を見てくれる」が52.3%

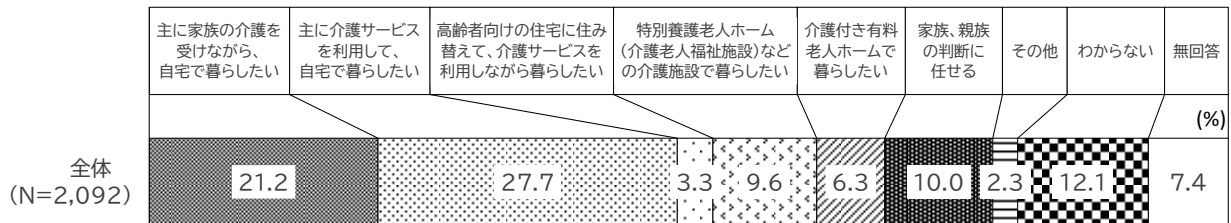
問22. あなたは、ケアマネジャー（介護支援専門員）について、どのように感じていますか。（○はそれぞれ1つ）



(4) 今後希望する介護

「主に介護サービスを利用して、自宅で暮らしたい」が27.7%、「主に家族の介護を受けながら、自宅で暮らしたい」が21.2%

問23. あなたは、今後、どのような介護を希望しますか。(〇は1つ)



要介護度別で見ると、要介護3以上は他の要介護度と比べて、「特別養護老人ホーム(介護老人福祉施設)などの介護施設で暮らしたい」の割合が高い。

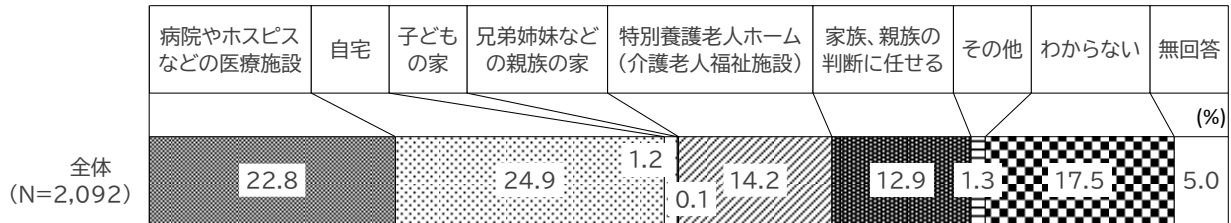
家族構成別で見ると、ひとり暮らしおよび夫婦2人暮らしは他の家族構成と比べて、「主に介護サービスを利用して、自宅で暮らしたい」の割合が高い。息子・娘との2世帯は他の家族構成と比べて、「主に家族の介護を受けながら、自宅で暮らしたい」の割合が高い。

		調査数	主に家族の介護を受けながら、自宅で暮らしたい (%)	主に介護サービスを利用して、自宅で暮らしたい (%)	高齢者向けの住宅に住み替えて、介護サービスを利用しながら暮らしたい (%)	特別養護老人ホーム(介護老人福祉施設)などの介護施設で暮らしたい (%)	介護付き有料老人ホームで暮らしたい (%)	家族、親族の判断に任せる (%)	その他 (%)	わからない (%)	無回答 (%)
全体		2,092	21.2	27.7	3.3	9.6	6.3	10.0	2.3	12.1	7.4
要介護度	要支援1	408	19.6	29.9	5.4	2.9	7.6	7.4	0.7	15.7	10.8
	要支援2	295	22.7	30.2	7.1	4.1	5.1	7.1	4.4	10.8	8.5
	要介護1	345	26.7	35.9	3.8	5.8	4.9	9.9	0.6	9.0	3.5
	要介護2	294	23.8	31.0	1.7	9.2	8.2	10.9	1.4	10.2	3.7
	要介護3	286	21.3	25.9	1.4	16.8	5.2	10.1	1.7	13.3	4.2
	要介護4	208	14.9	18.3	1.0	18.8	6.3	13.9	6.7	10.1	10.1
要介護5	173	17.3	13.9	0.6	23.1	6.4	14.5	3.5	12.7	8.1	
家族構成	ひとり暮らし	769	10.9	34.1	5.1	9.9	8.7	6.8	3.1	14.6	6.9
	夫婦2人暮らし	497	26.4	29.2	2.2	7.2	4.4	11.5	0.6	9.9	8.7
	息子・娘との2世帯	331	35.3	24.8	2.1	8.5	4.8	13.0	0.6	9.4	1.5
	その他	472	23.1	18.6	2.5	12.1	5.5	12.1	4.2	12.5	9.3

(5) 終末期に介護を受けたい場所

「自宅」が24.9%、「病院やホスピスなどの医療施設」が22.8%

問 24. あなたは、病気が治る可能性がなくなり、終末期になった場合、どこで介護を受けたいと思いますか。(○は1つ)



要介護度別で見ると、要介護1以下は他の要介護度と比べて、「病院やホスピスなどの医療施設」の割合が高い。要介護3以上は他の要介護度と比べて、「特別養護老人ホーム (介護老人福祉施設)」の割合が高い。

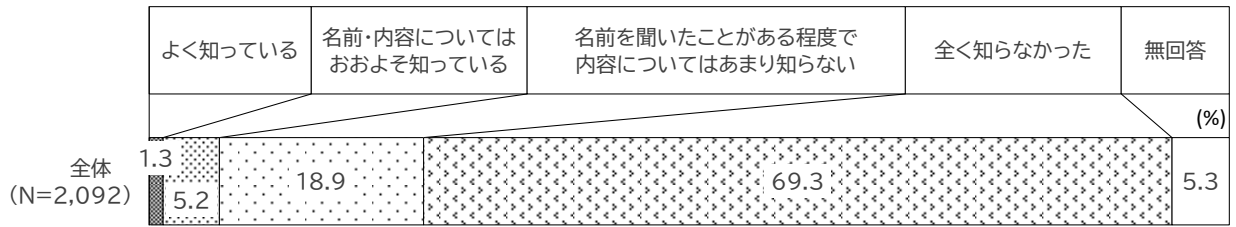
家族構成別で見ると、ひとり暮らしは他の家族構成と比べて、「病院やホスピスなどの医療施設」の割合が高い。夫婦2人暮らしおよび息子・娘との2世帯は他の家族構成と比べて、「自宅」の割合が高い。

		調査数	病院やホスピスなどの医療施設	自宅	子どもの家	兄弟姉妹などの親族の家	特別養護老人ホーム (介護老人福祉施設)	家族、親族の判断に任せる	その他	わからない	無回答
全体		2,092	22.8	24.9	1.2	0.1	14.2	12.9	1.3	17.5	5.0
要介護度	要支援1	408	29.7	22.1	1.0	0.0	8.8	11.3	0.5	19.9	6.9
	要支援2	295	27.1	25.8	0.7	0.0	11.2	10.2	2.0	18.3	4.7
	要介護1	345	28.1	25.5	1.7	0.0	9.9	13.6	0.9	16.8	3.5
	要介護2	294	22.1	28.2	1.4	0.0	13.3	14.6	0.7	17.0	2.7
	要介護3	286	15.0	25.9	1.4	0.3	19.2	14.7	2.1	18.5	2.8
	要介護4	208	14.4	20.7	0.5	1.0	27.4	12.5	3.8	14.9	4.8
	要介護5	173	13.3	24.3	2.3	0.0	23.1	16.8	0.6	12.7	6.9
家族構成	ひとり暮らし	769	28.2	20.4	1.2	0.3	15.6	8.6	1.7	19.0	5.1
	夫婦2人暮らし	497	21.9	29.2	0.6	0.0	11.5	15.5	0.4	14.1	6.8
	息子・娘との2世帯	331	18.1	32.6	2.4	0.0	11.2	16.9	0.3	16.9	1.5
	その他	472	18.9	22.7	1.1	0.2	16.7	14.8	2.3	19.3	4.0

(6) ACP (アドバンス・ケア・プランニング) の理解度

「全く知らなかった」が69.3%

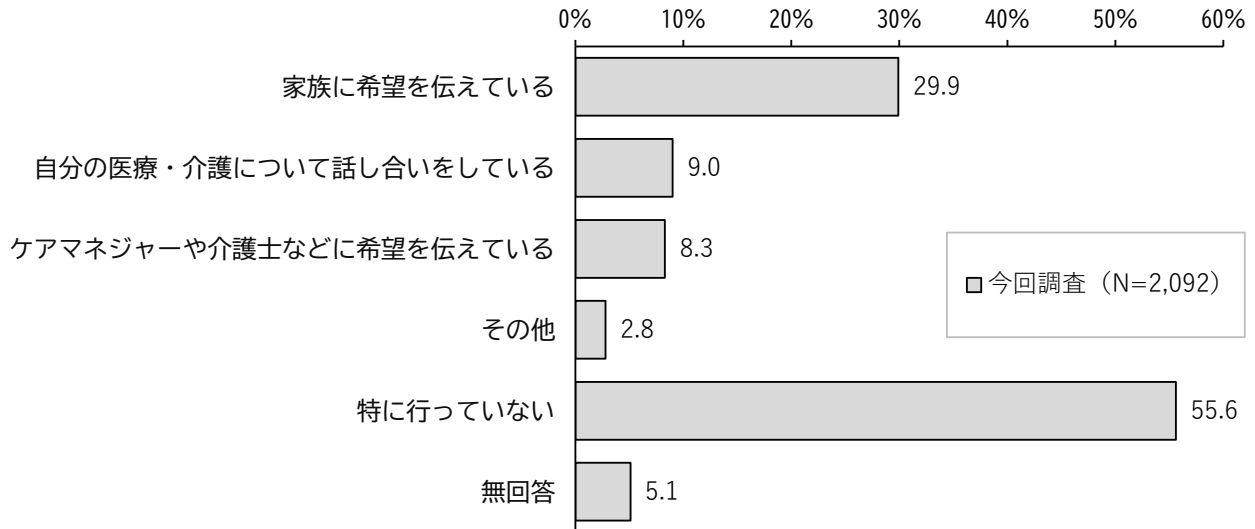
問 25. あなたは、「ACP(アドバンス・ケア・プランニング)」についてどの程度ご存知ですか。(○は1つ)



(7) 人生の最終段階における医療・介護について行っていること

「特に行っていない」が55.6%、「家族に希望を伝えている」が29.9%

問26. あなたが、人生の最終段階における医療や介護について行っていることは何ですか。【複数回答】



家族構成別で見ると、ひとり暮らしは他の家族構成と比べて、「ケアマネジャーや介護士などに希望を伝えている」の割合が高い。息子・娘との2世帯およびその他は他の家族構成と比べて、「特に行っていない」の割合が高い。

利用サービス別で見ると、未利用は他の利用サービスと比べて、「特に行っていない」の割合がやや高い。居住系サービスは他の利用サービスと比べて、「家族に希望を伝えている」の割合が高い。

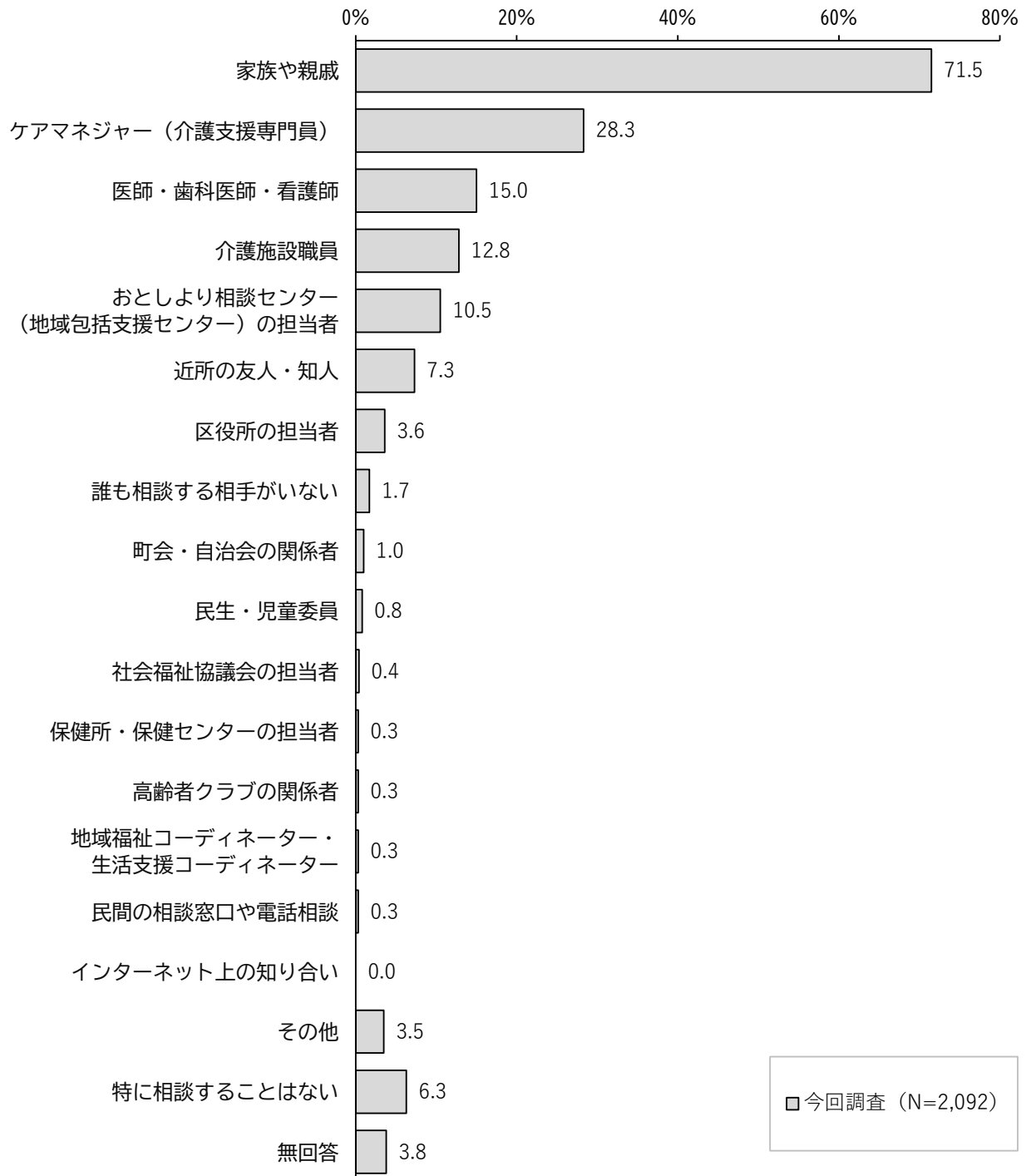
		調査数	家族に希望を伝えている	自分と話し合いをしている	ケアマネジャーや介護士などに希望を伝えている	その他	特に行っていない	無回答
全体		2,092	29.9	9.0	8.3	2.8	55.6	5.1
家族構成	ひとり暮らし	769	30.0	11.1	12.4	3.6	52.5	4.8
	夫婦2人暮らし	497	31.4	10.7	7.0	2.2	50.7	7.6
	息子・娘との2世帯	331	32.6	5.1	3.6	1.8	60.7	1.8
	その他	472	26.9	6.6	5.9	2.8	62.7	4.0
利用サービス	未利用	443	21.0	7.2	2.3	2.9	60.0	11.5
	居宅サービス	1,271	31.6	10.1	9.7	2.2	55.7	3.0
	居住系サービス	198	37.9	12.1	12.1	4.5	47.0	5.6
	施設サービス	256	31.6	7.0	10.9	4.7	52.0	3.9

5. 相談や権利擁護について

(1) 困ったときの相談先

「家族や親戚」が71.5%、「ケアマネジャー（介護支援専門員）」が28.3%

問27. あなたは、普段の生活で困ったとき、誰に相談していますか。【複数回答：3つまで】

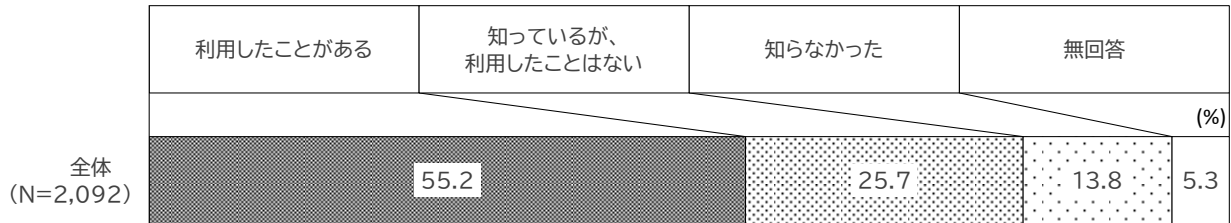


(2) 「おとしより相談センター」

① 「おとしより相談センター」の認知・利用状況

「利用したことがある」が55.2%

問28. あなたは、「おとしより相談センター（地域包括支援センター）」をご存知ですか。（○は1つ）



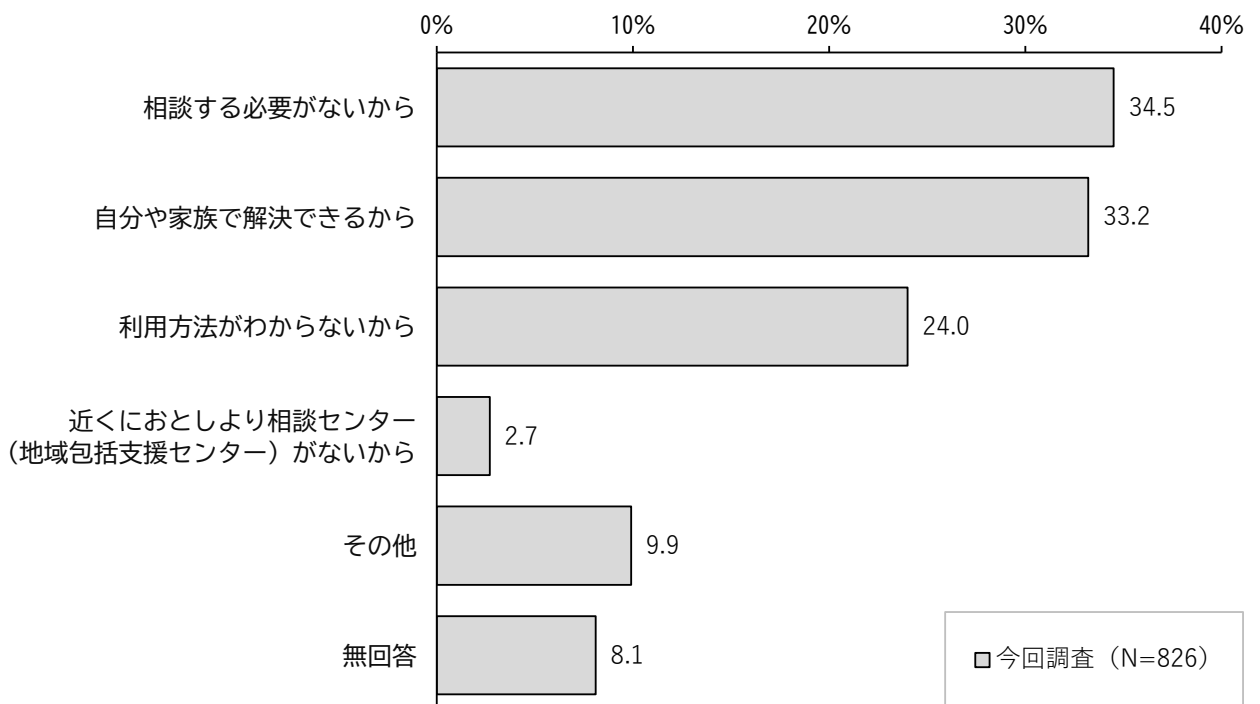
② 利用したことがない理由

「相談する必要があるから」が34.5%、「自分や家族が解決できるから」が33.2%

【問28で「2. 知っているが、利用したことはない」または「3. 知らなかった」と回答の方】

問28-1. 「おとしより相談センター（地域包括支援センター）」を利用したことがない主な理由は何ですか。

【複数回答】



<その他の回答>

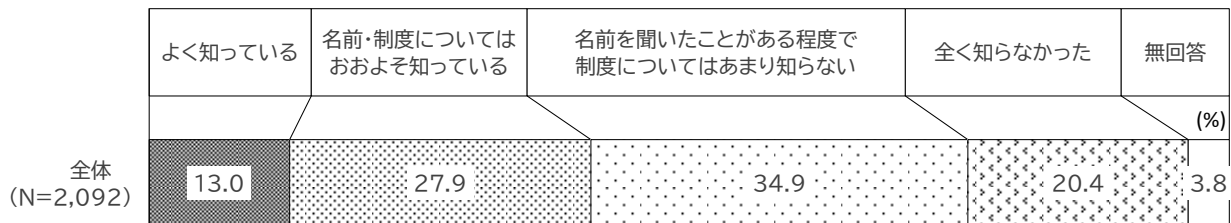
- ケアマネジャーがいるため ○外出が苦手 ○希望が持てない ○知らなかった

(3) 成年後見制度

① 成年後見制度の認知度

「名前を聞いたことがある程度で制度についてはあまり知らない」が34.9%、「名前・制度についてはおおよそ知っている」が27.9%

問29. あなたは、「成年後見制度」について内容をどの程度ご存知ですか。(○は1つ)



要介護度別で見ると、要介護1は他の要介護度と比べて「よく知っている」の割合が低く、要支援2および要介護5と比べて、9.2ポイント低い。

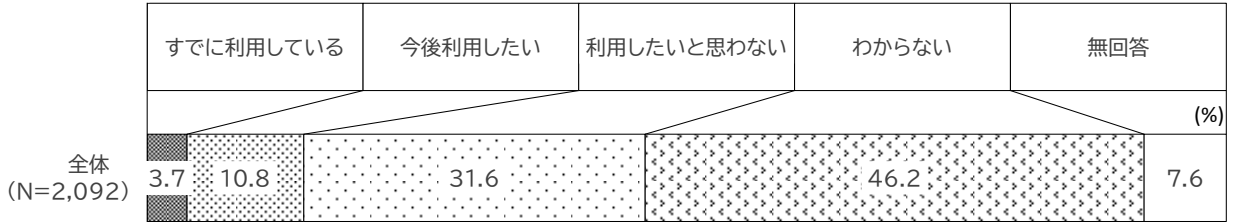
家族構成別で見ると、ひとり暮らしは他の家族構成と比べて、「よく知っている」の割合がやや高い。利用サービス別で見ると、未利用は他の利用サービスと比べて、「名前・制度についてはおおよそ知っている」の割合が低い。

		調査数	よく知っている	名前・制度についてはおおよそ知っている	名前を聞いたことがある程度で制度についてはあまり知らない	全く知らなかった	無回答 (%)
全体		2,092	13.0	27.9	34.9	20.4	3.8
要介護度別	要支援1	408	14.0	25.7	37.3	18.4	4.7
	要支援2	295	17.3	26.4	32.9	19.3	4.1
	要介護1	345	8.1	30.1	39.1	20.3	2.3
	要介護2	294	13.3	26.2	37.1	20.7	2.7
	要介護3	286	11.9	31.5	30.4	23.4	2.8
	要介護4	208	13.0	32.2	34.6	18.3	1.9
家族構成別	ひとり暮らし	769	15.3	28.0	34.9	18.6	3.3
	夫婦2人暮らし	497	12.1	27.4	35.8	19.1	5.6
	息子・娘との2世帯	331	10.3	27.5	38.7	22.4	1.2
	その他	472	12.7	28.8	31.6	23.5	3.4
利用サービス別	未利用	443	12.2	22.1	38.4	20.1	7.2
	居宅サービス	1,271	12.9	29.0	34.5	21.0	2.7
	居住系サービス	198	14.1	33.8	29.8	20.7	1.5
	施設サービス	256	14.8	28.5	35.2	17.2	4.3

② 利用意向

「わからない」が46.2%、「利用したいと思わない」が31.6%

問30. 「成年後見制度」を利用したいと思いませんか。(○は1つ)



要介護度別で見ると、要介護5は他の要介護度に比べて、「今後利用したい」の割合がやや低い。

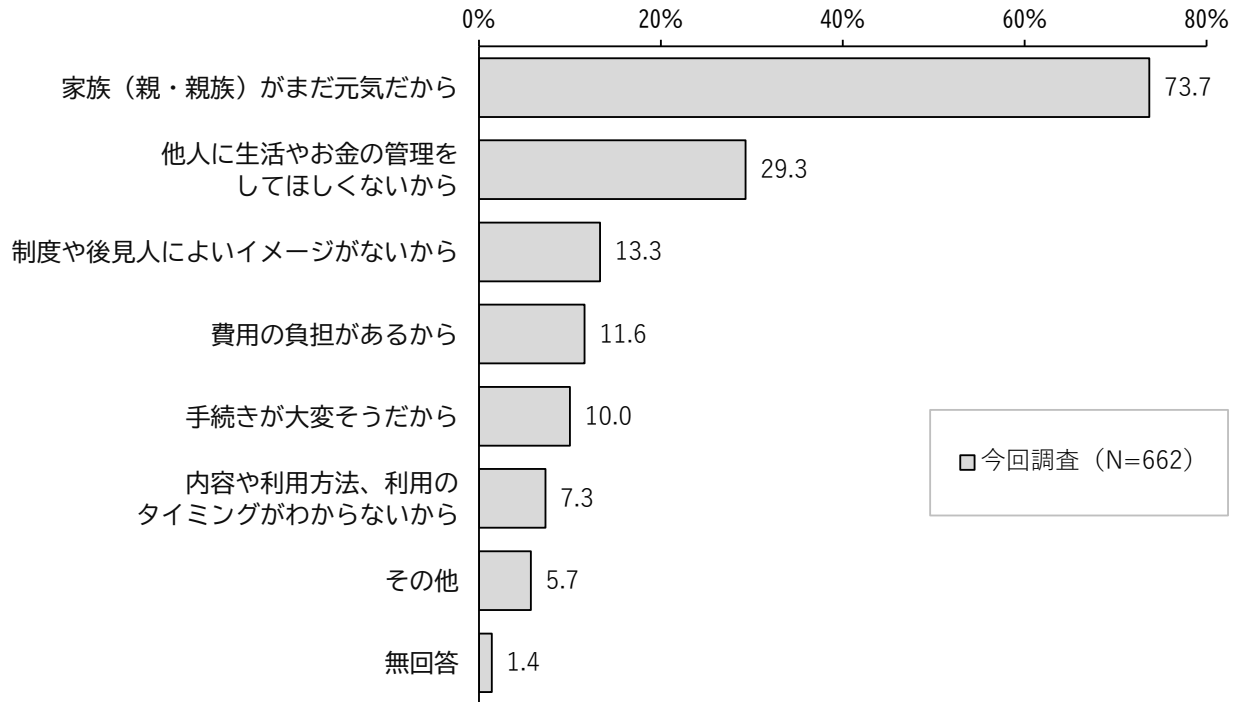
		調査数	すでに利用	今後利用したい	利用したいと思わない	わからない	無回答
全体		2092	3.7	10.8	31.6	46.2	7.6
要介護度別	要支援1	408	2.0	10.8	29.4	47.1	10.8
	要支援2	295	2.0	13.2	36.3	42.4	6.1
	要介護1	345	1.4	10.4	33.6	48.1	6.4
	要介護2	294	5.8	13.9	30.3	44.6	5.4
	要介護3	286	5.9	9.1	30.4	48.3	6.3
	要介護4	208	4.3	10.6	30.8	49.5	4.8
	要介護5	173	6.4	6.4	34.1	44.5	8.7

③ 利用したいと思わない理由

「家族（親・親族）がまだ元気だから」が73.7%、「他人に生活やお金の管理をしてほしくないから」が29.3%

【問30で「3. 利用したいと思わない」と回答の方】

問30-1. 「成年後見制度」を利用したいと思わない理由を教えてください。【複数回答】



<その他の回答>

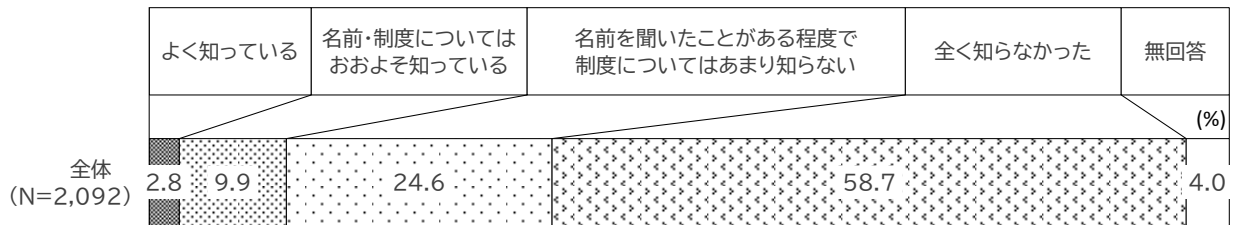
家族信託を利用している 所有している財産がない 必要ない

(4) 権利擁護支援事業

① 権利擁護支援事業の認知度

「全く知らなかった」が58.7%

問31. 「権利擁護支援事業」について内容をどの程度知っていますか。(○は1つ)



要介護度別で見ると、要支援2は他の要介護度と比べて、「全く知らなかった」の割合が低い。

家族構成別で見ると、息子・娘との2世帯は、他の家族構成と比べて、「全く知らなかった」の割合が高い。

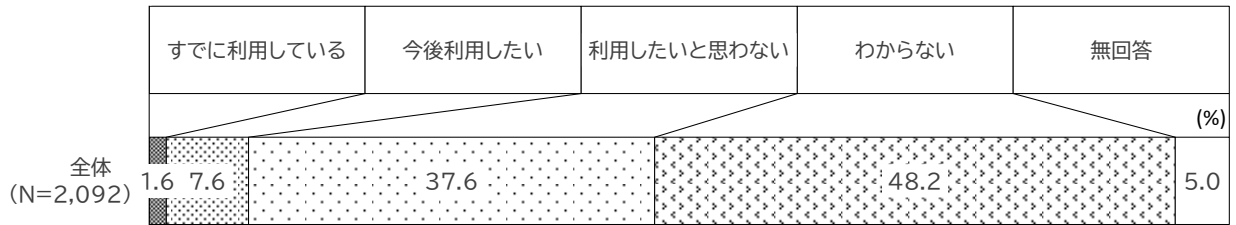
利用サービス別で見ると、施設サービスは、他の利用サービスと比べて、「全く知らなかった」の割合が高い。

		調査数	よく知っている	名前・制度についてはおおよそ知っている	名前を聞いたことがある程度で制度についてはあまり知らない	全く知らなかった	無回答
全体		2092	2.8	9.9	24.6	58.7	4.0
要介護度別	要支援1	408	2.2	11.0	25.5	57.1	4.2
	要支援2	295	4.4	14.9	27.8	47.5	5.4
	要介護1	345	3.8	7.8	26.1	60.6	1.7
	要介護2	294	2.7	12.6	22.4	59.2	3.1
	要介護3	286	1.7	9.1	20.6	65.0	3.5
	要介護4	208	1.0	6.3	27.4	63.5	1.9
家族構成別	ひとり暮らし	769	3.6	11.7	25.5	55.5	3.6
	夫婦2人暮らし	497	2.6	10.1	26.0	56.9	4.4
	息子・娘との2世帯	331	2.4	5.1	23.9	66.8	1.8
	その他	472	2.1	10.4	22.2	61.2	4.0
利用サービス別	未利用	443	2.7	11.1	23.3	55.3	7.7
	居宅サービス	1271	3.1	9.9	25.8	58.7	2.5
	居住系サービス	198	1.5	8.1	29.3	57.6	3.5
	施設サービス	256	2.7	9.8	19.9	62.9	4.7

② 利用意向

「わからない」が48.2%、「利用したいと思わない」が37.6%

問32. 「権利擁護支援事業」を利用したいと思いませんか。(○は1つ)



要介護度別で見ると、要介護4は「わからない」の割合が高い。

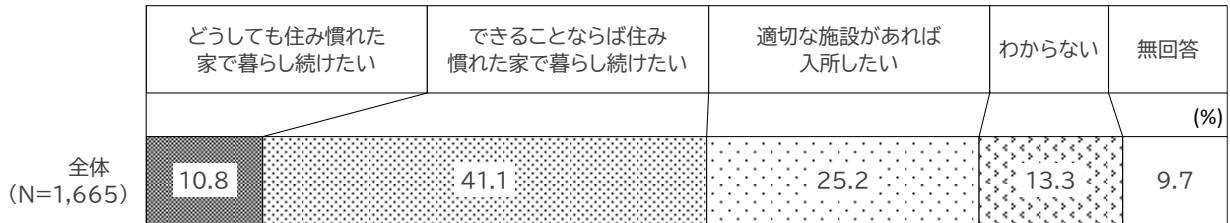
		調査数	すでに利用している	今後利用したい	利用したいと思わない	わからない	無回答
全体		2092	1.6	7.6	37.6	48.2	5.0
要介護度別	要支援1	408	1.2	8.8	37.7	44.9	7.4
	要支援2	295	1.4	9.2	42.4	42.0	5.1
	要介護1	345	1.7	6.7	38.3	50.7	2.6
	要介護2	294	2.7	7.8	36.7	49.3	3.4
	要介護3	286	0.7	6.3	38.5	51.0	3.5
	要介護4	208	1.9	6.3	32.2	56.3	3.4
	要介護5	173	1.2	7.5	37.0	46.2	8.1

(5) 認知症になった場合の在宅生活の継続希望

「できることならば住み慣れた家で暮らし続けたい」が41.1%、「適切な施設があれば入所したい」が25.2%

【ご自宅にお住まいの方】

問33. あなたは、認知症になっても、住み慣れた家で暮らし続けたいと思いますか。(○は1つ)



年代別で見ると、65～74歳は他の年代と比べて、「適切な施設があれば入所したい」の割合が高い。75歳以上は74歳以下の年代と比べて、「できることならば住み慣れた家で暮らし続けたい」の割合が高い。

家族構成別で見ると、ひとり暮らしおよび夫婦2人暮らしは他の家族構成と比べて、「適切な施設があれば入所したい」の割合が高い。息子・娘との2世帯は他の家族構成と比べて、「できることならば住み慣れた家で暮らし続けたい」の割合が高い。

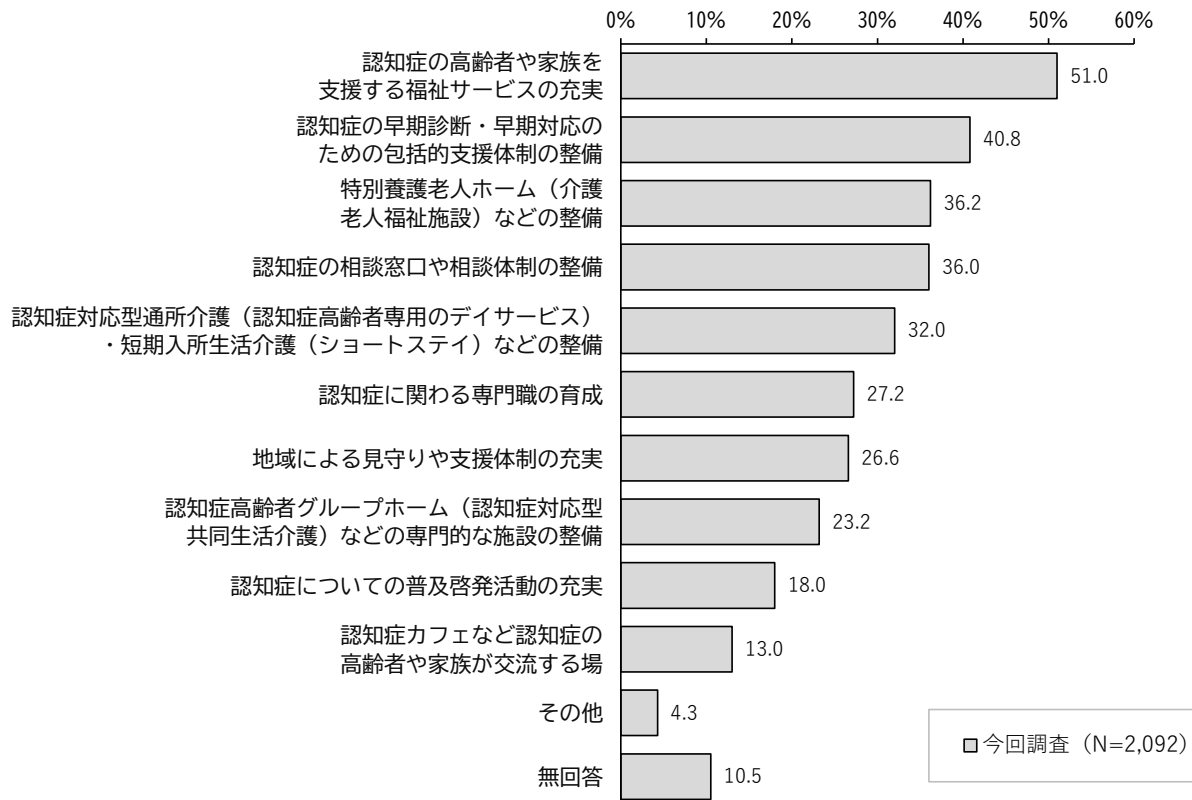
		調査数	どうしても住み慣れた家で暮らし続けたい (%)	できることならば住み慣れた家で暮らし続けたい (%)	適切な施設があれば入所したい (%)	わからない (%)	無回答 (%)
全 体		1,665	10.8	41.1	25.2	13.3	9.7
年代	65～74歳	178	7.3	32.6	34.8	15.2	10.1
	75～84歳	618	8.7	41.6	26.1	14.9	8.7
	85歳以上	817	12.5	42.0	22.9	12.2	10.4
家族構成	ひとり暮らし	594	6.9	40.2	30.0	13.0	9.9
	夫婦2人暮らし	453	11.7	38.9	25.2	14.8	9.5
	息子・娘との2世帯	287	12.2	47.4	20.6	12.5	7.3
	その他	313	15.3	40.9	20.4	12.8	10.5

(6) 認知症になっても在宅生活を継続するために必要なこと

「認知症の高齢者や家族を支援する福祉サービスの充実」が51.0%、「認知症の早期診断・早期対応のための包括的支援体制の整備」が40.8%

問34. あなたは、認知症になっても住み慣れた地域で暮らし続けるためには何が必要だと思いますか。

【複数回答】

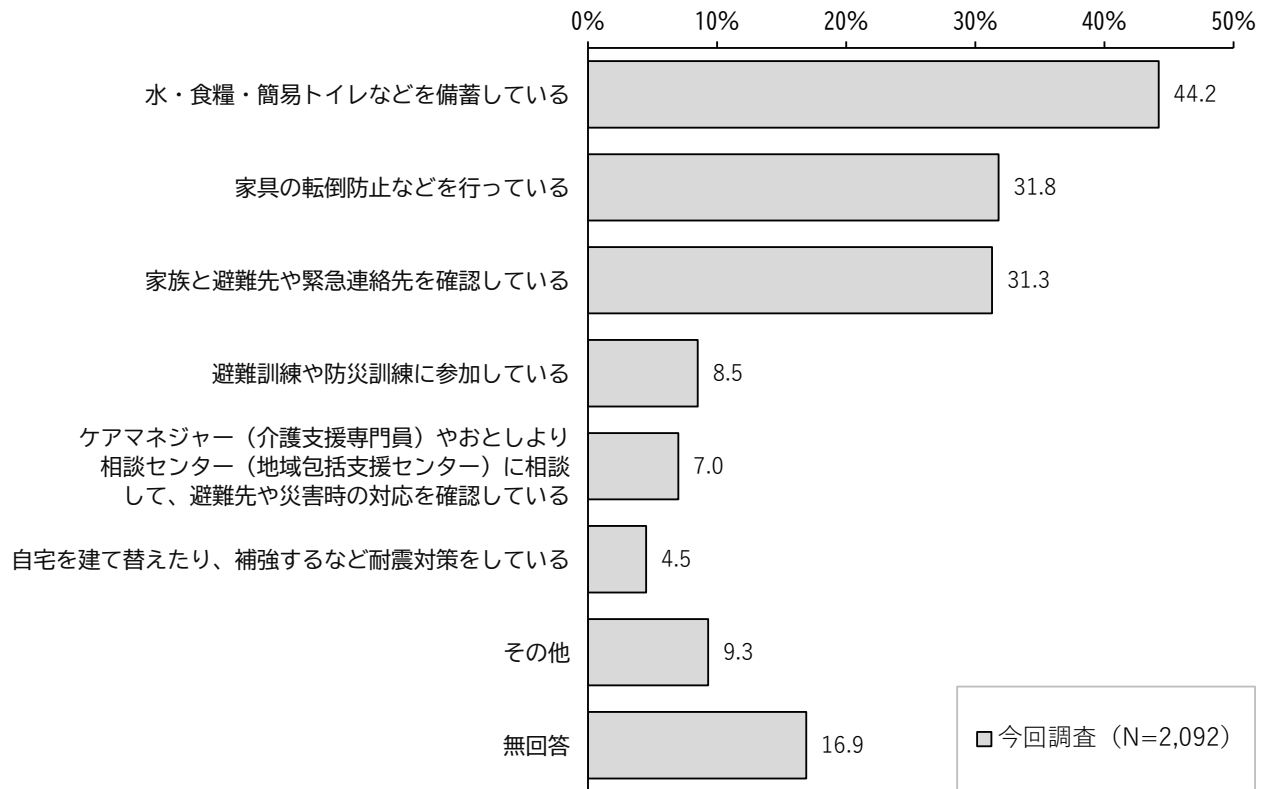


6. 災害時の対応について

(1) 災害に備えてしていること

「水・食糧・簡易トイレなどを備蓄している」が44.2%、「家具の転倒防止などを行っている」が31.8%

問35. あなたは、地震などの災害に備えてどのようなことをしていますか。【複数回答】



<その他の回答>

- グループホーム、介護施設等に任せている ○家族に任せている ○何もしていない
 ○懐中電灯を用意している ○必要なものを枕元に置く

(2) 「中央区災害時地域たすけあい名簿」の認知度

「知らなかった」が68.1%

問36. あなたは、「中央区災害時地域たすけあい名簿」についてご存知ですか。(○は1つ)

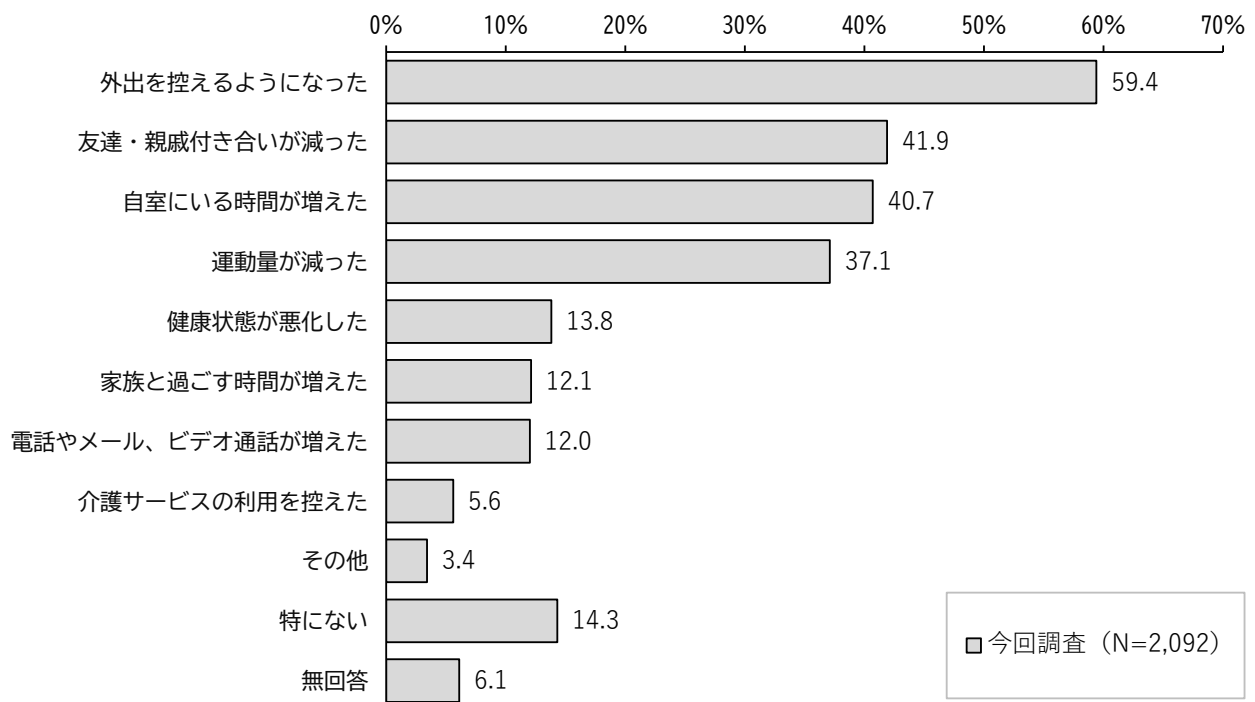


(3) 新型コロナウイルス感染症による生活の変化

「外出を控えるようになった」が59.4%、「友達・親戚付き合いが減った」が41.9%

問37. あなたは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって、生活にどのような変化がありましたか。

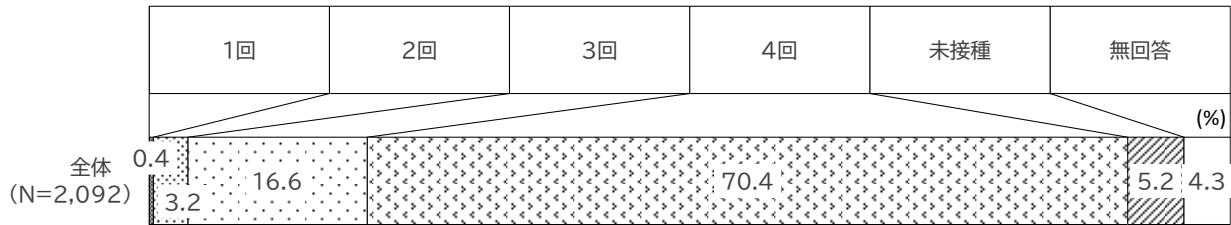
【複数回答】



(4) 新型コロナウイルスワクチン接種回数

「4回」が70.4%

問38. あなたは、新型コロナウイルスワクチンを何回接種しましたか。(○は1つ)



7. 今後の高齢者保健福祉施策について

(1) 介護保険サービスと介護保険料のあり方

「保険料も介護保険サービスも今くらいが妥当である」が31.7%、「どちらともいえない」が25.6%

問 39. 今後、高齢者が増加していくにつれて介護保険料が高くなることが想定されますがあなたは、今後の介護保険料のあり方についてどう思いますか。(○は1つ)

	保険料が多少高くなっても 介護保険サービスが 充実している方がよい	保険料も 介護保険サービスも 今くらいが妥当である	介護保険サービスを 抑えても 保険料が安いほうがよい	どちらともいえない	その他	無回答
全体 (N=2,092)	22.8	31.7	9.8	25.6	2.8	7.2

要介護度別で見ると、要介護1以上は他の要介護度と比べて、「保険料も介護保険サービスも今くらいが妥当である」の割合が高い。

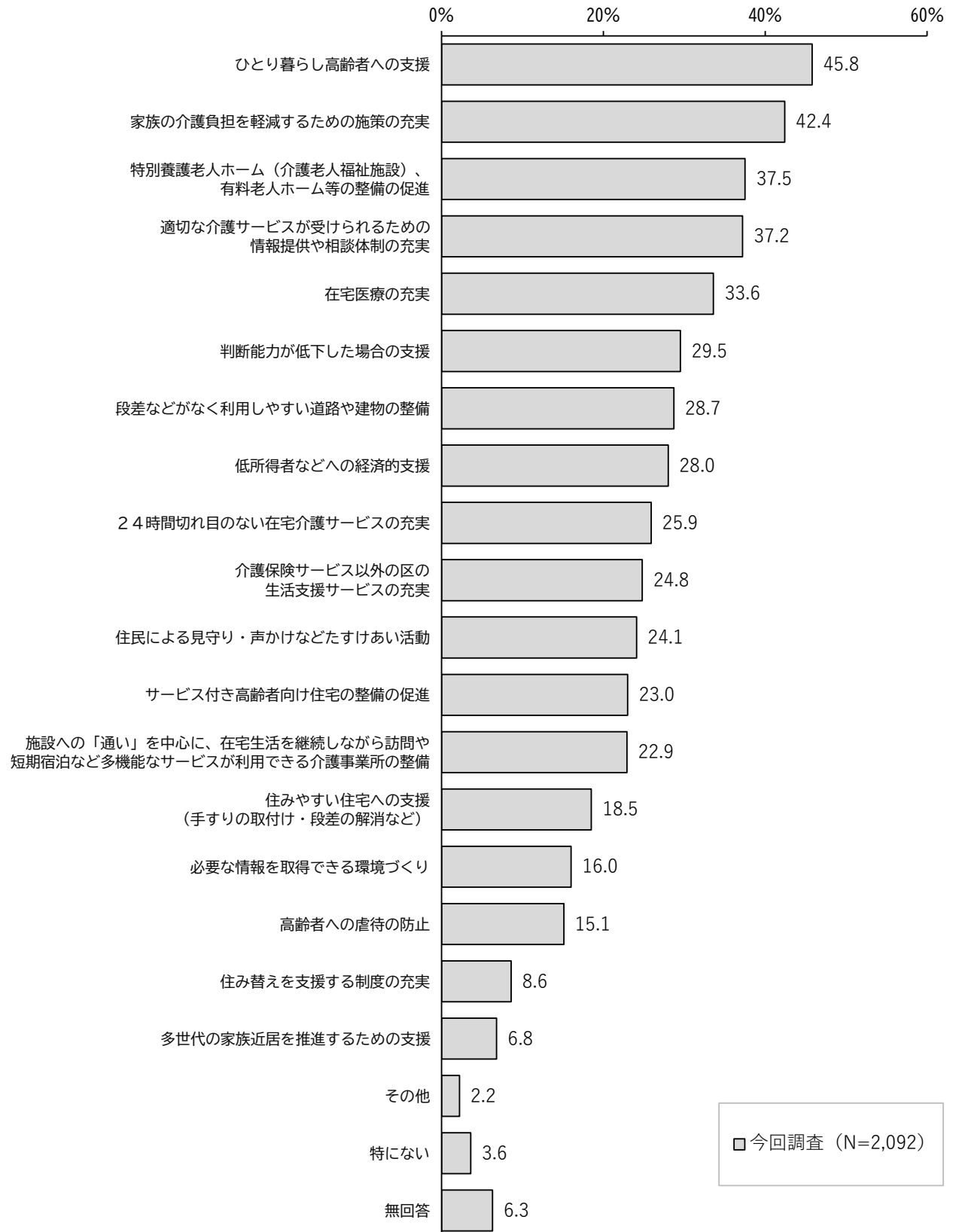
利用サービス別で見ると、未利用は他の利用サービスと比べて、「介護保険サービスを抑えても保険料が低いほうがよい」の割合が高い。未利用を除くすべてのサービスでは、「保険料も介護保険サービスも今くらいが妥当である」の割合が高い。

		調査数	てサな保 い つ 険 る て 料 方 ス も が が 介 よ 充 少 い 実 高 し 険 小	いサ保 が 険 妥 料 当 も で 介 あ 護 る 小 ら 険	がを介 低抑護 い え 保 ほ て 険 う も サ が 保 よ 険 い 料	いど ち ら ら と も い え な	そ の 他	無 回 答
全 体		2,092	22.8	31.7	9.8	25.6	2.8	7.2
要介護度	要支援1	408	21.3	26.0	11.0	29.4	2.7	9.6
	要支援2	295	23.4	27.5	13.2	22.7	2.4	10.8
	要介護1	345	23.8	36.5	8.7	23.5	2.6	4.9
	要介護2	294	23.5	34.4	10.2	24.1	3.4	4.4
	要介護3	286	25.2	36.0	7.3	23.4	3.1	4.9
	要介護4	208	19.7	38.5	8.2	27.4	1.4	4.8
要介護5	173	21.4	32.9	7.5	25.4	4.6	8.1	
利用サービス	未利用	443	19.2	18.7	16.3	30.7	2.9	12.2
	居宅サービス	1,271	23.8	35.4	8.9	23.4	2.8	5.7
	居住系サービス	198	25.8	31.8	5.1	27.8	4.0	5.6
	施設サービス	256	25.8	33.6	7.4	23.8	2.7	6.6

(2) 今後力を入れるべき高齢者保健福祉施策

「ひとり暮らし高齢者への支援」が45.8%、「家族の介護負担を軽減するための施策の充実」が42.4%

問 40. 住み慣れた地域で暮らし続けるために、これからの高齢者保健福祉施策で中央区が力を入れていくべきものは何だと思えますか。【複数回答】



(3) 高齢者向けサービスなどに関する自由意見

問41. 高齢者向けのサービスなどに関するご意見をご自由にご記入ください。【自由記述】

(1) サービスについて

- ・認知症の家族のための会や話し合う場がほしい。月に一度や週に一度ではなく、毎日いつでも、時間ができた時にすぐ伺えるようなところがあるとよい。
- ・用具の支援、敬老大会への招待など、温かい支援をしていただき、感謝している。
- ・住み慣れた地域で自分らしく暮らせること、多世代交流の大切さ。住民同士顔のわかる地域が重要。まず身近なところでの見守りが、まず大切だと思う。
- ・何かテーマがあり実践することも大事だが、何もテーマなし作業なしのおしゃべりの場が近所にあればよい。
- ・認知症などがひどくならないようにするには、デイサービス以外の趣味が続けられることなどが重要だと思うので、一般の習い事への送迎だけでなく付き添いで手伝うなどのサービスも利用できるとありがたい。
- ・認知症の人が持てるヘルプマークのようなものをつくってほしい。
- ・送迎の交通手段の充実が望まれる。タクシーの割引制度を利用できるようにしてほしい。
- ・サービスを利用するまでの申請期間や審査期間が長すぎる。前もって申請したところで、使用したい備品や利用したいサービスが必要になった時とは状況が変わるので、突然利用したいという方がほとんどであるから、期間か手続き等、もう少しスムーズにできるとよい。
- ・介護の大変さは経験していないとわからないものである。施設の充実もさることながら、自宅で介護する家族への支援の充実にも力を注いでいただきたい。

(2) 介護施設について

- ・高齢者同士が集って話し合う場所の整備、拡大を望む。
- ・高齢でも元気な人はたくさんいる。デイサービスでは、元気な人たちが体操やリラックスして過ごしたり情報交換、おしゃべりできる場所があるとよい。
- ・認知症対応型施設が少ない。
- ・中央区は入院設備のある病院が限られているので、認知症の高齢者を受け入れる病院を拡充してほしい。介護と医療は、切っても切り離せないはずだが、認知症があると受け入れてもらえない。
- ・特養はなかなか順番が回ってこないし、介護度の条件もあり申し込めない。老健の長期入所ができるようにしてほしい。
- ・年齢が若い時になかなか特養に入れず、困っている。特養に入れるよう、制度を少し前向きに見直してほしい。
- ・低所得者ができるだけ早く特別養護老人ホームへ入所できるようにしてほしい。申込みをしても長い年月が経たないとすぐには入所できないので、周囲は放っておかず、大変困っているのが現状である。
- ・医療が必要な人が入れる施設の充実を望む。在宅医療の充実等、入院できる病院を増やしてほしい。

(3) 居住環境・生活環境について

- ・自宅は階数が多いので、これからの生活が不安である。
- ・自分のことができるうちは自宅にいて生活したいと思っている。だんだんできなくなってきたら、施設入所を希望している。
- ・介護には大変お金がかかる。いくら預金があっても、支援があっても、あつという間にどんどん消えていき、不安。

(4) まちづくりについて

- ・夜間など、緊急時に必要性があるので、在宅医療の充実を望んでいる。
- ・ひとり暮らしの高齢者が安心して暮らせる住宅の整備を拡充してほしい。普通の暮らしを自由にできる施設を増やしてほしい。
- ・表通り以外の道路の整備を望む。高齢者には歩きにくい道路が多い。
- ・道にベンチ等の座るところがあったらよい。両足の人工股関節置換術を致し、段差や坂の歩行が困難になったが、座るところがあればベンチから次のベンチまで頑張って歩行しようと思える。
- ・現在、車いすを利用しているが、バリアフリー設備がもっと増えてほしい。エレベーター等があるのはありがたいが、場所が奥の方まで移動しないと困ることもある。

(5) 介護職員について

- ・同性介助が行き届く体制、人員確保を望む。
- ・介護の現場で働く方々の収入を増やしてほしい。収入が少ないことが原因で、優秀な人が介護職を辞めてしまうのを何人も知っている。社会に必要な職種を大切に考えてほしい。
- ・中央区は高齢者施設が充実しているので、感謝している。社会が今必要としている仕事（保育・教員・ヘルパーなど）をする人に対し、もっと高い給料が払える体制をつくってほしい。それらの人々が心からその仕事をできるよう、経済的な保証をして下されば、もっとその人員は増えると思う。

(6) 相談支援・情報提供について

- ・土日、祝日に福祉施設の相談窓口を設けてほしい。休日に家族と話し合うことが多いので。
- ・視覚障害者向けの情報提供をしてほしい。
- ・どのようなサービスがあるのか、自分で探さないとなかなか知る機会がない。サービス一覧がわかりやすいようにしてほしい。

(7) 防災について

- ・来るべき首都直下型の大地震に不安を感じている。
- ・安否確認の継続的な支援、相談窓口の充実を望む。
- ・マスク着用のうえで、各町会ごとに寺社、学校のように広いところで避難訓練をした方がよいのではないかと。

IV 在宅介護実態調査(調査D)

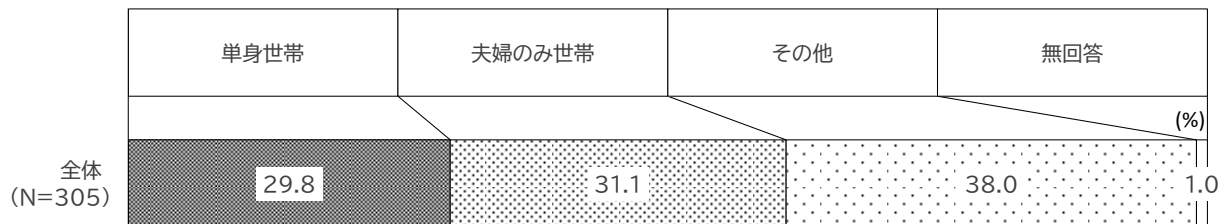
IV 在宅介護実態調査 (調査D)

1. 基本調査項目 (A票)

(1) 世帯類型

「その他」が38.0%、「夫婦のみ世帯」が31.1%

問1. 世帯類型について、ご回答ください。(○は1つ)



要介護度別で見ると、要支援1・2は他の要介護度と比べて、「単身世帯」の割合が高い。

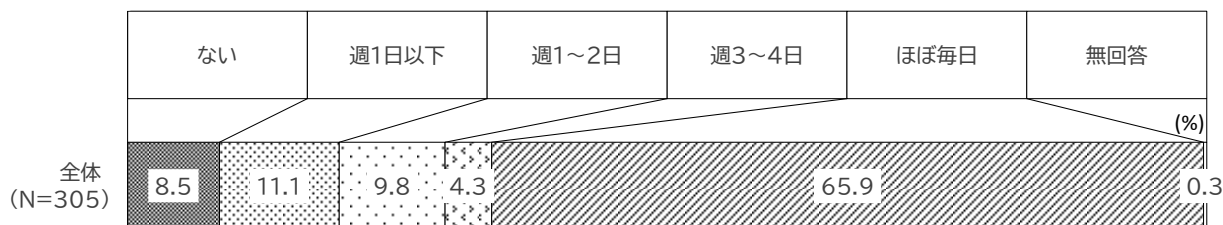
主な介護者の就労状況で見ると、介護者が働いてない場合は他の就労状況と比べて、「単身世帯」の割合が低い。

		調査数	単身世帯	夫婦のみ世帯	その他	無回答
全体		305	29.8	31.1	38.0	1.0
要介護度	要支援1・2	120	41.7	31.7	26.7	0.0
	要介護1・2	112	25.9	35.7	38.4	0.0
	要介護3以上	62	14.5	24.2	61.3	0.0
主な介護者の就労状況	フルタイム勤務	105	35.2	25.7	39.0	0.0
	パートタイム勤務	36	36.1	27.8	36.1	0.0
	働いていない	128	16.4	39.8	43.8	0.0

(2) 家族等による介護の頻度

「ほぼ毎日」が65.9%

問2. ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。(同居していない子どもや親族等からの介護を含む) (〇は1つ)



世帯類型別に見ると、単身世帯では他の世帯類型と比べて、「週1回以下」の割合が高い。

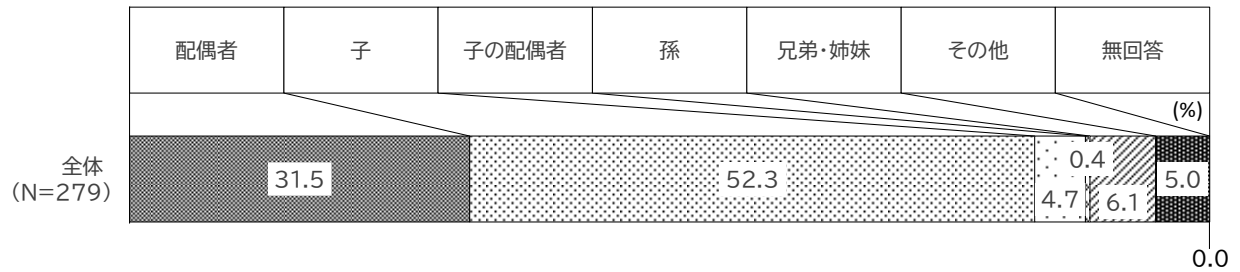
主な介護者の就労状況別に見ると、介護者が働いていない場合は他の就労状況と比べて、「ほぼ毎日」の割合が高い。

		調査数	ない	週1日以下	週1~2日	週3~4日	ほぼ毎日	無回答
全 体		305	8.5	11.1	9.8	4.3	65.9	0.3
世帯類型	単身世帯	90	17.8	31.1	20	6.7	24.4	0.0
	夫婦のみ世帯	95	5.3	3.2	6.3	4.2	81.1	0.0
	その他	116	4.3	2.6	5.2	2.6	85.3	0.0
主な介護者の就労状況	フルタイム勤務	105	0.0	17.1	13.3	8.6	61.0	0.0
	パートタイム勤務	36	0.0	13.9	16.7	2.8	66.7	0.0
	働いていない	130	0.0	6.9	7.7	1.5	83.8	0.0

(3) 主な介護者の本人との関係

「子」が52.3%

問3. 主な介護者の方は、どなたですか。(〇は1つ)



主な介護者の就労状況別で見ると、介護者がフルタイム勤務の場合は他の就労状況と比べて、「子」の割合が高い。介護者が働いていない場合は他の就労状況と比べて、「配偶者」の割合が高い。

		調査数	配偶者	子	子の配偶者	孫	兄弟・姉妹	その他	無回答
全体		279	31.5	52.3	4.7	0.4	6.1	5.0	0.0
主な介護者の就労状況	フルタイム勤務	106	17.0	73.6	4.7	0.0	0.9	3.8	0.0
	パートタイム勤務	36	19.4	50.0	13.9	0.0	5.6	11.1	0.0
	働いていない	130	46.9	36.2	1.5	0.8	10.0	4.6	0.0

(4) 主な介護者の性別

「女性」が 71.3%

問4. 主な介護者の方の性別について、ご回答ください。(○は1つ)



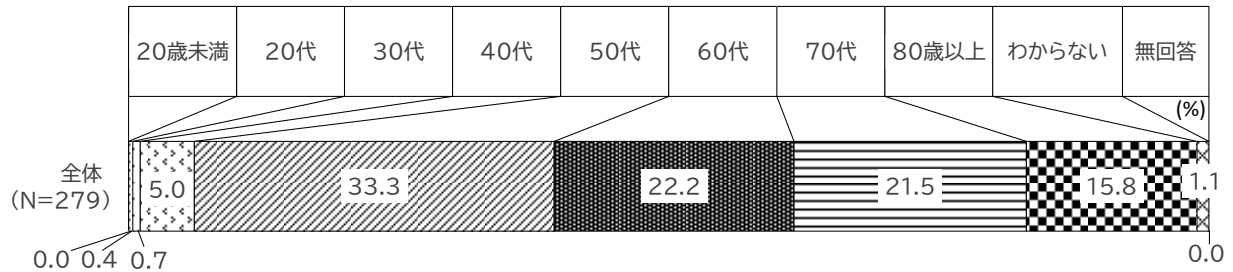
主な介護者の就労状況別で見ると、介護者がパートタイム勤務または働いていない場合は他の就労状況と比べて、「女性」の割合が高い。

		調査数	男性 (%)	女性 (%)	無回答 (%)
全体		279	28.7	71.3	0.0
主な介護者の就労状況	フルタイム勤務	106	42.5	57.5	0.0
	パートタイム勤務	36	19.4	80.6	0.0
	働いていない	130	19.2	80.8	0.0

(5) 主な介護者の年齢

「50代」が33.3%、「60代」が22.2%

問5. 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。(○は1つ)



本人（介護を受けている人）の年齢別で見ると、65～69歳は他の年齢と比べて「40代」の割合が高い。70歳代では他の年齢と比べて「70代」の割合が高い。80歳代では他の年齢と比べて「50代」の割合が高い。

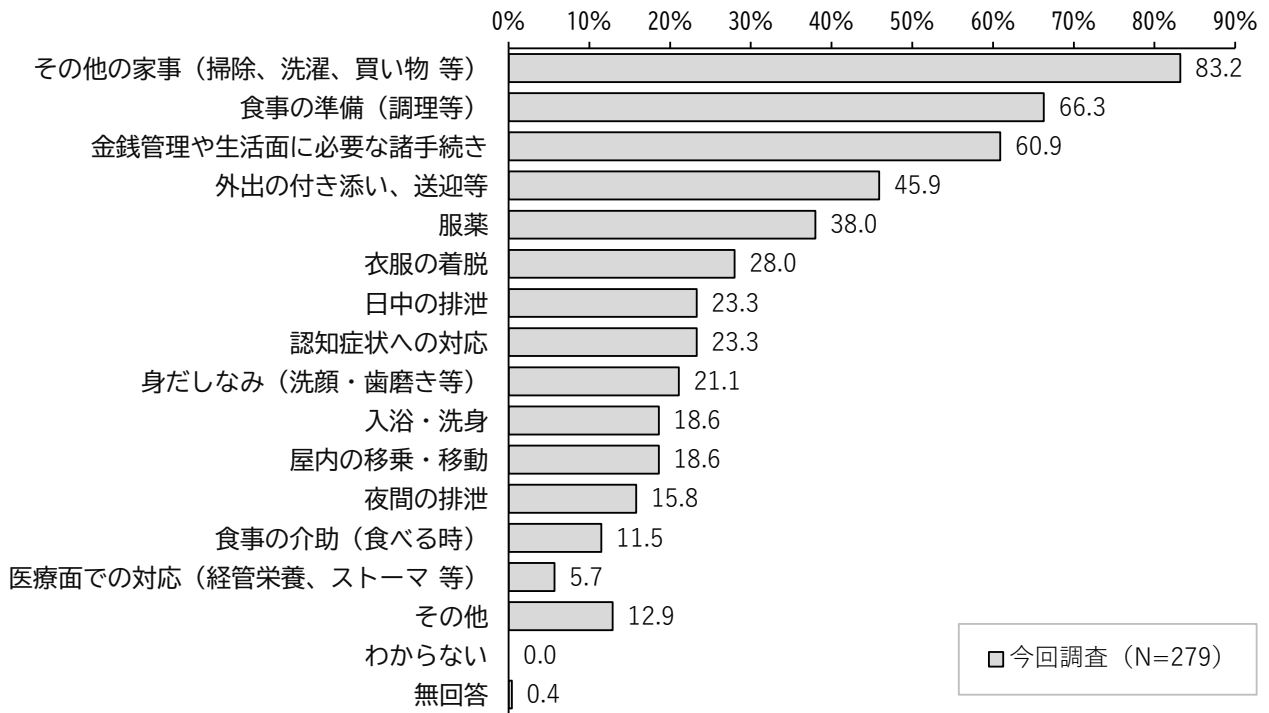
主な介護者の就労状況別で見ると、介護者がフルタイム勤務の場合は他の就労状況と比べて「50代」の割合が高い。介護者がパートタイム勤務の場合は他の就労状況と比べて、「60代」の割合が高い。

		調査数	20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	わからない	無回答
全体		279	0.0	0.4	0.7	5.0	33.3	22.2	21.5	15.8	1.1	0.0
本人の年齢	65歳未満	7	0.0	14.3	0.0	0.0	28.6	57.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	65～69歳	6	0.0	0.0	16.7	33.3	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0
	70歳代	48	0.0	0.0	0.0	8.3	16.7	14.6	45.8	14.6	0.0	0.0
	80歳代	150	0.0	0.0	0.7	4.7	48.7	11.3	14.0	20.7	0.0	0.0
	90歳以上	62	0.0	0.0	0.0	1.6	12.9	53.2	22.6	9.7	0.0	0.0
主な介護者の就労状況	フルタイム勤務	105	0.0	0.0	1.9	6.7	53.3	20.0	13.3	4.8	0.0	0.0
	パートタイム勤務	36	0.0	0.0	0.0	8.3	25.0	38.9	25.0	2.8	0.0	0.0
	働いていない	128	0.0	0.8	0.0	3.1	18.8	21.1	26.6	29.7	0.0	0.0

(6) 主な介護者が行っている介護

「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が83.2%、「食事の準備（調理等）」が66.3%

問6. 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。【複数回答】



要介護度別で見ると、要介護度3以上では他の要介護度と比べて、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」、「服薬」、「衣類の着脱」、「日中の排泄」、「認知症状への対応」、「屋内の移乗・移動」、「夜間の排泄」および「食事の介助(食べる時)」の割合が大幅に高くなっている。

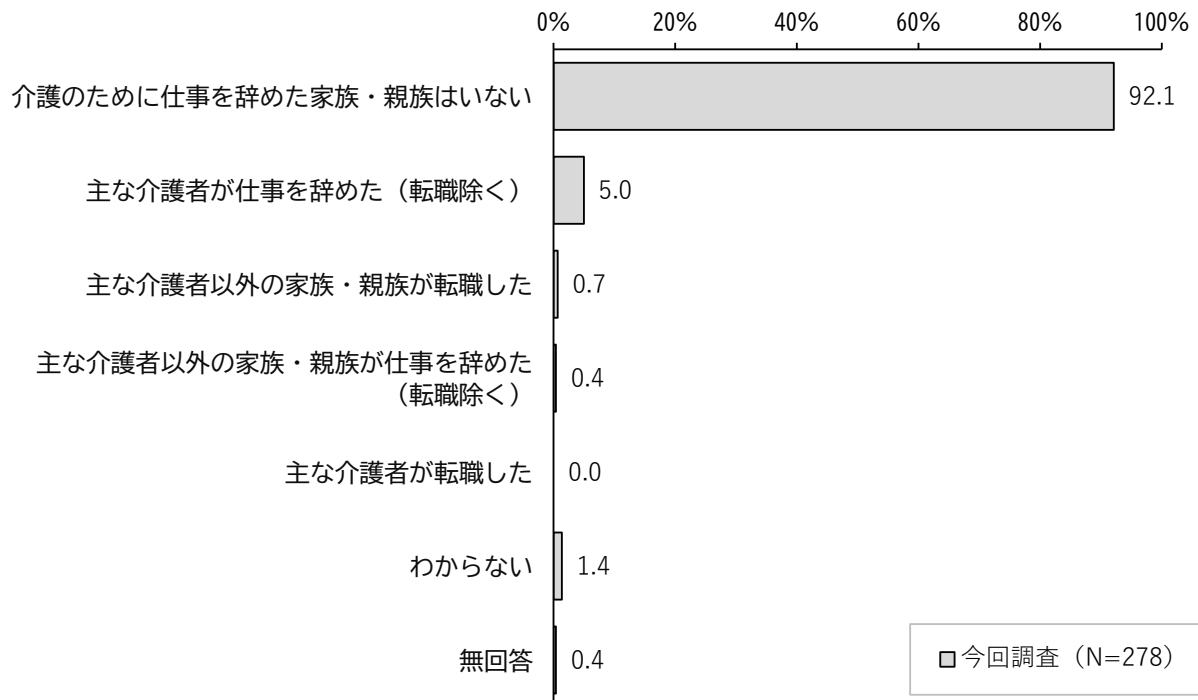
		調査数	洗濯、他の家事(掃除、買い物等)	食事の準備(調理等)	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	外出の付き添い、送迎等	服薬	衣服の着脱	日中の排泄	認知症状への対応	身だしなみ(洗顔・歯磨き等)
全体		279	83.2	66.3	60.9	45.9	38.0	28.0	23.3	23.3	21.1
要介護度	要支援1・2	103	77.7	45.6	37.9	25.2	8.7	1.0	0.0	1.9	0.0
	要介護1・2	108	87.0	76.9	65.7	56.5	42.6	25.9	16.7	23.1	13.0
	要介護3以上	61	91.8	86.9	95.1	62.3	82.0	78.7	75.4	62.3	72.1
主な介護者の就労状況	フルタイム勤務	105	81.9	51.4	54.3	44.8	34.3	19.0	17.1	23.8	15.2
	パートタイム勤務	36	91.7	72.2	61.1	41.7	38.9	27.8	25.0	22.2	19.4
	働いていない	130	83.8	78.5	67.7	48.5	43.1	36.2	29.2	24.6	27.7

		調査数	入浴・洗身	屋内の移乗・移動	夜間の排泄	食事の介助(食べる時)	栄養、医療面での対応(経管)	その他	わからない	無回答
全体		279	18.6	18.6	15.8	11.5	5.7	12.9	0.0	0.4
要介護度	要支援1・2	103	2.9	1.0	0.0	0.0	1.0	10.7	0.0	0.0
	要介護1・2	108	25.9	13.0	13.0	3.7	2.8	13.9	0.0	0.0
	要介護3以上	61	34.4	59.0	49.2	45.9	19.7	13.1	0.0	0.0
主な介護者の就労状況	フルタイム勤務	105	19.0	15.2	9.5	7.6	1.9	12.4	0.0	0.0
	パートタイム勤務	36	22.2	22.2	19.4	16.7	8.3	8.3	0.0	0.0
	働いていない	130	18.5	21.5	20.8	13.8	8.5	14.6	0.0	0.0

(7) 介護のための離職の有無

「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が92.1%、「主な介護者が仕事を辞めた(転職を除く)」が5.0%

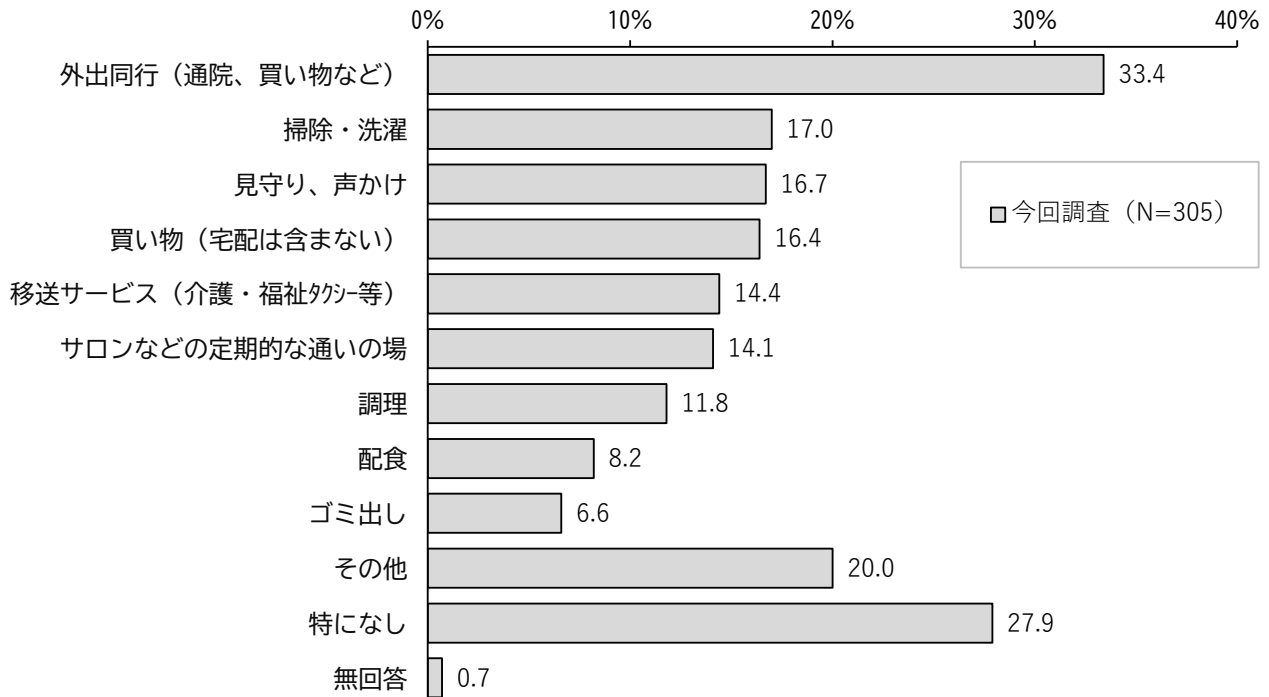
問7. ご家族やご親族の中で、ご本人(認定調査対象者)の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません)。**【複数回答】**



(8) 在宅生活の継続のために充実が必要な支援・サービス

「外出同行（通院、買い物など）」が33.4%、「特になし」が27.9%

問8. 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください。【複数回答】



IV 在宅介護実態調査(調査D)

要介護度別で見ると、要支援1・2は他の要介護度と比べて、「特になし」の割合が高い。要介護1・2は他の要介護度と比べて、「掃除・洗濯」、「調理」および「配食」の割合が高い。要介護3以上は他の要介護度と比べて、「見守り、声かけ」、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」および「その他」の割合が高い。

認知症自立度別で見ると、自立+Iは他の自立度と比べて、「買い物(宅配は含まない)」および「特になし」の割合が高い。IIは他の自立度と比べて、「外出同行(通院、買い物など)」の割合が高い。III以上は他の自立度と比べて、「見守り、声かけ」、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」、「サロンなどの定期的な通いの場」および「その他」の割合が高い。

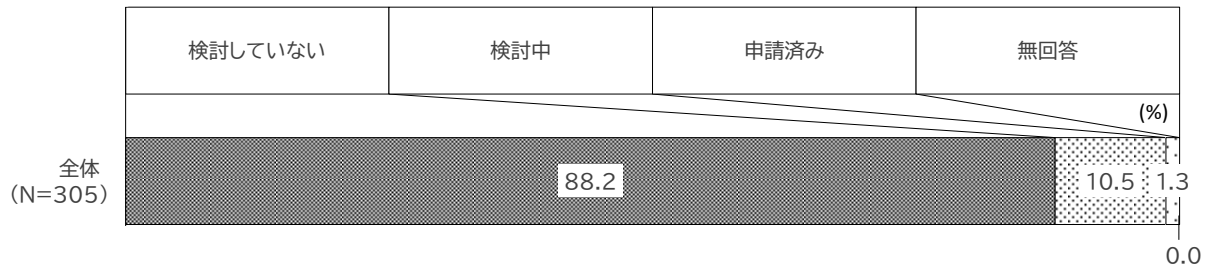
世帯類型別で見ると、単身世帯は他の世帯類型と比べて「掃除・洗濯」、「買い物(宅配は含まない)」および「配食」の割合が高い。

		調査数	外出同行(通院、買い物など)	掃除・洗濯	見守り、声かけ	買い物(宅配は含まない)	移送サービス(介護・福祉タクシー等)	サロンの定期的な通いの場	調理	配食	ゴミ出し	その他	特になし	無回答
全体		305	33.4	17.0	16.7	16.4	14.4	14.1	11.8	8.2	6.6	20.0	27.9	0.7
要介護度	要支援1・2	120	27.5	14.2	3.3	21.7	8.3	6.7	10.0	6.7	5.8	19.2	38.3	0.0
	要介護1・2	113	40.7	23.0	20.4	17.7	15.9	19.5	15.9	11.5	9.7	13.3	24.8	0.0
	要介護3以上	62	35.5	14.5	38.7	6.5	24.2	16.1	8.1	4.8	3.2	35.5	12.9	0.0
認知症自立度	自立+I	160	30.0	16.9	6.3	20.0	10.0	8.8	11.9	7.5	5.6	20.0	33.8	0.0
	II	95	43.2	17.9	24.2	14.7	11.6	15.8	11.6	8.4	7.4	15.8	26.3	0.0
	III以上	42	26.2	19.0	40.5	9.5	35.7	26.2	11.9	9.5	7.1	33.3	11.9	0.0
世帯類型	単身世帯	91	35.2	26.4	19.8	29.7	13.2	13.2	17.6	13.2	12.1	19.8	26.4	0.0
	夫婦のみ世帯	95	34.7	18.9	15.8	16.8	13.7	13.7	15.8	8.4	7.4	18.9	27.4	0.0
	その他	114	31.6	8.8	14.9	6.1	15.8	15.8	4.4	4.4	1.8	21.1	29.8	0.0

(9) 施設等検討の状況

「検討していない」が88.2%

問9. 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。(○は1つ)



要介護度別で見ると、要介護3以上は他の要介護度と比べて、「検討していない」の割合が低く、「検討中」の割合が高い。

世帯類型別で見ると、夫婦のみ世帯は他の世帯類型と比べて、「検討していない」の割合が高い。

要介護2以上の高齢者を介護しながら、就労を継続できる見込み別で見ると、問題なく続けていけると回答した人は他の就労状況と比べて、「検討していない」の割合が高い。続けていくのは(やや・かなり)難しいと回答した人は他の就労状況と比べて、「検討中」の割合が高い。

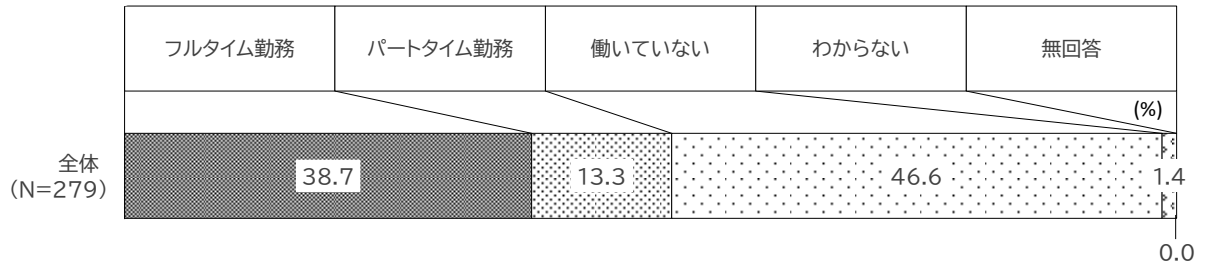
		調査数	検討していない (%)	検討中 (%)	申請済み (%)	無回答 (%)
全 体		305	88.2	10.5	1.3	0.0
要介護度	要支援1・2	121	92.6	6.6	0.8	0.0
	要介護1・2	114	90.4	9.6	0.0	0.0
	要介護3以上	62	75.8	19.4	4.8	0.0
世帯類型	単身世帯	91	84.6	14.3	1.1	0.0
	夫婦のみ世帯	95	92.6	7.4	0.0	0.0
	その他	116	87.1	10.3	2.6	0.0
要介護2以上、フル+パート勤務就労継続見込み	問題なく続けていける	13	100.0	0.0	0.0	0.0
	問題はあるが、何とか続けていける	28	71.4	21.4	7.1	0.0
	続けていくのは(やや・かなり)難しい	5	20.0	80.0	0.0	0.0

2. 主な介護者の調査項目 (B票)

(1) 主な介護者の勤務形態

「働いていない」が46.6%、「フルタイム勤務」が38.7%

問1. 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。(○は1つ)

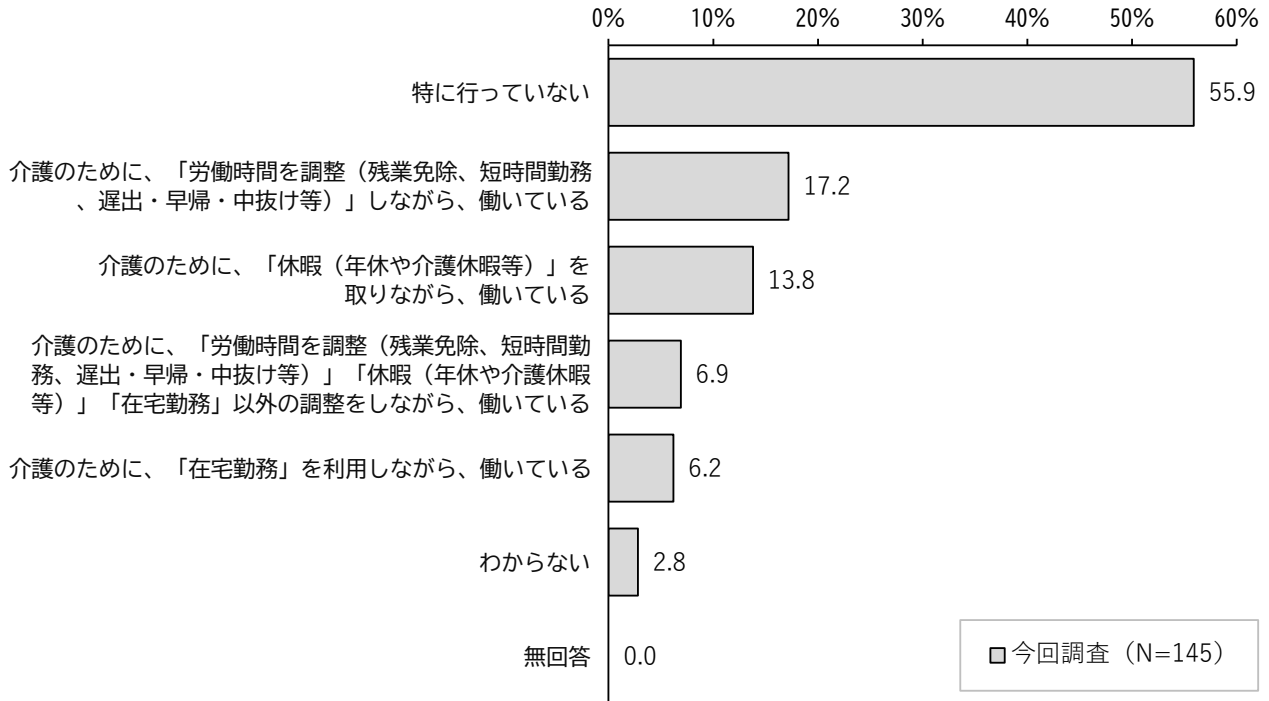


(2) 主な介護者の方の働き方の調整の状況

「特に行っていない」が55.9%、「介護のために、労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早出・中抜け等）しながら、働いている」が17.2%

【問1で「1. フルタイムで働いている」、「2. パートタイムで働いている」と回答の方】

問2. 主な介護者の方は、介護するにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。【複数回答】



就労継続見込み別で見ると、問題なく続けていけると回答した人は他の継続見込みと比べて、「特に行っていない」の割合が高い。問題はあるが、何とか続けていけると回答した人は他の継続見込みと比べて、「介護のために、労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早出・中抜け等）しながら、働いている」の割合が高い。続けていくのは（やや・かなり）難しいと回答した人は、「介護のために、休暇（年休や介護休暇等）を取りながら、働いている」の割合が高い。

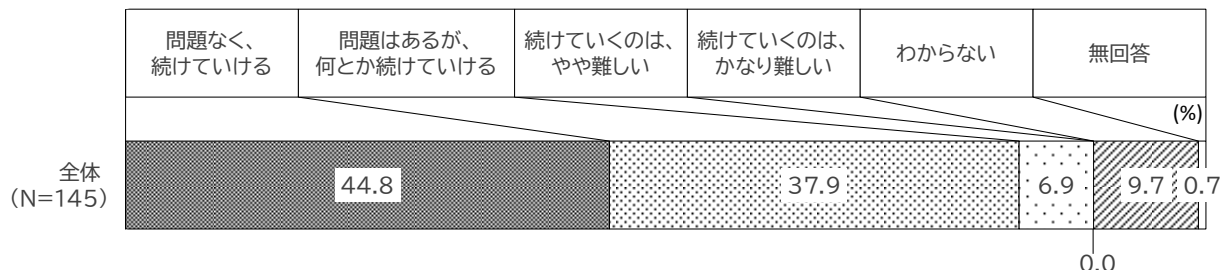
		調査数	特に行っていない	抜業介 け免の 除のた めし に短 間、 が勤 ら務 、働 働遅 い出 て早 帰・ 中残	暇介 等の ため に取 りな がら 働い てい る	以 外 の 調 整 を し な が ら 働 い て い る	介 護 の た め に 、 「 短 時 間 勤 務 、 遅 出 ・ 早 帰 ・ 中 抜 け 等 」 を 利 用 し な が ら 働 い て い る	わ か ら な い	無 回 答
全 体		145	55.9	17.2	13.8	6.9	6.2	2.8	0.0
就労継続見込み	問題なく続けていける	62	80.6	8.1	6.5	1.6	4.8	0.0	0.0
	問題はあるが、何とか続けていける	55	30.9	34.5	16.4	16.4	7.3	0.0	0.0
	続けていくのは(やや・かなり)難しい	10	30.0	10.0	40.0	0.0	20.0	0.0	0.0

(3) 主な介護者の就労継続の可否に係る意識

「問題なく、続けていける」が44.8%、「問題はあるが、何とか続けていける」が37.9%

【問1で「1. フルタイムで働いている」、「2. パートタイムで働いている」と回答の方】

問3. 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(○は1つ)



就労状況で見ると、フルタイム勤務では他の就労状況と比べて、「問題なく、続けていける」および「わからない」の割合が高い。パートタイム勤務では他の就労状況と比べて、「問題はあるが、何とか続けていける」および「続けていくのは、やや難しい」の割合が高い。

認知症自立度別で見ると、自立+Iは他の自立度と比べて、「問題なく、続けていける」および「わからない」の割合が高い。II以上は他の自立度と比べて、「問題はあるが、何とか続けていける」の割合が高い。

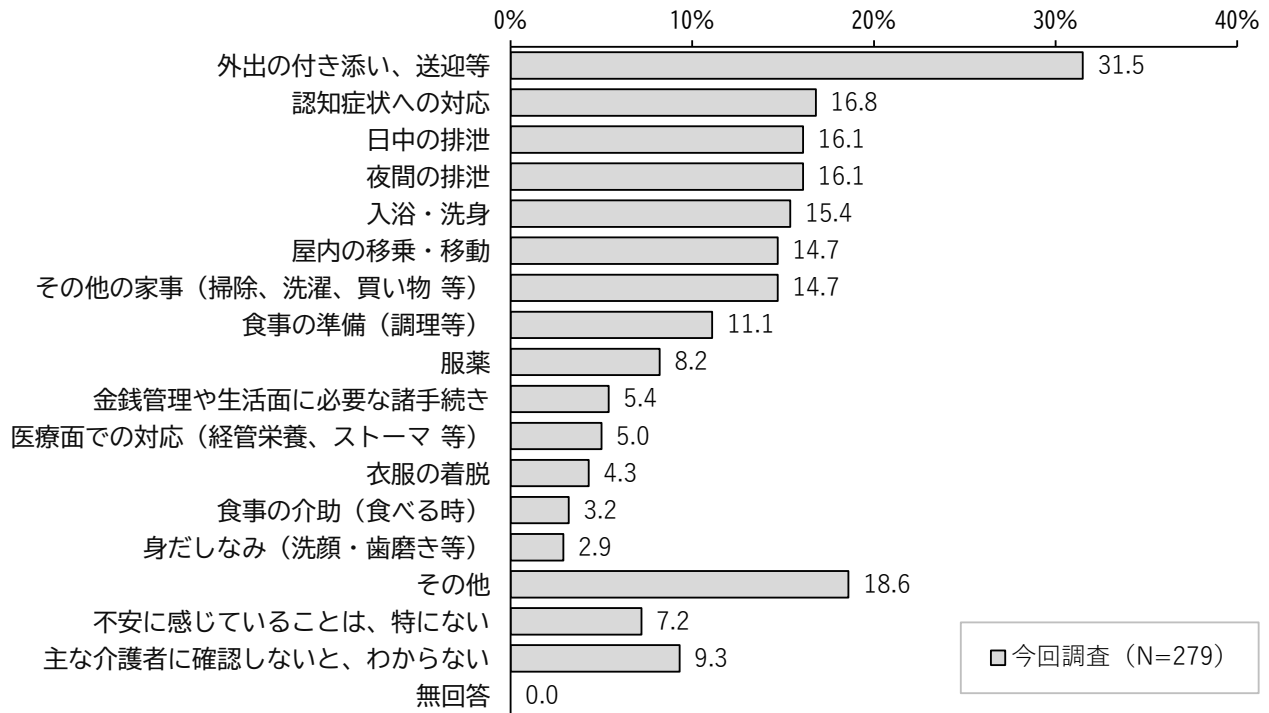
要介護2以上の高齢者を介護しながら働いている介護者別で見ると、訪問系利用ありは利用なしと比べて、「問題なく続けていける」および「わからない」の割合が高い。訪問系利用なしは利用ありと比べて、「問題はあるが何とか続けていける」および「続けていくのは、やや難しい」の割合が高い。

		調査数	問題なく、 続けていける	問題はあるが、 何とか続けていける	続けていくのは、 やや難しい	続けていくのは、 かなり難しい	わからない	無回答
全体		145	44.8	37.9	6.9	0.0	9.7	0.7
就労状況	フルタイム勤務	105	52.7	29.0	5.4	0.0	12.9	0.0
	パートタイム勤務	36	27.1	58.3	10.4	0.0	4.2	0.0
認知症自立度	自立+I	77	54.5	26.0	5.2	0.0	14.3	0.0
	II以上	64	31.3	54.7	9.4	0.0	4.7	0.0
要介護2以上、 フルタイム+パートタイム勤務	訪問系利用あり	31	38.7	48.4	6.5	0.0	6.5	0.0
	訪問系利用なし	17	5.9	76.5	17.6	0.0	0.0	0.0

(4) 今後の在宅生活の継続に向けて、主な介護者が不安に感じる介護

「外出の付き添い、送迎等」が31.5%、「その他」が18.6%

問4. 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください。(現状で行っているか否かは問いません)【複数回答：3つまで】



IV 在宅介護実態調査(調査D)

要介護度別で見ると、要介護1・2では他の要介護度と比べて、「外出の付き添い、送迎等」、「入浴、洗身」および「服薬」の割合が高い。要介護3以上では他の要介護度と比べて、「日中の排泄」、「夜間の排泄」、「屋内の移乗・移動」、「衣類の着脱」および「食事の介助(食べる時)」の割合が高い。

認知症自立度別で見ると、自立+Ⅰは他の自立度と比べて、「主な介護者に確認しないとわからない」の割合が高い。Ⅱは他の自立度と比べて、「服薬」および「その他」の割合が高い。Ⅲ以上は他の自立度と比べて、「日中の排泄」、「夜間の排泄」、「衣類の着脱」および「食事の介助(食べる時)」の割合が高い。

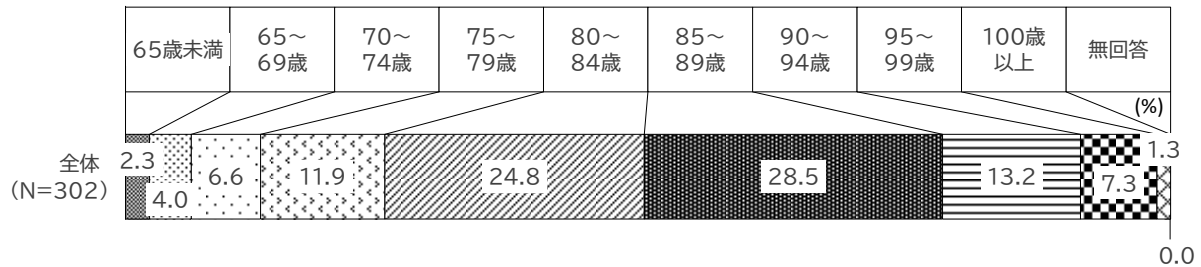
		調査数	等外出の付き添い、送迎	認知症状への対応	日中の排泄	夜間の排泄	入浴・洗身	屋内の移乗・移動	洗濯、他の家事(掃除、買い物等)	食事の準備(調理等)	服薬
全体		305	31.5	16.8	16.1	16.1	15.4	14.7	14.7	11.1	8.2
要介護度	要支援1・2	121	29.8	5.8	5.8	7.7	11.5	6.7	20.2	12.5	3.8
	要介護1・2	114	36.1	25.0	15.7	19.4	22.2	17.6	15.7	13.9	14.8
	要介護3以上	62	27.9	23.0	34.4	24.6	9.8	24.6	4.9	4.9	4.9
	通所系0回	30	33.3	16.7	30.0	16.7	10.0	23.3	10.0	3.3	3.3
	通所系1~14回	24	29.2	25.0	33.3	20.8	12.5	29.2	0.0	8.3	8.3
	通所系15回以上	7	0.0	42.9	57.1	71.4	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0
認知症自立度	自立+Ⅰ	91	34.5	2.9	8.6	9.4	15.8	12.9	15.8	13.7	3.6
	Ⅱ	95	32.3	31.2	15.1	16.1	17.2	16.1	16.1	11.8	16.1
	Ⅲ以上	113	19.5	34.1	43.9	39.0	9.8	17.1	9.8	2.4	7.3

		調査数	要金銭管理や生活面に必要な諸手続き	栄養、面での対応(経管)	衣服の着脱	食事の介助(食べる時)	磨身(洗面・歯磨き等)	その他	不安、特に感じていること	主な介護者に確認しない	無回答
全体		305	5.4	5.0	4.3	3.2	2.9	18.6	7.2	9.3	0.0
要介護度	要支援1・2	121	7.7	2.9	2.9	0.0	1.0	14.4	10.6	19.2	0.0
	要介護1・2	114	6.5	7.4	1.9	0.0	3.7	20.4	3.7	3.7	0.0
	要介護3以上	62	0.0	4.9	11.5	14.8	4.9	23.0	4.9	1.6	0.0
	通所系0回	30	0.0	6.7	13.3	10.0	3.3	30.0	6.7	3.3	0.0
	通所系1~14回	24	0.0	4.2	8.3	12.5	8.3	20.8	4.2	0.0	0.0
	通所系15回以上	7	0.0	0.0	14.3	42.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
認知症自立度	自立+Ⅰ	91	7.2	5.0	4.3	0.0	1.4	15.8	9.4	15.8	0.0
	Ⅱ	95	5.4	6.5	2.2	3.2	5.4	22.6	3.2	4.3	0.0
	Ⅲ以上	113	0.0	2.4	9.8	14.6	2.4	17.1	4.9	0.0	0.0

3. 要介護認定データ

(1) 年齢

「85～89歳」が28.5%、「80～84歳」が24.8%



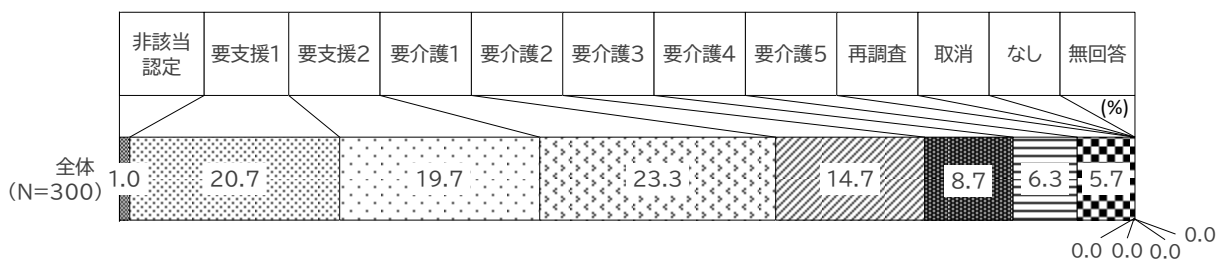
(2) 性別

「女性」が66.6%



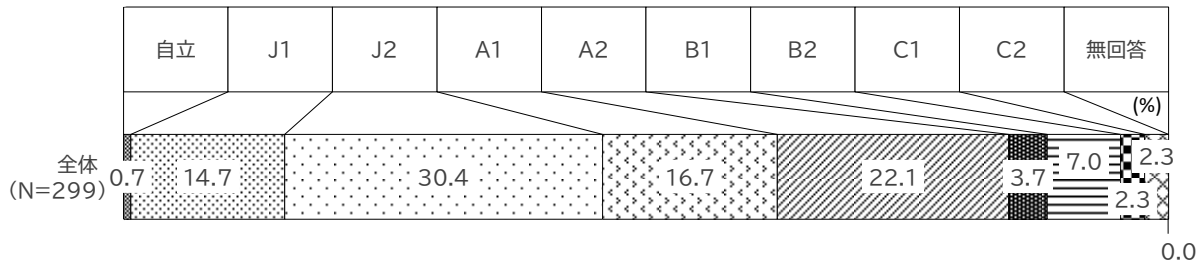
(3) 二次判定結果 (要介護度)

「要介護1」が23.3%、「要支援1」が20.7%



(4) 障害高齢者の日常生活自立度

「J2」が30.4%、「A2」が22.1%

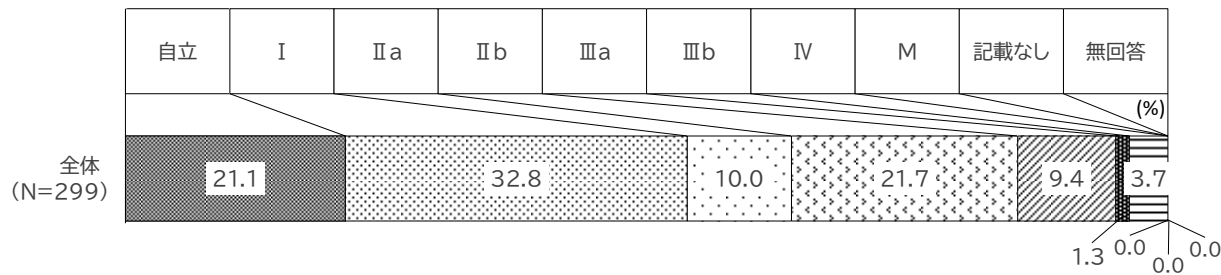


障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)の判定基準

生活自立	ランク J	何らかの障害等を有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出する 1. 交通機関等を利用して外出する 2. 隣近所へなら外出する
準寝たきり	ランク A	屋内での生活はおおむね自立しているが、介助なしには外出しない 1. 介助により外出し、日中はほとんどベッドから離れて生活する 2. 外出の頻度が少なく、日中も寝たきり起きたりの生活をしている
寝たきり	ランク B	屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体であるが座位を保つ 1. 車いすに移乗し、食事、排泄はベッドから離れて行う 2. 介助により車いすに移乗する
	ランク C	1 日中ベッド上で過ごし、排泄、食事、着替において介助を要する 1. 自力で寝返りをうつ 2. 自力では寝返りもうてない

(5) 認知症高齢者の日常生活自立度

「I」が32.8%、「II b」が21.7%

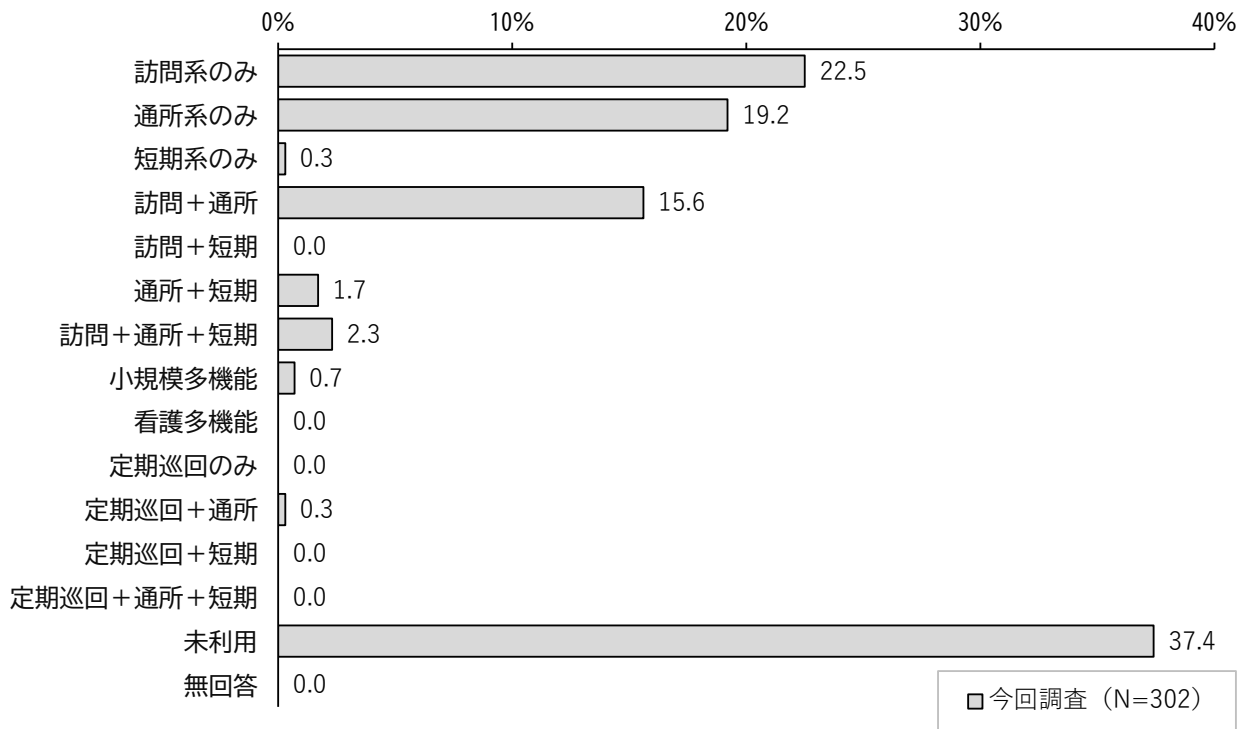


認知症高齢者の日常生活自立度

I	認知症を有するが、家庭内・社会で日常生活は自立
II	生活に支障ある症状等があるが、他者の注意あれば自立 a: 家庭外で、上記の状態がみられる b: 家庭内でも、上記の状態がみられる
III	日常生活に支障ある症状等があり、介護が必要 a: 日中を中心として、上記の状態がみられる b: 夜間を中心として、上記の状態がみられる
IV	日常生活に支障ある症状等が頻繁にあり、常時の介護要
M	著しい精神症状・周辺症状がみられ、専門医が必要

(6) サービス利用の組合せ

「未利用」が37.4%、「訪問系のみ」が22.5%



IV 在宅介護実態調査(調査D)

要介護度別で見ると、要支援1・2は他の要介護度と比べて、「未利用」および「通所系」の割合が高い。
要介護3以上は他の要介護度と比べて、「訪問系のみ」および「訪問+通所+短期」の割合が高い。

認知症自立度別で見ると、自立+Iは他の自立度と比べて、「未利用」の割合が高い。Ⅲ以上は他の自立度と比べて、「訪問+通所」、「通所+短期」および「訪問+通所+短期」の割合が高い。

(%)

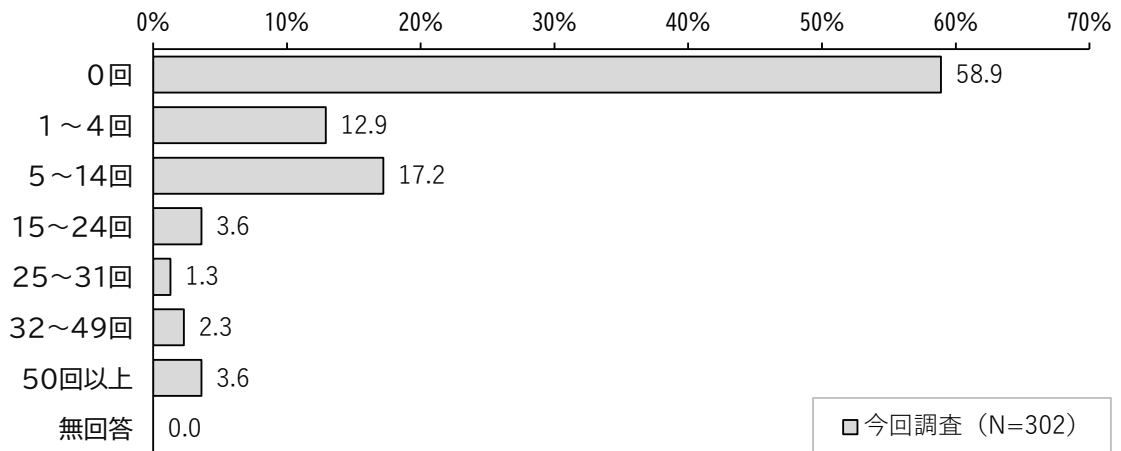
	調査数	未利用	訪問系のみ	通所系のみ	短期系のみ	訪問+通所	訪問+短期	通所+短期	訪問+通所+短期	小規模多機能
全体	302	37.4	22.5	19.2	0.3	15.6	0.0	1.7	2.3	0.7
要介護度	要支援1・2	121	51.2	16.5	26.4	0.0	5.8	0.0	0.0	0.0
	要介護1・2	114	31.6	25.4	17.5	0.0	21.9	0.0	1.8	0.9
	要介護3以上	62	16.1	30.6	9.7	1.6	24.2	0.0	4.8	9.7
認知症自立度	自立+I	161	44.7	23.0	21.1	0.0	10.6	0.0	0.0	0.6
	Ⅱ	95	33.7	22.1	21.1	0.0	20.0	0.0	1.1	1.1
	Ⅲ以上	43	14.0	23.3	9.3	2.3	25.6	0.0	9.3	11.6

(%)

	調査数	看護多機能	定期巡回のみ	定期巡回+通所	定期巡回+短期	定期巡回+通所+短期	無回答
全体	302	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0
要介護度	要支援1・2	121	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	要介護1・2	114	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	要介護3以上	62	0.0	0.0	1.6	0.0	0.0
認知症自立度	自立+I	161	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	Ⅱ	95	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	Ⅲ以上	43	0.0	0.0	2.3	0.0	0.0

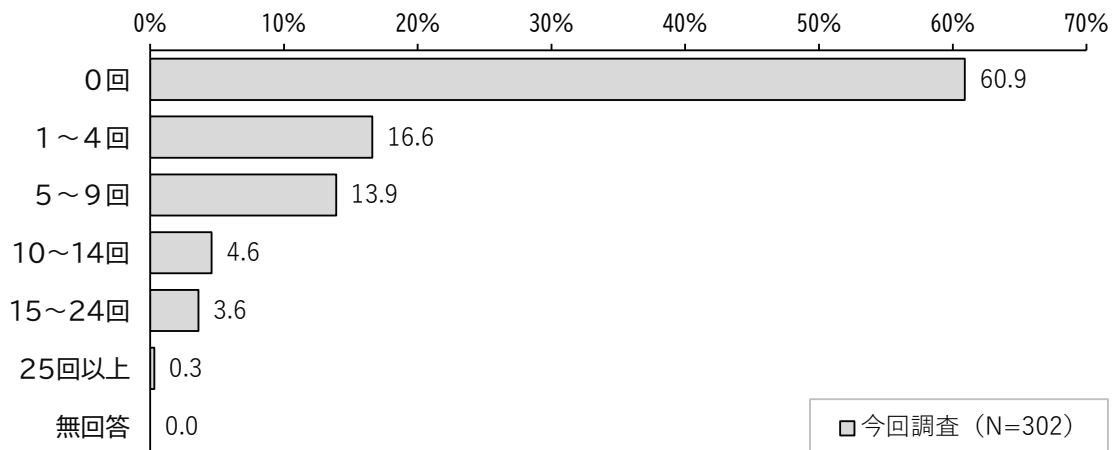
(7) 訪問系サービスの合計利用回数

「0回」が58.9%、「5～14回」が17.2%



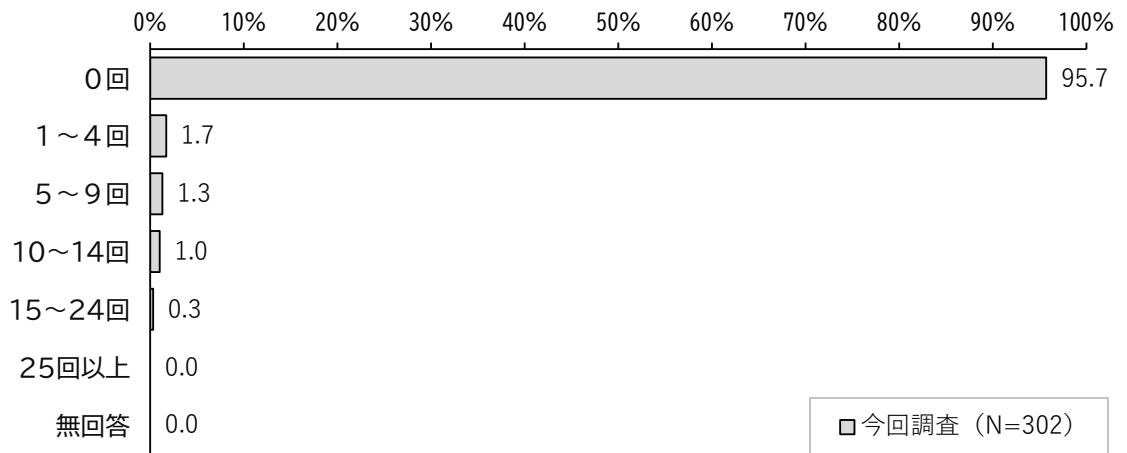
(8) 通所系サービスの合計利用回数

「0回」が60.9%、「1～4回」が16.6%



(9) 短期系サービスの合計利用回数

「0回」が95.7%、「1～4回」が1.7%



V 介護保険サービス事業所調査(調査E)

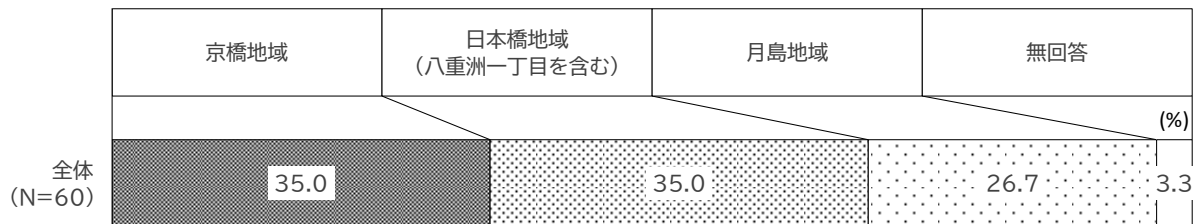
V 介護保険サービス事業所調査 (調査E)

1. 事業所・施設情報について

(1) 事業所の所在地域

「京橋地域」「日本橋地域（八重洲一丁目を含む）」が各 35.0%、「月島地域」が 26.7%

問1. 貴事業所の所在地はどちらですか。(〇は1つ)



事業種別で見ると、居宅介護支援事業所は他の事業所と比べて、「京橋地域」の割合が高い。施設・居住系サービス事業所は他の事業所と比べて、「月島地域」の割合が高い。介護予防サービス実施事業所は他の事業所と比べて、「日本橋地域（八重洲一丁目を含む）」の割合が高い。

従業員規模別で見ると、0～2人は3人以上と比べて、「日本橋地域（八重洲一丁目を含む）」の割合が高い。3～5人は他の規模と比べて、「月島地域」の割合が高い。6人以上は5人以下と比べて、「京橋地域」の割合が高い。

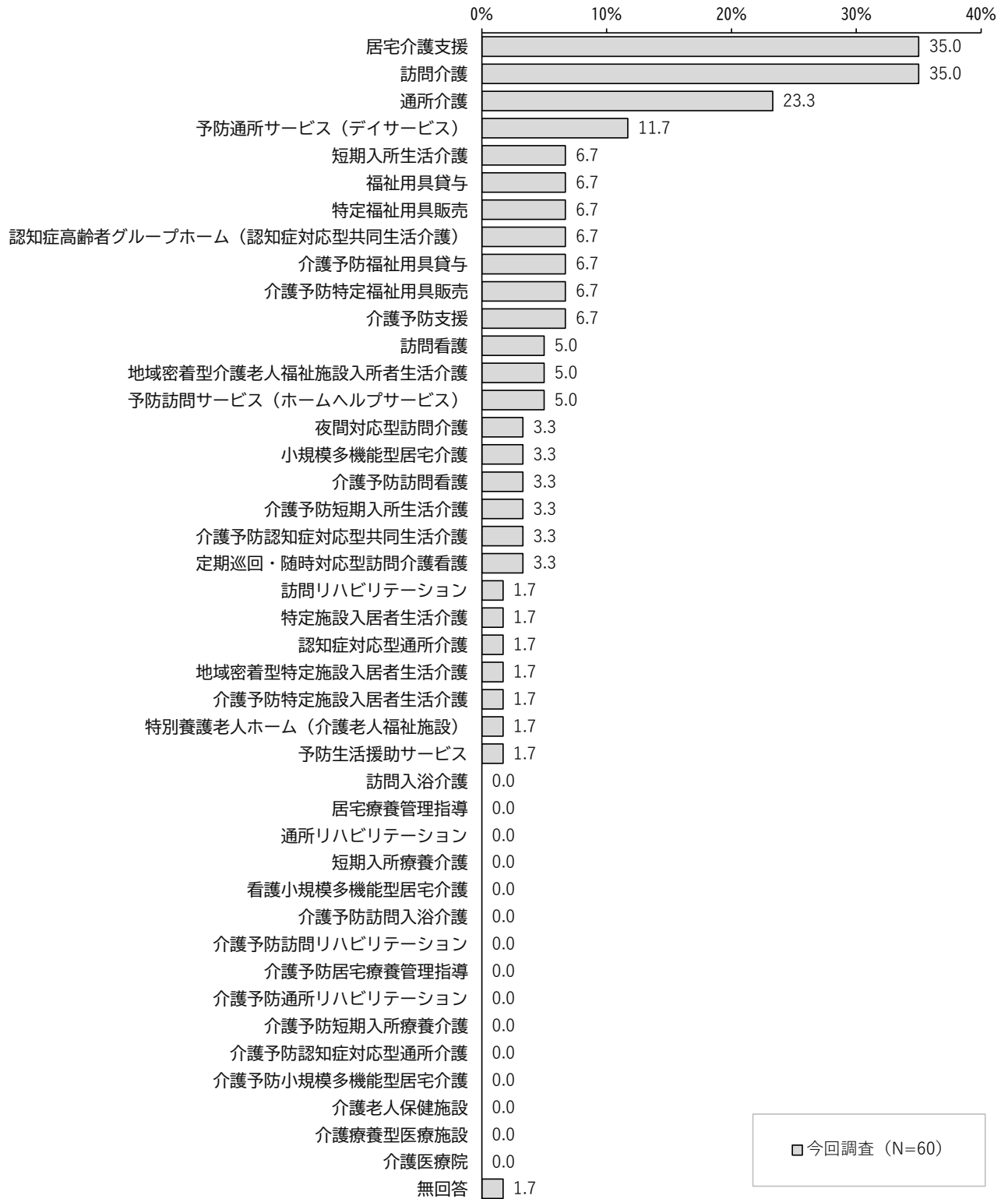
		調査数	京橋地域	一（日本橋地域） （八重洲一丁目を含む）	月島地域	無回答
全 体		60	35.0	35.0	26.7	3.3
事業種別	居宅介護支援事業所	22	45.5	27.3	27.3	0.0
	居宅サービス事業所	46	34.8	39.1	21.7	4.3
	施設・居住系サービス事業所	9	33.3	22.2	33.3	11.1
	介護予防サービス実施事業所	19	36.8	42.1	21.1	0.0
従業員規模	0～2人	13	30.8	61.5	7.7	0.0
	3～5人	20	25.0	25.0	45.0	5.0
	6～10人	10	50.0	30.0	20.0	0.0
	11人以上	14	42.9	28.6	28.6	0.0

(2) 指定サービス

「居宅介護支援」「訪問介護」が各 35.0%、「通所介護」が 23.3%

問2. 令和4年10月1日現在、貴事業所が指定(許可)を受けているサービスすべてを選んでください。

【複数回答】



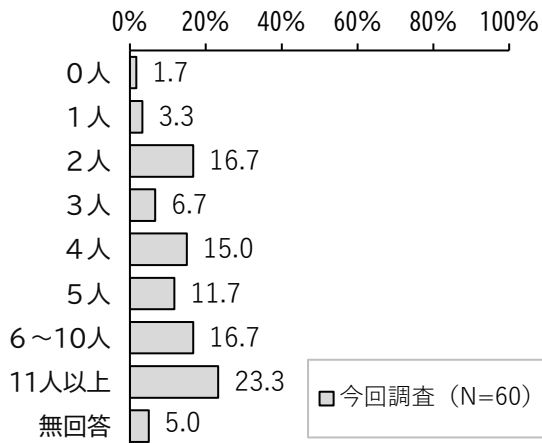
□ 今回調査 (N=60)

(3) 職員数

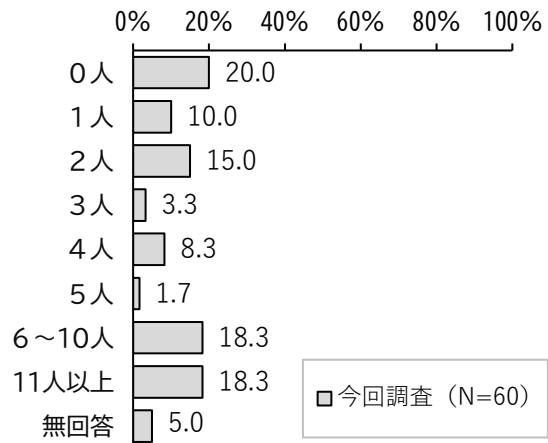
- ①常勤職員については、「11人以上」が23.3%、「2人」「6～10人」が各16.7%、「4人」が15.0%
- ②非常勤職員については、「0人」が20.0%、「6～10人」「11人以上」が各18.3%、「2人」が15.0%
- ③臨時職員については、「0人」が81.7%
- ④合計は、「11～20人」が40.0%、「6～10人」が18.3%

問3. 貴事業所が指定(許可)を受けているサービスについて、令和4年10月1日現在の、職員数を記入してください。(数値回答)

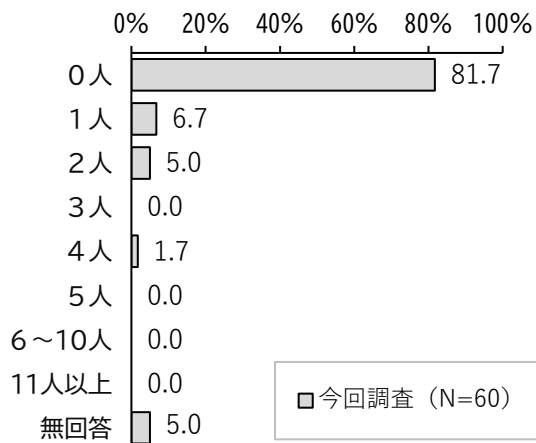
①常勤職員



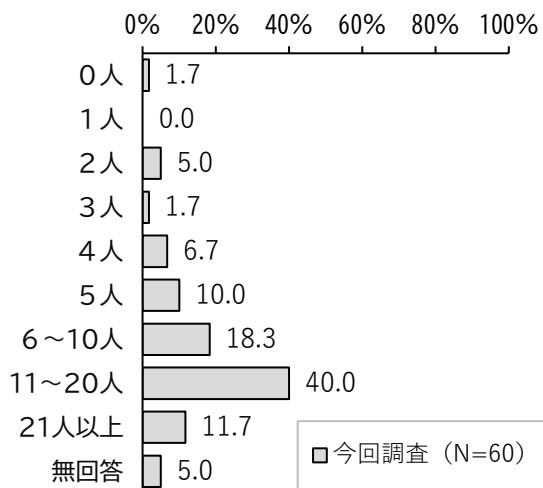
②非常勤職員



③臨時職員



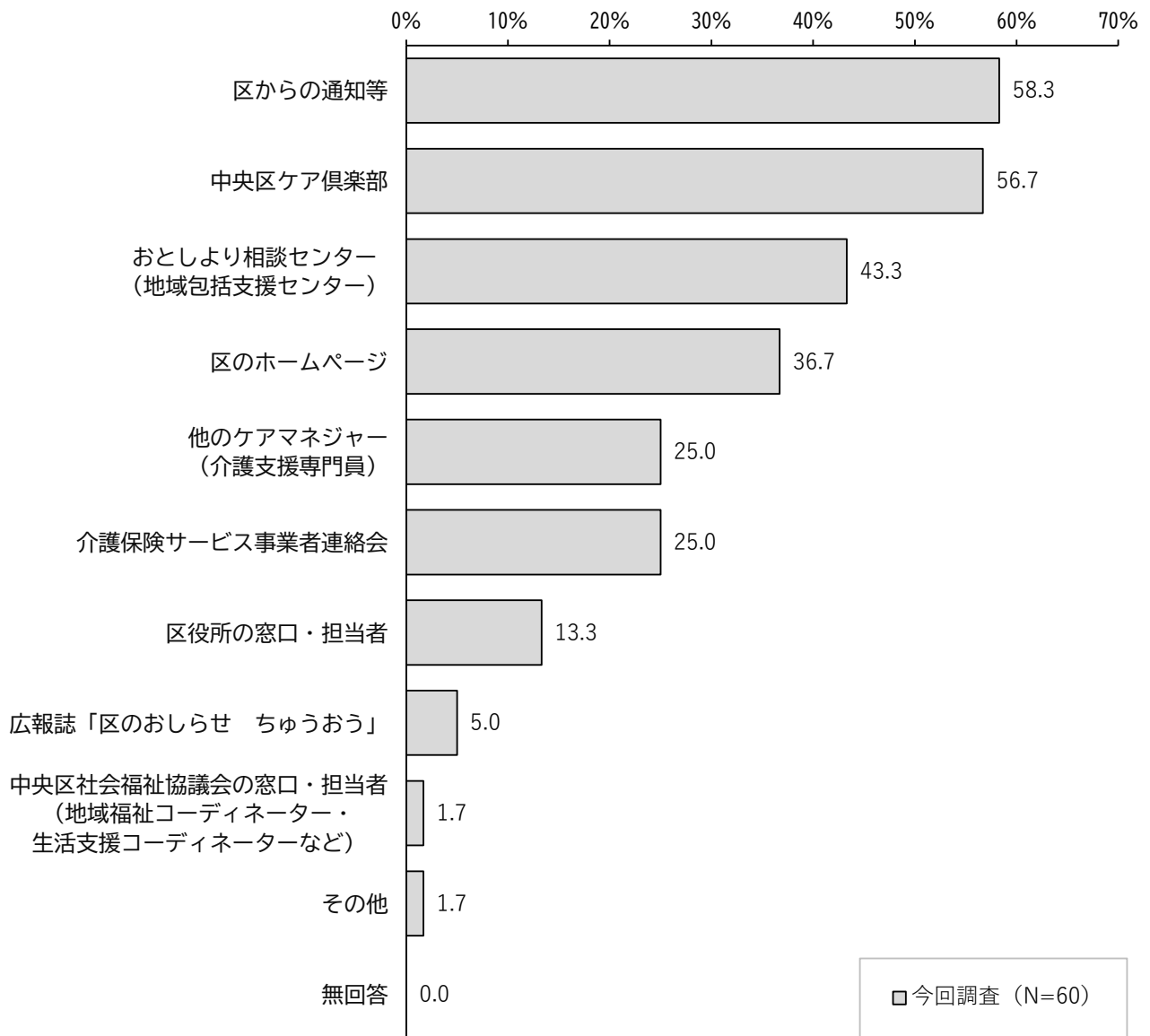
④合計



(4) 中央区からの情報の入手場所

「区からの通知等」が58.3%、「中央区ケア倶楽部」が56.7%

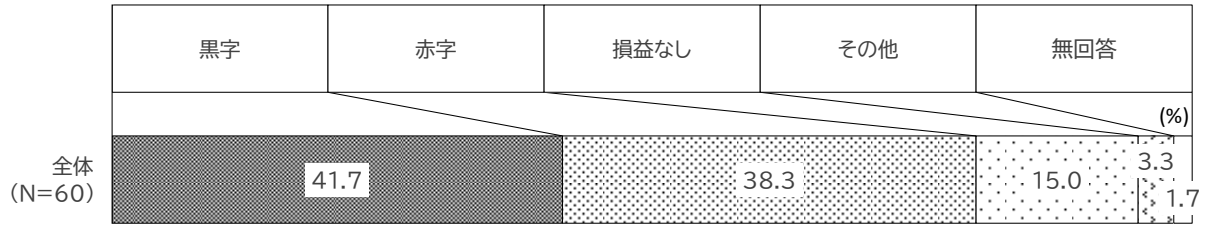
問4. 貴事業所は中央区からの情報を主にどこから入手していますか。【複数回答：3つまで】



(5) 令和3年度の事業採算

「黒字」が41.7%、「赤字」が38.3%

問5. 昨年度の事業採算について教えてください。(〇は1つ)



事業種別で見ると、居宅介護支援事業所は他の事業所と比べて、「黒字」の割合が高く、「赤字」の割合が低い。

従業員規模別で見ると、3～5人は他の規模と比べて、「黒字」の割合が高い。6～10人は他の規模と比べて、「赤字」の割合が高い。

		調査数	黒字	赤字	損益なし	その他	無回答
全体		60	41.7	38.3	15.0	3.3	1.7
事業種別	居宅介護支援事業所	22	50.0	18.2	27.3	4.5	0.0
	居宅サービス事業所	46	41.3	39.1	17.4	0.0	2.2
	施設・居住系サービス事業所	9	44.4	44.4	0.0	11.1	0.0
	介護予防サービス実施事業所	19	42.1	36.8	21.1	0.0	0.0
従業員規模	0～2人	13	38.5	38.5	23.1	0.0	0.0
	3～5人	20	50.0	25.0	15.0	5.0	5.0
	6～10人	10	40.0	60.0	0.0	0.0	0.0
	11人以上	14	42.9	28.6	21.4	7.1	0.0

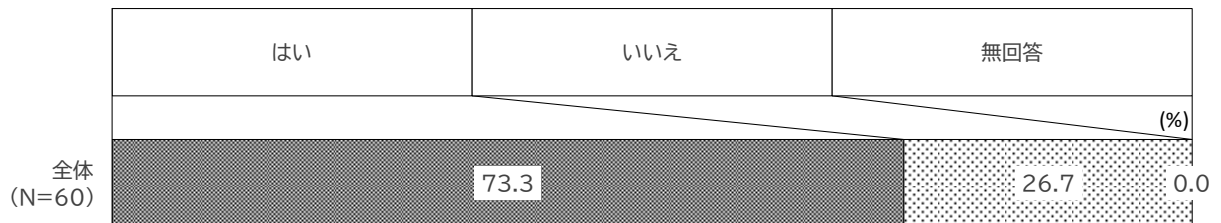
2. 人材確保・人材育成等について

(1) 介護職員の不足感

① 介護職員の不足感

「はい」(不足を感じる)が73.3%

問6. 貴事業所は、職員の不足を感じるがありますか。(○は1つ)



事業種別で見ると、施設・居住系サービス事業所は他の事業所と比べて、「はい」の割合が高い。
従業員規模別で見ると、11人以上は10人以下と比べて、「はい」の割合が高い。

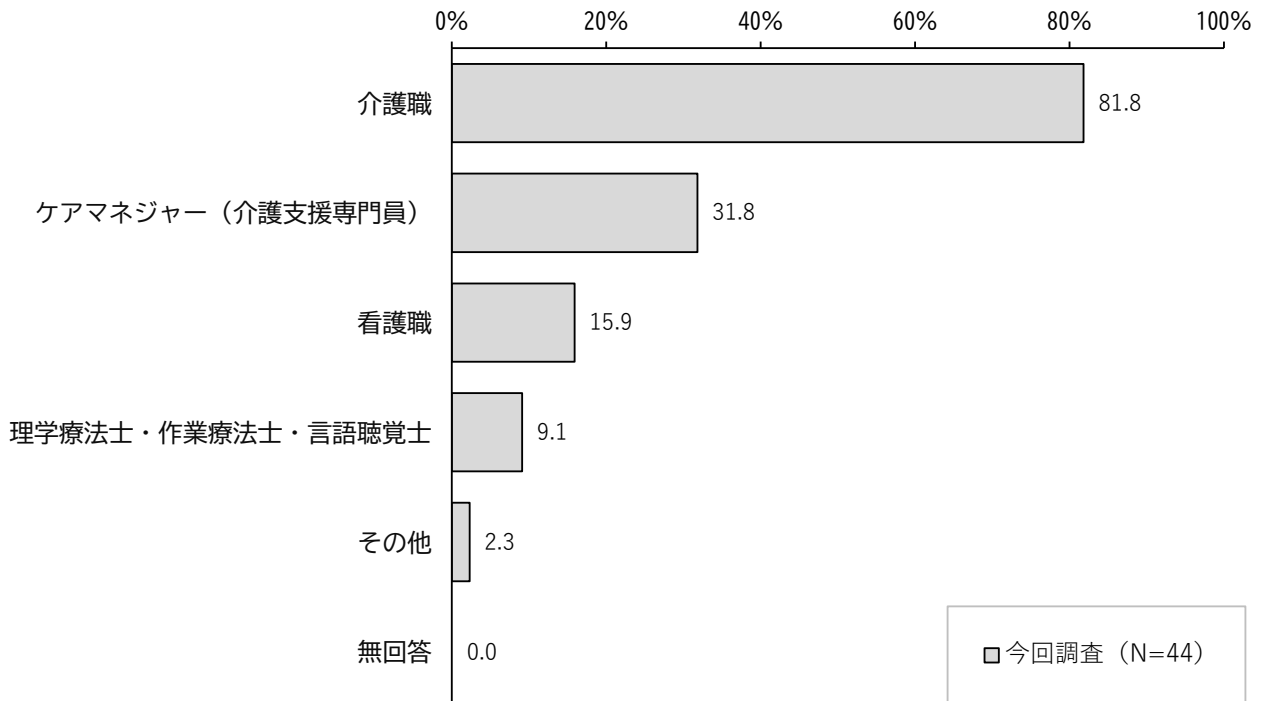
		調査数	はい	いいえ	無回答
全 体		60	73.3	26.7	0.0
事業種別	居宅介護支援事業所	22	72.7	27.3	0.0
	居宅サービス事業所	46	76.1	23.9	0.0
	施設・居住系サービス事業所	9	100.0	0.0	0.0
	介護予防サービス実施事業所	19	78.9	21.1	0.0
従業員規模	0~2人	13	69.2	30.8	0.0
	3~5人	20	70.0	30.0	0.0
	6~10人	10	70.0	30.0	0.0
	11人以上	14	85.7	14.3	0.0

② 不足している職種

「介護職」が81.8%、「ケアマネジャー（介護支援専門員）」が31.8%

【問6で「1. はい」と回答の事業所】

問6-1. 不足している職種は何ですか。【複数回答】



(2) 職員の離職状況

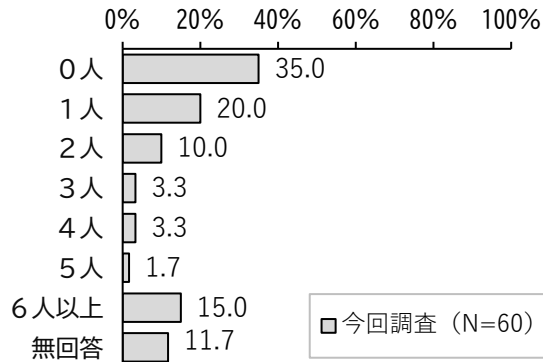
① 昨年1年間の職員の離職状況

<離職者総数>については、常勤、非常勤ともに「0人」(35.0%、48.3%)が最も多い
 <離職率>については、常勤、非常勤ともに「0%」(25.0%、36.7%)が最も多い
 <就職者総数>については、常勤、非常勤ともに「0人」(23.3%、33.3%)が最も多い

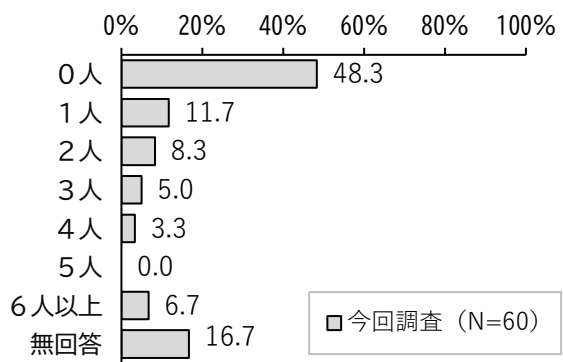
問7. 昨年1年間の就職・離職状況を教えてください。(令和3年4月1日~令和4年3月31日)

<離職者総数>

○常勤

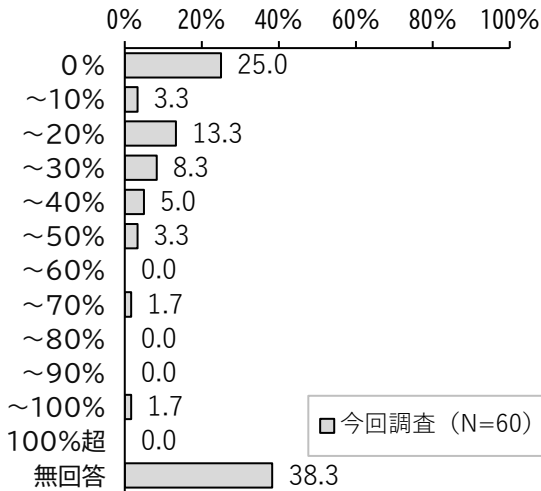


○非常勤

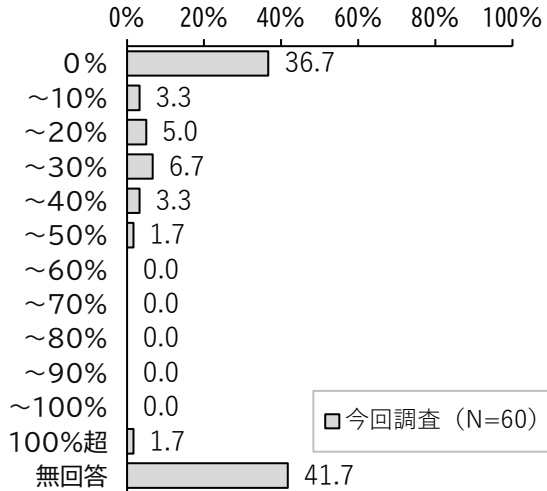


<離職率>

○常勤

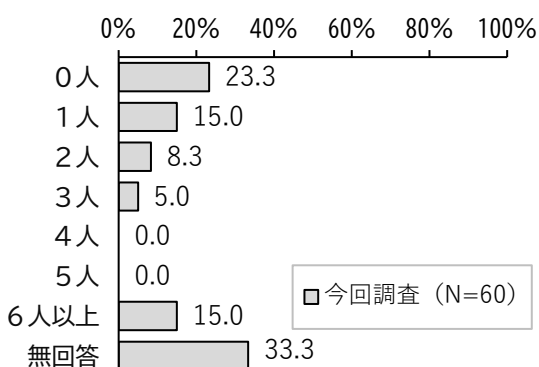


○非常勤

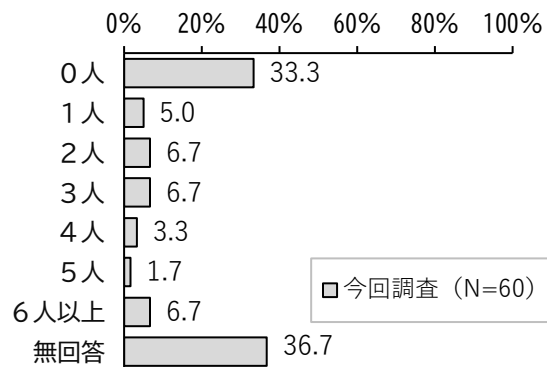


<就職者総数>

○常勤



○非常勤

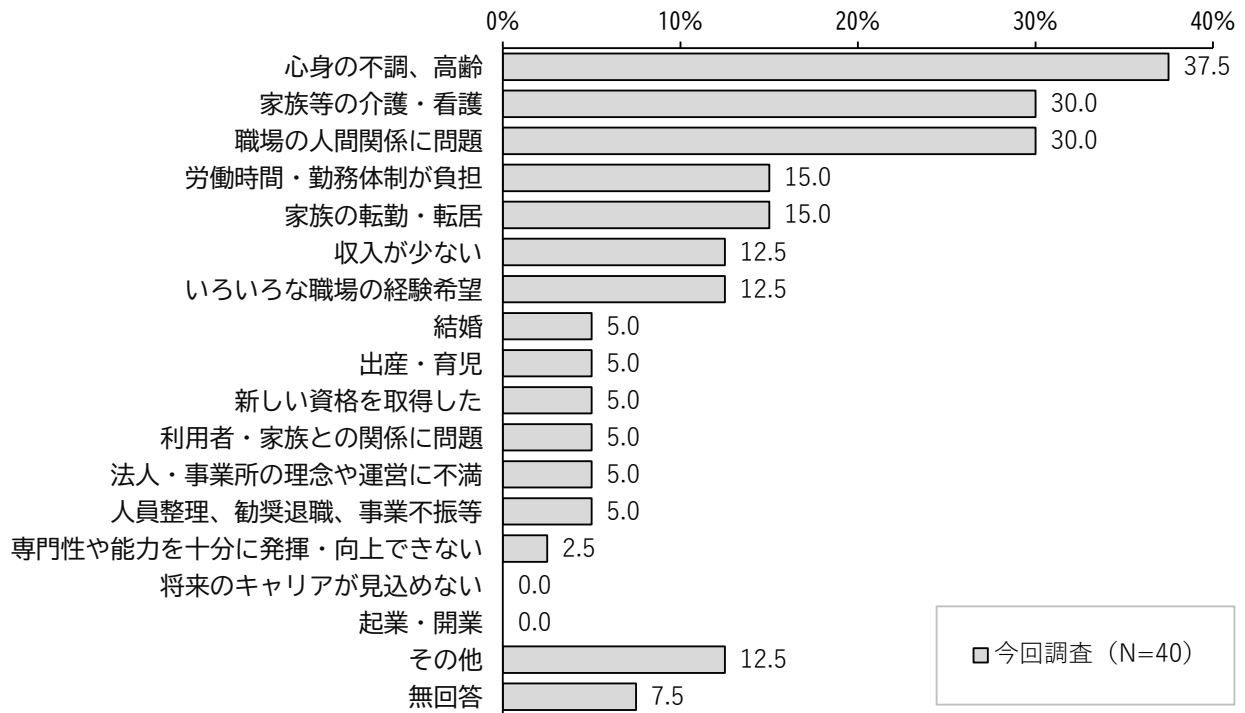


② 離職理由

「心身の不調、高齢」が37.5%、「家族等の介護・看護」「職場の人間関係に問題」が各30.0%

【問7で離職者が1人以上いると回答の事業所】

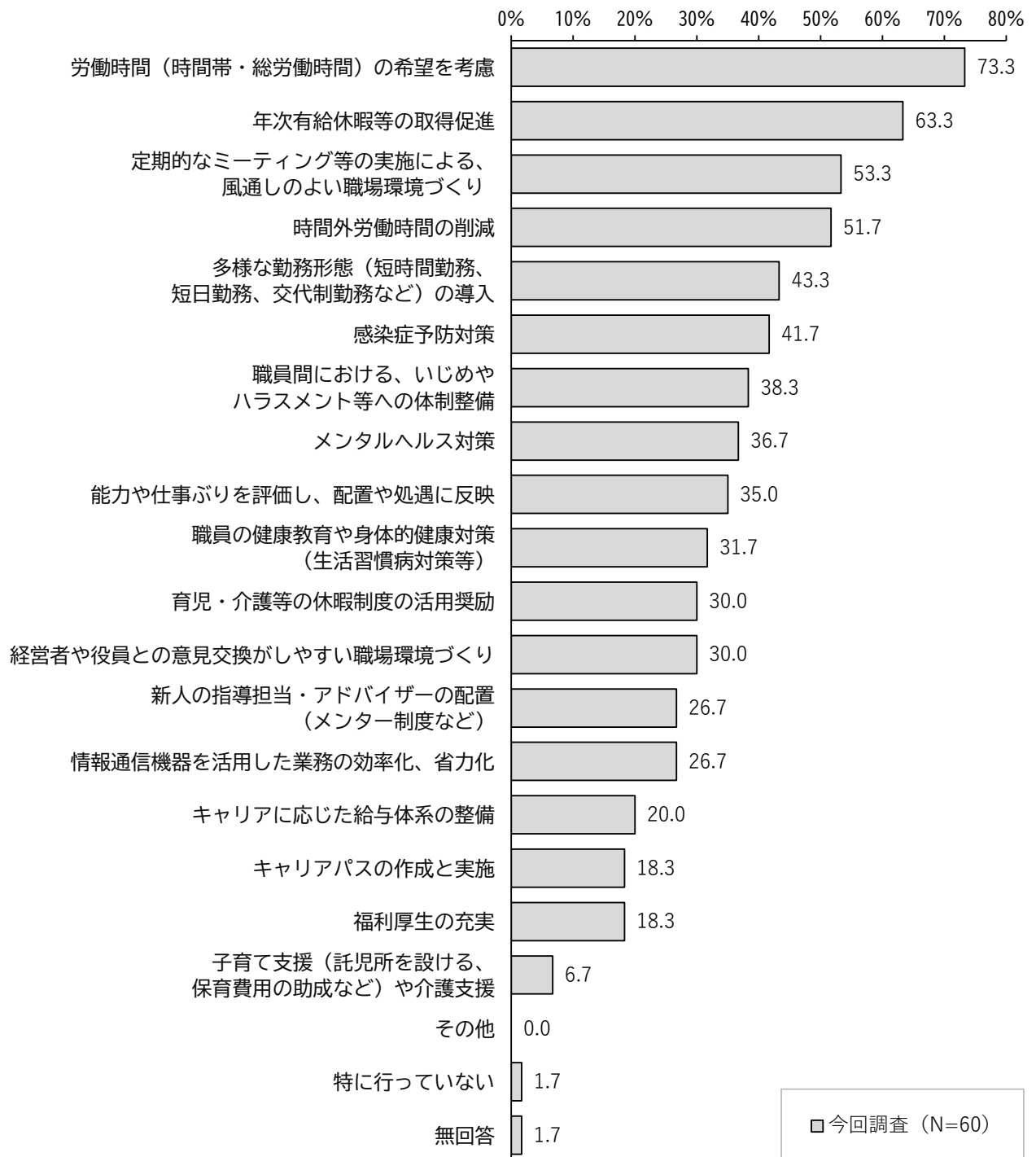
問7-1. 把握している範囲での離職理由について教えてください。【複数回答】



③ 離職者が出ないための工夫

「労働時間（時間帯・総労働時間）の希望を考慮」が73.3%、「年次有給休暇等の取得促進」が63.3%

問8. 離職者が出ない工夫を行っているものがあれば、教えてください。【複数回答】

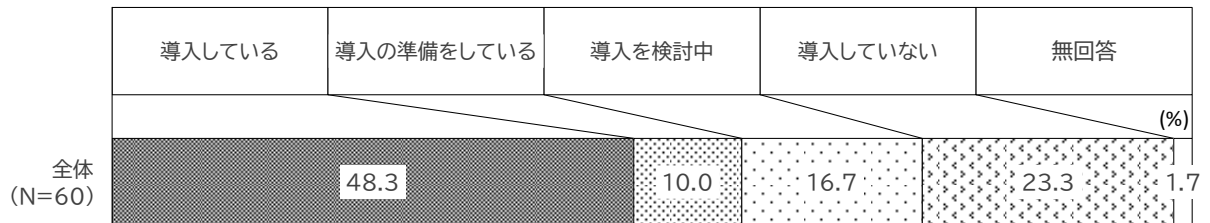


(3) 人材育成・教育制度

① 人材育成・教育制度の導入の有無

「導入している」が48.3%、「導入していない」が23.3%

問9. 貴事業所では、人材育成・教育制度を導入していますか。(〇は1つ)



事業種別で見ると、居宅介護支援事業所は他の事業所と比べて、「導入している」の割合が低く、「導入していない」の割合が高い。

従業員規模別で見ると、0～2人は3人以上と比べて、「導入している」の割合が低く、「導入していない」の割合が高い。6～10人は他の規模と比べて、「導入していない」の割合が低い。11人以上は10人以下と比べて、「導入している」の割合が高く、「導入していない」の割合が低い。

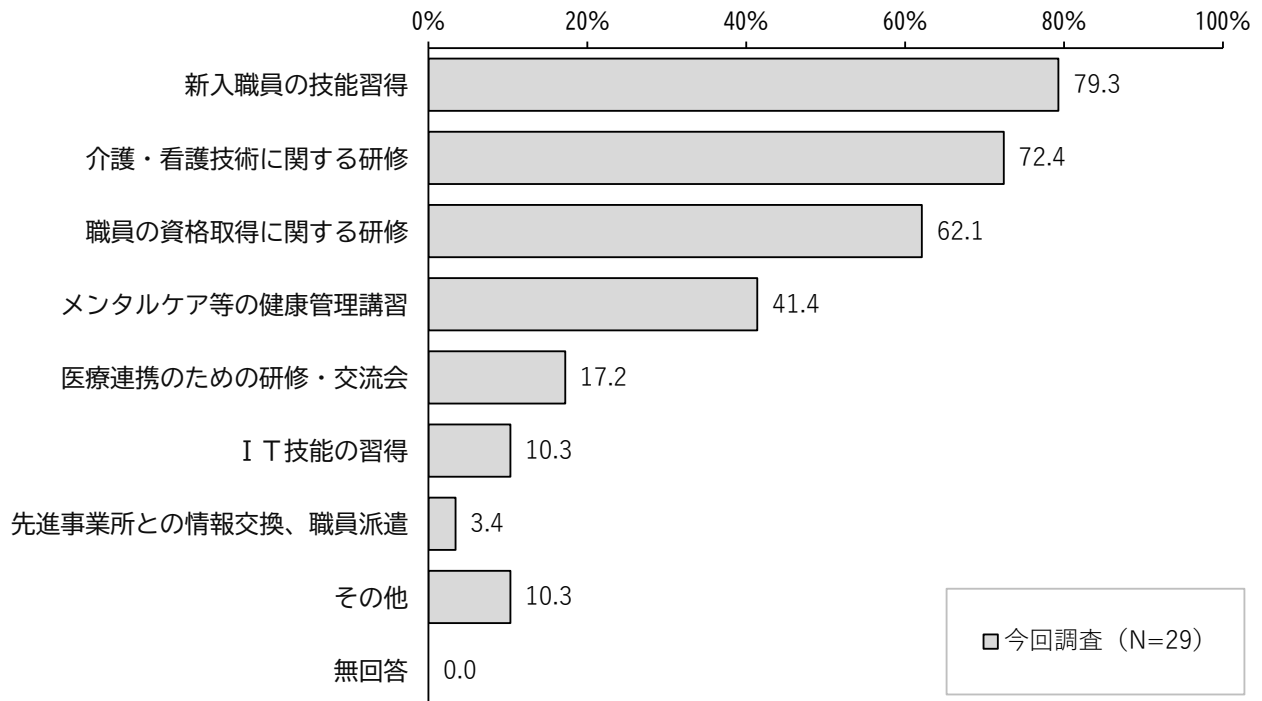
		調査数	導入している	導入の準備をしている	導入を検討中	導入していない	無回答
全 体		60	48.3	10.0	16.7	23.3	1.7
事業種別	居宅介護支援事業所	22	31.8	9.1	22.7	31.8	4.5
	居宅サービス事業所	46	50.0	8.7	21.7	17.4	2.2
	施設・居住系サービス事業所	9	55.6	11.1	11.1	22.2	0.0
	介護予防サービス実施事業所	19	42.1	10.5	26.3	21.1	0.0
従業員規模	0～2人	13	23.1	15.4	23.1	38.5	0.0
	3～5人	20	50.0	10.0	10.0	30.0	0.0
	6～10人	10	50.0	10.0	20.0	10.0	10.0
	11人以上	14	64.3	7.1	14.3	14.3	0.0

② 人材育成・教育制度の導入の内容

「新入職員の技能習得」が79.3%、「介護・看護技術に関する研修」が72.4%

【問9で「1. 導入している」と回答の事業所】

問9-1. その人材育成・教育制度は何ですか。【複数回答】



<その他の回答>

- 階層別研修（リーダー層・管理層等） ○機能訓練・身体動作 ○研修・勉強会の開催

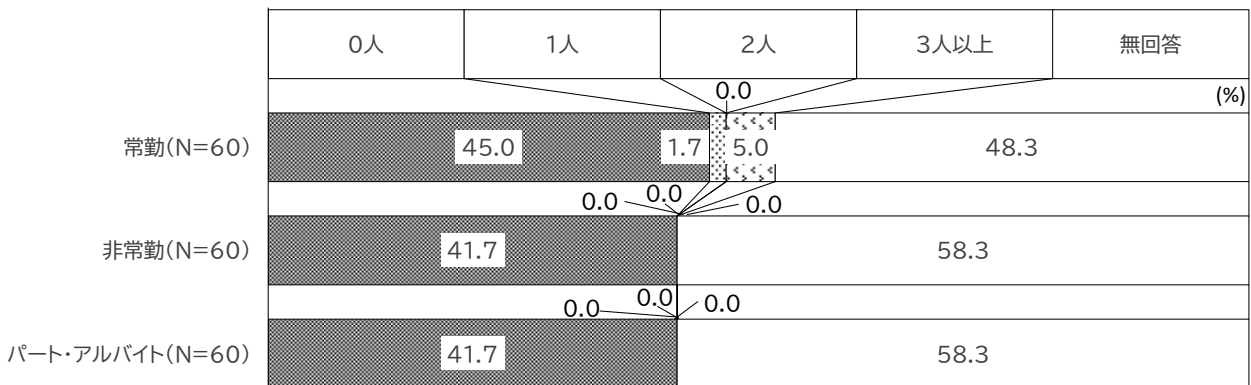
(4) 外国人人材

① 外国人人材の有無、人数、在留資格区分

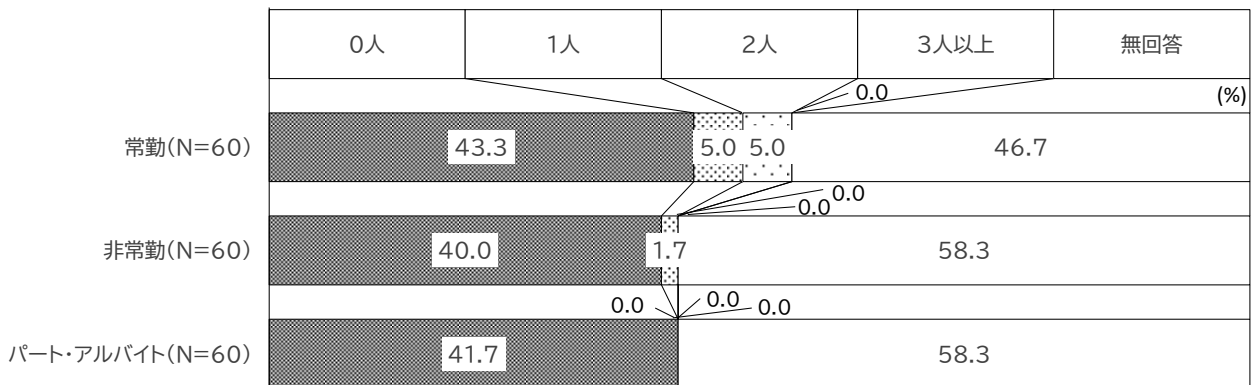
- ・<在留資格「特定活動」(EPA)>については、「1人」、「2人」、「3人以上」の合計の割合が、常勤で6.7%と、非常勤、パート・アルバイト(各0.0%)に比べて高い
- ・<在留資格「介護」>については、「1人」、「2人」、「3人以上」の合計の割合が、常勤で10.0%と、非常勤(1.7%)、パート・アルバイト(0.0%)に比べて高い
- ・<在留資格「技能実習」>については、「1人」、「2人」、「3人以上」の合計の割合が、常勤(3.3%)、非常勤(0.0%)、パート・アルバイト(1.7%)のいずれも低い
- ・<在留資格「特定技能」1号>については、「1人」、「2人」、「3人以上」の合計の割合が、常勤で6.7%と、非常勤、パート・アルバイト(各0.0%)に比べて高い
- ・<外国人留学生>については、「1人」、「2人」、「3人以上」の合計の割合が、常勤で5.0%と、非常勤、パート・アルバイト(各0.0%)に比べて高い
- ・<その他、日本人や永住者等の配偶者等>については、「1人」、「2人」、「3人以上」の合計の割合が、常勤(6.7%)、非常勤(5.0%)と、パート・アルバイト(1.7%)に比べてやや高い

問10. 貴事業所では、どのような外国人介護人材を受け入れていますか。在留資格ごとに教えてください。
(数値回答)

<在留資格「特定活動」(EPA)>

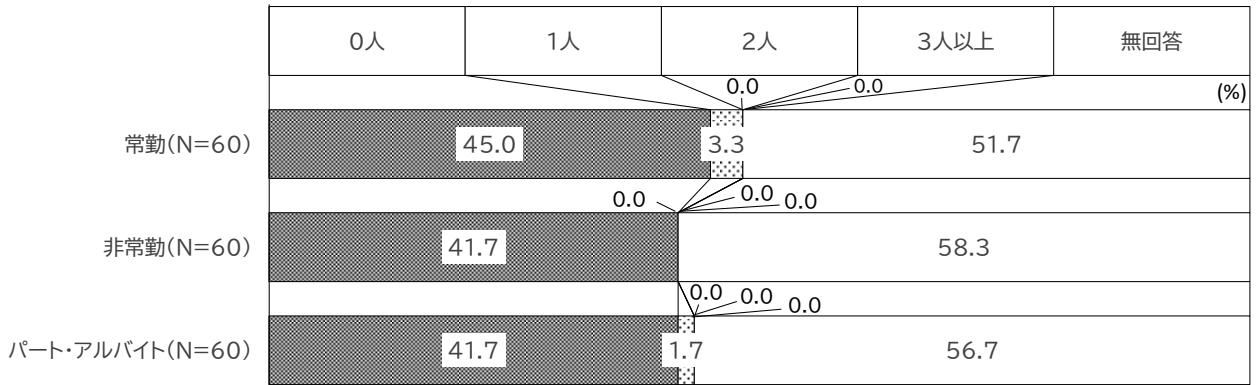


<在留資格「介護」>

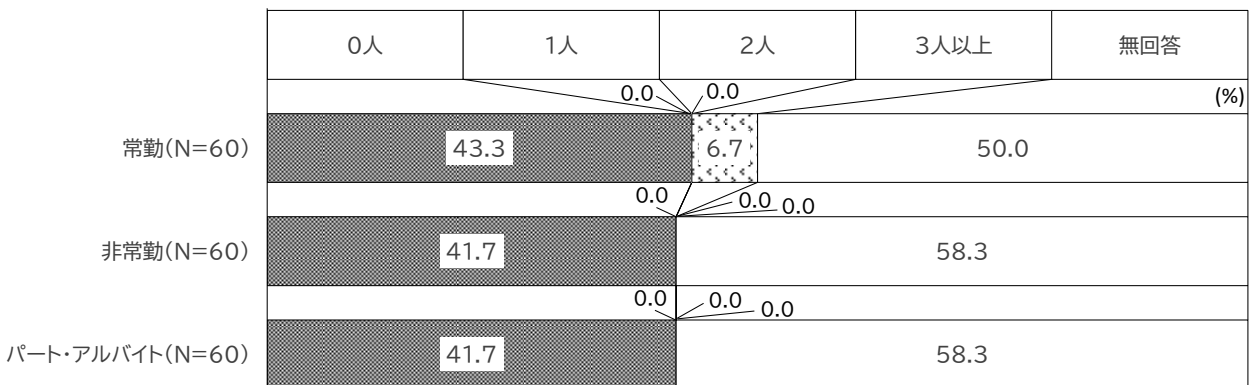


V 介護保険サービス事業所調査(調査E)

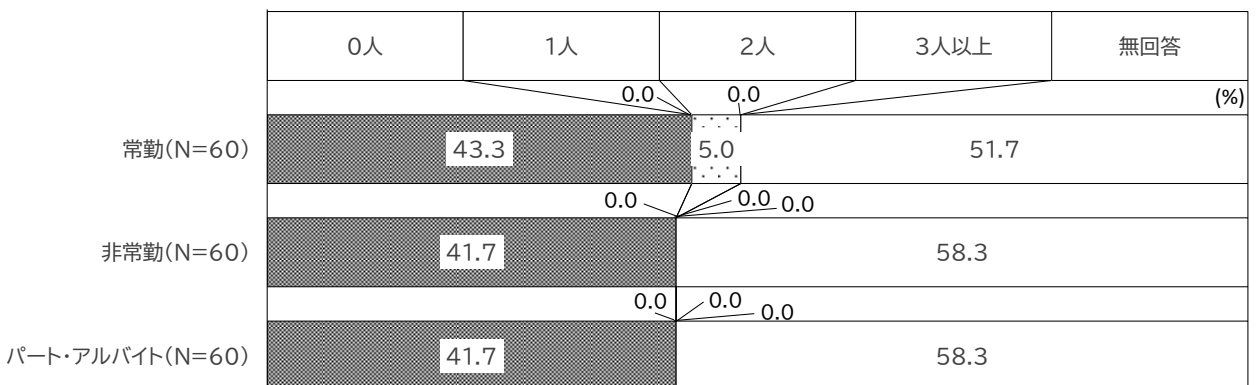
<在留資格「技能実習」>



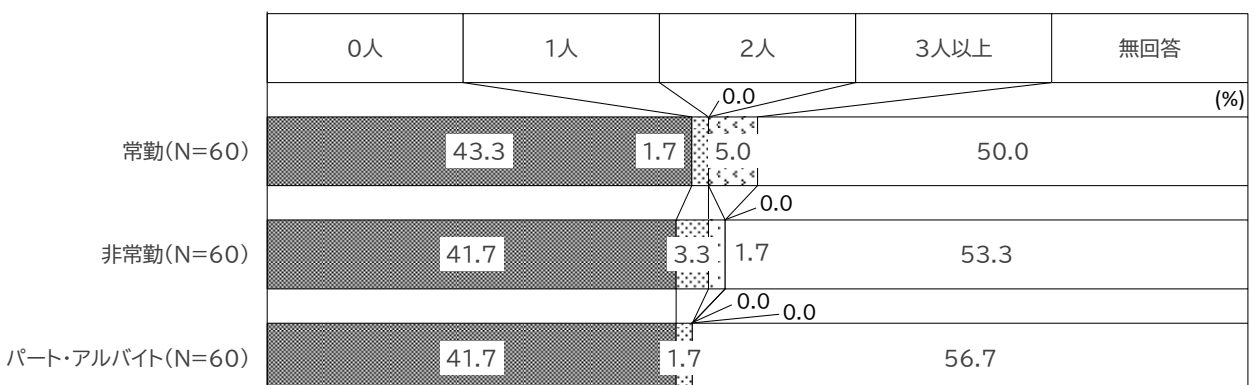
<在留資格「特定技能」1号>



<外国人留学生>



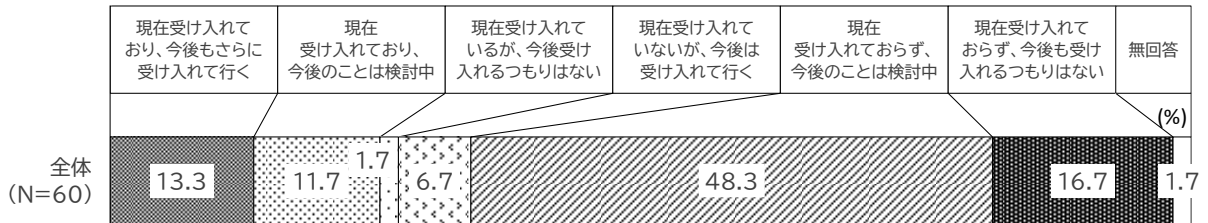
<その他、日本人や永住者等の配偶者等>



② 外国人人材の活用の意向

「現在受け入れておらず、今後のことは検討中」が48.3%、「現在受け入れておらず、今後も受け入れるつもりはない」が16.7%、「現在受け入れており、今後もさらに受け入れて行く」が13.3%

問 11. 貴事業所の今後の外国人介護人材の活用の意向を教えてください。(〇は1つ)



事業種別で見ると、施設・居住系サービス事業所は他の事業所と比べて、「現在受け入れておらず、今後のことは検討中」の割合が高い。

従業員規模別で見ると、0～2人は3人以上と比べて、「現在受け入れておらず、今後も受け入れるつもりはない」の割合が高い。3～5人および11人以上は他の規模と比べて、「現在受け入れておらず、今後のことは検討中」の割合が高い。6～10人は他の規模と比べて、「現在受け入れており、今後もさらに受け入れて行く」の割合が高い。

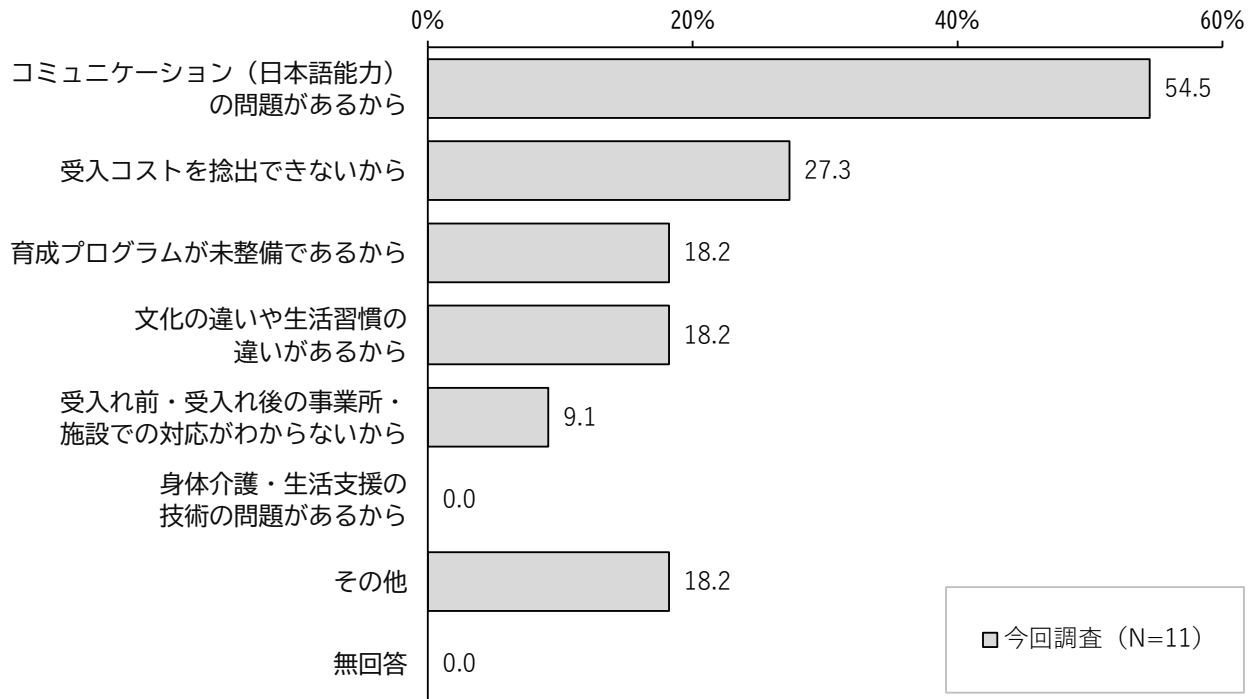
		調査数	現在受け入れておらず、今後のことは検討中 (%)	現在受け入れておらず、今後も受け入れるつもりはない (%)	現在受け入れておらず、今後のことは検討中 (%)	現在受け入れておらず、今後のことは検討中 (%)	現在受け入れておらず、今後のことは検討中 (%)	現在受け入れておらず、今後のことは検討中 (%)	無回答 (%)
全体		60	48.3	16.7	11.7	6.7	1.7	1.7	
事業種別	居宅介護支援事業所	22	50.0	22.7	13.6	4.5	9.1	0.0	
	居宅サービス事業所	46	41.3	19.6	13.0	0.0	8.7	2.2	
	施設・居住系サービス事業所	9	66.7	0.0	22.2	0.0	0.0	0.0	
	介護予防サービス実施事業所	19	42.1	21.1	26.3	0.0	5.3	0.0	
従業員規模	0～2人	13	30.8	38.5	0.0	0.0	15.4	0.0	
	3～5人	20	50.0	10.0	15.0	5.0	5.0	5.0	
	6～10人	10	30.0	10.0	20.0	0.0	0.0	0.0	
	11人以上	14	64.3	14.3	14.3	0.0	7.1	0.0	

③ 受入れしない理由

「コミュニケーション（日本語能力）の問題があるから」が54.5%、「受入コストを捻出できないから」が27.3%

【問11で「3. 現在受け入れているが、今後受け入れるつもりはない」または「6. 現在受け入れておらず、今後も受け入れるつもりはない」と回答の事業所】

問11-1. 今後受け入れるつもりがないとした理由について教えてください。【複数回答】



<その他の回答>

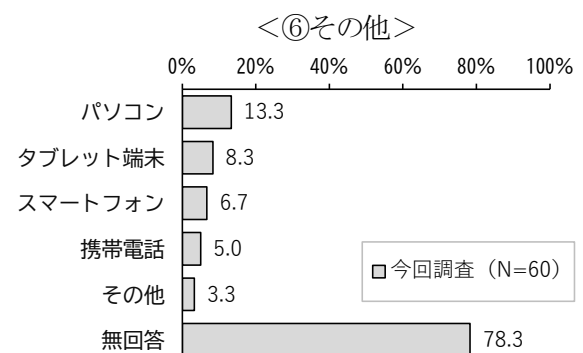
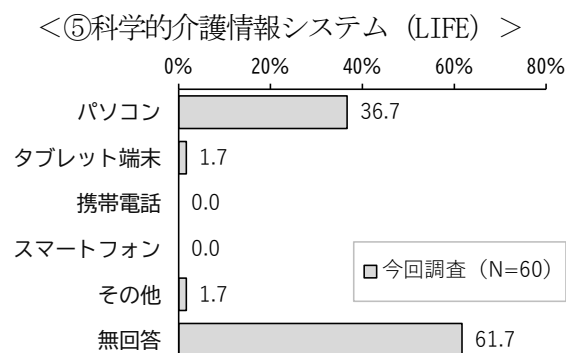
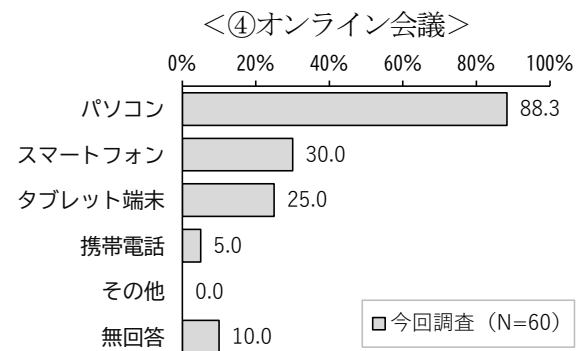
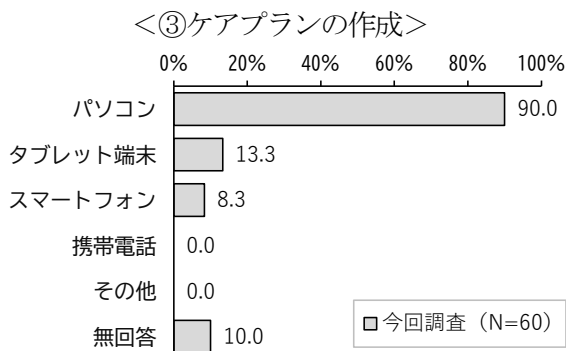
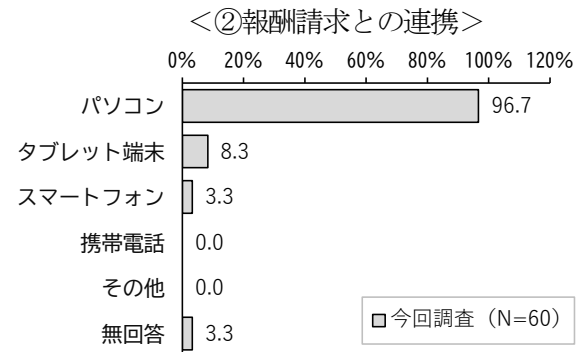
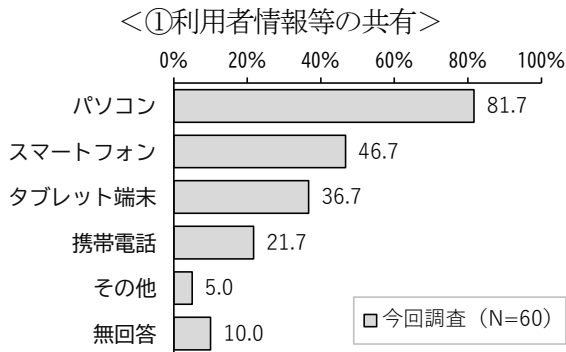
○介護職員も言語聴覚士免許が条件のため ○現職員でやっていくつもりだから

3. ICT機器・介護ロボットについて

(1) ICT機器の活用状況

「パソコン」の活用率は「②報酬請求との連携」が96.7%、「③ケアプランの作成」が90.0%、「④オンライン会議」が88.3%

問 12. 貴事業所では、どのような業務でどのようなICT機器（情報通信機器）を活用していますか。業務ごとに活用している機器を選択してください。【複数回答】

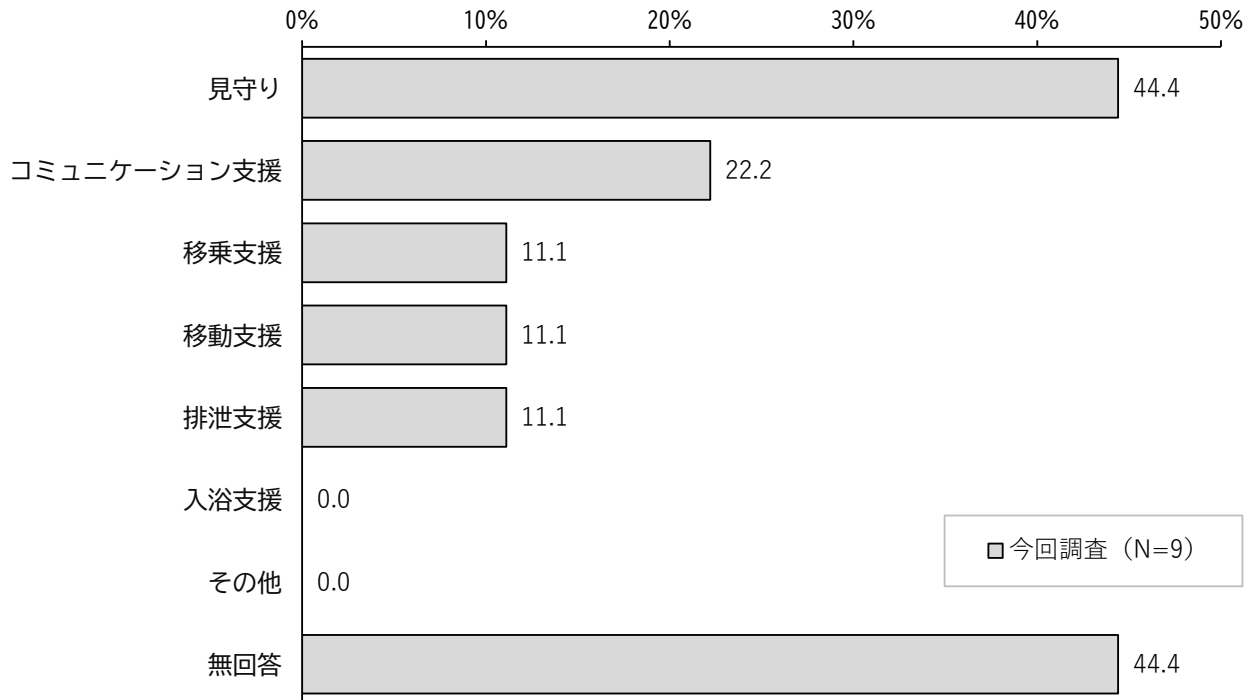


(2) 介護ロボットの活用

「見守り」が44.4%、「コミュニケーション支援」が22.2%

【施設・居住系サービス事業所】

問 13. 貴事業所では、ロボット技術を応用し、利用者の自立支援や介護者の負担の軽減に役立つ介護機器（介護ロボット）をどのような時に活用していますか。【複数回答】

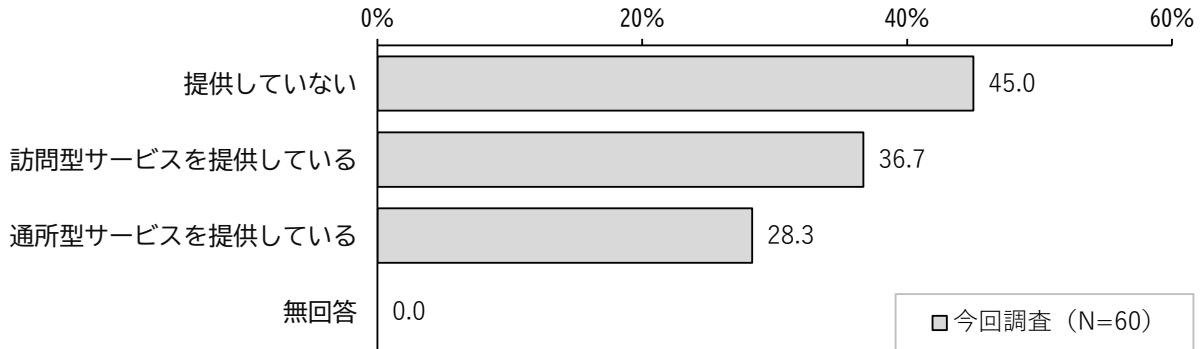


4. 自立支援・重度化防止について

(1) 介護予防・日常生活支援総合事業に関するサービス提供の有無

「提供していない」が45.0%、「訪問型サービスを提供している」が36.7%、「通所型サービスを提供している」が28.3%

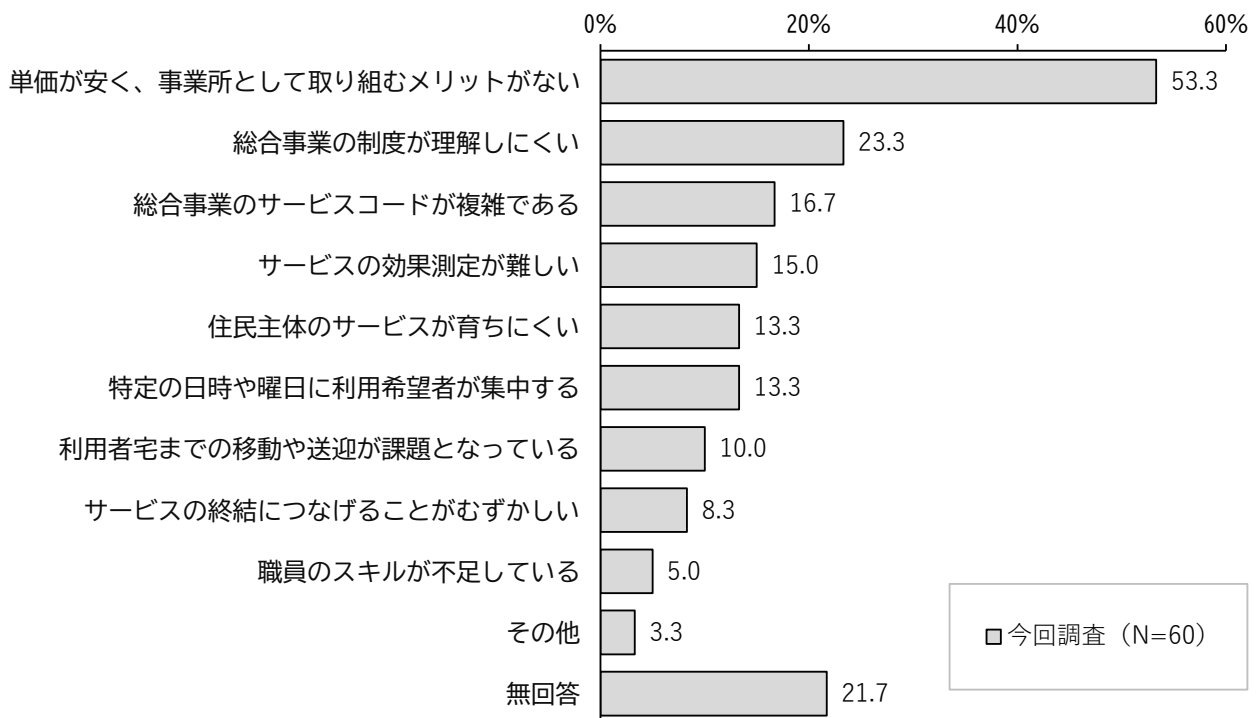
問14. 貴事業所では、介護予防・日常生活支援総合事業のサービスを提供していますか。【複数回答】



(2) 総合事業の課題

「単価が安く、事業所として取り組むメリットがない」が53.3%、「総合事業の制度が理解しにくい」が23.3%

問15. 介護予防・日常生活支援総合事業の課題は何ですか。【複数回答】

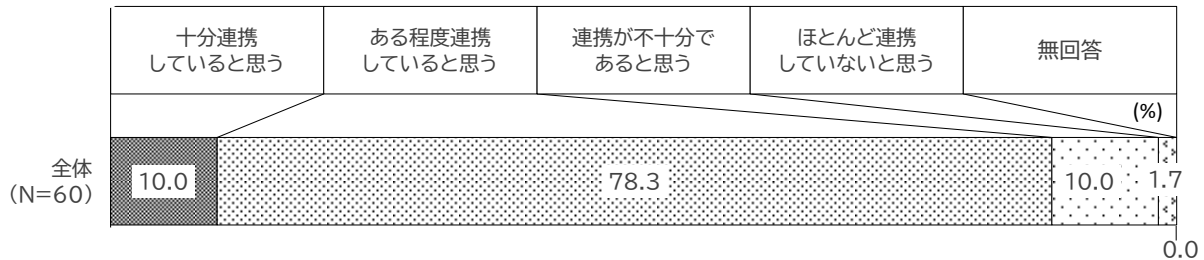


5. 医療・介護の連携について

(1) 医療・介護の連携の状況

「ある程度連携していると思う」が78.3%

問 16. 在宅療養者を支える医療と介護の連携の状況についてどのように思いますか。(○は1つ)



地域別で見ると、日本橋地域は他の地域と比べて、「連携が不十分であると思う」の割合が高い。月島地域は他の地域と比べて、「ある程度連携していると思う」の割合が高い。

事業種別で見ると、施設・居住系サービス事業所は他の事業所と比べて、「ある程度連携していると思う」の割合が低く、「連携が不十分であると思う」および「ほとんど連携していないと思う」の割合が高い。

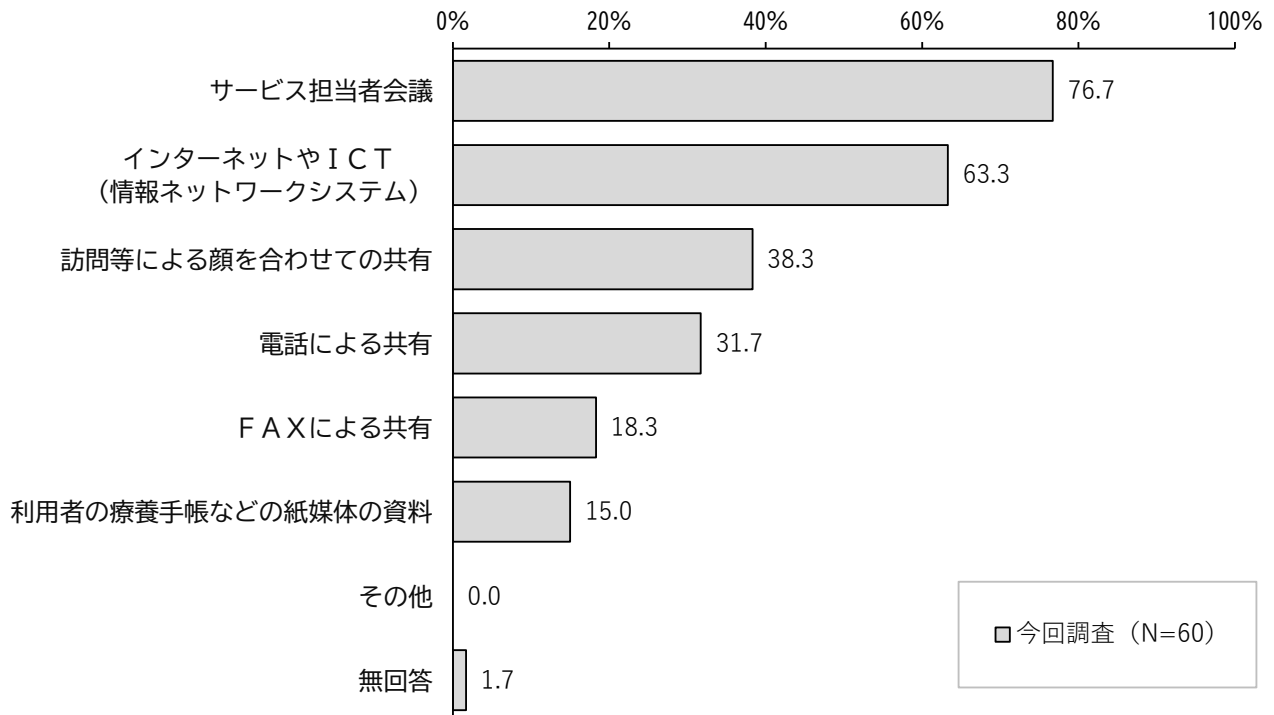
従業員規模別で見ると、6人以上は5人以下と比べて、「連携が不十分であると思う」の割合が高い。11人以上は10人以下と比べて、「ある程度連携していると思う」の割合が低い。

		調査数	十分連携していると思う (%)	ある程度連携していると思う (%)	連携が不十分であると思う (%)	ほとんど連携していないと思う (%)	無回答 (%)
全 体		60	10.0	78.3	10.0	1.7	0.0
地域	京橋	21	9.5	76.2	9.5	4.8	0.0
	日本橋	21	9.5	76.2	14.3	0.0	0.0
	月島	16	12.5	81.3	6.3	0.0	0.0
事業種別	居宅介護支援事業所	22	13.6	81.8	4.5	0.0	0.0
	居宅サービス事業所	46	10.9	78.3	10.9	0.0	0.0
	施設・居住系サービス事業所	9	0.0	66.7	22.2	11.1	0.0
	介護予防サービス実施事業所	19	0.0	89.5	10.5	0.0	0.0
従業員規模	0~2人	13	15.4	76.9	7.7	0.0	0.0
	3~5人	20	10.0	90.0	0.0	0.0	0.0
	6~10人	10	0.0	80.0	20.0	0.0	0.0
	11人以上	14	14.3	57.1	21.4	7.1	0.0

(2) 医療・介護連携を進める上で情報共有をどのような方法で進めるか

「サービス担当者会議」が76.7%、「インターネットやICT（情報ネットワークシステム）」が63.3%

問 17. 医療と介護の連携を進める上で、利用者に関する情報の共有をどのような方法で進めたらよいと思いますか。【複数回答：3つまで】

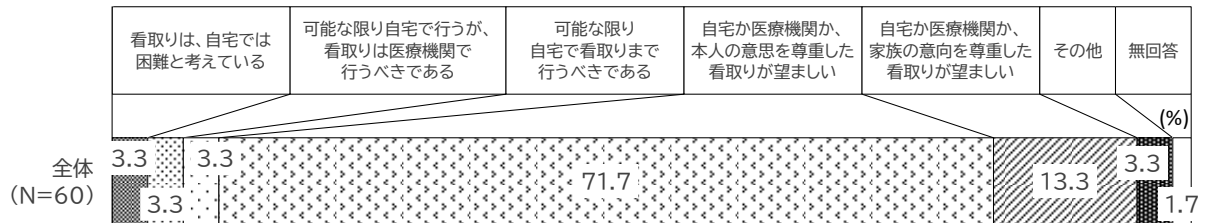


6. 看取り・虐待防止について

(1) 看取りで最も重視していること

「自宅か医療機関か、本人の意思を尊重した看取りが望ましい」が71.7%

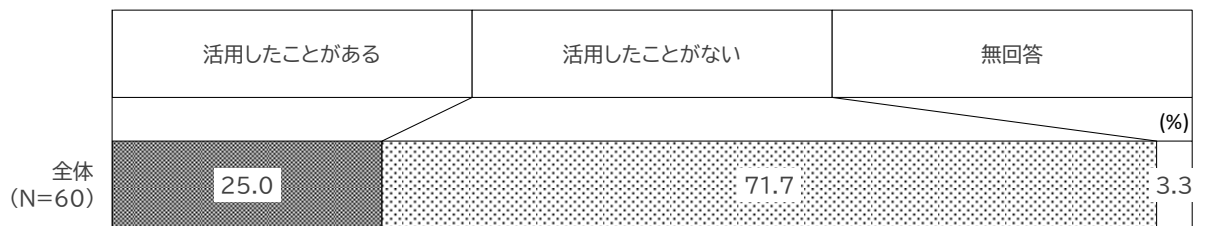
問18. 貴事業所は、看取りについてどのように考えていますか。(○は1つ)



(2) ACP (アドバンス・ケア・プランニング) の活用

「活用したことがない」が71.7%

問19. ACP (アドバンス・ケア・プランニング) を活用したことがありますか。(○は1つ)



事業種別で見ると、居宅介護支援事業所および施設・居住系サービス事業所は他の事業所と比べて、「活用したことがある」の割合が高い。居宅サービス事業所および介護予防サービス実施事業所は他の事業所と比べて、「活用したことがない」の割合が高い。

従業員規模別で見ると、10人以下は11人以上と比べて、「活用したことがない」の割合が高い。11人以上は10人以下と比べて、「活用したことがある」の割合が高い。

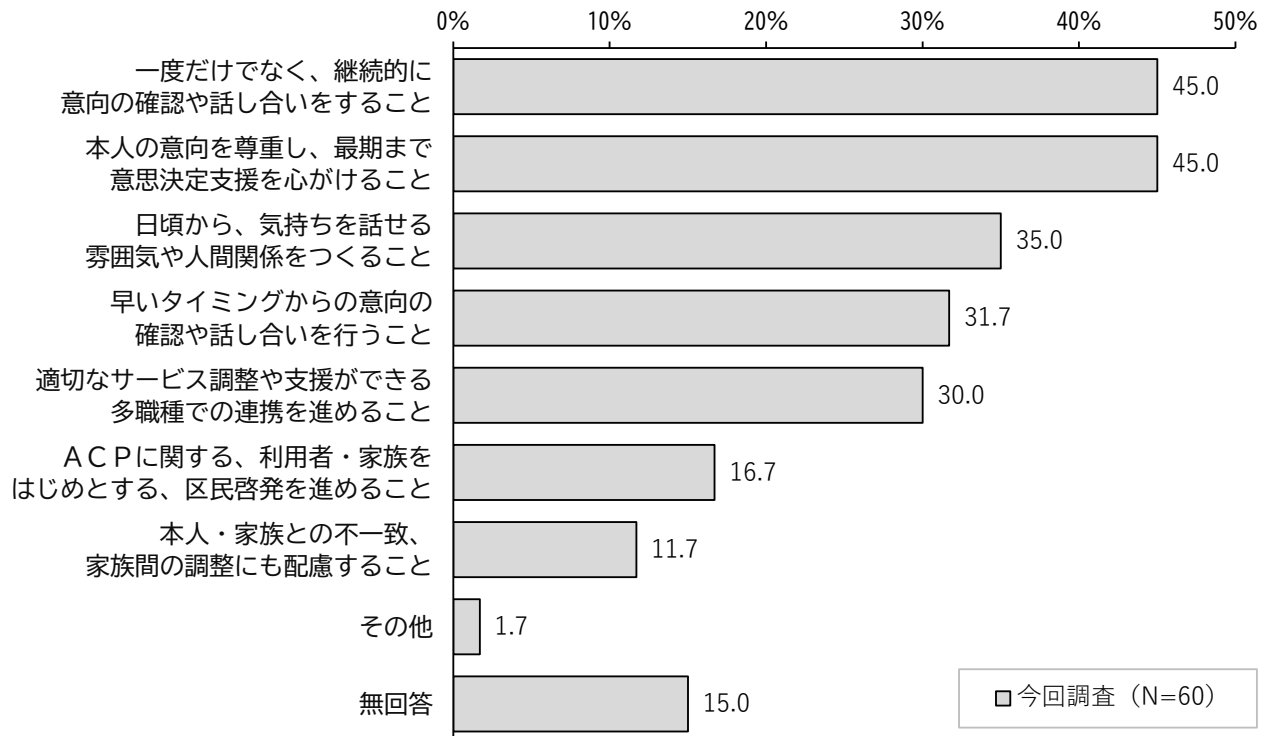
		調査数	がた活あこ用るとし (%)	がた活なこ用いとし (%)	無回答 (%)
全 体		60	25.0	71.7	3.3
事業種別	居宅介護支援事業所	22	45.5	50.0	4.5
	居宅サービス事業所	46	15.2	80.4	4.3
	施設・居住系サービス事業所	9	44.4	55.6	0.0
	介護予防サービス実施事業所	19	26.3	73.7	0.0
従業員規模	0~2人	13	23.1	69.2	7.7
	3~5人	20	25.0	75.0	0.0
	6~10人	10	20.0	80.0	0.0
	11人以上	14	35.7	57.1	7.1

(3) ACP (アドバンス・ケア・プランニング) の推進に必要なこと

「一度だけでなく、継続的に意向の確認や話し合いをすること」「本人の意向を尊重し、最期まで意思決定支援を心がけること」が各 45.0%

問 20. ACP (アドバンス・ケア・プランニング) をすすめる上で必要なことは何ですか。

【複数回答：3つまで】



(4) 施設運営の課題 (自由記述)

【施設・居住系サービス事業所】

問 21. 貴施設の施設運営の課題についてご意見をご記入ください。【自由記述】

●**職員の確保・教育**

- ・ 新人職員教育 (既存の職員の教育一人を育てることができる)。
- ・ 人材の確保。
- ・ 職員の確保、教育。
- ・ 慢性的な職員の不足と新規入居者の獲得。
- ・ 慢性的な人手不足、職員へのスキルアップフォロー、記録・作成書類の簡素化。

●**認知症の方への支援**

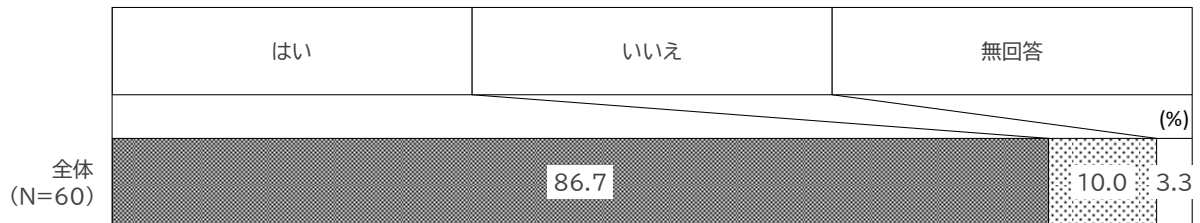
- ・ 自立棟で暮らす認知症の方への支援。健常者との共存をどう図るのが課題。

(5) 高齢者虐待を防止する取組

① 高齢者虐待を防止する取組の状況

「はい」が86.7%

問22. 貴事業所は、高齢者虐待を防止する取組をしていますか。(○は1つ)



事業種別で見ると、施設・居住系サービス事業所は他の事業所と比べて、「はい」の割合が高い。
従業員規模別で見ると、11人以上は他の規模と比べて、「はい」の割合が高い。

		調査数	はい	いいえ	無回答
全体		60	86.7	10.0	3.3
事業種別	居宅介護支援事業所	22	86.4	9.1	4.5
	居宅サービス事業所	46	87.0	8.7	4.3
	施設・居住系サービス事業所	9	100.0	0.0	0.0
	介護予防サービス実施事業所	19	78.9	15.8	5.3
従業員規模	0~2人	13	84.6	7.7	7.7
	3~5人	20	90.0	10.0	0.0
	6~10人	10	70.0	30.0	0.0
	11人以上	14	100.0	0.0	0.0

② 虐待防止のために取り組んでいること (自由記述)

【問 22 で「1. はい」と回答の事業所】

問 22-1. 具体的な取組内容を以下にご記入ください。【自由記述】

●研修、委員会等の実施

- ・マニュアルを作成し、研修、自己評価、虐待防止委員会を定期的の実施している
- ・身体拘束適正化委員会を月に1度開催し、不適切ケアが行われていないか、意見を出し合っている。
- ・ミーティングの際に議題にし、常に話し合い、意見交換。職員同士が言い合える環境づくりを心がけている。
- ・職員は内部研修だけではなく外部研修にも参加している。「自覚のない虐待」にあたる行為に対し、「何故その行為が虐待になるのか？」を説明するように心掛けている。虐待案件についての地域ケア会議に参加し、保護案件を空床で受け入れている。

●情報共有・連携

- ・「高齢者虐待防止と権利擁護」のパンフレット等による基本的な情報の共有と事例共有。
- ・利用者、ご家族、ヘルパー、事業所、各々の情報共有、確認。
- ・虐待が行われているサインに気づいたら、すぐ責任者に連絡できるよう、日頃から活用できるネットワークシステムを社内で構築している。
- ・痣などの身体面の観察や日々の会話から気になることがあった場合は、ケアマネ等と連携する。

●セルフチェック

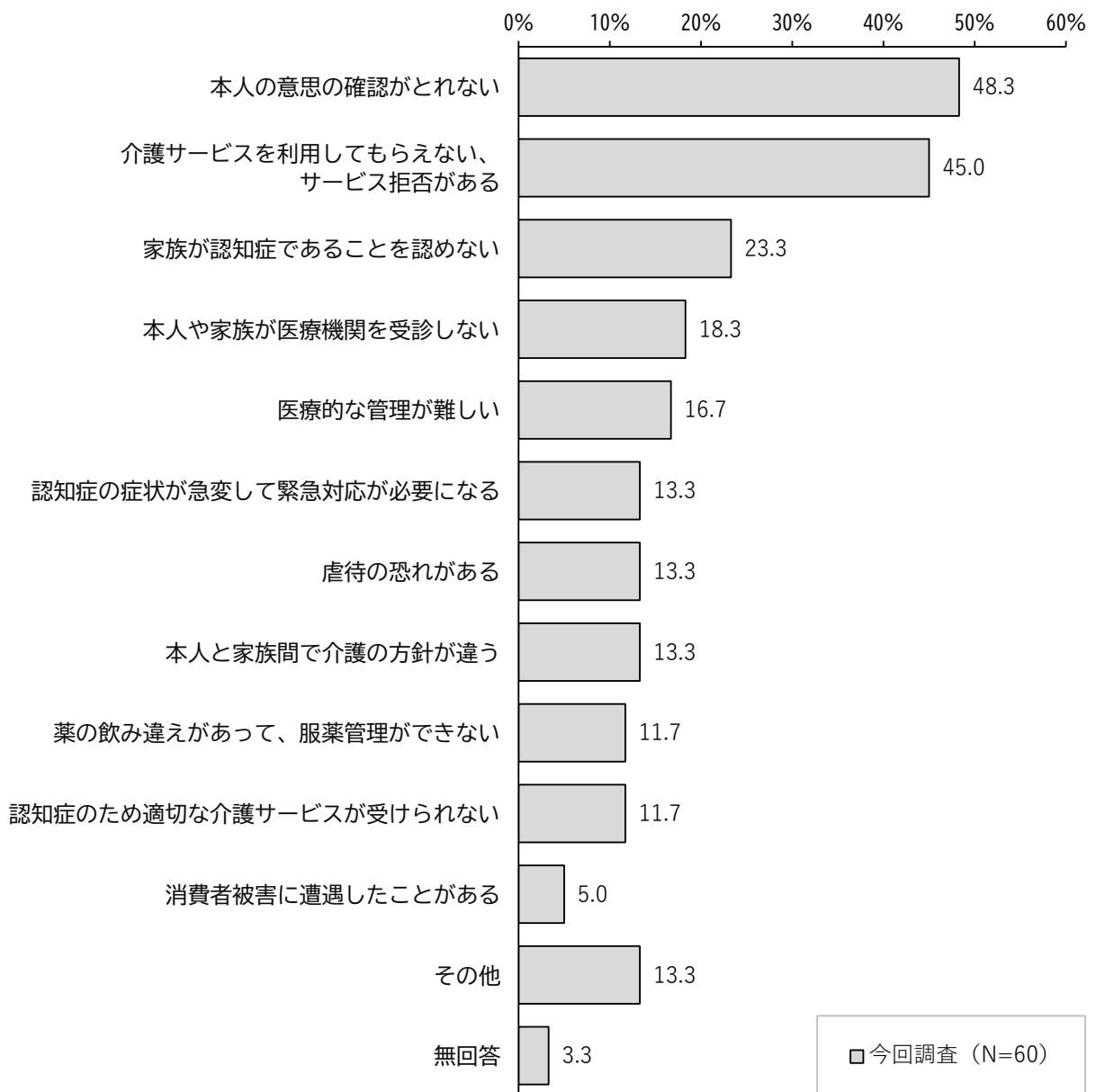
- ・全スタッフを対象に、虐待の芽チェックリストを用いて自己チェックを実施し、集計・分析による課題把握を行い、組織的な働きかけを行っている。

7. 認知症の方や家族の支援について

(1) 認知症の利用者の状況で実際に大変なこと

「本人の意思の確認がとれない」が48.3%、「介護サービスを利用してもらえない、サービス拒否がある」が45.0%

問 23. 認知症の利用者の状況で実際にあり、大変なことは何ですか。【複数回答：3つまで】



<その他の回答>

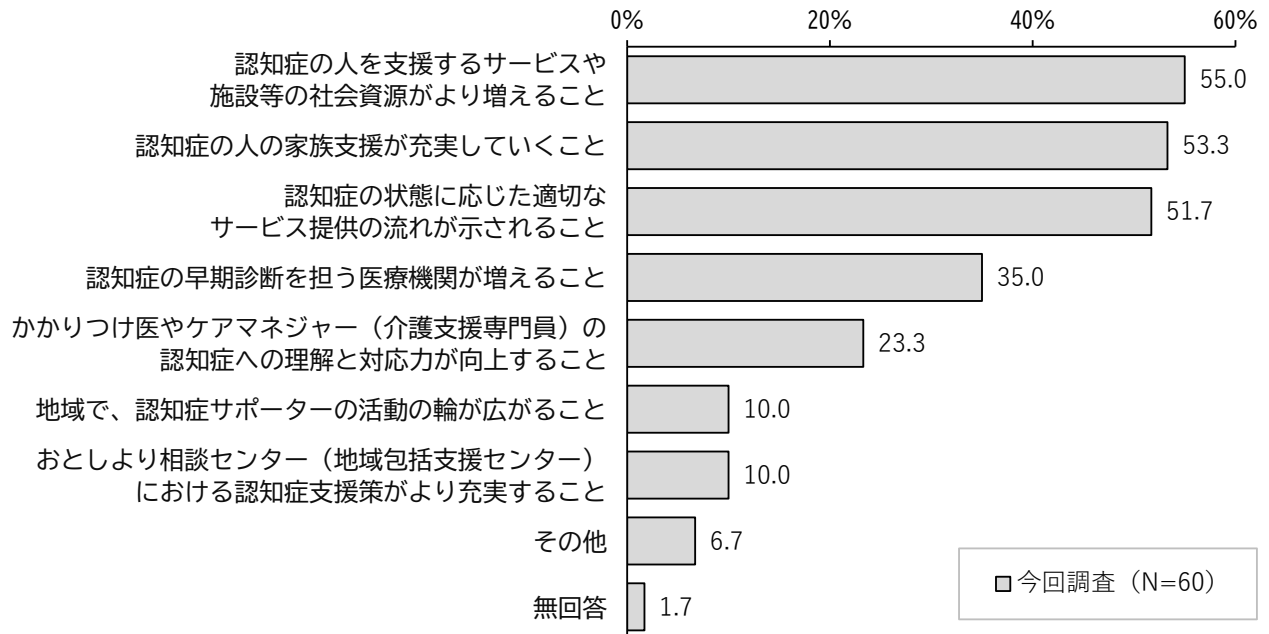
○家族からの過剰な要望への対応 (パワーハラスメント、カスタマーハラスメント)

○スケジュール管理 ○医療レベルが高い状態での施設居住の継続や看取りの希望

(2) 認知症の方の支援にあたり特に必要と思われること

「認知症の人を支援するサービスや施設等の社会資源がより増えること」が55.0%、「認知症の人の家族支援が充実していくこと」が53.3%

問24. 認知症の方の支援にあたり特に必要と思われることは何ですか。【複数回答：3つまで】



<その他の回答>

- 警察・消防・区職員の理解能力のスキルアップ
- 独居の認知症高齢者への地域的ケア

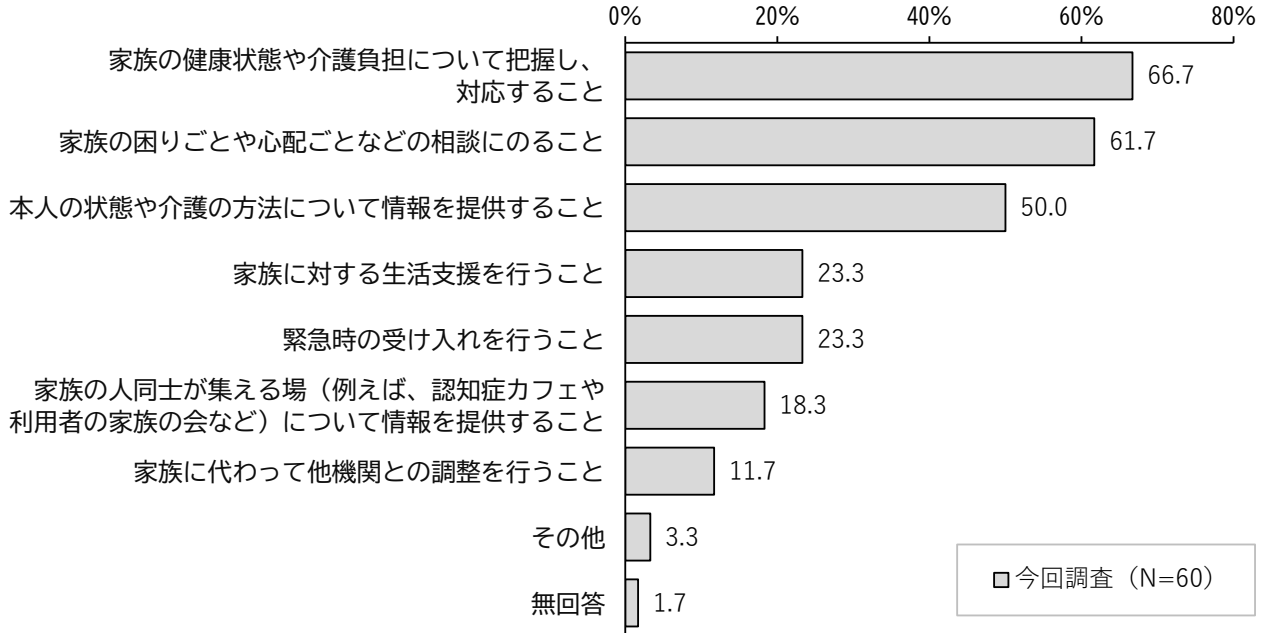
事業種別で見ると、施設・居住系サービス事業所は他の事業所と比べて、「認知症の人を支援するサービスや施設等の社会資源がより増えること」の割合が高く、「認知症の早期診断を担う医療機関が増えること」の割合が低い。

		調査数	認知症の人を支援するサービスや施設等の社会資源がより増えること (%)	認知症の人の家族支援が充実すること (%)	認知症の状態に応じた適切なサービス提供の流れが示されること (%)	認知症の早期診断を担う医療機関が増えること (%)	かかりつけ医やケアマネジャー（介護支援専門員）の認知症への理解と対応力が向上すること (%)	地域で、認知症サポーターの活動の輪が広がること (%)	おとしより相談センター（地域包括支援センター）における認知症支援策がより充実すること (%)	その他 (%)	無回答 (%)
全体		60	55.0	53.3	51.7	35.0	23.3	10.0	10.0	6.7	1.7
事業種別	居宅介護支援事業所	22	68.2	54.5	36.4	45.5	31.8	4.5	13.6	9.1	0.0
	居宅サービス事業所	46	50.0	52.2	56.5	32.6	21.7	10.9	8.7	8.7	2.2
	施設・居住系サービス事業所	9	77.8	44.4	55.6	11.1	11.1	11.1	0.0	11.1	0.0
	介護予防サービス実施事業所	19	52.6	31.6	52.6	47.4	26.3	15.8	10.5	15.8	0.0

(3) 認知症の利用者の家族への支援として特に必要と思われること

「家族の健康状態や介護負担について把握し、対応すること」が66.7%、「家族の困りごとや心配ごとなどの相談にのること」が61.7%

問 25. 認知症の利用者の家族への支援として特に必要と思われることは何ですか。【複数回答：3つまで】



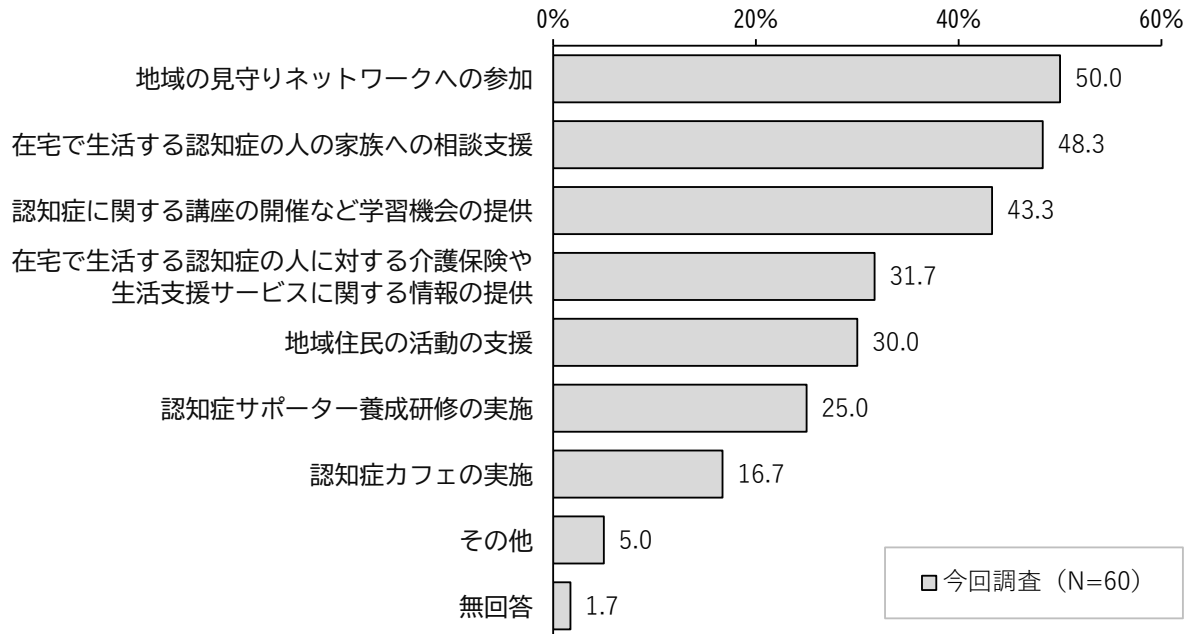
事業種別で見ると、居宅介護支援事業所は他の事業所と比べて、「緊急時の受け入れを行うこと」の割合が高い。居宅サービス事業所は他の事業所と比べて、「家族の困りごとや心配ごとなどの相談にのること」の割合が高い。介護予防サービス実施事業所は他の事業所と比べて、「家族に対する生活支援を行うこと」の割合が高い。施設・居住系サービス事業所は他の事業所と比べて、「家族の健康状態や介護負担について把握し、対応すること」の割合が低い。

		調査数	把握し、健康状態や介護負担について	相談にのることや心配ごとなどの	本人の状態や介護の方法について	家族に対する生活支援を行うこと	緊急時の受け入れを行うこと	認知症の人同士が集える場（例えば、認知症カフェや利用者の家族の会など）について情報を提供すること	家族に代わって他機関との調整を行うこと	その他	無回答
全体		60	66.7	61.7	50.0	23.3	23.3	18.3	11.7	3.3	1.7
事業種別	居宅介護支援事業所	22	77.3	54.5	50.0	18.2	36.4	18.2	18.2	0.0	0.0
	居宅サービス事業所	46	63.0	60.9	45.7	28.3	23.9	17.4	10.9	4.3	2.2
	施設・居住系サービス事業所	9	55.6	55.6	55.6	22.2	22.2	11.1	22.2	11.1	0.0
	介護予防サービス実施事業所	19	73.7	52.6	42.1	36.8	21.1	10.5	15.8	10.5	0.0

(4) 地域住民の認知症の理解を促進するために特に必要と思われること

「地域の見守りネットワークへの参加」が50.0%、「在宅で生活する認知症の人の家族への相談支援」が48.3%

問 26. 地域住民の認知症の理解を促進するために特に必要と思われることは何ですか。【複数回答:3つまで】



<その他の回答>

- 警察・消防・区職員等の理解と知識の向上、より緊密な連携
- 他の人のケアに関心を持てるだけの余裕を持てること

事業種別で見ると、居宅介護支援事業所は他の事業所と比べて、「地域の見守りネットワークへの参加」、「認知症に関する講座の開催など学習機会の提供」および「在宅で生活する認知症の人に対する介護保険や生活支援サービスに関する情報の提供」の割合が高い。居宅サービス事業所および介護予防サービス実施事業所は他の事業所と比べて、「在宅で生活する認知症の人の家族への相談支援」の割合が高い。介護予防サービス実施事業所は他の事業所と比べて、「地域住民の活動の支援」の割合が高い。

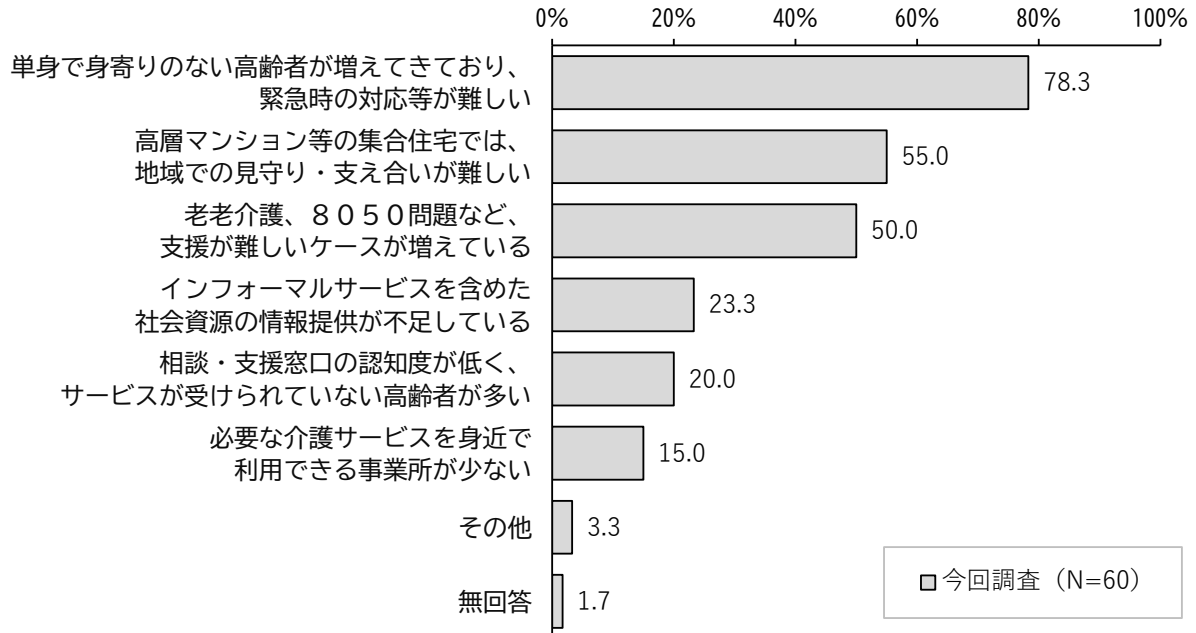
事業種別	調査数	割合 (%)								
		地域の見守りネットワークへの参加	在宅で生活する認知症の人の家族への相談支援	認知症に関する講座の開催など学習機会の提供	在宅で生活する認知症の人に対する介護保険や生活支援サービスに関する情報の提供	地域住民の活動の支援	認知症サポーター養成研修の実施	認知症カフェの実施	その他	無回答
全体	60	50.0	48.3	43.3	31.7	30.0	25.0	16.7	5.0	1.7
居宅介護支援事業所	22	54.5	45.5	59.1	50.0	27.3	22.7	9.1	0.0	0.0
居宅サービス事業所	46	47.8	52.2	39.1	30.4	34.8	21.7	17.4	4.3	2.2
施設・居住系サービス事業所	9	33.3	33.3	55.6	22.2	22.2	33.3	22.2	22.2	0.0
介護予防サービス実施事業所	19	31.6	52.6	31.6	31.6	42.1	31.6	15.8	15.8	0.0

8. 地域の課題について

(1) 利用者の生活支援をして感じている地域の生活課題

「単身で身寄りのない高齢者が増えてきており、緊急時の対応等が難しい」が78.3%、「高層マンション等の集合住宅では、地域での見守り・支え合いが難しい」が55.0%

問27. 利用者の生活支援をしていて、地域の課題だと思われることは何ですか。【複数回答：3つまで】



地域別で見ると、京橋地域は他の地域と比べて、「単身で身寄りのない高齢者が増えてきており、緊急時の対応等が難しい」の割合が高い。

事業種別で見ると、居宅介護支援事業所は他の事業所と比べて、「単身で身寄りのない高齢者が増えてきており、緊急時の対応等が難しい」および「インフォーマルサービスを含めた社会資源の情報提供が不足している」の割合が高い。

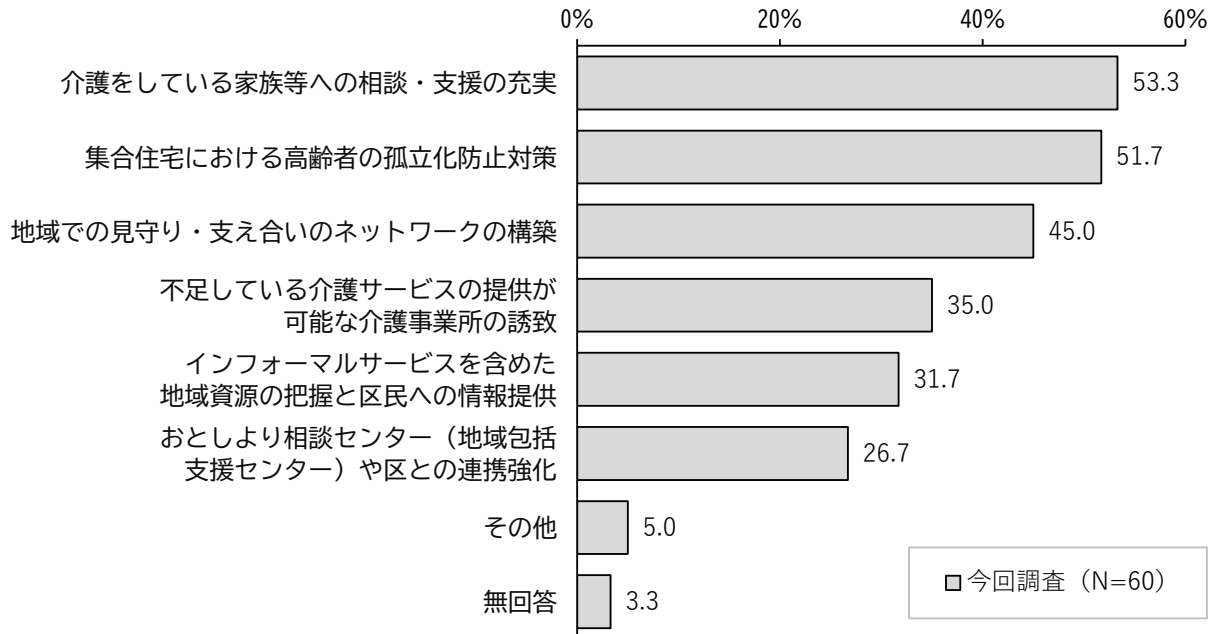
施設・居住系サービス事業所では、「高層マンション等の集合住宅では、地域での見守り・支え合いが難しい」の割合が高い。

		調査数	78.3	55.0	50.0	23.3	20.0	15.0	3.3	1.7
全体		60	78.3	55.0	50.0	23.3	20.0	15.0	3.3	1.7
地域	京橋	21	90.5	57.1	61.9	23.8	9.5	19.0	4.8	0.0
	日本橋	21	71.4	42.9	28.6	28.6	28.6	9.5	4.8	4.8
	月島	16	75.0	62.5	62.5	12.5	18.8	18.8	0.0	0.0
事業種別	居宅介護支援事業所	22	86.4	59.1	54.5	40.9	9.1	18.2	0.0	0.0
	居宅サービス事業所	46	78.3	50.0	52.2	21.7	19.6	10.9	4.3	2.2
	施設・居住系サービス事業所	9	66.7	66.7	44.4	11.1	22.2	11.1	11.1	0.0
	介護予防サービス実施事業所	19	68.4	42.1	36.8	26.3	26.3	15.8	10.5	0.0

(2) 課題解決のために必要だと考えること

「介護をしている家族等への相談・支援の充実」が53.3%、「集合住宅における高齢者の孤立化防止対策」が51.7%

問28. 地域課題の解決のため、必要と思われることは何ですか。【複数回答：3つまで】



<その他の回答>

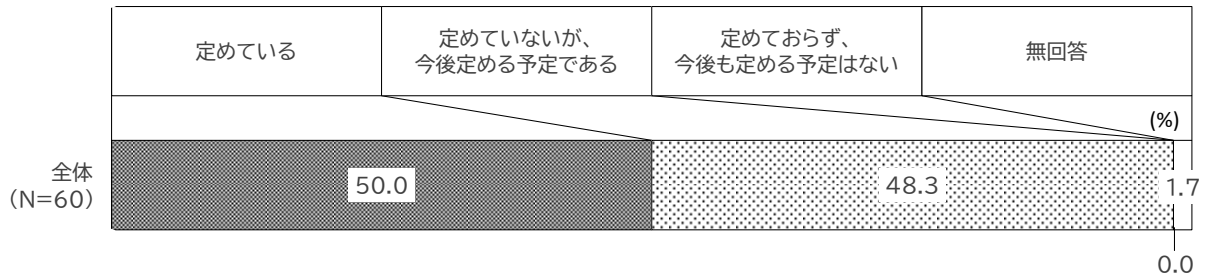
- 支えあう人材育成
- 利用者の生活の支援に対して、特に警察の方に理解をより深めて欲しい

9. 災害時の対応について

(1) 災害発生時のサービスの早期再開等のためのマニュアル等の有無

「定めている」が50.0%、「定めていないが、今後定める予定である」が48.3%

問 29. 貴事業所では、地震などの災害が発生した時の対処方法に関して、発生直後の対応、サービスの早期再開や継続的なサービス提供のためのBCP（業務継続計画）等を定めていますか。（○は1つ）



地域別で見ると、日本橋および月島地域は京橋地域と比べて、「定めている」の割合が高い。

事業種別で見ると、居宅サービス事業所および施設・居住系サービス事業所は他の事業所と比べて、「定めている」の割合が高い。

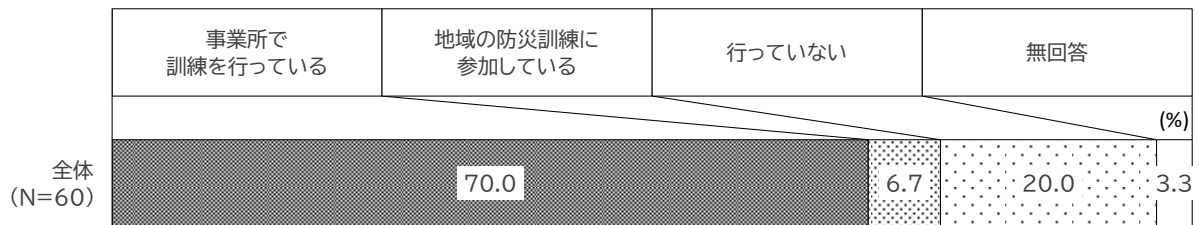
従業員規模別で見ると、大きな差は見られない。

		調査数	定めている	予定、め で今 あ後 る定 るめ いる	予今定 定後め はもて はない いめ ら ず、	無 回 答
全 体		60	50.0	48.3	0.0	1.7
地域	京橋	21	33.3	66.7	0.0	0.0
	日本橋	21	52.4	42.9	0.0	4.8
	月島	16	62.5	37.5	0.0	0.0
事業種別	居宅介護支援事業所	22	31.8	68.2	0.0	0.0
	居宅サービス事業所	46	52.2	45.7	0.0	2.2
	施設・居住系サービス事業所	9	77.8	22.2	0.0	0.0
	介護予防サービス実施事業所	19	47.4	52.6	0.0	0.0
従業員 規模	0～2人	13	46.2	46.2	0.0	7.7
	3～5人	20	50.0	50.0	0.0	0.0
	6～10人	10	50.0	50.0	0.0	0.0
	11人以上	14	50.0	50.0	0.0	0.0

(2) 災害発生時の避難や安否確認に関する訓練の実施状況

「事業所で訓練を行っている」が70.0%

問30. 貴事業所では、地震などの災害が発生した時の避難や安否確認に関する訓練を実施していますか。
(○は1つ)



地域別で見ると、日本橋地域は他の地域と比べて、「事業所で訓練を行っている」の割合が高い。月島地域は他の地域と比べて、「行っていない」の割合が高い。

事業種別で見ると、居宅介護支援事業所は他の事業所と比べて、「行っていない」の割合が高い。施設・居住系サービス事業所は他の事業所と比べて、「事業所で訓練を行っている」の割合が高い。

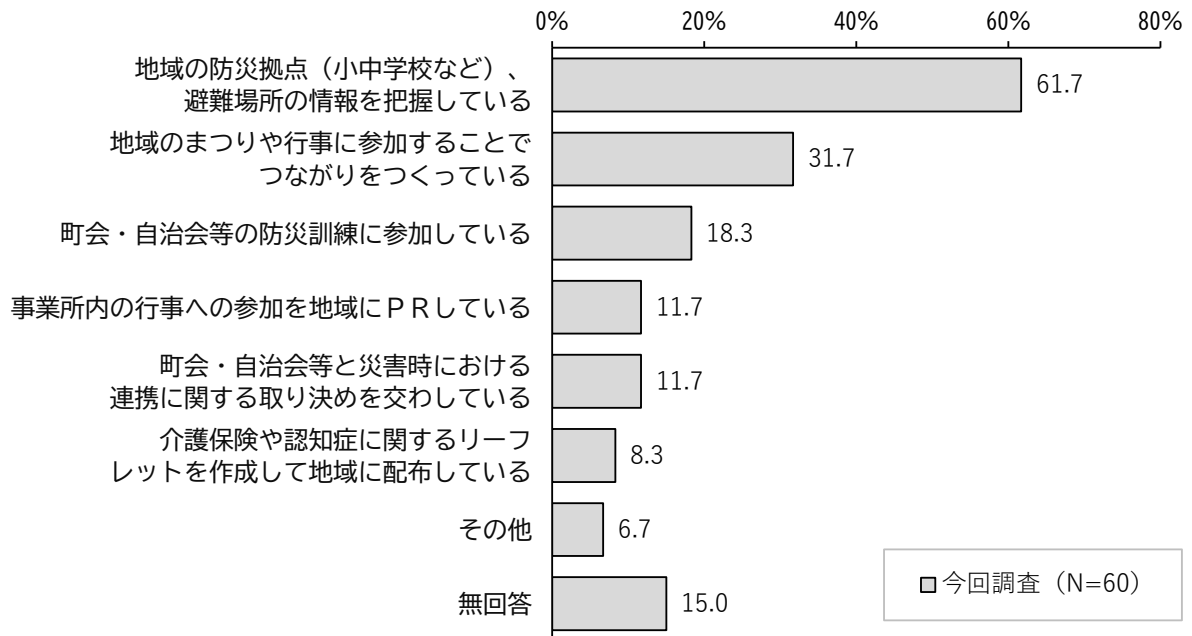
従業員規模別で見ると、5人以下は6人以上と比べて、「行っていない」の割合が高い。6人以上は5人以下と比べて、「事業所で訓練を行っている」の割合が高い。11人以上は10人以下と比べて、「地域の防災訓練に参加している」の割合が高い。

		調査数	事業所で訓練を行っている	地域の防災訓練に参加している	行っていない	無回答	(%)
全体		60	70.0	6.7	20.0	3.3	
地域	京橋	21	66.7	9.5	19.0	4.8	
	日本橋	21	71.4	9.5	14.3	4.8	
	月島	16	68.8	0.0	31.3	0.0	
事業種別	居宅介護支援事業所	22	50.0	13.6	31.8	4.5	
	居宅サービス事業所	46	73.9	6.5	17.4	2.2	
	施設・居住系サービス事業所	9	88.9	11.1	0.0	0.0	
	介護予防サービス実施事業所	19	73.7	10.5	15.8	0.0	
従業員規模	0~2人	13	53.8	7.7	23.1	15.4	
	3~5人	20	60.0	5.0	35.0	0.0	
	6~10人	10	90.0	0.0	10.0	0.0	
	11人以上	14	85.7	14.3	0.0	0.0	

(3) 災害時の備えとしての地域との連携の程度

「地域の防災拠点（小中学校など）、避難場所の情報を把握している」が61.7%、「地域のまつりや行事に参加することでつながりをつくっている」が31.7%

問31. 貴事業所では、災害時に備えてどの程度地域と連携していますか。【複数回答】



<その他の回答>

- 参加していない、何もしていない
- 地域の消防団に参加している職員がいる
- 新型コロナウイルス感染症の影響もあり、なかなか進んでいない

地域別で見ると、日本橋地域は他の地域と比べて、「地域のまつりや行事に参加することでつながりをつくっている」、「町会・自治会等の防災訓練に参加している」および「介護保険や認知症に関するリーフレットを作成して地域に配布している」の割合が高い。月島地域は他の地域と比べて、「地域の防災拠点（小中学校など）、避難場所の情報を把握している」および「事業所内の行事への参加を地域にPRしている」の割合が高い。

事業種別で見ると、施設・居住系サービス事業所は他の事業所と比べて、「地域のまつりや行事に参加することでつながりをつくっている」、「町会・自治会等の防災訓練に参加している」および「町会・自治会等と災害時における連携に関する取り決めに交わしている」の割合が高い。介護予防サービス実施事業所は他の事業所と比べて、「地域の防災拠点（小中学校など）、避難場所の情報を把握している」の割合が高い。

従業員規模別で見ると、6～10人は他の規模と比べて、「地域の防災拠点（小中学校など）、避難場所の情報を把握している」の割合が高い。11人以上は10人以下に比べて、「地域のまつりや行事に参加することでつながりをつくっている」および「町会・自治会等の防災訓練に参加している」の割合が高い。

V 介護保険サービス事業所調査(調査E)

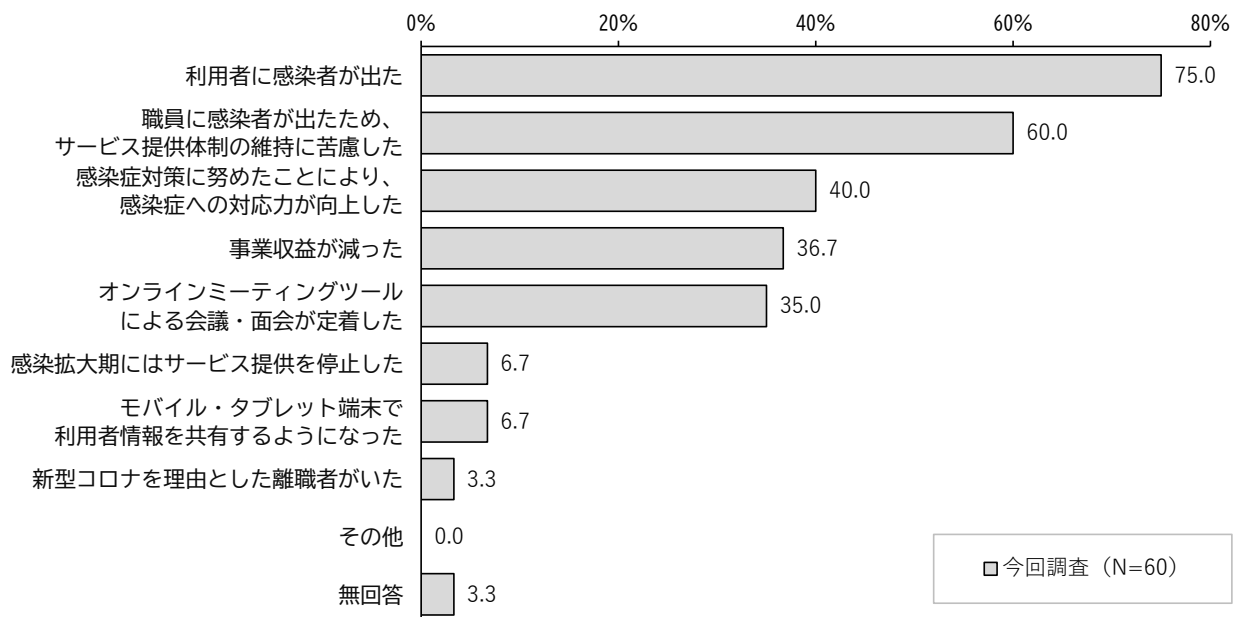
		調査数	地域の防災拠点(小中学校)	地域の防災拠点(小中学校)	地域の防災拠点(小中学校)	地域の防災拠点(小中学校)	地域の防災拠点(小中学校)	地域の防災拠点(小中学校)	地域の防災拠点(小中学校)	(%)
全 体		60	61.7	31.7	18.3	11.7	11.7	8.3	6.7	15.0
地域	京橋	21	57.1	19.0	9.5	0.0	4.8	9.5	14.3	19.0
	日本橋	21	47.6	42.9	28.6	4.8	9.5	14.3	4.8	19.0
	月島	16	87.5	37.5	18.8	31.3	18.8	0.0	0.0	6.3
事業種別	居宅介護支援事業所	22	59.1	22.7	22.7	9.1	9.1	4.5	4.5	22.7
	居宅サービス事業所	46	56.5	26.1	15.2	10.9	8.7	8.7	6.5	17.4
	施設・居住系サービス事業所	9	55.6	66.7	44.4	11.1	33.3	11.1	11.1	0.0
	介護予防サービス実施事業所	19	63.2	36.8	21.1	10.5	15.8	10.5	10.5	5.3
従業員規模	0~2人	13	53.8	30.8	15.4	7.7	7.7	15.4	7.7	30.8
	3~5人	20	65.0	35.0	10.0	20.0	10.0	5.0	5.0	10.0
	6~10人	10	80.0	20.0	10.0	0.0	10.0	10.0	10.0	10.0
	11人以上	14	57.1	42.9	35.7	14.3	14.3	7.1	7.1	14.3

(4) 新型コロナウイルス感染症の拡大による影響

「利用者に感染者が出た」が75.0%、「職員に感染者が出たため、サービス提供体制の維持に苦慮した」が60.0%

問32. 新型コロナウイルス感染症の拡大により、貴事業所にはどのような影響がありましたか。

【複数回答：3つまで】



地域別で見ると、京橋地域は他の地域と比べて、「感染症対策に努めたことにより、感染症への対応力が向上した」および「オンラインミーティングツールによる会議・面会が定着した」の割合が高く、「職員に感染者が出たため、サービス提供体制の維持に苦慮した」および「事業収益が減った」の割合が低い。日本橋および月島地域は京橋地域と比べて、「利用者に感染者が出た」の割合が高い。

事業種別で見ると、居宅介護支援事業所は他の事業所と比べて、「オンラインミーティングツールによる会議・面会が定着した」の割合が高い。施設・居住系サービス事業所は他の事業所と比べて、「職員に感染者が出たため、サービス提供体制の維持に苦慮した」の割合が高い。介護予防サービス実施事業所は他の事業所と比べて、「感染症対策に努めたことにより、感染症への対応力が向上した」の割合が高い。

従業員規模別で見ると、0～2人は3人以上と比べて、「感染症対策に努めたことにより、感染症への対応力が向上した」の割合が低い。6～10人は他の規模と比べて、「事業収益が減った」の割合が高い。11人以上は10人以下と比べて、「利用者に感染者が出た」の割合が低く、「職員に感染者が出たため、サービス提供体制の維持に苦慮した」および「感染拡大期にはサービス提供を停止した」の割合が高い。

		調査数	利用者に感染者が出た	のめ職、維持に苦慮した	員に感染者が出た	対応力向上に努めた	と感染症対策に努めた	感染症対策に努めた	事業収益が減った	面会が定着した	オンラインミーティング	オンラインミーティング	感染拡大期にはサービス提供を停止した	端末未利用による情報共有	モバイル利用による情報共有	た新型コロナウイルスを理由とした	その他	無回答
全体		60	75.0	60.0	40.0	36.7	35.0	6.7	6.7	3.3	0.0	3.3						
地域	京橋	21	66.7	38.1	61.9	19.0	61.9	4.8	9.5	0.0	0.0	4.8						
	日本橋	21	81.0	66.7	19.0	42.9	14.3	9.5	4.8	4.8	0.0	4.8						
	月島	16	81.3	75.0	37.5	56.3	25.0	6.3	6.3	6.3	0.0	0.0						
事業種別	居宅介護支援事業所	22	77.3	50.0	36.4	31.8	45.5	0.0	13.6	0.0	0.0	4.5						
	居宅サービス事業所	46	71.7	58.7	39.1	39.1	34.8	8.7	6.5	4.3	0.0	4.3						
	施設・居住系サービス事業所	9	66.7	88.9	44.4	22.2	22.2	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0						
	介護予防サービス実施事業所	19	89.5	68.4	52.6	26.3	21.1	5.3	10.5	0.0	0.0	0.0						
従業員規模	0～2人	13	92.3	61.5	15.4	38.5	38.5	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0						
	3～5人	20	80.0	65.0	45.0	30.0	40.0	0.0	10.0	5.0	0.0	0.0						
	6～10人	10	90.0	40.0	40.0	60.0	20.0	0.0	0.0	10.0	0.0	10.0						
	11人以上	14	50.0	71.4	57.1	28.6	28.6	21.4	14.3	0.0	0.0	7.1						

(5) 大規模災害が発生した時の対処方法についての課題

問 33. 大規模災害が発生した時の対処方法について、課題があればご記入ください。【自由記述】

●災害時の職員確保

- ・移動困難な利用者のサポート時のマンパワー不足。
- ・職員の通勤経路の確保。利用者の避難時のマンパワー不足。
- ・居住地が東京ではない職員の協力。
- ・事業所に職員がたどりつけない場合、サービス提供体制に支障が出る（他と違い、自家用車が普及していないので、電車がとまれば出勤できない）。カーシェアなど、そういう時に機能する仕組みがあると、職員を送迎することにも使えるかもしれない。
- ・ヘルパーが何人災害時に動けるか？月島地域は橋が多いので、どこまで動けるか？など、心配は多々ある。おとしより相談センターと連携をとりながら行いたい。

●職員の対応

- ・大規模災害対応を経験していないスタッフがほとんどなため、いざという時に訓練どおり対応できるかなどの不安がある。
- ・事業所の規模が小さいため、現状のBCPでは管理者が不在の時はリーダーが指揮を執ることになっているが、管理者しか把握していない情報が多い。

●通信障害・停電等への対応

- ・通信システム（電話、メール等）が使えなくなった場合の対処方法。待ち合わせ場所を決めて、徒歩で向かうしかないかと危惧する。
- ・通信障害が予想される状況で、訪問、外出中のスタッフの安否確認と安全確保が課題と考える。
- ・大規模災害時には電力の需給が困難になる。現代生活ではあらゆる事が電子化され予備電力の確保や復旧するまでの期間短縮が最大の課題。

●避難誘導

- ・高層階の方の避難誘導など（EVがとまってしまうため）。
- ・認知症独居者の確認。オートロックマンションの高層階居住者の介助。
- ・車いす等移動手段の確保。

VI 在宅医療・介護に関する調査(調査F)

VI 在宅医療・介護に関する調査 (調査F)

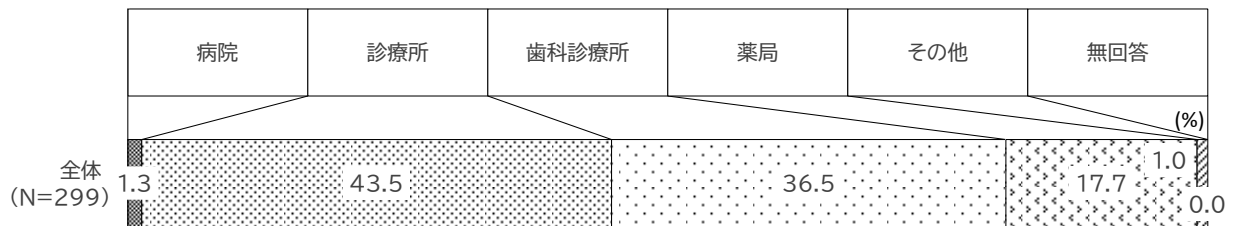
1. 回答者の属性について

(1) 医療機関の種類

① 医療機関の種類

「診療所」が43.5%、「歯科診療所」が36.5%

問1. 貴医療機関の種類をお聞きます。(〇は1つ)

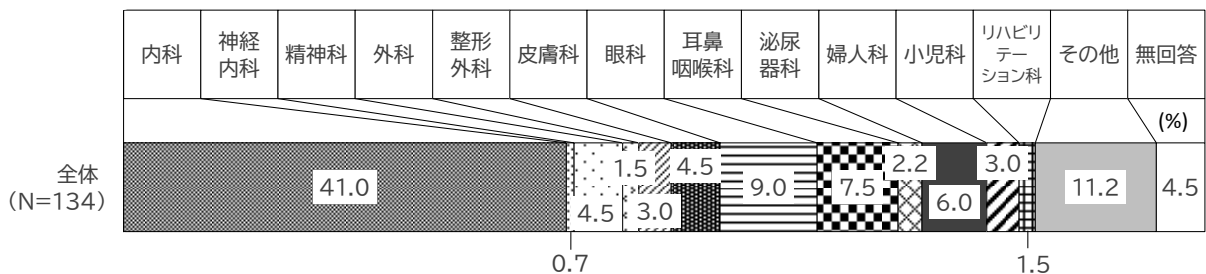


② 診療科目

「内科」が41.0%、「その他」が11.2%、「眼科」が9.0%

【問1で「1. 病院」または「2. 診療所」と回答の方】

問1-1. 専門とされている診療科目についてお聞きます。(〇は1つ)



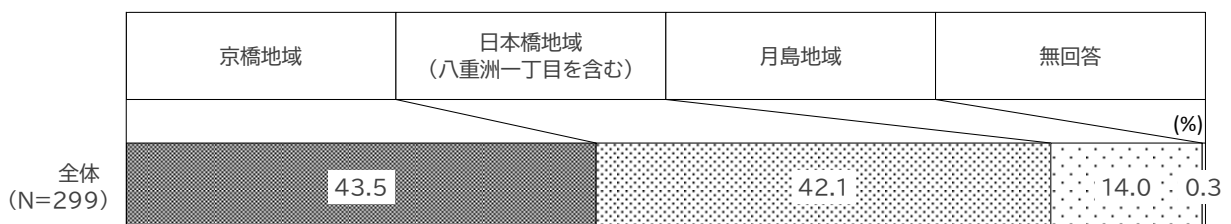
<その他の回答>

○胃腸科 ○乳腺外科

(2) 所在地

「京橋地域」が43.5%、「日本橋地域(八重洲一丁目を含む)」が42.1%

問2. 貴医療機関の所在地はどちらですか。(〇は1つ)



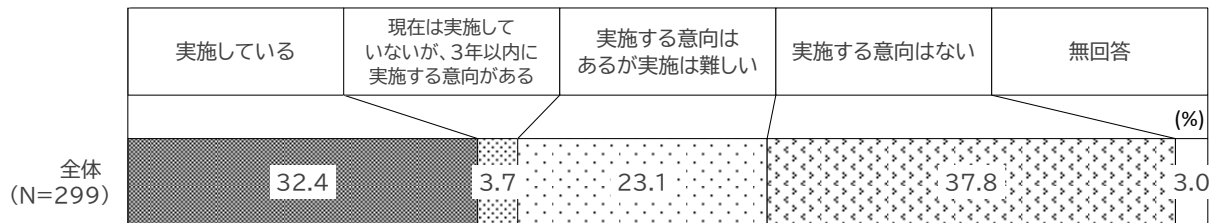
2. 在宅医療について

(1) 「往診」や「訪問診療」の実施状況・意向

① 「往診」や「訪問診療」の実施状況・意向

「実施する意向はない」が37.8%、「実施している」が32.4%

問3. 「往診」や「訪問診療」を実施していますか。また、今後実施する意向がありますか。(〇は1つ)



機関種類別で見ると、病院・診療所は他の機関と比べて、「実施している」の割合が低く、「実施する意向はない」の割合が高い。薬局は他の機関と比べて、「現在は実施していないが、3年以内に実施する意向がある」の割合が高く、「実施する意向はない」の割合が低い。

所在地別で見ると、日本橋地域は他の地域と比べて、「実施する意向はない」の割合が高い。月島地域は他の地域と比べて、「実施している」の割合が高い。

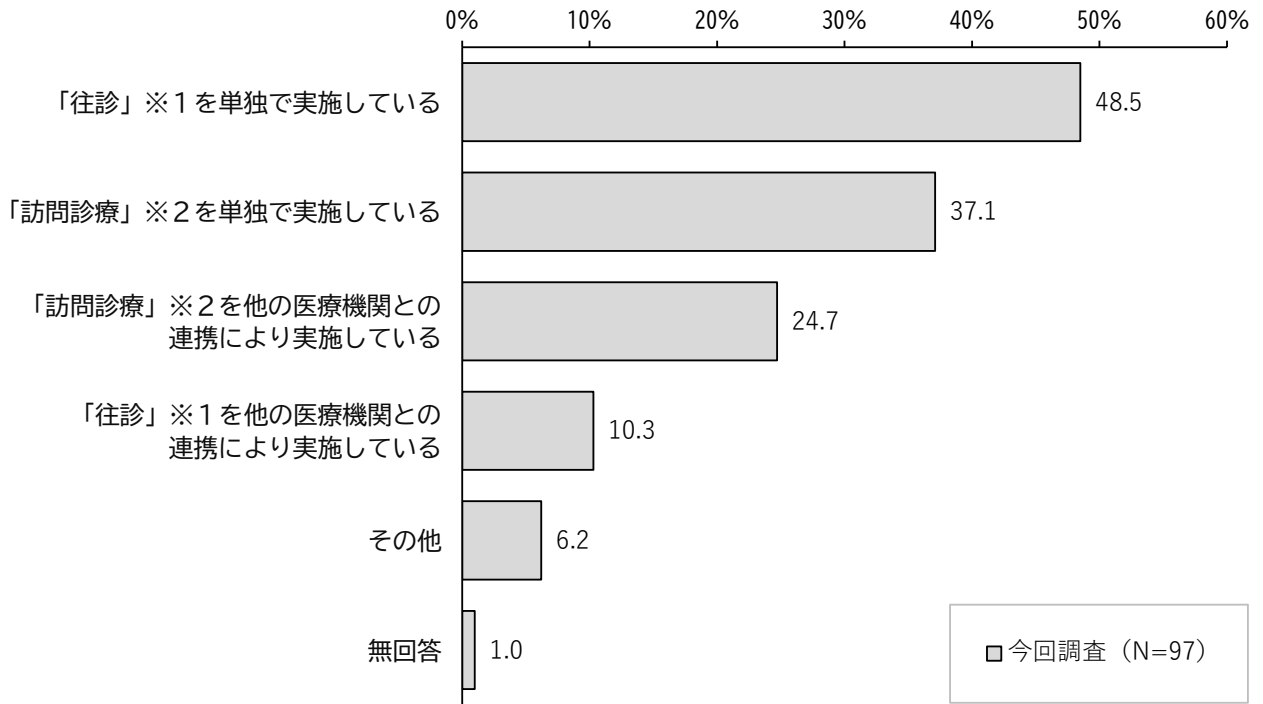
		調査数	実施している	意以内が実施する年	以いなはあ実する	現なはあ実する	あ施す意向は	な実施する意向は	無回答
全 体		299	32.4	3.7	23.1	37.8	3.0		
機関種類	病院・診療所	134	24.6	0.0	25.4	49.3	0.7		
	歯科診療所	109	38.5	3.7	22.0	35.8	0.0		
	薬局	53	39.6	13.2	20.8	11.3	15.1		
所在地	京橋	130	33.8	3.8	25.4	35.4	1.5		
	日本橋	126	27.0	4.8	20.6	42.1	5.6		
	月島	42	42.9	0.0	23.8	33.3	0.0		

② 在宅療養支援の実施状況

「往診」※1を単独で実施している」が48.5%、「訪問診療」※2を単独で実施している」が37.1%

【問3で「1. 実施している」と回答の方】

問3-1. 在宅療養支援の実施状況についてお聞きします。【複数回答】



※1：患者の求めに応じて急変時に訪問して行う診療

※2：通院の困難な患者に定期的に訪問して行う診療

<その他の回答>

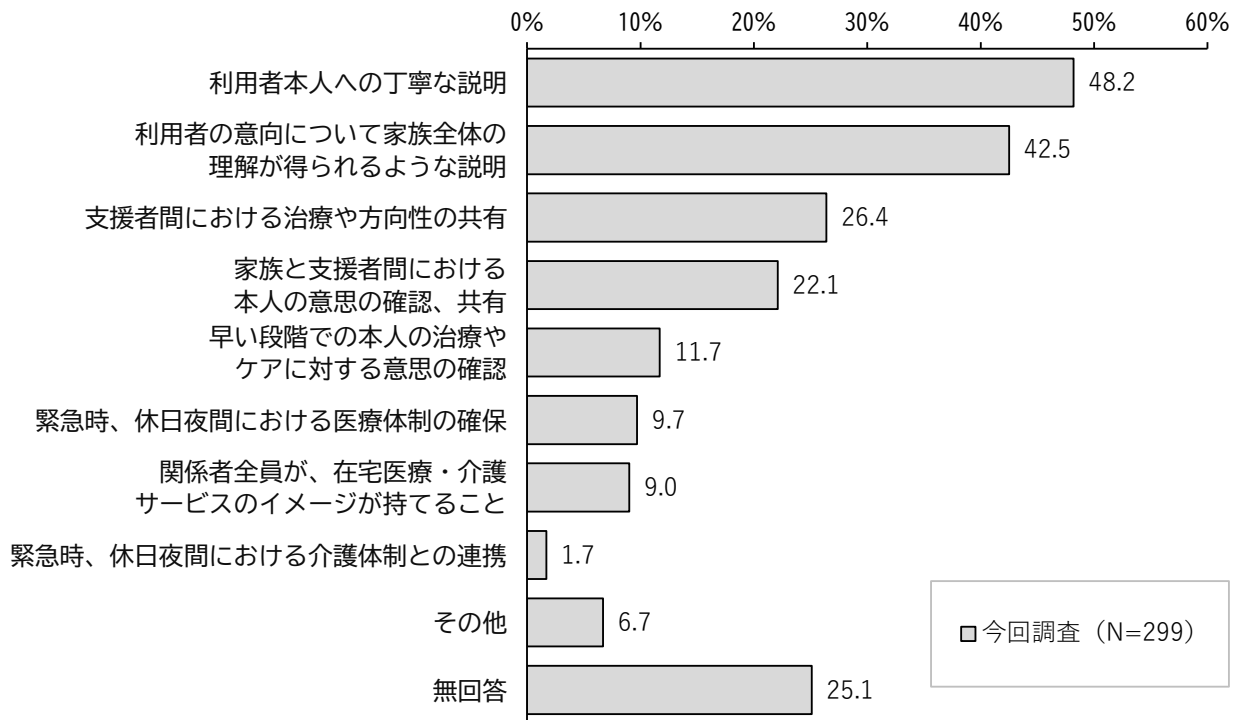
○かかりつけの受診歴の長い患者要請に応じて時々行う ○居宅療養管理指導 ○施設同行

3. 日常的な在宅医療について

(1) 在宅療養で大切にしていること

「利用者本人への丁寧な説明」が48.2%、「利用者の意向について家族全体の理解が得られるような説明」が42.5%

問4. 貴機関が日常的な在宅療養で大切にしていることは次のどれですか。【複数回答: 3つまで】



<その他の回答>

○患者本人との信頼関係 ○在宅療養を行う対象患者がない ○在宅療養を行っていない

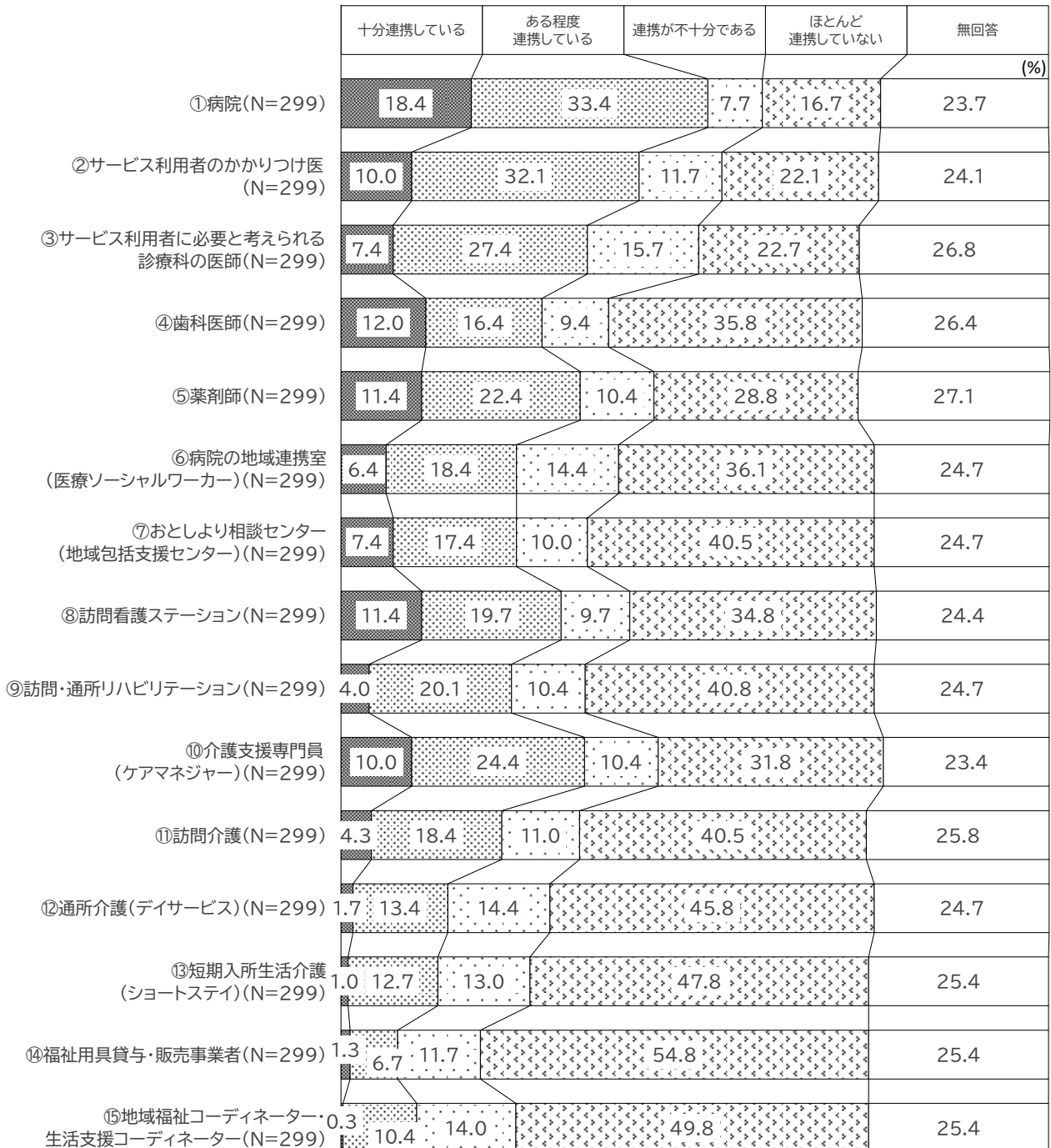
機関種類別で見ると、病院・診療所は他の機関と比べて、「緊急時、休日夜間における医療体制の確保」の割合が高い。歯科診療所は他の機関と比べて、「早い段階での本人の治療やケアに対する意思の確認」の割合が高い。薬局は他の機関と比べて、「利用者本人への丁寧な説明」、「支援者間における治療や方向性の共有」および「関係者全員が、在宅医療・介護サービスのイメージが持てること」の割合が高い。

		調査数	説明利用者本人への丁寧な	得られ全者の意向が説明	利用者間の共有	支援者間における本人の意思の確認、共有	早い段階での本人の治療やケアに対する意思の確認	緊急時、休日夜間における医療体制の確保	関係者全員が、在宅医療・介護サービスのイメージが持てること	緊急時、休日夜間における介護体制との連携	その他	無回答
全体		299	48.2	42.5	26.4	22.1	11.7	9.7	9.0	1.7	6.7	25.1
機関種類	病院・診療所	134	47.8	38.8	27.6	18.7	8.2	14.9	7.5	3.7	8.2	25.4
	歯科診療所	109	42.2	45.0	16.5	25.7	16.5	4.6	7.3	0.0	4.6	30.3
	薬局	53	60.4	47.2	41.5	24.5	9.4	7.5	17.0	0.0	7.5	13.2

(2) 関係機関、職種との連携状況

「十分連携している」「ある程度連携している」割合を合計した連携率は、「①病院」が51.8%、「②サービス利用者のかかりつけ医」が42.1%、「③サービス利用者が必要と考えられる診療科の医師」が34.8%

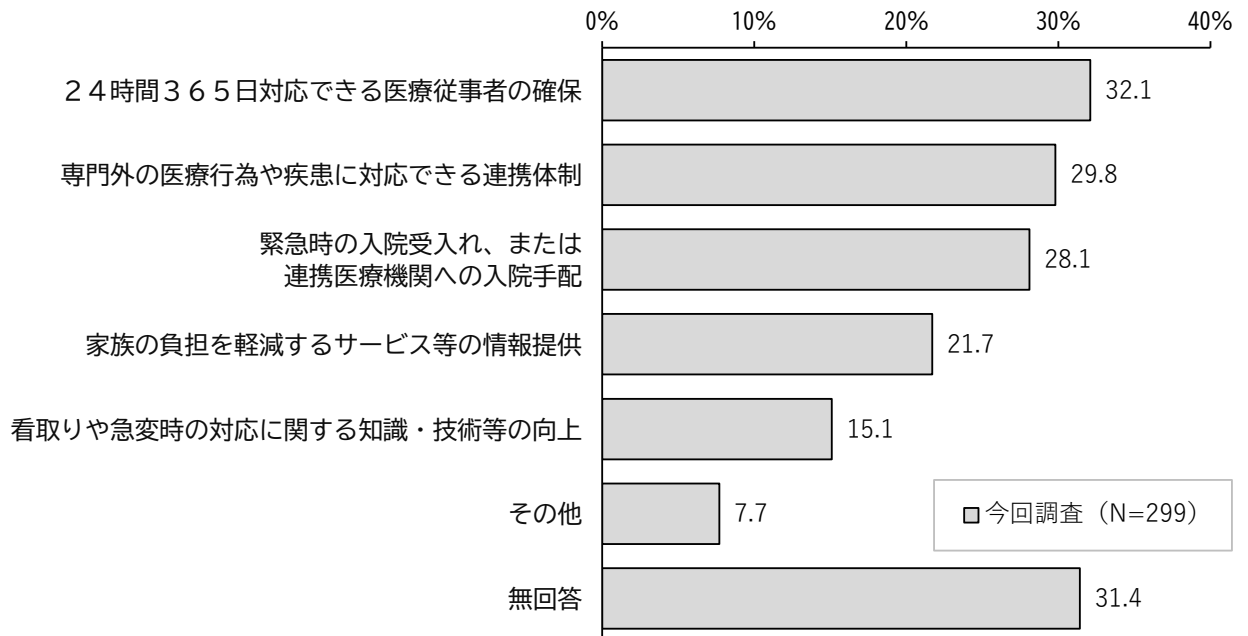
問5. 現在、関わっているサービス利用者の情報などについて、次の関係機関、職種との連携状況をお聞きます。(〇はそれぞれ1つ)



(3) 日常的な在宅療養で課題となっていること

「24時間365日対応できる医療従事者の確保」が32.1%、「専門外の医療行為や疾患に対応できる連携体制」が29.8%、「緊急時の入院受入れ、または連携医療機関への入院手配」が28.1%

問6. 日常的な在宅療養について、現在課題になっていることは次のどれですか。【複数回答】



<その他の回答>

○人手不足 ○訪問距離が16km以内の規制 ○在宅の処方箋がこないこと ○在宅療養を行っていない

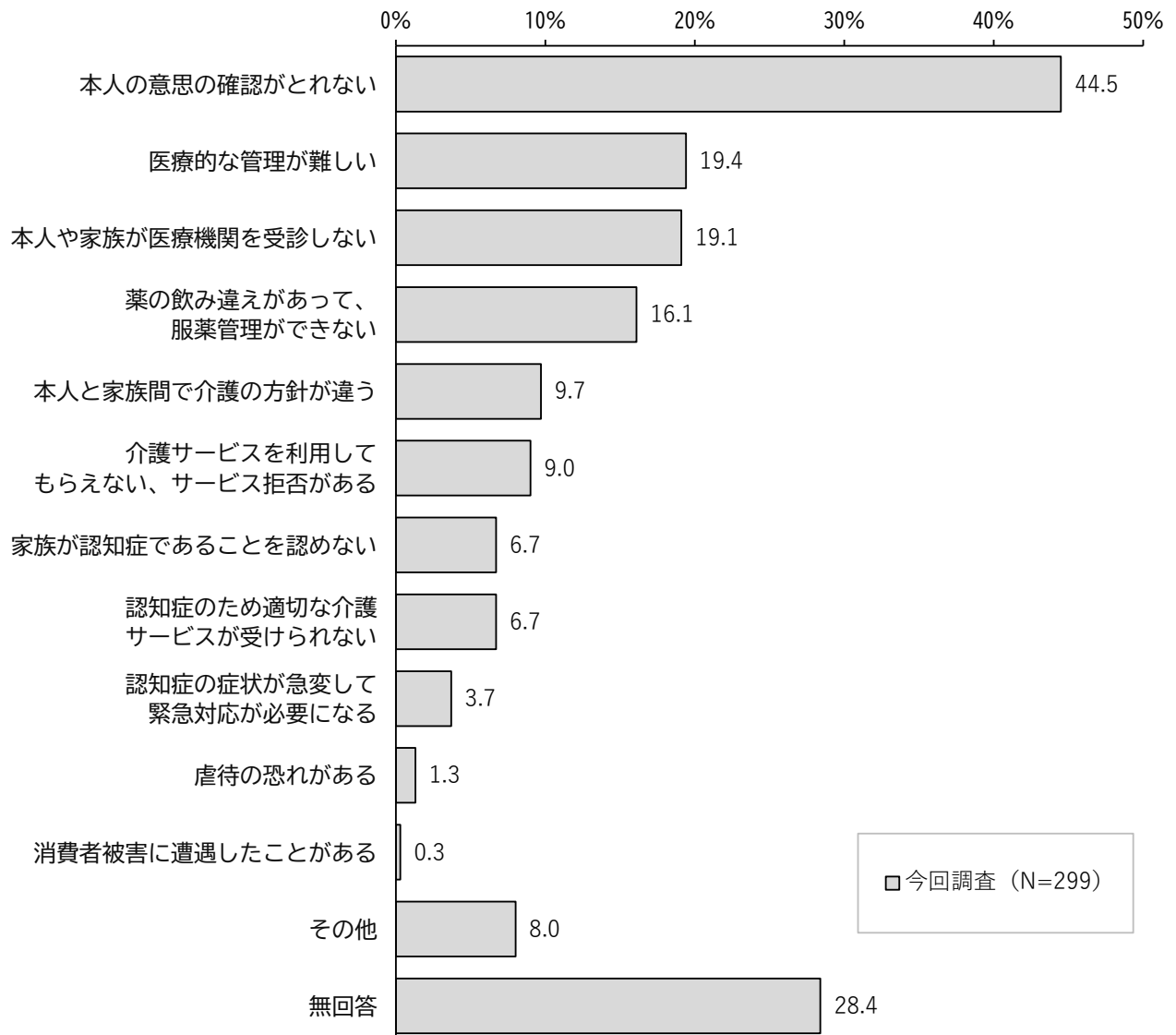
機関種類別で見ると、病院・診療所は他の機関と比べて、「緊急時の入院受入れ、または連携医療機関への入院手配」の割合が高い。歯科診療所は他の機関と比べて、「専門外の医療行為や疾患に対応できる連携体制」の割合が高い。薬局は他の機関と比べて、「24時間365日対応できる医療従事者の確保」および「看取りや急変時の対応に関する知識・技術等の向上」の割合が高い。

		調査数	の24時間365日対応できる医療従事者の確保	24時間365日対応できる医療従事者の確保	専門外の医療行為や疾患に対応できる連携体制	緊急時の入院受入れ、または連携医療機関への入院手配	家族の負担を軽減するサービス等の情報提供	看取りや急変時の対応に関する知識・技術等の向上	その他	無回答
全体		299	32.1	29.8	28.1	21.7	15.1	7.7	31.4	
機関種類	病院・診療所	134	38.8	26.9	39.6	20.1	12.7	9.0	27.6	
	歯科診療所	109	13.8	33.9	17.4	24.8	11.9	6.4	40.4	
	薬局	53	54.7	28.3	18.9	20.8	26.4	7.5	22.6	

(4) 認知症の利用者の状況で大変なこと

「本人の意思の確認がとれない」が44.5%、「医療的な管理が難しい」が19.4%、「本人や家族が医療機関を受診しない」が19.1%

問7. 認知症の患者の状況で実際にあり、大変なことは何ですか。【複数回答: 3つまで】



<その他の回答>

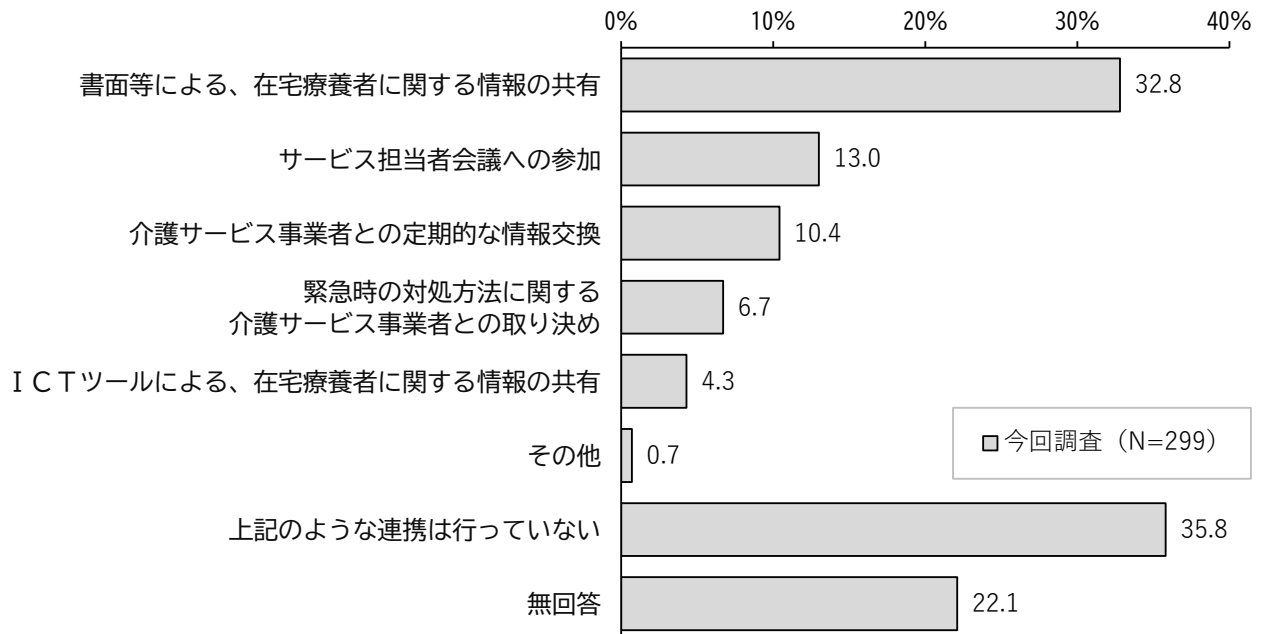
○家族と断絶した人が来る ○運転 ○認知症の患者がいない ○在宅療養を行っていない

(5) 介護サービス事業所との連携状況

① 介護サービス事業所との連携状況

「上記のような連携は行っていない」が35.8%、「書面等による、在宅療養者に関する情報の共有」が32.8%

問8. 介護サービス事業者との連携について、次のようなことを行っていますか。【複数回答】



機関種類別で見ると、歯科診療所は他の機関と比べて、「上記のような連携は行っていない」の割合が高い。薬局は他の機関と比べて、「書面等による、在宅療養者に関する情報の共有」、「サービス担当者会議への参加」の割合が高い。

在宅医療有無別で見ると、実施している医療機関は実施していない医療機関と比べて、「書面等による、在宅療養者に関する情報の共有」、「サービス担当者会議への参加」、「介護サービス事業者との定期的な情報交換」および「緊急時の対処方法に関する介護サービス事業者との取り決め」の割合が高い。実施していない医療機関は実施している医療機関と比べて、「上記のような連携は行っていない」の割合が高い。

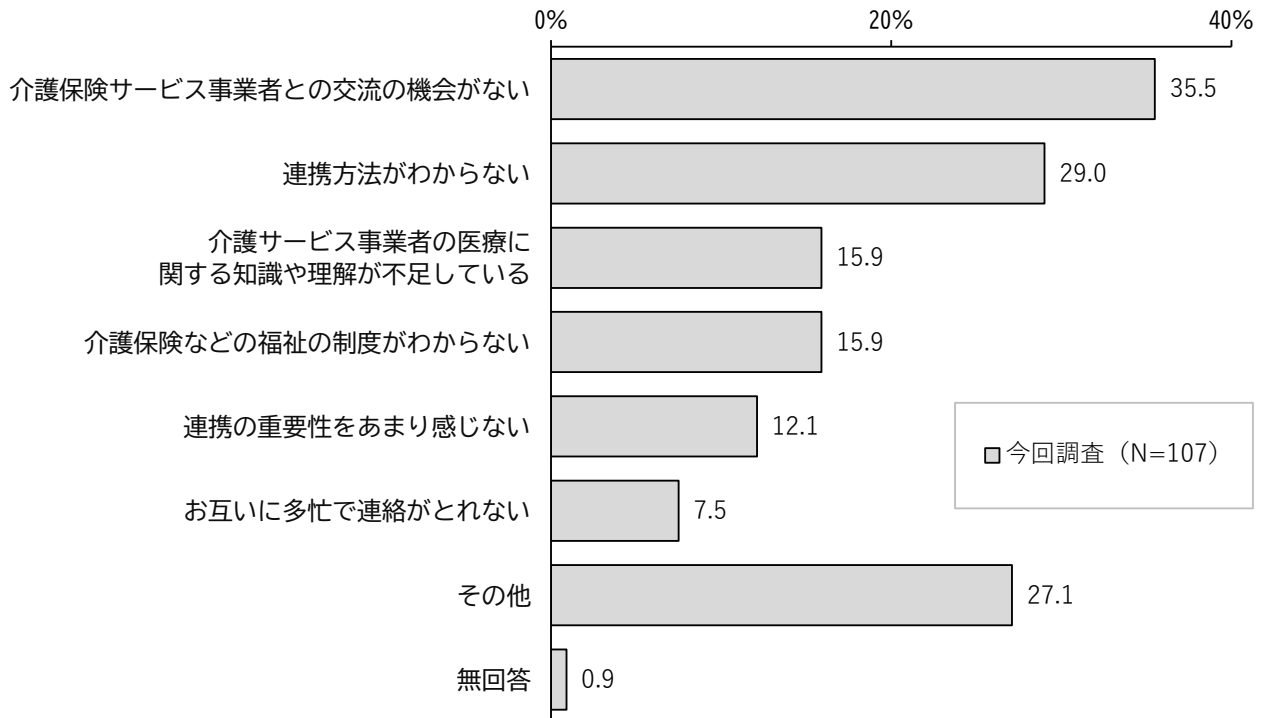
		調査数	書面等による在宅療養者に関する情報の共有	サービス担当者会議への参加	介護サービス事業者との定期的な情報交換	緊急時の対処方法に関する介護サービス事業者との取り決め	療養者の共有に関する情報	その他	上記のような連携は行っていない	無回答
全体		299	32.8	13.0	10.4	6.7	4.3	0.7	35.8	22.1
機関種類	病院・診療所	134	38.1	11.2	10.4	8.2	3.7	0.7	32.1	20.9
	歯科診療所	109	18.3	6.4	8.3	4.6	1.8	0.0	48.6	25.7
	薬局	53	49.1	30.2	11.3	3.8	9.4	1.9	20.8	17.0
在宅医療有無	在宅医療を実施している	97	57.7	24.7	17.5	16.5	8.2	1.0	25.8	6.2
	在宅医療を実施していない	193	20.7	5.7	7.3	2.1	2.1	0.5	42.5	29.5

② 連携を行っていない理由

「介護保険サービス事業者との交流の機会がない」が35.5%、「連携方法がわからない」が29.0%

【問8で「7. 上記のような連携は行っていない」と回答の方】

問8-1. その理由は何ですか。【複数回答】



<その他の回答>

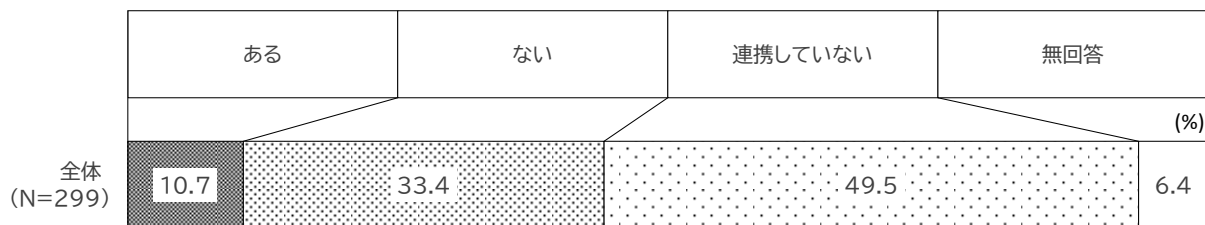
○コロナ禍で経営不振 ○必要性のある患者がいない ○在宅療養を行っていない

(6) ケアマネジャーとの連携の課題

① 連携の課題の有無

「連携していない」が49.5%、「ない」が33.4%

問9. ケアマネジャー（介護支援専門員）との連携で課題がありますか。（○は1つ）



機関種類別で見ると、歯科診療所は他の機関と比べて、「ある」の割合が低く、「連携していない」の割合が高い。薬局は他の機関と比べて、「ない」の割合が高い。

在宅医療有無別で見ると、実施している医療機関は「ない」と回答した割合が約半数を占めている。実施していない医療機関は実施している医療機関と比べて、「連携していない」の割合が高い。

		調査数	ある	ない	連携していない	無回答
全 体		299	10.7	33.4	49.5	6.4
機関種類	病院・診療所	134	13.4	32.8	47.8	6.0
	歯科診療所	109	3.7	28.4	60.6	7.3
	薬局	53	17.0	43.4	34.0	5.7
在宅医療有無	在宅医療を実施している	97	24.7	52.6	20.6	2.1
	在宅医療を実施していない	193	3.6	22.8	65.3	8.3

② 課題と感じていること (自由記述)

【問9で「1. ある」と回答の方】

問9-1. 課題と感じていることを具体的にお書きください。【自由記述】

●病院

- ・ケアマネジャーの連絡先が分からないことがある。

●診療所

- ・本人や配偶者にケアマネジャーを聞いても誰かわからないことがある。本人や配偶者が当院から連絡することに消極的な事例もある。
- ・ケアマネとの情報交換の場が少ない。
- ・ケアマネジャーによって、対応に差がある。
- ・十分な時間がとれない。
- ・必要に応じて関係先を調べ、問い合わせ等をしているが、スムーズな連絡、確認体制が確立されていない。
- ・人手不足なのか、連絡がとれないことがある。担当者以外ではわからないことが多いので、連絡がとれないととても困る。
- ・ケアマネジャーからの連絡や相談がない。
- ・連絡がスムーズではないことがある。
- ・連絡のタイミングが課題である。
- ・担当者が誰か決まったら医療機関に連絡が欲しい。家族にサービスやプランなどを提案した場合はその内容についてについて連絡がほしい。内容によっては事前に相談してもらいたい。
- ・福祉系のケアマネジャーの中に、医療に関する知識がかなり乏しい者がおり、治療の妨げになることがある。
- ・患者の現状認識がずれていることがある。
- ・サービス利用に関する情報が得られない。介護認定すらわからないことがある。
- ・訪問看護導入について、一部のケアマネは消極的。
- ・介護保険制度や認定審査への理解。
- ・書面でのやり取りだけでは患者情報の共有に限界がある。

●歯科診療所

- ・連絡の取り方、報告書のテンプレート化。
- ・ケアマネジャーと会う場がない。
- ・歯科診療に対する理解不足（当方側の情報発信不足もある）。

●薬局

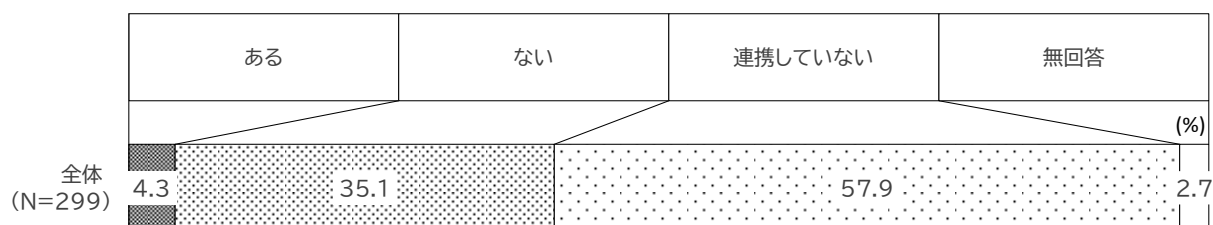
- ・薬剤師への情報共有が不十分なことが多い。
- ・訪問ヘルパーと訪問看護があれば薬剤師介入は必要ないと思われがちで、訪問ヘルパーと訪問看護に負担がかかっているように感じる。
- ・ケアマネジャーとやりとりをすることがなく、ケアマネジャーに何ができるかわからないし、何を求められているのかもわからない。
- ・報告はしているが、その反応がない。
- ・こまめな連携ができていない。
- ・医療従事者や介護スタッフとの連帯感は、コロナ禍以降実際に会って話すことが難しくなった。
- ・情報が直接入ってこず、又聞きとなり正確な情報が伝わってこない。
- ・ケアマネジャーによって、連携の程度が全く違う。
- ・ケアマネジャーが忙しくなかなか密に連絡がとれない。

(7) おとしより相談センターとの連携の課題

① 連携の課題の有無

「連携していない」が57.9%

問10. おとしより相談センター（地域包括支援センター）との連携で課題がありますか。（○は1つ）



機関種類別で見ると、病院・診療所および薬局は歯科診療所と比べて、「ない」の割合が高い。歯科診療所は他の機関と比べて、「連携していない」の割合が高い。

所在地別で見ると、京橋および日本橋地域は月島地域と比べて、「連携していない」の割合が高い。月島地域は他の地域と比べて、「ない」の割合が高い。

在宅医療有無別で見ると、実施している医療機関は「ない」と回答した割合が約半数を占めている。実施していない医療機関は実施している医療機関と比べて、「連携していない」の割合が高い。

		調査数	ある	ない	連携していない	無回答
全 体		299	4.3	35.1	57.9	2.7
機関種類	病院・診療所	134	6.7	42.5	47.8	3.0
	歯科診療所	109	2.8	22.9	72.5	1.8
	薬局	53	1.9	39.6	54.7	3.8
所在地	京橋	130	1.5	33.1	63.8	1.5
	日本橋	126	5.6	31.0	58.7	4.8
	月島	42	9.5	54.8	35.7	0.0
在宅医療有無	在宅医療を実施している	97	7.2	53.6	38.1	1.0
	在宅医療を実施していない	193	3.1	25.9	67.9	3.1

② 課題と感じていること

【問10で「1. ある」と回答の方】

問10-1. 課題と感じていることを具体的にお書きください。【自由記述】

●病院

- ・家族支援の無い独居高齢者の支援困難例が多い。

●診療所

- ・個人情報を取り扱うため、本人・家族の許可。
- ・書類だけの連携となること。
- ・お互いの勤務時間内で、十分に時間がとれない。
- ・必要に応じて、関係先を調べ、問い合わせ等をしているが、スムーズな確認が確立されていない。
- ・おとしより相談センター（地域包括支援センター）の人手不足。
- ・患者・医療者ともにおとしより相談センター（地域包括支援センター）の役割が理解できていない。

●薬局

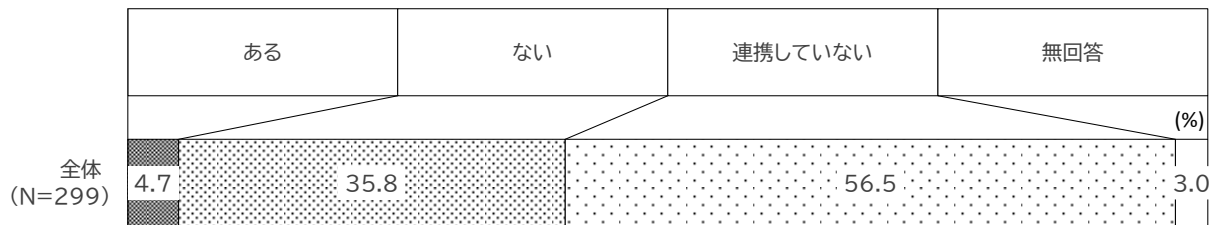
- ・こちらの知識・情報不足もあるが、全然連携できていない。
- ・積極的な連携が組みにくい。

(8) 訪問看護ステーションとの連携の課題

① 連携の課題の有無

「連携していない」が56.5%

問11. 訪問看護ステーションとの連携で課題がありますか。(〇は1つ)



機関種別で見ると、病院・診療所、薬局は歯科診療所と比べて、「ない」の割合が高い。歯科診療所は他の機関と比べて、「連携していない」の割合が高い。

所在地別で見ると、京橋および日本橋地域は月島地域と比べて、「連携していない」の割合が高い。月島地域は他の地域と比べて、「ない」の割合が高い。

在宅医療有無で見ると、実施している医療機関は実施していない医療機関と比べて、「ある」および「ない」の割合が高い。実施していない医療機関は実施している医療機関と比べて、「連携していない」の割合が高い。

		調査数	ある	ない	連携していない	無回答
全体		299	4.7	35.8	56.5	3.0
機関種類	病院・診療所	134	5.2	47.0	44.0	3.7
	歯科診療所	109	1.8	21.1	75.2	1.8
	薬局	53	9.4	37.7	49.1	3.8
所在地	京橋	130	0.8	34.6	63.1	1.5
	日本橋	126	7.1	31.0	57.1	4.8
	月島	42	9.5	54.8	33.3	2.4
在宅医療有無	在宅医療を実施している	97	8.2	58.8	32.0	1.0
	在宅医療を実施していない	193	2.6	24.4	69.4	3.6

② 課題と感じていること

【問11で「1. ある」と回答の方】

問11-1. 課題と感じていることを具体的にお書きください。【自由記述】

●診療所

- ・患者さんがどこの訪問ステーションに通っているか、連絡先が書いたカードなどを持っていると連絡しやすい。連絡したくても、どこに連絡すればよいのかわからない。
- ・書類だけの連携。
- ・訪問看護の情報はよいが、こちらでの診療の情報が訪問看護の方に十分に届いていない。
- ・24時間365日対応の訪問看護ステーションで、患者が亡くなった際に何度連絡しても電話が繋がらないことがあった。亡くられることは想定された状況で、事前に状態も伝え対応を依頼していたにも関わらずそういった状況で対応に不安を感じた。
- ・急変時の対応をどこまで行うか。
- ・3ヶ月に1回しか報告書を送ってこない事業者がある。
- ・書面での報告だけでは実際の患者の状態やケアの内容がよくわからないことが多い。

●歯科診療所

- ・口腔内清掃方法等の知識が乏しく、大量の汚れやプラークが残されたままになっている事例があった。

●薬局

- ・こまめな連携がとれていない。
- ・薬の管理を薬局がするのか訪看がするのか曖昧なところがある。
- ・訪問ステーションによって対応に差がある。
- ・服用方法などの指導。

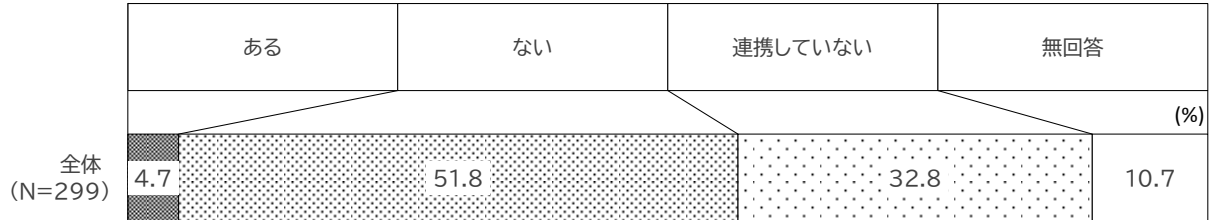
(9) 薬局との連携の課題

① 連携の課題の有無

「ない」が51.8%

【すべての医師・歯科医師の方】

問 12. 薬局との連携で課題がありますか。(〇は1つ)



機関種類別で見ると、病院・診療所は他の機関と比べて、「ない」の割合が高い。歯科診療所は他の機関と比べて、「連携していない」の割合が高い。

所在地別で見ると、月島地域は他の地域と比べて、「ない」の割合が高い。

在宅医療有無別で見ると、実施している医療機関は実施していない医療機関と比べて、「ない」の割合が高い。実施していない医療機関は実施している医療機関と比べて、「ある」および「連携していない」の割合が高い。

		調査数	ある	ない	連携していない	無回答
全 体		299	4.7	51.8	32.8	10.7
機関種類	病院・診療所	134	9.0	59.7	26.9	4.5
	歯科診療所	109	1.8	45.9	49.5	2.8
	薬局	53	0.0	45.3	13.2	41.5
所在地	京橋	130	3.1	50.0	39.2	7.7
	日本橋	126	6.3	49.2	30.2	14.3
	月島	42	4.8	64.3	21.4	9.5
在宅医療有無	在宅医療を実施している	97	1.0	69.1	21.6	8.2
	在宅医療を実施していない	193	6.7	45.6	39.4	8.3

② 課題と感じていること

【問12で「1. ある」と回答の方】

問12-1. 課題と感じていることを具体的にお書きください。【自由記述】

●診療所

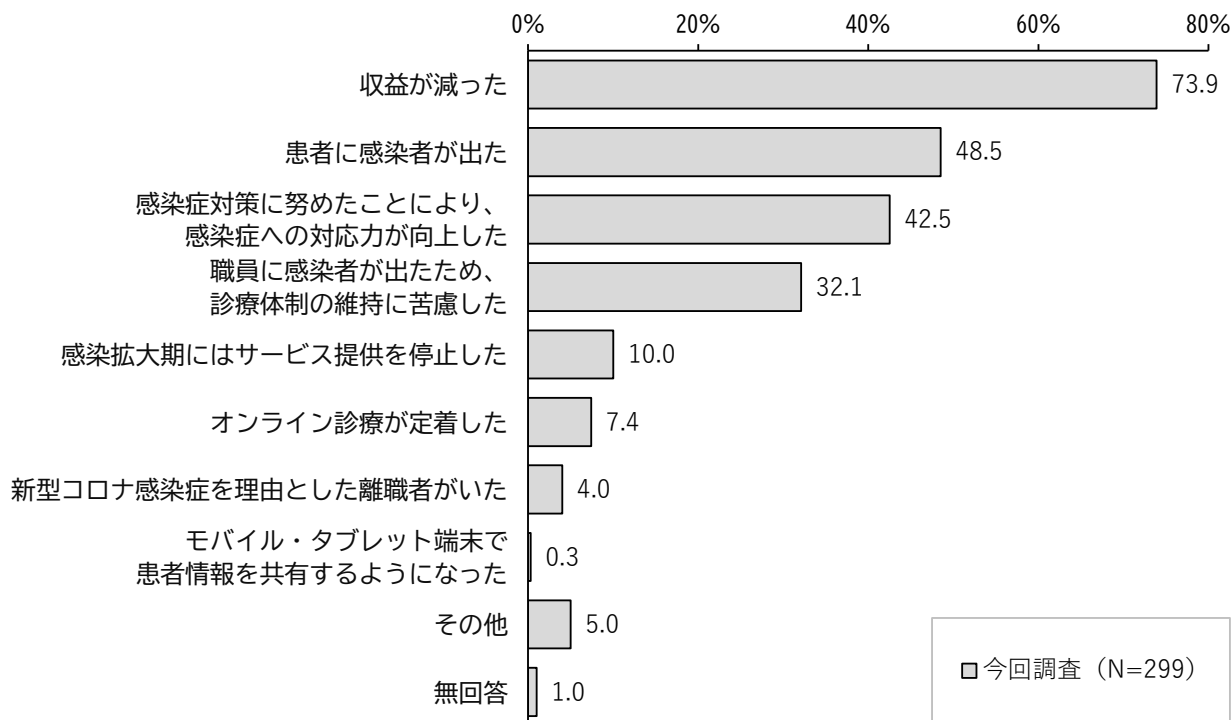
- ・他院からの処方との関連がよくわからない。お薬手帳以外の情報が不十分。
- ・こちらで処方する薬を「ないので変更してほしい」と（同じ薬を）何度も繰り返し、取り寄せるつもりがない。
- ・処方現場で、治療方針と違うアドバイスをしないでほしいと思う。
- ・処方した漢方薬の在庫がないことがある。
- ・患者が薬局に行って、処方薬の量や期間の変更を訴えたり、異なる薬を希望したりすることがある。
- ・システムのIT化の格差がある。

(10) 新型コロナウイルス感染症のサービス提供への影響

「収益が減った」が73.9%、「患者に感染者が出た」が48.5%

問 13. 新型コロナウイルス感染症の拡大により、貴機関にはどのような影響がありましたか。

【複数回答:3つまで】



<その他の回答>

- 患者が少し減った ○キャンセルが出た ○医師や職員とその家族感染による休診・人手不足
- 感染対策をするのに費用がかかった ○閉院寸前
- 口腔衛生への関心が高まり、定期健診の意識が高まった ○防護服の着替えが早くなった

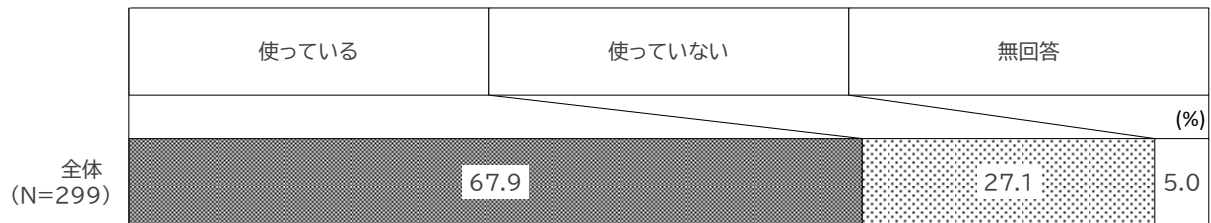
4. ICT機器の活用について

(1) ICT機器使用

① ICT機器使用の有無

「使っている」が67.9%

問14. 貴機関では、ICT機器（情報通信機器）を使っていますか。(〇は1つ)



機関種類別で見ると、歯科診療所は他の機関と比べて、「使っていない」の割合が高い。薬局は他の機関と比べて、「使っている」の割合が高い。

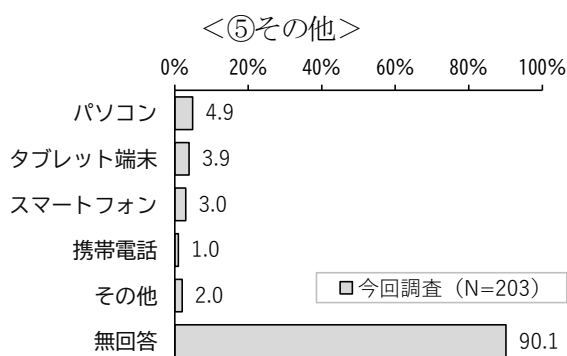
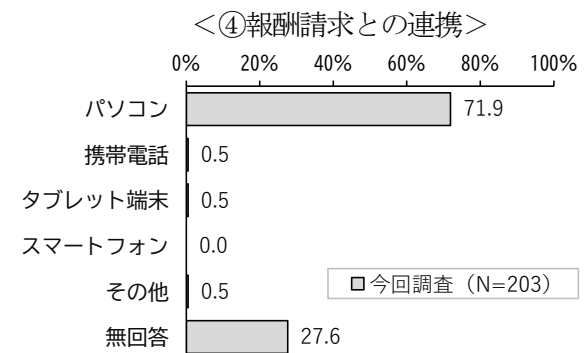
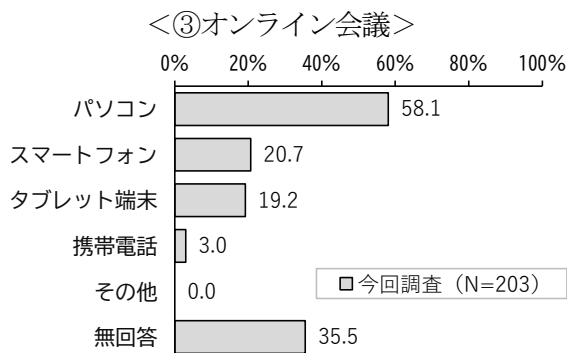
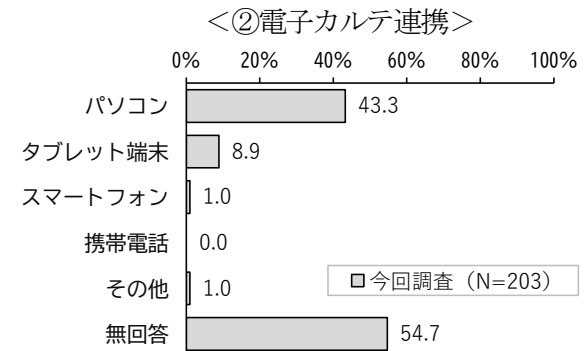
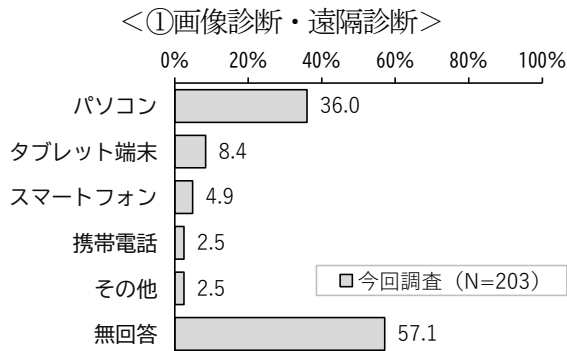
		調査数	(%)		
			使っている	使っていない	無回答
全 体		299	67.9	27.1	5.0
機関種類	病院・診療所	134	72.4	24.6	3.0
	歯科診療所	109	57.8	36.7	5.5
	薬局	53	77.4	15.1	7.5

② どのように利用しているか

「パソコン」の使用率は、「④報酬請求との連携」が71.9%、「③オンライン会議」が58.1%、「②電子カルテ連携」が43.3%

【問14で「1. 使っている」と回答の方】

問14-1. どのような業務で何を使っていますか。【複数回答】

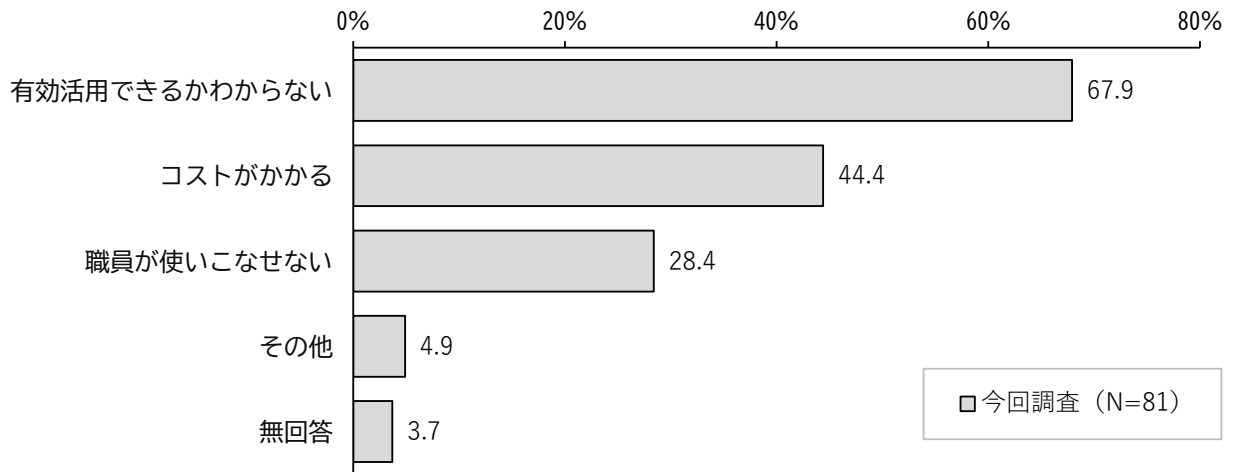


③ 使用していない理由

「有効活用できるかわからない」が67.9%、「コストがかかる」が44.4%

【問14で「2. 使っていない」と回答の方】

問14-2. 使っていない理由は何ですか。【複数回答】

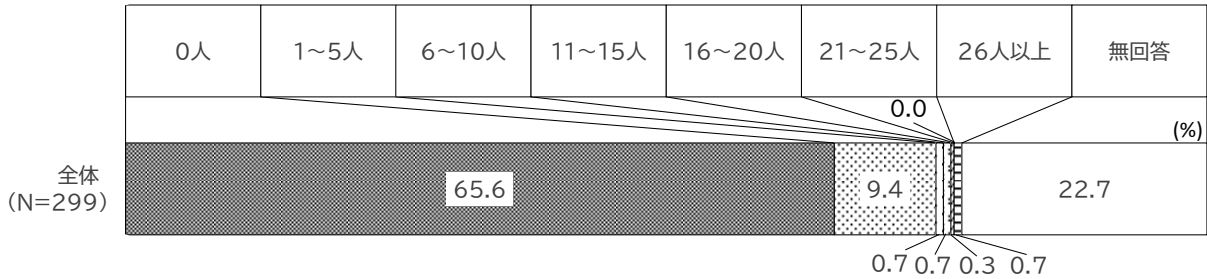


5. 看取りについて

(1) 1年間に在宅で看取った患者数

「0人」が65.6%

問15. 令和3年10月から令和4年9月までの1年間に、在宅で看取った患者数は何人程度ですか。
(○は1つ)



所在地別で見ると、月島地域は他の地域と比べて、「1~5人」の割合が高い。

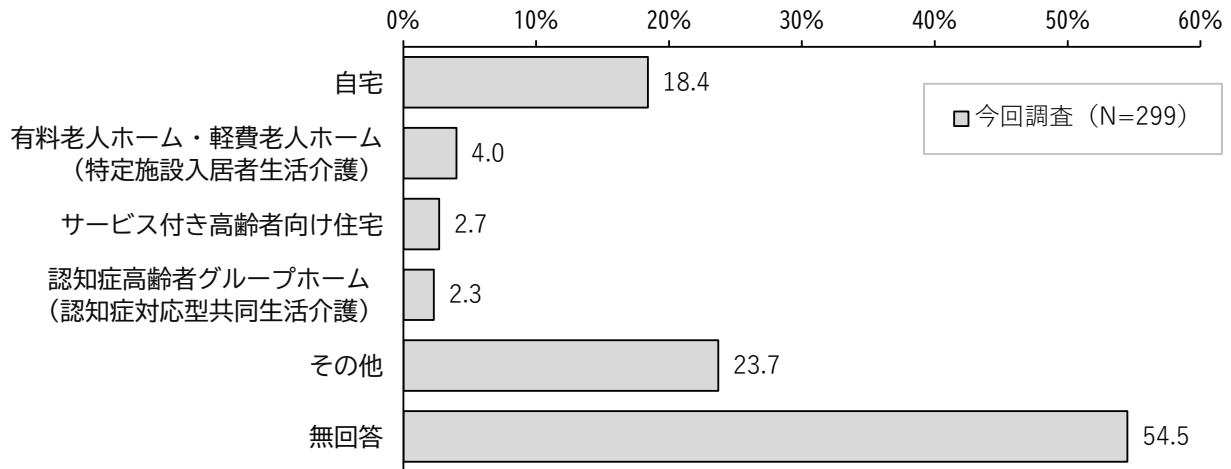
在宅医療有無別で見ると、実施している医療機関は実施していない医療機関と比べて、「1~5人」の割合が高い。実施していない医療機関は実施している医療機関と比べて、「0人」の割合が高い。

		調査数								(%)
			0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26人以上	無回答
全体		299	65.6	9.4	0.7	0.7	0.3	0.0	0.7	22.7
所在地	京橋	130	66.9	9.2	0.0	1.5	0.0	0.0	0.8	21.5
	日本橋	126	64.3	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6
	月島	42	64.3	16.7	4.8	0.0	2.4	0.0	2.4	9.5
在宅医療有無	在宅医療を実施している	97	55.7	24.7	2.1	2.1	1.0	0.0	2.1	12.4
	在宅医療を実施していない	193	72.0	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.9

(2) 看取りのための訪問先(自宅、施設その他)

「その他」が23.7%、「自宅」が18.4%

問16. 在宅での看取りの訪問先はどこですか。【複数回答】



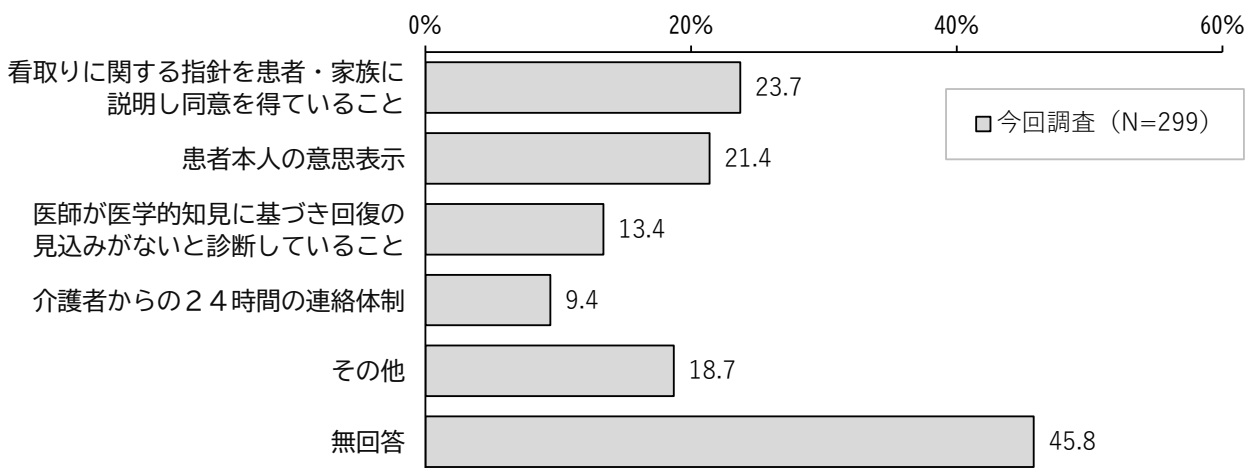
<その他の回答>

看取りを行っていない 在宅診療を行っていない

(3) どのような条件があれば看取りが可能か

「看取りに関する指針を患者・家族に説明し同意を得ていること」が23.7%、「患者本人の意思表示」が21.4%、「その他」が18.7%

問17. どのような条件があれば看取りが可能ですか。【複数回答】



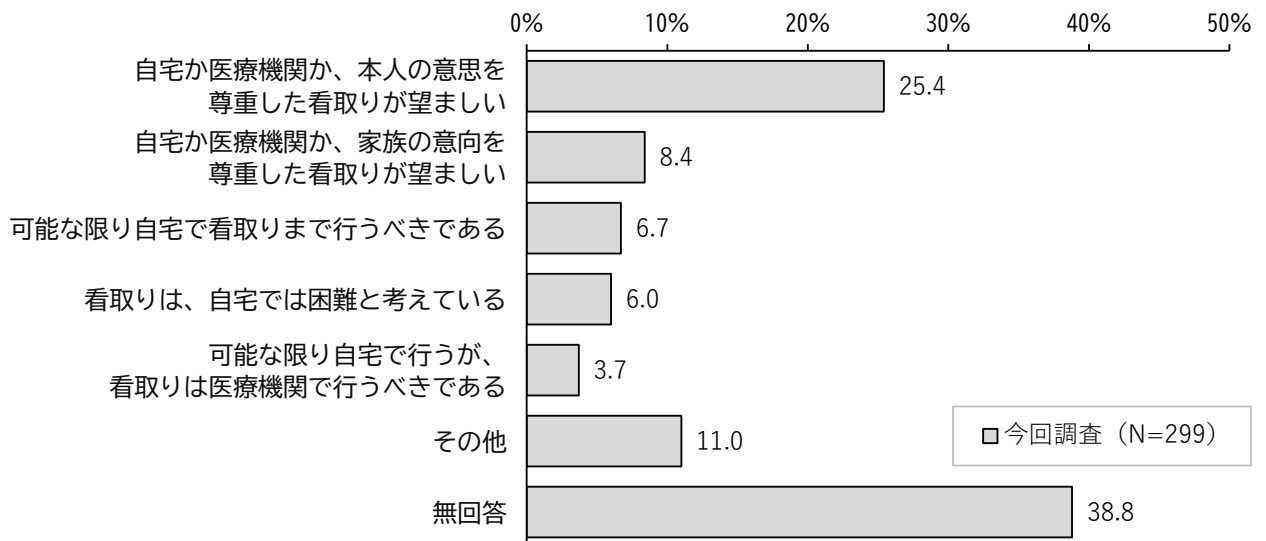
<その他の回答>

看取りを行っていない (考えていない) 在宅診療を行っていない

(4) 看取りについて最も重視していること

「自宅か医療機関か、本人の意思を尊重した看取りが望ましい」が25.4%、「その他」が11.0%

問 18. 貴医療機関は、看取りについてどのように考えていますか(○は1つ)



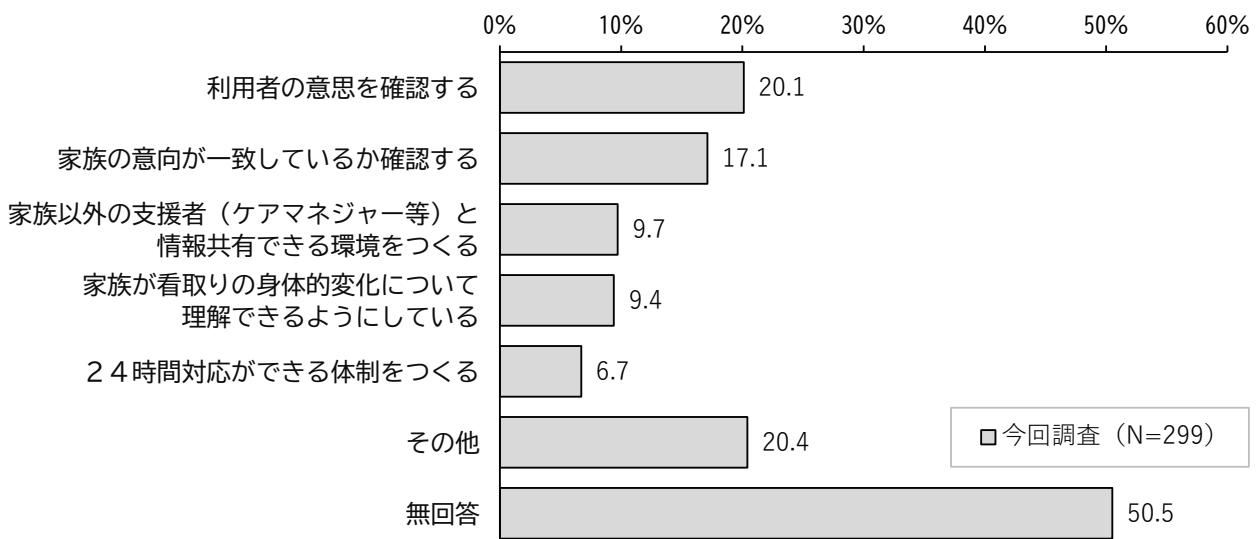
<その他の回答>

○看取りを行っていない ○在宅診療を行っていない

(5) 看取りに関して実施していること

「その他」が20.4%、「利用者の意思を確認する」が20.1%、「家族の意向が一致しているか確認する」が17.1%

問 19. 貴医療機関で、看取りについて実践していることがこの中にありますか。【複数回答】



<その他の回答>

○看取りを行っていない ○在宅診療を行っていない ○対象となる患者がいない

(6) ACP (アドバンス・ケア・プランニング) の活用

「活用したことがない」が69.2%

問20. ACP (アドバンス・ケア・プランニング) を活用したことがありますか。(○は1つ)



機関種類別で見ると、病院・診療所は他の機関と比べて、「活用したことがある」の割合が高い。薬局は他の機関と比べて、「活用したことがない」の割合が高い。

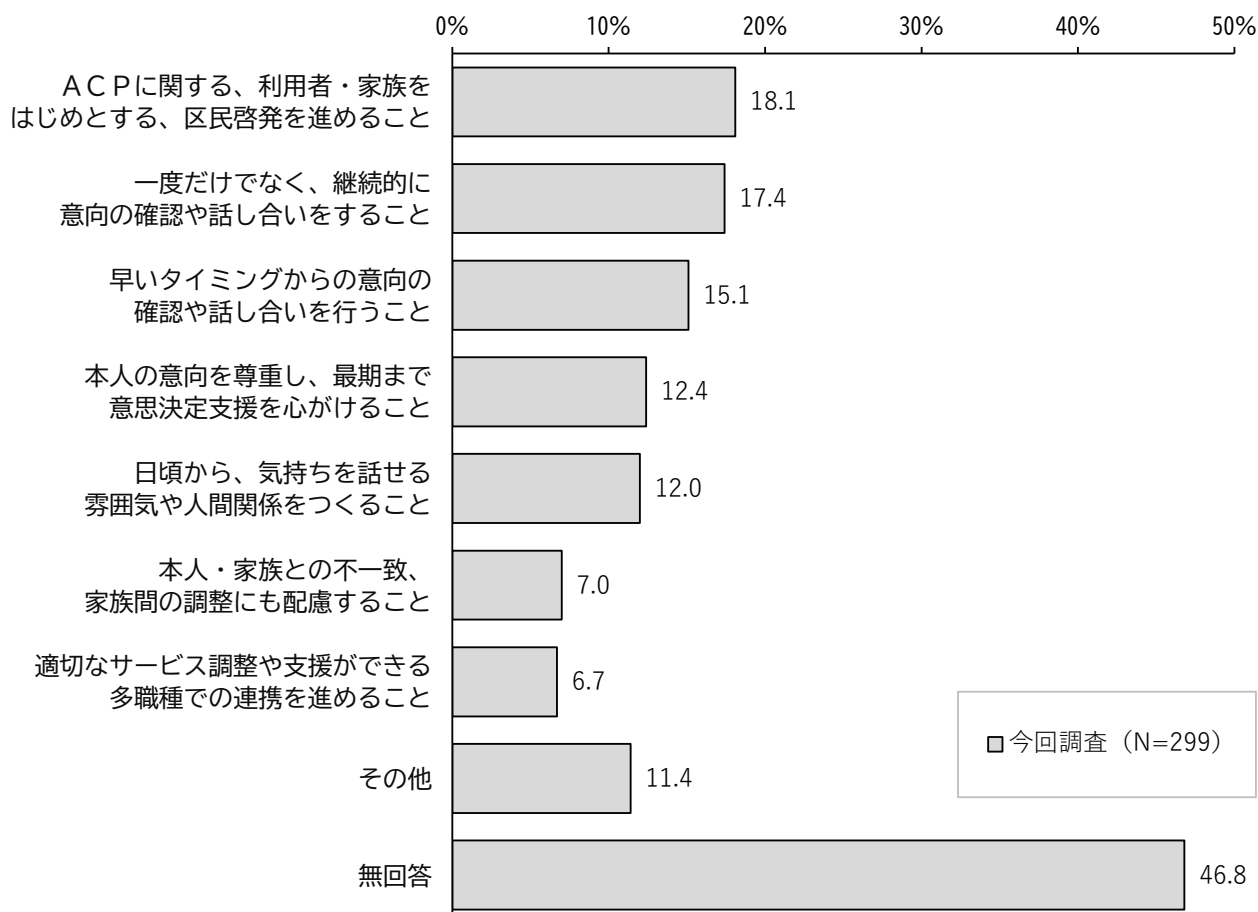
在宅医療有無別で見ると、実施している医療機関は実施していない医療機関と比べて、「活用したことがある」の割合が高い。

		調査数	(%)		
			あ 活 用 し た こ と が	な 活 い 用 し た こ と が	無 回 答
全 体		299	5.0	69.2	25.8
機関種類	病院・診療所	134	9.0	69.4	21.6
	歯科診療所	109	0.9	63.3	35.8
	薬局	53	3.8	79.2	17.0
在宅医療 有無	在宅医療を実施している	97	10.3	71.1	18.6
	在宅医療を実施していない	193	2.6	69.4	28.0

(7) ACP (アドバンス・ケア・プランニング) の推進に必要なこと

「ACPに関する、利用者・家族をはじめとする、区民啓発を進めること」が18.1%、「一度だけでなく、継続的に意向の確認や話し合いをすること」が17.4%、「早いタイミングからの意向の確認や話し合いを行うこと」が15.1%

問21. ACP(アドバンス・ケア・プランニング)をすすめる上で必要なことは何ですか。【複数回答:3つまで】



<その他の回答>

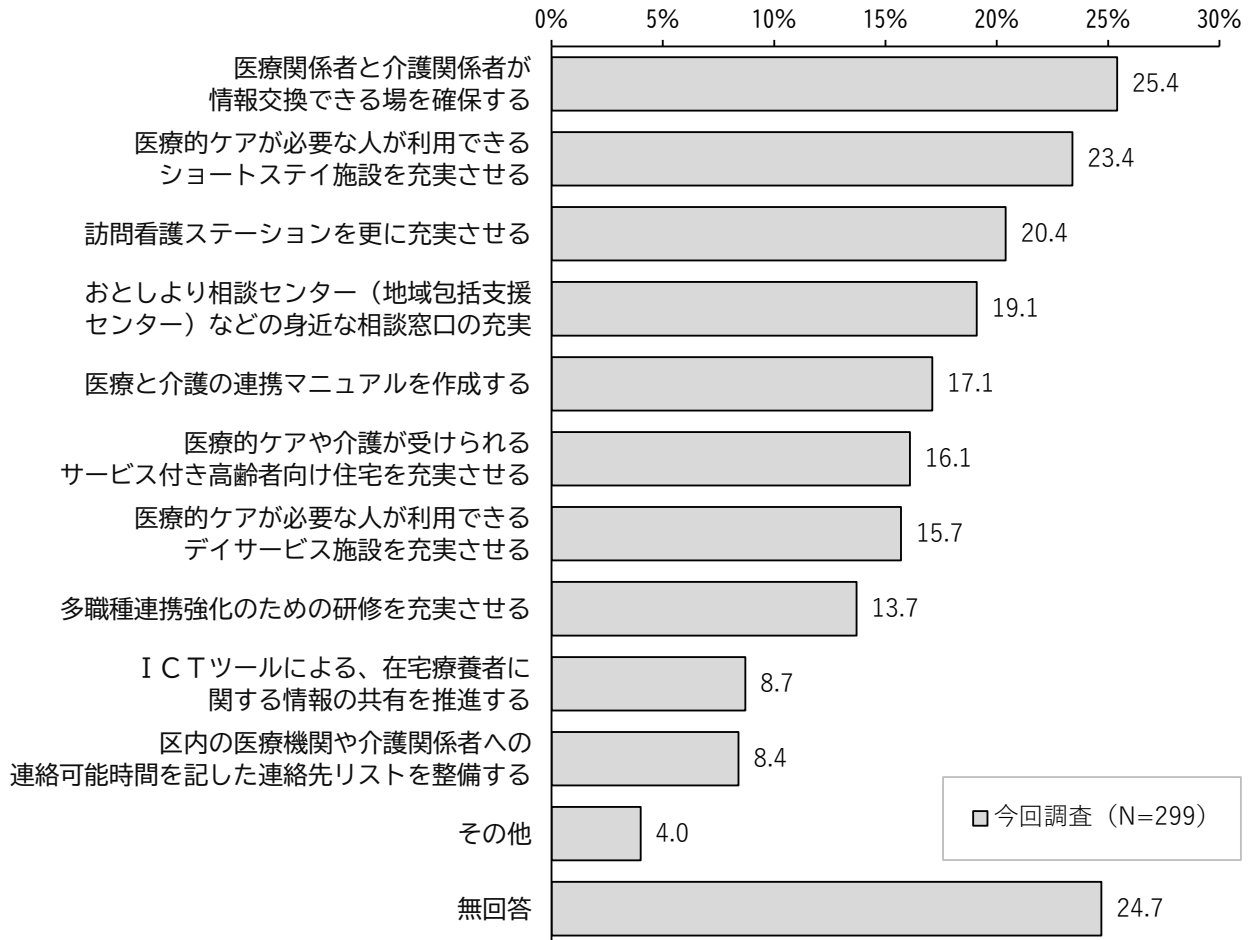
○ACPにこだわる余り治療が消極的にならないよう注意すべき ○わからない

6. 地域包括ケアシステムについて

(1) 地域包括ケアシステム構築に向けて取り組むべき課題

「医療関係者と介護関係者が情報交換できる場を確保する」が25.4%、「医療的ケアが必要な人が利用できるショートステイ施設を充実させる」が23.4%、「訪問看護ステーションを更に充実させる」が20.4%

問22. 医療と介護を一体的に提供し、在宅療養支援を進めていくため、医療機関、介護サービス事業者、行政はどのようなことに取り組むことが必要だと思いますか。【複数回答: 3つまで】



VI 在宅医療・介護に関する調査(調査F)

機関種類別で見ると、病院・診療所は他の機関と比べて、「医療的ケアが必要な人が利用できるショートステイ施設を充実させる」、「訪問看護ステーションを更に充実させる」および「医療的ケアや介護が受けられるサービス付き高齢者向け住宅を充実させる」の割合が高い。薬局は他の機関と比べて、「医療関係者と介護関係者が情報交換できる場を確保する」、「多職種連携強化のための研修を充実させる」および「ICTツールによる、在宅療養者に関する情報の共有を推進する」の割合が高い。

在宅医療有無別で見ると、実施している医療機関は実施していない医療機関と比べて、「医療関係者と介護関係者が情報交換できる場を確保する」、「医療的ケアが必要な人が利用できるショートステイ施設を充実させる」、「おとしより相談センター（地域包括支援センター）などの身近な相談窓口の充実」、「医療と介護の連携マニュアルを作成する」、「多職種連携強化のための研修を充実させる」および「ICTツールによる、在宅療養者に関する情報の共有を推進する」の割合が高い。実施していない医療機関は実施している医療機関と比べて、「訪問看護ステーションを更に充実させる」の割合が高い。

		調査数	医療関係者と介護関係者が情報交換できる場を確保する	医療的ケアが必要な人が施設を利用できるショートステイを充実させる	訪問看護ステーションを更に充実させる	身近な相談窓口の充実	おとしより相談センター（地域包括支援センター）などの	医療と介護の連携マニュアルを作成する	在宅医療サービス付き高齢者向け住宅を充実させる	医療的ケアや介護が必要な人が利用できるデイサービス施設を充実させる	医療的ケアが必要な人が利用できるサービス施設を充実させる	多職種連携強化のための研修を充実させる	ICTツールに関する情報の共有を推進する	区内の医療機関や介護関係者とのネットワークを整備する	その他	(%) 無回答
全体		299	25.4	23.4	20.4	19.1	17.1	16.1	15.7	13.7	8.7	8.4	4.0	24.7		
機関種類	病院・診療所	134	22.4	33.6	32.1	20.1	10.4	20.1	20.1	6.0	8.2	10.4	3.7	20.1		
	歯科診療所	109	22.0	12.8	10.1	13.8	22.0	11.9	15.6	16.5	3.7	5.5	4.6	34.9		
	薬局	53	41.5	18.9	13.2	28.3	24.5	11.3	5.7	26.4	20.8	7.5	3.8	15.1		
在宅医療有無	在宅医療を実施している	97	33.0	32.0	16.5	22.7	23.7	15.5	18.6	21.6	14.4	8.2	2.1	13.4		
	在宅医療を実施していない	193	20.7	20.2	22.8	17.1	14.5	17.1	15.0	8.3	5.2	7.8	5.2	30.1		

(2) 自由記入欄 (自由記述)

問 23. 在宅療養に対する医療や介護のあり方や看取り、その他の医療・介護保険制度等を含め、医療と介護の連携について、ご意見やご要望を自由にご記入ください。【自由記述】

●診療所

- ・専門科の疾患のみ対応しており、主治医は別にいるので、看取りはしていない。褥瘡、痒みで困った時に診察し、アドバイスしている。
- ・在宅医療を始めるハードルが高いので、もう少し気軽に始められるようにしてほしい。例えば、365日24時間連絡可能など。専門科ならではの診療の需要もあるが、なかなか始められないのが現状である。
- ・急性期医療と救急医療を中心に診療を進めているが、医療と介護の連携について、検討を開始したい。
- ・高齢者、認知症以外の在宅医療について、情報が無い。
- ・民間の老人ホームやサービス付き高齢者住宅に入居中の高齢者が病気や認知症になると、その居住施設を退去させられ、「在宅」療養する家がなくなってしまうのが問題である。
- ・介護する家族が有職者であったり軽度の障害者等である場合に、なかなか本人の支援に繋がらないことがあり、その家族をサポートする体制が必要。
- ・訪問看護の重要性、適用範囲についてケアマネに深く認識してほしい。
- ・死生観や寿命など命に関わることを宗教職や教育者と連携して学校教育に取り入れることを希望する。

●歯科診療所

- ・歯科の在宅療養は、歯科医師会を通して連携していることが多いと思う。
- ・親の介護のために、働きざかりの人間を離職させる在宅の介護はいかかなものかと考えさせられる。
- ・在宅や介護については、長い間、通院した顔なじみの歯医者各々が持つことが必要。
- ・医療と介護は分けられるものではなくそれぞれが互いに連携し患者を診ていく事が基本と考える。更には家族に対する心のケアも必要不可欠な事である、
- ・地域性により必ずしも訪問に拘らず、患者の搬送システムを充実させる事も有効ではないか。

●薬局

- ・多職種が連携しやすいように、顔合わせできる場に参加する機会があるとよい。
- ・連携の時間がとりにくい。日常業務で追われている現実がある。
- ・事業所によってバラバラなことが多く、情報共有もままならないことが多い。多職種連携するにあたって、行政、医師会、薬剤師会などがある程度声掛けなどしてくれるとよい。

資料編 アンケート調査票

高齢者福祉に関する生活実態調査

区では、令和5年度の「中央区高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画」の策定に向け、高齢者の方や高齢者をこれから迎える方に今後の意向や生活実態をお伺いするため、本調査を実施します。調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和4年10月 中央区

調査について

- この調査は、55歳以上の区民の方から無作為に抽出してお送りしています。
- この調査は無記名方式で行います。回答者が特定されることはありません。
- 調査結果は、区の高齢者施策の推進のために利用され、その他の目的で使用されることはありません。
- この調査は17ページ、計42問です。

ご記入にあたってのお願い

- 回答は、封筒のあて名ご本人についてご記入ください。
- あて名のご本人が回答することが難しい場合は、ご家族またはお世話なさっている方がお手伝いするか、ご本人の立派に立って代わりにお返してください。
- 鉛筆や黒または青のボールペンで記入してください。
- 回答は、あてはまる番号に○をつけてください。
- 「その他」に○をつけた場合は、〔 〕内に具体的にその内容をご記入ください。
- 調査票は令和4年10月1日現在でご記入いただき、11月9日(水)までに同封の返信用封筒に入れて投函してください。(切手は不要です)
- この調査票は郵送でお送りしますが、パソコン・スマートフォンからも回答可能です。なお、パソコン・スマートフォンから回答いただいた場合は、本調査票の記入・提出は不要です。

パソコン・スマートフォンからの回答方法

- 以下のURLかQRコードを読み取り、インターネット回答のサイトにアクセスしてください。
- 下記のID・パスワードを使ってログインして回答をお願いします。(ログインできない場合は問い合わせ先までご連絡ください)



URL: <https://survey-z.com/wix/p2051657249.aspx>

ID: パスワード:

(ID・パスワードとも無作為に配付されていますので、回答者が特定されることはありません。)

【問い合わせ先】

- ★調査の目的・内容について
中央区福祉保健助高齢者福祉課高年齢者福祉係 TEL 03-3546-5353
- ★調査票の書き方やインターネット回答方法、同封物の不足について
株式会社 生活構造研究所 TEL 0120-335-120(フリーダイヤル)
受付時間 午前10時～午後5時(土日・祝日を除く)

(この調査は中央区から株式会社生活構造研究所に委託して実施しています。)

あなたご自身のことについて

問1 調査票を記入されたのはあなたですか。(○は1つ)

- | | |
|----------------------------|----------------------|
| 1. あて名のご本人が記入 | <input type="text"/> |
| 2. ご家族が記入(あて名のご本人からみられた候補) | <input type="text"/> |
| 3. その他(具体的に) | <input type="text"/> |

問2 あなた(あて名のご本人)を指します。以下の各設問についても同じです。)の性別と令和4年10月1日現在の満年齢を記入してください。

性別	1. 男性	2. 女性
満年齢	歳	

問3 家族構成をお教えください。(○は1つ)

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. ひとり暮らし | 2. 夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上) |
| 3. 夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下) | 4. 息子・娘との2世帯 |
| 5. その他(具体的に) | <input type="text"/> |

問4 あなたは、どのくらい中央区に住んでいますか。(○は1つ)

- | | |
|---------------|-----------------------|
| 1. 生まれたときから | 2. 20年以上(1に○をつけた方を除く) |
| 3. 10年以上20年未満 | 4. 5年以上10年未満 |
| 5. 1年以上5年未満 | 6. 1年未満 |

問5 現在あなたのお住まいになっている地域はどこですか。(○は1つ)

	該当する住所
1. 京橋地域	八重洲二丁目、京橋、銀座、新富、入船、湊、明石町、築地、浜離宮庭園、八丁堀、新川
2. 日本橋地域	本石町、室町、本町、小仲町、小伝馬町、大伝馬町、蛸割町、番町、人形町、小網町、新越前、箱崎町、馬喰町、横山町、東日本橋、久松町、浜町、中洲、八重洲一丁目、日本橋、茅場町、兜町
3. 月島地域	佃、月島、勝どき、豊海町、晴海

問6 現在のあなたの生活状況をお聞きます。(○は1つ)

- | |
|--------------------------------------|
| 1. ひとり暮らしで、近隣に親族等が住んでいない |
| 2. ひとり暮らしだが、必要ときに近隣に支援してくれる親族等が住んでいる |
| 3. 同居している人がいるが、必要ときにその人による支援が難しい |
| 4. 同居している人がおり、必要ときに支援が受けられる |

問 12 あなたは現在、働いていますか。複数の仕事をしている場合は収入の最も多いものをお答えください。(○は1つ)

1. 会社や団体、官庁等に勤務
 2. 個人商店などで勤務
 3. 自営業
 4. NPO法人に参加(運営している者も含む)
 5. その他〔具体的に: 〕
 6. シルバー人材センターに登録 } ⇒ 問 12-2 へお進みください
 7. 働いていないが今後働きたい
 8. 働いていないし今後働きたくない ⇒ 問 13 へお進みください

【問 12-1は、問 12で「1」から「5」と答えた方におうかがいします】

→ 問 12-1 現在働いている方におうかがいします。現在の就労形態は何ですか。(○は1つ)
 1. 正社員・正規職員である
 2. 嘱託・再雇用等の社員・職員である
 3. パート・アルバイト・臨時雇用である
 4. 派遣社員である
 5. 経営者(NPO法人等の運営者)である
 6. その他〔具体的に: 〕

【問 12-2から12-6は、問 12で「1」から「7」と答えた方におうかがいします】

→ 問 12-2 仕事をしている(またはしたい)目的・理由は何か。(○はいくつでも)
 1. 経済的理由(生計の維持)
 2. 収入を趣味や旅行に使うため
 3. 健康維持
 4. 生きがい・社会的な貢献
 5. 家にいるよりも充実するから
 6. 社会とつながってみたいから
 7. 自分の知識や技術、経験を生かしたいから
 8. その他〔具体的に: 〕

→ 問 12-3 何歳くらいまで仕事をしたいですか。(○は1つ)

1. 65歳くらいまで
 2. 70歳くらいまで
 3. 75歳くらいまで
 4. 80歳くらいまで
 5. 健康が続く限り
 6. 今後働くつもりはない
 7. 特に考えていない

(次のページにつづきます。)

問 7 あなたのお住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(○は1つ)

1. 持ち家(一戸建て)
 2. 民間賃貸住宅(一戸建て)
 3. 持ち家(集合住宅)
 4. 公営賃貸住宅(集合住宅)
 5. 民間賃貸住宅(集合住宅)
 6. その他〔具体的に: 〕

【問 7-1は問 7で集合住宅(「3」、「4」または「5」)と答えた方におうかがいします】

→ 問 7-1 あなたのお住まいは、何階建ての何階ですか。

□ □ 階建ての □ □ 階
 問 8 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○は1つ)
 1. とてもよい 2. まあよい 3. あまりよくない 4. よくない

問 8-1 あなたは、健診等や通院により定期的に健康状態を把握していますか。(○は1つ)

1. 区の健康診査 2. 会社の健康診断 3. 人間ドック 4. 通院 5. していない

問 9 あなたは、普段から治療を受けたり、日中の健康についての相談・指導を受けることができ、かかりつけの医師、歯科医師、薬局、薬剤師がいますか。(①から④それぞれ○は1つ)

	いる	いない
①かかりつけ医師	1	2
②かかりつけ歯科医師	1	2
③かかりつけ薬局	1	2
④かかりつけ薬剤師	1	2

経済状況や就労状態について

問 10 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(○は1つ)

1. 大変苦しい
 2. やや苦しい
 3. ふつう
 4. ややゆとりがある
 5. 大変ゆとりがある

問 11 あなたの収入(年金を含む)をすべて合計すると、税込みで1か月あたりの平均額(ボーナスがある場合は、それを含めて平均した額)はおよそいくらくらいになりますか。(○は1つ) ※ご夫婦の場合はお二人の収入の合計をお答えください。

1. 5万円未満(年額では60万円未満)
 2. 5万円～10万円未満(年額では60万円～120万円未満)
 3. 10万円～20万円未満(年額では120万円～240万円未満)
 4. 20万円～30万円未満(年額では240万円～360万円未満)
 5. 30万円～40万円未満(年額では360万円～480万円未満)
 6. 40万円～60万円未満(年額では480万円～720万円未満)
 7. 60万円以上(年額では720万円以上)
 8. 収入はない

→ 問 12-4 今後（定年前の方は定年退職後）どのような働き方を望みますか。（○は1つ）

1. 週5日程度フルタイム（8時間程度）で働く
 2. 週に2～4日フルタイム（8時間程度）で働く
 3. 短時間勤務（3～4時間程度）で働く
 4. 曜日などを決めず、自分の都合で気の向いたときに働く
 5. 仕事の依頼が来たときに働く
 6. その他（具体的に： ）

→ 問 12-5 年金受給額とは別に、就労によって月にどのくらいの収入を得たいと思いますか。（○は1つ）

1. 5万円未満
 2. 5万円以上～10万円未満
 3. 10万円以上～15万円未満
 4. 15万円以上～20万円未満
 5. 20万円以上
 6. その他（具体的に： ）

→ 問 12-6 働く上で、重視していることは何ですか。（○は3つまで）

1. 勤務先の事業目的・経営ビジョン 2. 同じ勤務先であること
 3. 経験したことのある業界であること 4. 経験したことのある職種であること
 5. 給料が高いこと 6. 自分の能力を発揮できること
 7. 気力が伸びる・仲間がいる組織であること 8. 自らのペースで進められる仕事であること
 9. 体力的に無理なく続けられる仕事であること 10. 勤務日や勤務時間を選べること
 11. その他（具体的に： ）
 12. 特にない

外出や楽しみについて

問 13 あなたは、普段どこへ出かけることが多いですか。（仕事を除く）（○は3つまで）

1. デパート
 2. スーパー・コンビニエンスストア
 3. 近隣にある商店 4. 病院
 5. 公園 6. 親戚や友人の家
 7. 喫茶店・レストラン 8. 映画館・美術館・博物館
 9. 図書館 10. いきいき館（歌者館）
 11. 銭湯 12. カラオケ
 13. 司会・自治会・高齢者クラブ等の会合 14. スポーツジム・スポーツセンター
 15. ボランティア活動 16. 高齢者通いの場※などのサロン
 17. あまり外に出ない
 18. その他（具体的に： ）

※高齢者通いの場※-和歌のかが館※、健康づくりや介護予防などにつながる様々なプログラムを行っております。

問 14 あなたが、(1) 普段の生活で楽しいこと、(2) 今後新たに取り組みたいことは何ですか、感染症拡大による外出自粛などは考慮せず、通常の生活を前提としてお答えください。

(1) から選んでそれぞれ○はいくつでも

	(1) 普段の生活で楽しいこと	(2) 今後新たに取り組みたいこと
①テレビ、ラジオ		
②DVD、CD（レコード）鑑賞		
③新聞、雑誌		
④家族との団らん、孫と遊ぶ		
⑤仲間と集まったり、おしゃべりをする		
⑥犬や猫などのペットと過ごす		
⑦食事、飲食		
⑧買物、ウインドウショッピング		
⑨スポーツ活動（体操、テニス、ゴルフなど）		
⑩散歩、ウォーキング、ジョギング		
⑪アウトドアレジャー（ハイキング、登山、キャンプなど）		
⑫旅行		
⑬読書		
⑭趣味活動（書道、手芸、踊り、コーラス、集芸など）		
⑮スポーツ観戦、観劇、音楽会、映画		
⑯インターネット（パソコン、タブレット端末、スマートフォンの利用）		
⑰室内娯楽（囲碁、将棋、市販のゲームなど）		
⑱学習活動（教養講座など）		
⑲地域活動（町会・自治会などの自治組織や地域安全・環境整備活動など）		
⑳伝統文化の維持・保存		
㉑宗教活動、信仰		
㉒仕事（職業、副業）		
㉓教育活動（自分が教える立場）		
㉔ボランティア活動		
㉕高齢者通いの場※などの地域のサロン		
㉖健康づくりのための教室・講座		
㉗その他（具体的に： ）		
㉘特にない		
㉙わからない		

社会的な活動や地域活動への参加状況について

問 15 あなたは現在、支援したり運営したりする側（担い手）として、何らかの社会的活動や地域活動を行っていますか。（〇はい 1つでも）

<ol style="list-style-type: none"> 1. 町会・自治会、高齢者クラブなどの自治組織の活動 2. 地域住民同士などの交流の場の活動 3. まちづくりや地域安全などの活動 4. サークル活動 5. 環境整備活動 6. 趣味やスポーツを通じたボランティアなどの活動 7. 伝統芸能・工芸技術などを伝承する活動 8. 生活支援・子育て支援などの活動 9. その他（具体的に：） 10. 特に活動はしていない ⇒ 問 15-7 へお読みください
--

【問 15-1 から 15-6 は、問 15 で「1」から「9」と答えた方におうかがいします】

→ 問 15-1 現在行っている社会的活動や地域活動において、役立っている能力、知識についてあてはまるものは何ですか。（〇はいいくつでも）

<ol style="list-style-type: none"> 1. コミュニケーション能力 2. 地域住民や地域生活に関する情報、知識 3. 家事・育児等の経験 4. 職業経験で習得した資格や技術、知識 5. 趣味等で習得した資格や技術、知識 6. 新しい分野でも果敢に挑戦する意欲 7. その他（具体的に：）
--

→ 問 15-2 現在行っている社会的活動や地域活動を始めた時期はいつ頃ですか。複数の活動をしている場合は、最も古いものについてお答えください。（〇は 1 つ）

<ol style="list-style-type: none"> 1. 定年退職後（ 歳頃） 2. 40 歳代以前 3. 50 歳代 4. 60 歳代 5. 70 歳代 6. 80 歳代以降

→ 問 15-3 現在行っている社会的な活動や地域活動は有償ですか。複数の活動をしている場合は、最も力を入れている活動についてお答えください。（〇は 1 つ）

<ol style="list-style-type: none"> 1. 交通費に謝礼を加えた程度の謝金 2. 交通費程度の謝金 3. 完全に無償

（※ページにつづきます。）

→ 問 15-4 現在行っている社会的な活動や地域活動を始めたきっかけは何ですか。複数の活動をしている場合は、最も力を入れている活動についてお答えください。（〇は 1 つ）

<ol style="list-style-type: none"> 1. 友人、中間のすすめ 2. 家族のすすめ 3. 区の広報誌やホームページ等からの情報 4. 活動団体からの呼びかけ 5. 町会・自治会の誘い 6. 個人の意思（問題意識や解決したい課題があったため） 7. その他（具体的に：）

→ 問 15-5 現在、社会的な活動や地域活動をしていてよかったと思うことは何ですか。複数の活動をしている場合は、最も力を入れている活動についてお答えください。（〇はいいくつでも）

<ol style="list-style-type: none"> 1. 家族の生活を支えている 2. 地域とのつながりができた 3. 家族との関係が良くなった 4. 新しい友人を得ることができた 5. 日常生活にリズムができた 6. 経済的にゆとりある生活ができています 7. 社会に貢献していることで充実感が得られている 8. 健康維持や身だしなみにより留意するようになった 9. 気持ちに張りが出て、若々しくなった 10. その他（具体的に：） 11. 特にない
--

→ 問 15-6 何歳まで社会的な活動や地域活動を続けたいですか。（〇は 1 つ）

<ol style="list-style-type: none"> 1. 65 歳くらいまで 2. 70 歳くらいまで 3. 75 歳くらいまで 4. 80 歳くらいまで 5. 元気なうちはいつまでも 6. わからない
--

【問 15-7 は、問 15 で「10、特に活動はしていない」と答えた方におうかがいします】
問 15-7 現在、支援したり運営したりする側（担い手）として社会的な活動や地域活動をしていない理由は何か。（〇はいいくつでも）

<ol style="list-style-type: none"> 1. 活動をする仲間がいない 2. 活動の誘いがこない 3. 精神的な負担が大きい 4. 時間的な余裕がない 5. 体力的に難しい 6. 活動に関する情報がない 7. 活動を行っている団体がない、入りたいと思う団体がない 8. その他（具体的に：） 9. 活動をする意欲がない
--

日常生活に関する情報について

問 16 あなたが日常生活に関する情報で、もっと欲しいと思う内容は何ですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|------------------------------|---------------|
| 1. 日用品・雑貨 | 2. 食生活、食事サービス |
| 3. 衣料品 | 4. 電化製品 |
| 5. 自助具、自動用品 (杖など) | 6. 介護用品 |
| 7. 住まい (高齢者向け住宅の供給、増改築・手直し等) | 9. 医療 |
| 8. 年金 | |
| 10. 在宅ケア、介護サービス、家事援助など生活上の支援 | |
| 11. 心配ごとや悩みごとに関する相談サービス | |
| 12. 相続、預貯金、資産運用、税金 | 13. 健康づくり |
| 14. 趣味、スポーツ活動、旅行、レジャー | 15. 地域の行事 |
| 16. 社会的な活動や地域活動 | |
| 17. 教養講座の受講などの学習活動、文化的な催しもの | |
| 18. その他 [具体的に:] | |
| 19. 特にない | 20. わからない |

問 17 あなたは、日常生活に関する情報をどこから得ていますか。(〇は3つまで)

- | | |
|------------------------------------|------------|
| 1. 家族 | 2. 友人、近所の人 |
| 3. テレビ | 4. ラジオ |
| 5. インターネット (パソコン、タブレット端末、スマートフォン) | |
| 6. 新聞 (タウン紙 区のおしらせを含む) | 7. 雑誌 |
| 8. チラシ、折り込み、ダイレクトメール (区からの通知含む) など | |
| 9. その他 [具体的に:] | |
| 10. 特にどこからも得ていない | |

問 18 あなたは、日常生活に関する情報に満足していますか。(〇は1つ)

- | | |
|------------|-------------|
| 1. 満足している | 2. まあ満足している |
| 3. やや不満である | 4. 不満である |
| 5. わからない | |

【問 18-1は、問 18 で「3」または「4」と答えた方におうかがいします】

- 問 18-1 不満の内容は何ですか。(〇はいくつでも)
- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 必要な情報が乏しい | 2. 情報が遅い |
| 3. 情報の内容がわかりにくい | 4. 字が小さくて読めない |
| 5. どこから情報を得たらよいかわからない | 6. どの情報が信頼できるかわからない |
| 7. 情報量が多すぎる | 8. わからない |
| 9. その他 [具体的に:] | |

問 19 あなたは、情報収集の手段として、インターネットを利用していますか。(〇は1つ)

- | | | |
|---------------|------------------|------------|
| 1. 日常的に利用している | 2. ...ときどき利用している | 3. 利用していない |
|---------------|------------------|------------|

【問 19-1は、問 19 で「1」または「2」と答えた方におうかがいします】

問 19-1 あなたは、どのような目的でインターネットを利用していますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|--------------------------------------|------------------|
| 1. 電子メールの送受信 | 2. 情報・ニュース検索 |
| 3. SNSソーシャルネットワーキングサービス※ | 4. インターネットショッピング |
| 5. 動画配信の視聴 | 6. 地図・ナビゲーションの利用 |
| 7. クレジットカード等の支払・バーコード決済・インターネットバンキング | |
| 8. その他 [具体的に:] | |

※SNSソーシャルネットワーキングサービスとは
ラインやツイッター、フェイスブックなど、インターネット上で個人がつながれるサービスのこと

【すべての方におうかがいします】

問 20 あなたは、ふだんどのような情報通信機器を利用していますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|---------------------|-----------------|
| 1. スマートフォン | 2. タブレット型端末 |
| 3. 携帯電話 (スマートフォン以外) | 4. パソコン |
| 5. 固定電話・FAX | 6. その他 [具体的に:] |
| 7. 情報通信機器は利用していない | |

【問 20-1は、問 20 で「3」から「7」と答えた方で、スマートフォンとタブレット端末を利用していない方におうかがいします】

問 20-1 スマートフォンを利用していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|------------------|------------|
| 1. 使い方が分からない・難しい | 2. 費用が高い |
| 3. メリットがわからない | 4. 必要がない |
| 5. その他 [具体的に:] | 6. 特に理由はない |

【すべての方におうかがいします】

問 21 あなたは、スマートフォンの操作方法など、情報通信機器の使い方を教えてくれる

高齢者向けの講座を受けたいと思いますか。(〇は1つ)

- | | |
|-------------|-----------|
| 1. 受けたい | 2. 受けたくない |
| 3. 受ける必要がない | 4. わからない |

健康教室や健康づくり事業への参加について

問 22 あなたは、健康づくりのためにスポーツクラブや体操教室等に参加していますか。(○は1つ)

- 1. 参加している
- 2. 参加していない ⇒ 問 22-3 へお進みください

【問 22-1、22-2 は、問 22 で「1」と答えた方におうかがいします】

- 問 22-1 現在の参加頻度は、どの程度ですか。(○は1つ)
- 1. 週2回以上
 - 2. 週1回以上
 - 3. 月2回以上
 - 4. 月1回以上
 - 5. 月1回未満

→ 問 22-2 現在の参加頻度に満足していますか。(○は1つ)

- 1. 満足している
- 2. もっと多くしたい
- 3. もっと少なくしたい

【問 22-3 は、問 22 で「2. 参加していない」と答えた方におうかがいします】

問 22-3 健康づくりのためにスポーツクラブや体操教室等に参加していない理由は何ですか。(○はいくつでも)

- 1. 体力的に難しい
- 2. 時間的な余裕がない
- 3. 一緒に参加する仲間がない
- 4. 人づきあいがわずらわしい
- 5. 感染症への不安がある
- 6. 自宅で自主的に取り組んでいる
- 7. 参加したいと思うものがない
- 8. 教室等に関する情報が無い
- 9. その他【具体的に： _____】
- 10. 参加する意思がない

【すべての方におうかがいします】

問 23 スポーツクラブや体操教室等に参加しようと思う条件は何ですか。(○はいくつでも)

- 1. 時間帯が午前
- 2. 時間帯が午後
- 3. 平日に開催
- 4. 土・日・祝日に開催
- 5. 1時間以内で終わる
- 6. 1～2時間程度で終わる
- 7. 参加費がかからない
- 8. 申込をしなくてよい
- 9. 同性だけの教室（例：「男性のための体操教室」）
- 10. ほかの参加者との交流の必要がない
- 11. 筋力アップなど体の変化が実感できる
- 12. 会場が徒歩圏内にある
- 13. その他【具体的に： _____】

問 24 あなたは、中央区が行っている次のような高齢者健康づくり事業をご存知ですか。(①から⑤それぞれ○は1つ)

事業の種類	知っている	知らなかった
①さわやか健康教室 元氣な高齢者を対象に、身体機能の維持・向上を目的としたマシントレーニングを行う教室です	1	2
②さわやか体操リーダーによる体操教室 元氣な高齢者を対象に、区民ボランティア「さわやか体操リーダー」が、筋力向上のための体操を行う教室です	1	2
③ゆうゆう講座 コースやレクリエーションなど、楽しく参加し、自然と健康づくりにつながる1回完結型の講座です	1	2
④いきいき館（敬老館）での健康づくり教室 ヨガや運動教室・太極拳など、いきいき館（敬老館）で主催している教室です	1	2
⑤中央野なまろトレーニング（特トレ） 転倒予防や認知機能の向上に効果がある中央区オリジナル体操です	1	2

問 25 前問の高齢者健康づくり事業について、どこでその情報を知りましたか。(○はいくつでも)

- 1. 家族
- 2. 友人、近所の人
- 3. テレビ
- 4. ラジオ
- 5. インターネット（パソコン、タブレット端末、スマートフォン）
- 6. 新聞（タウン紙、区のお知らせを含む）
- 7. 雑誌
- 8. チラシ、折り込み、ダイレクトメール（区からの通知含む）など
- 9. その他【具体的に： _____】
- 10. 特にどこからも得ていない

問 26 あなたは、どのような健康づくり事業なら参加したいと思いませんか。(○は3つまで)

- 1. 1 回完結型の教室・講座
- 2. 通年で開かれる週数回継続型の教室・講座
- 3. 運動などの実践を取り入れた講座
- 4. 講義形式の語が中心となる講座
- 5. 仲間づくりを目的としたサロン形式の講座
- 6. さまざまなテーマを取り上げた講座
- 7. 専門的なテーマに限定した講座
- 8. 医療専門員が、必要に応じて相談対応・指導してくれる教室・講座
- 9. その他【具体的に： _____】

問 27 上記の健康づくり事業に継続的に参加するための条件は何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------------------------------|----------------|
| 1. 時間帯が午後 | 2. 時間帯が午後 |
| 3. 平日に開催 | 4. 土・日・祝日に開催 |
| 5. 1時間以内で終わる | 6. 1～2時間程度で終わる |
| 7. 参加費がかからない | 8. 申込をしないでよい |
| 9. 同性だけで開催される | 10. 会場が徒歩圏内にある |
| 11. (運動する場台) 初心者でも参加できるような軽めの運動ができる | |
| 12. (運動する場台) 経験者でも満足できるような本格的な運動ができる | |
| 13. その他(具体的に:) | |

交流サロン・趣味の講座・サークル活動への参加について

問 28 あなたは、友達づくりや生きがいのために地域住民同士が集う交流サロンや趣味の講座、サークル活動等に参加していますか。(○は1つ)

- | | |
|-----------|------------------------------|
| 1. 参加している | 2. 参加していない ⇒ 問 28-3 へお読みください |
|-----------|------------------------------|
- 【問 28-1、28-2は、問 28 で「1」と答えた方におうかがいします】
- 問 28-1 現在の参加頻度は、どの程度ですか。(○は1つ)
- | | |
|----------|----------|
| 1. 週2回以上 | 2. 週1回以上 |
| 3. 月2回以上 | 4. 月1回以上 |
| 5. 月1回未満 | |

→ 問 28-2 現在の参加頻度に満足していますか。(○は1つ)

- | | | |
|-----------|-------------|--------------|
| 1. 満足している | 2. もっと多くしたい | 3. もっと少なくしたい |
|-----------|-------------|--------------|

【問 28-3は、問 28 で「2. 参加していない」と答えた方におうかがいします】

問 28-3 地域住民同士が集う交流サロンや趣味の講座、サークル活動等に参加していない理由は何か。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1. 体力的に難しい | 2. 時間的な余裕がない |
| 3. 一緒に参加する仲間が少ない | 4. 人づきあいがわずらわしい |
| 5. 感染症への不安がある | 6. 参加したいと思うものがない |
| 7. 交流サロン等に関する情報がない | |
| 8. その他(具体的に:) | |
| 9. 参加する意思がない | |

【すべての方におうかがいします】

問 29 地域住民同士が集う交流サロンや趣味の講座、サークル活動等に参加しようと思う条件は何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|---|----------------|
| 1. 時間帯が午前 | 2. 時間帯が午後 |
| 3. 平日に開催 | 4. 土・日・祝日に開催 |
| 5. 1時間以内で終わる | 6. 1～2時間程度で終わる |
| 7. 参加費がかからない | 8. 申込をしないでよい |
| 9. 同性だけのサロン(例:「女性だけのおしゃべりサロン」、「男性だけの趣味講座」等) | 11. みんなと食事がとれる |
| 10. ちょっとした茶菓子が出る | 13. 会場が徒歩圏内にある |
| 12. 毎回軽い体操ができる | |
| 14. その他(具体的に:) | |

災害時の対応について

問 30 あなたは、地震などの災害に備えてどのようなことをしていますか。(○はいくつでも)

- | |
|--|
| 1. 家族と避難先や緊急連絡先を確認している |
| 2. 水・食糧・簡易トイレなどを備蓄している |
| 3. 家具の転倒防止などを行っている |
| 4. 自宅を建て替えたり、補強するなど耐震対策をしている |
| 5. 避難訓練や防災訓練に参加している |
| 6. 地域の支援者(民生委員や町会、防災区民組織など)に相談して、避難先や災害時の対応を確認している |
| 7. その他(具体的に:) |

問 31 あなたは、「中央区災害時地域たすけあい名簿」についてご存知ですか。(○は1つ)

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 知っている | 2. 知らなかった |
|----------|-----------|

※中央区災害時地域たすけあい名簿とは

災害時に自力で避難したり生活することが困難で特に支援を必要とする方を登録した名簿です。災害に備えるため、本人の同意があるかの名簿情報(避難支援等関係者)にあらかじめ提供し、災害時に地域全体で助け合うことを目的としています。

問 32 あなたは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって、生活にどのような変化がありましたか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1. 友達・親戚付き合いが減った | 2. 電話やメール、ビデオ通話が増えた |
| 3. 外出を控えるようになった | 4. 運動量が減った |
| 5. 家族と過ごす時間が増えた | 6. 以前から興味があったことを始めた |
| 7. 在宅勤務が増えた | 9. 収入が減った |
| 8. 収入が増えた | |
| 10. その他(具体的に:) | |

今後の介護の希望などについて

問 33 あなたは、要介護状態になった場合、どのような介護を希望しますか。(○は1つ)

1. 主に家族の介護を受けながら、自宅で暮らしたい
2. 主に介護サービスを利用して、自宅で暮らしたい
3. 高齢者向けの住宅に住み替えて、介護サービスを利用しながら暮らしたい
4. 特別養護老人ホーム（介護老人福祉施設）などの介護施設に入りたい
5. 介護付き有料老人ホームに入りたい
6. 家族、親族の判断に任せる。
7. その他（具体的に：)
8. わからない

問 34 あなたは、病気が治る可能性がなくなり、終末期になった場合、どこで介護を受けたいと思いますか。(○は1つ)

1. 病院やホスピスなどの医療施設
2. 自宅
3. 子どもの家
4. 兄弟姉妹などの親族の家
5. 特別養護老人ホーム（介護老人福祉施設）
6. 家族、親族の判断に任せる
7. その他（具体的に：)
8. わからない

問 35 あなたは、延命のための医療を受けることについてどう思いますか。(○は1つ)

1. 長期までできる限りの延命治療をしてほしい
2. 延命治療より苦痛を和らげる緩和的治療をしてほしい
3. 意識状態で、意識を取り戻したり回復する見込みがない場合は、延命治療はしないでほしい
4. その他（具体的に：)

問 36 あなたは、介護や延命治療（問 33 から問 35 までの内容）についての希望を誰かに伝えていきますか。(○はいくつでも)

1. 同居の家族・親族
2. 別居の家族・親族
3. 知人・友人・近所の人
4. かかりつけ医（内科医師を含む）
5. かかりつけ薬局・薬剤師
6. 訪問看護師
7. ケアマネジャー
8. ヘルパー（介護職員）
9. 民生・児童委員
10. その他（具体的に：)
11. 誰にも伝えていない

問 37 あなたは、「ACP（アドバンス・ケア・プランニング）」(※) についてどの程度ご存知ですか。(○は1つ)

1. よく知っている
 2. 名前・内容についてはおおよそ知っている
 3. 名前を知ったことがある程度で内容についてはあまり知らない
 4. 全く知らなかつた
- ※ACP（アドバンス・ケア・プランニング）とは
人生の最終段階における医療や介護について、本人が家族等や医師・ケアチームと話し合いし合うこと、「人生会議」ともいう。

若い支度について

問 38 ご自身の若いへの備えとして、医療・介護の希望や葬儀、家財の処分、相続などについて、現在関心のあることはありますか。(○はいくつでも)

1. 頼みごとができる身寄りがない場合の相談
2. 入院時の保証人の依頼
3. 認知症や重い病気になるた時の身の回りの世話
4. 終末期に希望する医療や介護を受けられる方法
5. 葬儀や家財処分の依頼
6. 相続についての相談
7. 公正証書や遺言の書き方
8. その他（具体的に：)
9. 関心がない

問 39 ご自身の若いへの備えとして、どのような支援・サービスがあったらいいと思いますか。(○はいくつでも)

1. 電話や訪問での見守り
2. 医療・介護についての事前指示書の作成支援
3. 遺言書の作成支援
4. 葬儀や納骨を手配してくれるサービス
5. 残存家財を処分してくれるサービス
6. 若い支度に関する様々な情報提供や関心のある人を対象とした交流会
7. 住まいや福祉、法律に関する相談・支援
8. 財産の預託又は信託
9. 身元保証サービスを含む総合的な終活サービス
10. その他（具体的に：)
11. 支援やサービスはいらない

今後の高齢者保健福祉施策について

問 40 今後、高齢者が増加していくにつれて介護保険料が高くなることが想定されますが、あなたは、今後の介護保険料のあり方についてどう思いますか。(○は1つ)

- 1. 保険料が多少高くなっても介護保険サービスが充実している方がよい
- 2. 保険料も介護保険サービスも今くらいが妥当である
- 3. 介護保険サービスを抑えても保険料が安いほうがよい
- 4. どちらともいえない
- 5. その他〔具体的に： 〕

問 41 住み慣れた地域で暮らし続けるために、これからの高齢者保健福祉施策で中央区が力を入れていくべきものは何だと思えますか。(○はいくつでも)

- 1. 住民による見守り・声かけなどたすけあい活動
- 2. 24時間切れ目のない在宅介護サービスの充実
- 3. 介護保険サービス以外の区の生活支援サービスの充実
- 4. 家族の介護負担を軽減するための施策の充実
- 5. ひとり暮らし高齢者への支援
- 6. 多世代の家族近居を推進するための支援
- 7. 低所得者などへの経済的支援
- 8. 在宅医療の充実
- 9. 住みやすい住宅への支援(手すりの取付け・段差の解消など)
- 10. 住み替えを支援する制度の充実
- 11. サービス付き高齢者向け住宅の整備の促進
- 12. 特別養老ホーム(介護老人福祉施設)、有料老人ホーム等の整備の促進
- 13. 段差などがなく利用しやすい道路や建物の整備
- 14. 必要な情報を取得できる連携づくり
- 15. 施設への「通い」を中心に、在宅生活を継続しながら訪問や短期宿泊など多機能なサービスが利用できる介護事業所の整備
- 16. 判断能力が低下した場合の支援
- 17. 高齢者への虐待の防止
- 18. 適切な介護サービスが受けられるための情報提供や相談体制の充実
- 19. その他〔具体的に： 〕
- 20. 持にない

問 42 高齢者向けのサービスなどに関するご意見を自由に書きください。

—ご協力ありがとうございました—

このアンケート票は11月9日(水)までに同封の返信用封筒に入れ、投函してください。(切手は不要です。)

介護予防・日常生活圏域二一ス調査

区では、令和5年度の「中央区高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画」の策定に向けて、高齢者の方の意向や生活実態をお伺いするため、本調査を実施します。調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和4年10月 中央区

調査について

- ・この調査は、65歳以上の要介護認定を受けていない区民の方から無作為に抽出してお送りしています。
- ・この調査は無記名方式で行います。回答者が特定されることはありません。
- ・調査結果は、区の高齢者施策の推進のために利用され、その他の目的で使用されることはありません。本調査で得られたデータは、厚生労働省の管理するデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計及び分析を行います。
- ・この調査は7ページ、計42問です。

ご記入にあたってのお願い

- ・回答は、封筒のあて名ご本人についてご記入ください。
- ・あて名のご本人が回答することが難しい場合は、ご家族またはお世話なさっている方がお手伝いするが、ご本人の立場に立って代わりに回答してください。
- ・鉛筆や黒または青のボールペンで記入してください。
- ・回答は、あてはまる番号に○をつけてください。
- ・「その他」に○をつけた場合は、〔 〕内に具体的にその内容をご記入ください。
- ・調査票は令和4年10月1日現在でご記入いただき、11月9日(水)までに同封の返信用封筒に入れて投函してください。(切手は不要です)
- ・この調査票は郵送でお送りしていますが、パソコン、スマートフォンからも回答可能です。なお、パソコン、スマートフォンから回答いただいた場合は、本調査の記入・提出は不要です。

パソコン、スマートフォンからの回答方法

- 1 以下のURLからQRコードを読み取り、インターネット回答のサイトにアクセスしてください。
- 2 下記のID・パスワードを使ってログインして回答をお願いします。(ログインできない場合は問い合わせ先までご連絡ください)



URL : <https://survey-z.com/wix/p2051322209.aspx>

ID : パスワード :

(ID・パスワードとも無作為に割り当てられていますので、回答者が特定されることはありません)

【問い合わせ先】

- ★調査の目的・内容について
中央区福祉保健部高齢者福祉推進課 電話 03-3546-5353
- ★調査票の書き方やインターネット回答方法、同封物の不足について
株式会社 生活構造研究所 TEL 0120-335-120(フリーダイヤル)
受付時間 午前10時～午後5時(土日・祝日を除く)

(この調査は中央区から株式会社生活構造研究所に委託して実施しています。)

あなたご自身のことについて

問1 調査票を記入されたのはどなたですか。(○は1つ)

1. あて名のご本人が記入	<input type="checkbox"/>
2. ご家族(あて名のご本人からみられた続柄)	<input type="checkbox"/>
3. その他(具体的に)	<input type="checkbox"/>

問2 あなた(あて名のご本人)を指します。以下の各設問についても同じです。の性別と令和4年10月1日現在の満年齢を記入してください。

性別	1. 男性	2. 女性
満年齢	歳	

問3 あなたの現在の要介護度等をお答えください。(○は1つ)

1. 認定等は受けていない	2. 総合事業対象者※
3. 要支援1	4. 要支援2

※総合事業対象者とは、要支援1、要支援2以外で生活機能の低下がある方です。

問4 現在あなたのお住まいになっている地域はどこですか。(○は1つ)

該当する住所	
1. 京橋地域	八重洲二丁目、京橋、銀座、新富、入船、湊、明石町、築地、浜越宮庭園、八丁堀、新川
2. 日本橋地域	本石町、室町、本町、小町町、小伝馬町、大伝馬町、船場町、高戸町、人形町、小網町、新富町、箱崎町、馬崎町、横山町、東日本橋、久松町、浜町、中洲、八重洲一丁目、日本橋、茅場町、兜町
3. 月島地域	佃、月島、勝どき、豊海町、晴海

あなたのご家族や生活状況について

問5 家族構成をお答えください。(○は1つ)

1. ひとり暮らし	2. 夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)
3. 夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4. 息子・娘との2世帯
5. その他(具体的に)	<input type="checkbox"/>

問6 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(○は1つ)

1. 介護・介助は必要ない
2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
3. 現在、何らかの介護を受けている (介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)

問7 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(○は1つ)

1. 大変嬉しい	2. やや嬉しい
3. ふつう	4. ややゆとりがある
5. 大変ゆとりがある	

問8 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(○は1つ)

1. 持ち家 (一戸建て)	2. 持ち家 (集合住宅)
3. 公営賃貸住宅 (集合住宅)	4. 民間賃貸住宅 (一戸建て)
5. 民間賃貸住宅 (集合住宅)	6. 借家
7. その他 (具体的に:)	

問8-1 は問8で集合住宅(「2」、「3」または「5」)と答えた方におうかがいします。

問8-1 あなたのお住まいは、何階建ての何階ですか。

<input type="text"/>	階建ての	<input type="text"/>	階
----------------------	------	----------------------	---

からだを動かすことについて

問9 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(○は1つ)

1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
--------------	---------------	---------

問10 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(○は1つ)

1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
--------------	---------------	---------

問11 15分位続けて歩いていますか。(○は1つ)

1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
--------------	---------------	---------

問12 過去1年間に転んだ経験がありますか。(○は1つ)

1. 何度もある	2. 1度ある	3. ない
----------	---------	-------

問13 転倒に対する不安は大きいですか。(○は1つ)

1. とても不安である	2. やや不安である
3. あまり不安でない	4. 不安でない

問14 週に1回以上は外出していますか。(○は1つ)

1. ほとんど外出しない	2. 週1回
3. 週2~4回	4. 週5回以上

問15 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(○は1つ)

1. とても減っている	2. 減っている
3. あまり減っていない	4. 減っていない

食べることについて

問16 身長・体重

身長	<input type="text"/>	cm	体重	<input type="text"/>	kg
----	----------------------	----	----	----------------------	----

問17 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(○は1つ)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問18 歯の数と入れ歯の利用状況をお聞きます。(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)(○は1つ)

1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用
2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし
3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用
4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし

問19 どなたかと食事をとる機会がありますか。(○は1つ)

1. 毎日ある	2. 週に何度かある
3. 月に何度かある	4. 年に何度かある
5. ほとんどない	

毎日の生活について

問20 物忘れが多いと感じますか。(○は1つ)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問21 バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)。(○は1つ)

1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
--------------	---------------	---------

問22 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(○は1つ)

1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
--------------	---------------	---------

問23 自分で食事の用意をしていますか。(○は1つ)

1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
--------------	---------------	---------

問 29 あなたは地域の人等から何らかの役割を期待されたり頼りにされていると思いますか。(○は1つ)

1. とてもそう思う 2. そう思う 3. ややそう思う
4. あまりそう思わない 5. 全くそう思わない

たすけあいについて

問 30 あなたの心配事や悲痛(くち)を聞いてくれる人はいですか。(○はいくつでも)

1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人
7. その他〔具体的に: 〕 8. そのような人はいない

問 31 反対に、あなたが心配事や悲痛(くち)を聞いてあげる人はいですか。(○はいくつでも)

1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人
7. その他〔具体的に: 〕 8. そのような人はいない

問 32 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はいですか。(○はいくつでも)

1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人
7. その他〔具体的に: 〕 8. そのような人はいない

問 33 反対に、看病や世話をしてあげる人はいですか。(○はいくつでも)

1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人
7. その他〔具体的に: 〕 8. そのような人はいない

問 34 友人・知人と会う頻度はどのくらいですか。(○は1つ)

1. ほとんどない 2. 年に数回 3. 月1~3回
4. 週1回 5. 週2~3回 6. 週4回以上

問 24 自分で請求書の支払いをしていますか。(○は1つ)

1. できるし、している 2. できるけどしていません 3. できない

問 25 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(○は1つ)

1. できるし、している 2. できるけどしていません 3. できない

地域での活動について

問 26 以下のような会・グループ等にとどのくらいの頻度で参加していますか。(①から⑧それぞれ○は1つ)

	週4回以上	週2~3回	週1回	月1~3回	年に数回	参加していません
①ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
②スポーツ・趣味のグループやクラブ	1	2	3	4	5	6
③趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤高齢者通いの場などの月1回以上開催されている主に高齢者向けのサロン	1	2	3	4	5	6
⑥高齢者クラブ	1	2	3	4	5	6
⑦町会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑧収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

問 27 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(○は1つ)

1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している

問 28 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。(○は1つ)

1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している

健康について

問 35 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○は1つ)

1. とてもよい 2. まあよい
3. あまりよくない 4. よくない

問 36 あなたは、現在のどの程度幸せですか。

(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、点数に○をつけてください)



問 37 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(○は1つ)

1. はい 2. いいえ

問 38 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(○は1つ)

1. はい 2. いいえ

問 39 タバコは吸っていますか。(○は1つ)

1. ほぼ毎日吸っている 2. 時々吸っている
3. 吸っていたがやめた 4. ちともと吸っていない

問 40 現在治療中、または後遺症のある病気がありますか。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------------------|-----------------|
| 1. ない | 2. 高血圧 |
| 3. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等) | 4. 心臓病 |
| 5. 糖尿病 | 6. 高脂血症 (総脂質異常) |
| 7. 呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等) | 8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気 |
| 9. 腎臓・前立腺の病気 | |
| 10. 筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等) | 12. がん (悪性新生物) |
| 11. 外傷 (転倒・骨折等) | 14. うつ病 |
| 13. 血液・免疫の病気 | 16. パーキンソン病 |
| 15. 認知症 (アルツハイマー病等) | 18. 耳の病気 |
| 17. 目の病気 | |
| 19. その他 (具体的に: _____) | |

認知症について

問 41 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。

1. はい 2. いいえ

問 42 認知症に関する相談窓口を知っていますか。

1. はい 2. いいえ

—ご協力ありがとうございます—

このアンケート票は11月9日(水)までに
同封の返信用封筒に入れ、投函してください。(切手は不要です。)

要介護・要支援認定者調査

区では、令和5年度の「中央区高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画」の策定に向けて、介護保険の要介護・要支援認定を受けている被保険者の方に、今後の意向や生活実態についてお伺いするため、本調査を実施します。調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和4年10月 中央区

調査について

- この調査は、介護保険の要介護・要支援認定を受けている被保険者の方から無作為に抽出してお送りしています。
- この調査は無記名方式で行います。回答者が特定されることはありません。
- 調査結果は、区の高齢者施策の推進のために利用され、その他の目的で使用されることはありません。
- この調査は14ページ、計41問です。

ご記入にあたってのお願い

- 回答は、封筒のあて名ご本人についてご記入ください。
- あて名のご本人が回答することが難しい場合は、ご家族またはお世話なさっている方がお手取りするか、ご本人の立場に立って代わりにお返しくください。
- 鉛筆や黒または青のボールペンで記入してください。
- 回答は、あてはまる番号に○をつけてください。
- 「その他」に○をつけた場合は、〔 〕内に具体的にその内容をご記入ください。
- 調査票は令和4年10月1日現在でご記入いただき、11月9日(水)までに同封の返信用封筒に入れて投函してください。(切手は不要です)
- この調査票は郵送でお送りしていますが、パソコン、スマートフォンからも回答可能です。なお、パソコン、スマートフォンから回答いただいた場合は、本調査票の記入・返付は不要です。

パソコン、スマートフォンからの回答方法

- 以下のURLかQRコードを読み取り、インターネット回答のサイトにアクセスしてください。
- 下記のID・パスワードを使ってログインして回答をお願いします。(ログインできない場合は問い合わせ先までご連絡ください)

URL : <https://survey-z.com/wix/p2051657409.aspx>

ID : パスワード :



(ID・パスワードとも無作為に配布されていますので、目的者が特定されることはありません。)

【問い合わせ先】

- ★調査の目的・内容について
中央区福祉保健部介護保険課管理系 TEL 03-3546-5642
- ★調査票の書き方やインターネット回答方法、同封物の不足について
株式会社 生活構造研究所 TEL 0120-335-120(フリーダイヤル)
受付時間 午前10時～午後5時(土日・祝日を除く。)

(この調査は中央区から株式会社生活構造研究所に委託して実施しています。)

ご本人の状況について

問1 調査票を記入されたのはあなたですか。(○は1つ)

- あて名のご本人が記入
- ご家族(あて名のご本人からみられた結構)
- その他(具体的に)

問2 あなた(あて名のご本人)を指します。以下の各設問についても同じです。)の性別と令和4年10月1日現在の満年齢を記入してください。

性別	1. 男性	2. 女性
満年齢	歳	

問3 あなた現在の要介護度は何ですか。(○は1つ)

- 要支援1
- 要支援2
- 要介護1
- 要介護2
- 要介護3
- 要介護4
- 要介護5
- その他(わからない等)

問4 あなたがお住まいになっている地域はどこですか。(○は1つ)

	該当する住所
1. 京橋地域	八重洲二丁目、京橋、銀座、新富、入船、湊、明石町、築地、浜離宮庭園、八丁堀、新川
2. 日本橋地域	本石町、空町、本町、小仲町、小伝馬町、大伝馬町、墨江町、富沢町、人形町、小橋町、新橋町、箱崎町、馬喰町、横山町、東日本橋、久松町、浜町、中洲、八重洲一丁目、日本橋、茅場町、兜町
3. 月島地域	佃、月島、勝どき、豊洲町、清海

問5 家族構成をお教えください。(○は1つ)

- ひとり暮らし
- 夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)
- 夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)
- 息子・娘との2世帯
- その他(具体的に)

問6 介護保険の自己負担割合をお教えください。(○は1つ)

- 1割負担
- 2割負担
- 3割負担

問7 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。(○はいくつでも)

1. 脳卒中（脳出血・脳梗塞等）
2. 心臓病
3. がん（悪性新生物）
4. 呼吸器の病気（肺炎腫・肺炎等）
5. 関節の病気（リウマチ等）
6. 認知症（アルツハイマー病等）
7. パーキンソン病
8. 糖尿病
9. 腎疾患（透析）
10. 視覚・聴覚障害
11. 骨折・転倒
12. 腎臓損傷
13. 高齢による衰弱
14. その他（具体的に： ）
15. 不明

問8 主にあなたの介護、介助をしている方はどなたですか。(○は1つ)

1. 配偶者（夫・妻）
2. 息子
3. 娘
4. 子の配偶者
5. 孫
6. 兄弟・姉妹
7. 介護サービスのヘルパー
8. その他（具体的に： ）

ご家族や生活状況について

問9 あなたは、現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(○は1つ)

1. 大変苦しい
2. やや苦しい
3. 心つつ
4. ややゆとりがある
5. 大変ゆとりがある

問10 あなたのお住まいは、下記のどの種類にあてはまりますか。(○は1つ)

1. 持ち家（一戸建て）
2. 民間賃貸住宅（一戸建て）
3. 持ち家（集合住宅）
4. 公営賃貸住宅（集合住宅）
5. 民間賃貸住宅（集合住宅）
6. 介護施設
7. その他（具体的に： ）

【問10-1は問10で集合住宅（「3」、「4」または「5」）と答えた方におうかがいします】

問10-1 あなたのお住まいは、何階建ての何階ですか。

□ 階建ての □ 階

問11 あなたは、ふだんどのような情報通信機器を利用していますか。(○はいくつでも)

1. スマートフォン
2. タブレット型端末
3. 携帯電話（スマートフォン以外）
4. パソコン
5. 固定電話・FAX
6. その他（具体的に： ）
7. 情報通信機器は利用していない

【問11-1は、問11で「3」から「7」で答えた方で、スマートフォンとタブレット端末を利用していない方におうかがいします】

問11-1 スマートフォンを利用していない理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 使い方が分からない・難しい
2. 費用が高い
3. メリットがわからない
4. 必要がない
5. その他（具体的に： ）
6. 特に理由はない

問12 あなたは、普段から治療を受けたり、日常の健康についての相談・指導を受けることができる、かかりつけの医師、歯科医師、薬局、薬剤師がいますか。

(①から④それぞれ○は1つ)

	いる	いない
①かかりつけ医師	1	2
②かかりつけ歯科医師	1	2
③かかりつけ薬局	1	2
④かかりつけ薬剤師	1	2

問13 あなたは現在治療中、または後遺症のある病気がありますか。(○はいくつでも)

1. ない
2. 高血圧
3. 脳卒中（脳出血・脳梗塞等）
4. 心臓病
5. 糖尿病
6. 高脂血症（脂質異常）
7. 呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）
8. 腎臓・肝臓・胆のうの病気
9. 腎臓・前立腺の病気
10. 筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）
11. 外傷（転倒・骨折等）
12. がん（悪性新生物）
13. 血液・免疫の病気
14. うつ病
15. 認知症（アルツハイマー病等）
16. パーキンソン病
17. 目の病気
18. 耳の病気
19. その他（具体的に： ）

介護保険サービスについて

問 14 現在、あなたが利用している介護保険サービス（介護予防サービスを含む。）は、何ですか。①から⑭それぞれ該当する項目に○

サービス	利用しているものに○	サービス内容
①訪問介護（ホームヘルプ）	1	ホームヘルパーが居宅を訪問し、食事、入浴、排泄等の身体介護、調理・洗濯、掃除等の日常生活上の援助をします。
②訪問入浴介護	1	介護職員が専任浴槽が移動入浴車等で居宅を訪問し、入浴の介助をします。
③訪問看護	1	看護師等が居宅を訪問し、療養上の相談や診療の補助を行います。
④訪問リハビリテーション	1	理学療法士等が居宅を訪問し、リハビリテーションを行います。
⑤居宅療養管理指導	1	医師、歯科医師、薬剤師などが居宅を訪問し、療養上の管理や指導をします。
⑥通所介護（デイサービス）	1	通所介護施設に通い、食事・入浴・排泄等の日常生活上の支援や機能訓練などを日帰りで行います。
⑦通所リハビリテーション（デイケア）	1	介護老人保健施設や医療施設などに通い、食事・入浴・排泄などの介護や生活機能向上のためのリハビリテーションを日帰りで行います。
⑧福祉用具貸与	1	車いす、介護ベッドなどの用具を借りられます。
⑨特定福祉用具購入費の支給	1	福祉用具のうち、該当しないもの（簡易浴槽等）を購入した費用が支給されます。
⑩住居改修費の支給	1	手すり取り付けや、段差解消などの住居改修をした費用が支給されます。
⑪短期入所生活介護／短期入所療養介護（ショートステイ）	1	特別養護老人ホーム（介護老人福祉施設）などの施設で短期入所し、日常生活上の支援や機能訓練などを行います。
⑫定額訪問・随時対応型訪問介護看護	1	日中・夜間を通じて定期的に巡回と随時の随時により居宅を訪問し、入浴、排泄、食事などの介護や日常生活上の緊急時の対応を行います。
⑬夜間対応型訪問介護	1	定期訪問は通称による夜間時限の訪問を行います。定期訪問は通称による夜間時限の訪問を行います。
⑭認知症対応型通所介護	1	施設へ「昼い」を中心に、利用者の選択に応じて居宅への「訪問」や短期間の宿泊を組み合わせ、多機能なサービスを提供します。
⑮小規模多機能型居宅介護	1	施設において、在宅での生活が困難になった要介護の者に、介護サービスと生活を併せて提供します。
⑯介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	1	施設において、介護を必要とする方に介護サービスやリハビリなどを提供し、自宅復帰への支援を行います。
⑰介護老人保健施設（老人保健施設）	1	施設において、医療と介護のニーズを併せて持つ方に、日常的なケアや看護等の支援と介護サービス、生活の場を提供します。
⑱特別施設入居者生活介護（有料老人ホーム等）	1	有料老人ホーム等において、日常生活上の援助、機能訓練、療養上の援助をします。
⑲認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	1	認知症高齢者が、家事などを役割分担しながら共同生活を行います。

問 15 現在利用されている介護保険サービスの利用料は、あなたにとってどの程度負担ですか。(○は1つ)

- 1. 負担である
- 2. やや負担である
- 3. どちらでもない
- 4. あまり負担ではない
- 5. 負担ではない

問 16 介護保険サービスを利用するようになってから、あなたの生活環境や身体状況はどのようになりましたか。(○は1つ)

- 1. 改善した
- 2. やや改善した
- 3. 以前とあまり変わらな
- 4. 悪くなった

問 17 あなたは、施設等への入所・入居を検討していますか。(○は1つ)

- 1. すでに入所・入居申し込みをしている
- 2. 入所・入居を検討している
- 3. 入所・入居は検討していない
- 4. すでに入所・入居している

【問 17-1は、問 17で「1」または「2」と答えた方におうかがいします】

問 17-1 希望する施設等の種類は次のどれですか。(○は1つ)

- 1. サービス付き高齢者向け住宅
- 2. 特別養護老人ホーム（介護老人福祉施設）
- 3. 認知症高齢者グループホーム
- 4. 軽費老人ホーム（ケアハウス）※1（認知症対応型共同生活介護）
- 5. 住宅型有料老人ホーム※2
- 6. 介護村有料老人ホーム※3

※1 軽費老人ホーム（ケアハウス）とは、本人の収入に応じて適切な費用で基本的な生活介護サービスを受けながら、自立した生活を送ることが出来ます。

※2 住宅型有料老人ホームとは、食事や生活支援サービスはつきますが、介護は別施設で外部の介護サービスを利用します。

※3 介護村有料老人ホームとは、介護保険の「特定施設入居者生活介護」の事業者指定を受けた有料老人ホームで、入居時自立から更に介護まで幅広いタイプがあります。

問 18 あなたが、現在利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスはありますか。(○はいくつでも)

- 1. 配食
- 2. 調理
- 3. 掃除・洗濯
- 4. 買い物
- 5. 外出同行（通院、買い物など）
- 6. ゴミ出し
- 7. 見守り、声かけ
- 8. 緊急通報システムの設置
- 9. サロンなどの定期的な通いの場
- 10. 移送サービス（介護・福祉タクシー）
- 11. 簡単な家の修繕や電球の交換等
- 12. 身元保証制度
- 13. おとしより介護慰問手当の支給
- 14. 紙おむつ支給・おむつ代即成
- 15. ふとん乾燥・丸洗い
- 16. 理美容サービス
- 17. 徘徊高齢者探索システム費用助成
- 18. 一般優待貸与
- 19. 介護者慰労事業（食事・マッサージ共通券、旅行券の支給）
- 20. その他に具体的に：
- 21. 利用していない

問 19 あなたが、今後の在宅生活の継続に必要なと感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）は何ですか、（○は3つまで）

- | | |
|-----------------------------------|------------------------|
| 1. 配達 | 2. 調理 |
| 3. 掃除・洗濯 | 4. 買い物 |
| 5. 外出同行（通院、買い物など） | 6. ゴミ出し |
| 7. 見守り、声かけ | 8. 緊急通報システム等の設置 |
| 9. サロンなどの定期的な通いの場 | 10. 移送サービス（介護・福祉タクシー等） |
| 11. 簡単な家の修繕や電球の交換等 | 12. 身元保証制度 |
| 13. おとしより介護報酬手当の支給 | 14. 延びつ支給・おむつ代助成 |
| 15. ふとん乾燥・丸洗い | 16. 理美容サービス |
| 17. 徘徊高齢者探索システム費用助成 | 18. 一般運台貸与 |
| 19. 介護者ボランティア（食事・マッサージ共通券、旅行券の支給） | |
| 20. その他（具体的に） | |
| 21. 特になし | |

サービスのあり方について

問 20 あなたは、現在のケアプラン（介護サービス計画書）に満足していますか。（○は1つ）

- | | | |
|------------|-------------|--------|
| 1. 満足している | 2. やや満足している | 3. ふつう |
| 4. やや不満である | 5. 不満である | |

【問 21-1 は、問 21 で「4」または「5」と答えた方におうかがいします】

→ 問 22-1 不満の理由は何か。（○はいくつでも）

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1. サービスの種類が希望よりも少ない | 2. サービスの種類が希望よりも多すぎる |
| 3. サービスの回数が希望よりも少ない | 4. サービスの回数が希望よりも多すぎる |
| 5. サービスの時間帯が希望通りでない | 6. サービスに制限が多い |
| 7. その他（具体的に） | |

【すべての方におうかがいします】

問 21 あなたは、ケアマネジャー（介護支援専門員）に満足していますか。（○は1つ）

- | | | |
|------------|-------------|--------|
| 1. 満足している | 2. やや満足している | 3. ふつう |
| 4. やや不満である | 5. 不満である | |

問 22 あなたは、ケアマネジャー（介護支援専門員）について、どのように感じていますか。（①から⑨それぞれ○は1つ）

	そう思う	どちらとも いえない	そう思わな い
①ケアプラン作成前によく話を聞いてくれた	1	2	3
②サービス事業者の情報を提供してくれる	1	2	3
③サービス事業者との連絡や調整してくれる	1	2	3
④介護保険外のサービスの情報も提供してくれる	1	2	3
⑤ケアプラン作成後も相談ののってくれる	1	2	3
⑥月に1回程度、定期的に訪問して様子を見てくれる	1	2	3
⑦サービス内容の見直しについて提案してくれる	1	2	3
⑧ケアプラン以外の介護や生活全般のことも相談ののってくれる	1	2	3
⑨サービス提供事業者に不満、意見や要望を伝えてくれる	1	2	3

相談や権利擁護について

問 23 あなたは、今後、どのような介護を希望しますか。(○は1つ)

1. 主に家族の介護を受けながら、自宅で暮らしたい
 2. 主に介護サービスを利用して、自宅で暮らしたい
 3. 高齢者向けの住宅に住み替えて、介護サービスを利用しながら暮らしたい
 4. 特別養護老人ホーム(介護老人福祉施設)などの介護施設で暮らしたい
 5. 介護付き有料老人ホームで暮らしたい
 6. 家族、親族の判断に任せる
 7. その他(具体的に：
 8. わからない

問 24 あなたは、病気が治る可能性がなくなり、終末期になった場合、どこで介護を受けたいと思いますか。(○は1つ)

1. 病院やホスピスなどの医療施設
 2. 自宅
 3. 子どもの家
 4. 兄弟姉妹などの親族の家
 5. 特別養護老人ホーム/介護老人福祉施設
 6. 家族、親族の判断に任せる
 7. その他(具体的に：
 8. わからない

問 25 あなたは、「ACP(アドバンス・ケア・プランニング)」(※)についてどの程度ご存知ですか。(○は1つ)

1. よく知っている
 2. 名前・内容についてはおおよそ知っている
 3. 名前を聞いたことがある程度で内容についてはあまり知らない
 4. 全く知らなかった

※ACP(アドバンス・ケア・プランニング)とは
 人生の最終段階における医療や介護について、本人が家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合うこと。「人生会議」ともいう。

問 26 あなたは、人生の最終段階における医療や介護について行っていることは何ですか。(○はいくつでも)

1. 自分の医療・介護について話し合いをしている
 2. ケアマネジャーや介護士などに希望を伝えている
 3. 家族に希望を伝えている
 4. その他(具体的に：
 5. 特に行っていない

問 27 あなたは、普段の生活で困ったとき、誰に相談していますか。(○は3つまで)

1. 家族や相談
 2. 近所の友人・知人
 3. 町会・自治会の関係者
 4. 民生・児童委員
 5. 医師・歯科医師・看護師
 6. ケアマネジャー(介護支援専門員)
 7. 介護施設職員
 8. 区役所の担当者
 9. 保健所・保健センターの担当者
 10. 高齢者クラブの関係者
 11. おとしより相談センター(地域包括支援センター)の担当者
 12. 社会福祉協議会の担当者
 13. インターネット上の知り合い
 14. 地域福祉コーディネーター・生活支援コーディネーター※
 15. 民間の相談窓口や電話相談
 16. 誰も相談する相手がいない
 17. その他(具体的に：
 18. 特に相談することはない

※地域福祉コーディネーター
 地域の中で支援を必要とする人を把握し、その人の直面する課題に対して地域住民や関係機関・団体などとの協働により相談援助や専門機関につなぐなどとして、その課題の解決をめざして支援を行っています。
 ※生活支援コーディネーター
 主に高齢者に関わる地域のニーズの把握やボランティアの育成、サービス提供者間のネットワーク作りなどを行っています。

問 28 あなたは、「おとしより相談センター(地域包括支援センター)」をご存知ですか。(○は1つ)

1. 利用したことがある
 2. 知っているが、利用したことはない
 3. 知らなかった

【問 28-1は、問 28で「2」または「3」と答えた方におうかがいします】
 →問 28-1 「おとしより相談センター(地域包括支援センター)」を利用したことがない
 主な理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 相談する必要がないから
 2. 近くにおとしより相談センター(地域包括支援センター)がないから
 3. 利用方法がわからないから
 4. 自分や家族で解決できるから
 5. その他(具体的に：
)

※おとしより相談センター(地域包括支援センター)とは
 高齢者が住み慣れた地域で安心して生活していくために、介護保険・福祉サービスの利用方法、介護認定の手続きや権利擁護に関する相談・支援等を行う機関として、社会福祉士、主任介護支援専門員、保健師等を配置し、京博、日本博、月野の3地域に設置されています。

【すべての方におうかがいします】

問 29 あなたは、「成年後見制度」について内容をどの程度ご存知ですか。(○は1つ)

1. よく知っている
2. 名前・制度についてはおおよそ知っている
3. 名前を聞いたことがある程度で制度についてはあまり知らない
4. 全く知らなかった

※成年後見制度とは

本人が、障害や認知症などで判断能力に欠ける場合、本人に代わって家庭裁判所が決める法定後見人が財産管理や介護サービス契約などを行うことができる制度です。

問 30 「成年後見制度」を利用したいと思えますか。(○は1つ)

1. すでに利用している
2. 今後利用したい
3. 利用したいと思わない
4. わからない

【問 30-1 は、問 30 で「3」と答えた方におうかがいします】

→問 30-1 「成年後見制度」を利用したいと思わない理由を教えてください。(○はいくつでも)

1. 内容や利用方法、利用のタイミングがわからないから
2. 家族（親・親族）がまだ元気だから
3. 他人に生活やお金の管理をしてほしくないから
4. 手続きが大変そうだから
5. 費用の負担があるから
6. 制度や後見人によるイメージがないから
7. その他（具体的に：_____）

【すべての方におうかがいします】

問 31 「権利擁護支援事業」について内容をどの程度知っていますか。(○は1つ)

1. よく知っている
2. 名前・制度についてはおおよそ知っている
3. 名前を聞いたことがある程度で制度についてはあまり知らない
4. 全く知らなかった

※権利擁護支援事業とは

判断能力に不安がある方に対して、日常的な金銭の出し入れや通帳などの保管、福祉サービスの利用補助などを行うことができる制度です。

問 32 「権利擁護支援事業」を利用したいと思えますか。(○は1つ)

1. すでに利用している
2. 今後利用したい
3. 利用したいと思わない
4. わからない

【問 33 はご自宅にお住まいの方のみお答えください】

問 33 あなたは、認知症になっても、住み慣れた家で暮らし続けたいと思えますか。(○は1つ)

1. どうしても住み慣れた家で暮らし続けたい
2. できることならば住み慣れた家で暮らし続けたい
3. 適切な施設があれば入所したい
4. わからない

【すべての方におうかがいします】

問 34 あなたは、認知症になっても住み慣れた地域で暮らし続けるためには何が必要だと思いますか。(○はいくつでも)

1. 認知症についての普及啓発活動の充実
2. 認知症の早期診断・早期対応のための包括的支援体制の整備
3. 認知症の相談窓口や相談体制の整備
4. 地域による見守りや支援体制の充実
5. 認知症の高齢者や家族を支援する福祉サービスの充実
6. 認知症対応型通所介護（認知症高齢者専用のデイサービス）
・短期入所生活介護（ショートステイ）などの整備
7. 認知症カフェなど認知症の高齢者や家族が交流する場
8. 認知症高齢者グループホーム（認知症対応型共同生活介護）などの専門的な施設の整備
9. 特別養護老人ホーム（介護老人福祉施設）などの整備
10. 認知症に関わる専門職の育成
11. その他（具体的に：_____）

災害時の対応について

問 35 あなたは、地震などの災害に備えてどのようなことをしていますか。(〇はいくつでも)

1. 家族と避難先や緊急連絡先を確認している 2. 水・食糧・簡易トイレなどを備蓄している 3. 家員の転倒防止などを行っている 4. 自宅を建て替えたり、補強するなど耐震対策をしている 5. 避難訓練や防災訓練に参加している 6. ケアマネジャー（介護支援専門員）やおとしより相談センター（地域包括支援センター）に相談して、避難先や災害時の対応を確認している 7. その他〔具体的に：〕
--

問 36 あなたは、「中央区災害時地域たすけあい名簿」についてご存知ですか。(〇はいくつでも)

1. 知っている 2. 知らなかった

※中央区災害時地域たすけあい名簿とは
 災害時に自力で避難したり生活することが困難で特に支援を必要とする方を登録した名簿です。災害に備えるため、本人の同意がある方の名簿情報を避難支援専門員等にあらかじめ提供し、災害時に地域全体で助け合うことを目的としています。

問 37 あなたは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって、生活にどのような変化がありましたか。(〇はいくつでも)

1. 友達・親戚付き合いが減った 2. 電話やメール、ビデオ通話が増えた 3. 外出を控えるようになった 4. 運動量が減った 5. 家族と過ごす時間が増えた 6. 自宅にいる時間が増えた 7. 健康状態が悪化した 8. 介護サービスの利用を増えた 9. その他〔具体的に：〕 10. 特にない
--

問 38 あなたは、新型コロナウイルスワクチンを何回接種しましたか。(〇はいくつでも)

1. 1回 2. 2回 3. 3回 4. 4回 5. 未接種
--

今後の高齢者保健福祉施策について

問 39 今後、高齢者が増加していくにつれて介護保険料が高くなることが想定されますがあなたは、今後の介護保険料のあり方についてどう思いますか。(〇はいくつでも)

1. 保険料が多少高くなっても介護保険サービスが充実している方がよい 2. 保険料も介護保険サービスももう少しが妥当である 3. 介護保険サービスを抑えても保険料が安いほうがよい 4. どちらともいえない 5. その他〔具体的に：〕
--

問 40 住み慣れた地域で暮らし続けるために、これからの高齢者保健福祉施策で中央区が力を入れていくべきものは何だと思えますか。(〇はいくつでも)

1. 住民による見守り・声かけなどすけあい活動 2. 24時間切れ目のない在宅介護サービスの充実 3. 介護保険サービス以外の区の生活支援サービスの充実 4. 家族の介護負担を軽減するための施策の充実 5. ひとり暮らし高齢者への支援 6. 多世代の家近近居を推進するための支援 7. 居所得者などへの経済的支援 8. 在宅医療の充実 9. 住みやすい住宅への支援（手すりの取付け・段差の解消など） 10. 住み替えを支援する制度の充実 11. サービス付き高齢者向け住宅の整備の促進 12. 特別養護老人ホーム（介護老人福祉施設）、有料老人ホーム等の整備の促進 13. 段差などがなく利用しやすい道路や建物の整備 14. 必要な情報を取得できる環境づくり 15. 施設への「若い」を中心に、在宅生活を継続しながら訪問や短期宿泊など多機能なサービスが利用できる介護事業所の整備 16. 判断能力が低下した場合の支援 17. 高齢者への虐待の防止 18. 適切な介護サービスが受けられるための情報提供や相談体制の充実 19. その他〔具体的に：〕 20. 特にない
--

問 41 高齢者向けのサービスなどに関するご意見をご自由にお書きください。

<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>

—ご協力ありがとうございました—

このアンケート票は11月9日（水）までに同封の返信用封筒に入れ、投函してください。（切手は不要です。）

在宅介護実態調査

個人情報の取扱いについてご本人へ説明し、当該情報の収集に関する同意を得た。

必ず説明をして確認を行い、印を記入してください。

実施年月日	令和4年	月	日
被保険者番号			
認定調査員氏名			

A票 認定調査員が、概況調査等と並行して記載する項目

- A票の聞き取りを行った相手の方は、どなたですか。 (〇はいくつでも)
1. 調査対象者本人
 2. 主な介護者となっている家族・親族
 3. 主な介護者以外の家族・親族
 4. 調査対象者のケアマネジャー
 5. その他

問1 世帯類型について、ご回答ください。 (〇は1つ)

1. 単身世帯
2. 夫婦のみ世帯
3. その他

問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。(同居していない子どもや親族等からの介護を含む)

1. ない	⇒問8～問9へお進みください
2. 家族・親族からの介護はあるが、週に1日より少ない	問3～問9へお進みください
3. 週に1～2日ある	
4. 週に3～4日ある	
5. ほぼ毎日ある	

問3 主な介護者の方は、どなたですか。 (〇は1つ)

1. 配偶者
2. 子
3. 子の配偶者
4. 孫
5. 兄弟・姉妹
6. その他

問4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください。 (〇は1つ)

1. 男性
2. 女性

問5 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。 (〇は1つ)

1. 20歳未満	2. 20歳代	3. 30歳代
4. 40歳代	5. 50歳代	6. 60歳代
7. 70歳代	8. 80歳以上	9. わからない

問6 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。(〇はいくつでも)

【身体介助】

1. 日中の排泄	2. 夜間の排泄
3. 食事の介助(食へる時)	4. 入浴・洗身
5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等)	6. 衣服の着脱
7. 屋内の移乗・移動	8. 外出の付き添い、送迎等
9. 服薬	10. 認知症状への対応
11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)	

【生活援助】

12. 食事の準備(調理等)	13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)
14. 金銭管理や生活面に必要な手続き	

【その他】

15. その他	16. わからない
---------	-----------

問7 ご家族やご親族の中で、ご本人(認定調査対象者)の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません)。(〇はいくつでも)

1. 主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)
2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く)
3. 主な介護者が転職した
4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した
5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない
6. わからない

※ 自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

問8 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを省略）について、ご回答ください。
 （〇はいくつでも）

1. 配食	2. 調理
3. 掃除・洗濯	4. 買い物（宅配は含まない）
5. ゴミ出し	6. 外出同行（通院、買い物等）
7. 移送サービス（介護・福祉タクシー等）	8. 見守り、声かけ
9. サロンなどの定期的な通いの場	10. その他
11. 特になし	

※ 介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスにも含みます。

問9 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。
 （〇は1つ）

1. 入所・入居は検討していない
2. 入所・入居を検討している
3. すでに入所・入居申し込みをしている

※ 「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、特定施設（有料老人ホーム等）、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

B票 主な介護者様、もしくはご本人様にご回答いただく項目

問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。(〇は1つ)

1. フルタイムで働いている	⇒問2から問4へお進みください
2. パートタイムで働いている	
3. 働いていない	
4. 主な介護者に確認しないと、わからない	

⇒問4へお進みください

※ 「パートタイム」とは、「週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営兼・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」、「パートタイム」のいずれかを選択してください。

問2 問1で「1」、「2」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護するにあたって、何か働き方についての調整等を行っていますか。(〇はいくつでも)

- | |
|---|
| 1. 特に行っていない |
| 2. 介護のために「労働時間を調整(就業免除、短時間勤務、遅出・早退・中抜け等)」しながら、働いている |
| 3. 介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている |
| 4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている |
| 5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている |
| 6. 主な介護者に確認しないと、わからない |

問3 問1で「1」、「2」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(〇は1つ)

- | |
|-----------------------|
| 1. 問題なく、続けていける |
| 2. 問題はあるが、何とか続けていける |
| 3. 続けていくのは、やや難しい |
| 4. 続けていくのは、かなり難しい |
| 5. 主な介護者に確認しないと、わからない |

● ここから再び、全員に調査してください。

問4 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください。(現状で行っているか否かは問いません)
(〇は3つまで)

- 【身体介助】
- | | |
|-------------------|----------------|
| 1. 日中の排泄 | 2. 夜間の排泄 |
| 3. 食事の介助(食べる時) | 4. 入浴・洗身 |
| 5. 身だしなみ(洗頭・歯磨き等) | 6. 衣服の着脱 |
| 7. 室内の移乗・移動 | 8. 外出の付き添い、送迎等 |
| 9. 服薬 | 10. 認知症状への対応 |
11. 医療面での対応(経営栄養、ストーマ等)
- 【生活援助】
- | | |
|---------------------|------------------------|
| 12. 食事の準備(調理等) | 13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物等) |
| 14. 金銭管理や生活面に必要な手続き | |
- 【その他】
- | | |
|------------------------|----------------------|
| 15. その他 | 16. 不安に感じていることは、特になし |
| 17. 主な介護者に確認しないと、わからない | |

アンケートは以上です。

介護保険サービス事業所調査

区では、令和5年度の「中央区高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画」の決定に向けて、介護保険サービス事業所が提供するサービス内容や医療と介護の連携などの実態と課題を把握するため、介護保険サービスを提供している区内の事業所を対象に、本調査を実施します。調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいましたようお願い申し上げます。

令和4年10月 中央区

調査について

- ・この調査は、区内の介護保険サービスを提供している全事業所にお送りしています。
- ・この調査は無記名方式で行います。回答者が特定されることはありません。
- ・調査結果は、区の高齢者施策の推進のために利用され、その他の目的で使用されることはありません。
- ・この調査は11ページ、計33問です。

ご記入にあたってのお願い

- ・回答は、サービスの管理者またはそれに準ずる方がご記入ください。
- ・粗筆や黒または青のボールペンで記入してください。
- ・回答は、あてはまる番号に○をつけてください。(一部の設問は数字を記入します。)
- ・「その他」に○をつけた場合は、()内に具体的にその内容を記入ください。
- ・調査票は令和4年10月1日現在でご記入いただき、11月9日(水)までに同封の返信用封筒に入れて投函してください。(印手は不要です。)
- ・この調査票は郵送でお送りしますが、パソコン、スマートフォンからも回答可能です。なお、パソコン、スマートフォンのら回答いただいた場合は、本調査の記入・抽出は不要です。

パソコン、スマートフォンからの回答方法

1. 以下のURLがQRコードを読み取り、インターネット回答のサイトにアクセスしてください。
2. 下記のID・パスワードを使ってログインして回答をお願いします。(ログインできない場合は問い合わせ先までご連絡ください)



URL : <https://survey-z.com/wix/p2051657592.aspx>

ID : パスワード :

(ID・パスワードとも無作為に配布されていますので、回答者が特定されることはありません)

【問い合わせ先】

- ★調査の目的・内容について
中央区福祉保健部介護保険課管理係 TEL. 03-3546-5642
- ★調査票の書き方やインターネット回答方法、同封物の不足について
株式会社生活構造研究所 TEL. 0120-335-120(フリーダイヤル)
受付時間 午前10時～午後5時(土日・祝日を除く。)

(この調査は中央区から株式会社生活構造研究所に委託して実施しています。)

貴事業所について

問1 貴事業所の所在地はどちらですか。(○は1つ)

1. 京橋地域 2. 日本橋地域 (八重洲一丁を含む) 3. 月島地域

問2 令和4年10月1日現在、貴事業所が指定(許可)を受けているサービスすべてに○をしてください。(○はいくつでも)

1. 居宅介護支援	2. 訪問介護
3. 訪問入浴介護	4. 訪問看護
5. 訪問リハビリテーション	6. 居宅療養管理指導
7. 通所介護	8. 通所リハビリテーション
9. 短期入所生活介護	10. 短期入所療養介護
11. 福祉用具貸与	12. 特定福祉用具販売
13. 特定施設入居者生活介護	14. 認知症対応型通所介護
15. 認知症高齢者グループホーム (認知症対応型共同生活介護)	17. 小規模多機能型居宅介護
18. 地域密着型特定施設入居者生活介護	19. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
20. 看護小規模多機能型居宅介護	21. 介護予防訪問入浴介護
22. 介護予防訪問看護	23. 介護予防訪問リハビリテーション
24. 介護予防居宅療養管理指導	25. 介護予防通所リハビリテーション
26. 介護予防短期入所生活介護	27. 介護予防短期入所療養介護
28. 介護予防福祉用具貸与	29. 介護予防特定福祉用具販売
30. 介護予防特定施設入居者生活介護	31. 介護予防認知症対応型通所介護
32. 介護予防認知症対応型共同生活介護	33. 介護予防小規模多機能型居宅介護
34. 特別養護老人ホーム (介護老人福祉施設)	35. 介護老人保健施設
36. 介護療養型医療施設	37. 介護医療院
38. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	39. 介護予防支援
40. 予防訪問サービス (ホームヘルプサービス)	41. 予防生活援助サービス (デイサービス)
42. 予防通所サービス (デイサービス)	

問3 貴事業所が指定(許可)を受けているサービスについて、令和4年10月1日現在の、職員数をご記入ください。※いない場合は「0」をご記入ください。
(数字は右語で記入)

1. 常勤職員		人
2. 非常勤職員		人
3. 臨時職員		人
合計		人

問4 貴事業所は中央区からの情報を主にごから入手していますか。(○は3つまで)

1. おとしより相談センター(地域包括支援センター)
 2. 他のケアマネジャー(介護支援専門員) 3. 介護保険サービス事業者連絡会
 4. 区役所の窓口・担当者 5. 広報誌「区のおしらせ ちゅうおう」
 6. 区のホームページ 7. 中央区ケア倶楽部
 8. 区からの通知等
 9. 中央区社会福祉協議会の窓口・担当者
 (地域福祉コーディネーター・生活支援コーディネーターなど)
 10. その他〔具体的に: _____〕

問5 昨年度の事業採算について教えてください。(○は1つ)

1. 黒字
 2. 赤字
 3. 損益なし
 4. その他〔具体的に: _____〕

人材確保・人材育成等について

問6 貴事業所は、職員の不足を感じることがありますか。(○は1つ)

1. はい
 2. いいえ

【問6-1は、問6で「1」と答えた事業所におうかがいします】

問6-1 不足している職種は何ですか。(○はいくつでも)

1. 介護職 2. 看護職
 3. 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士 4. ケアマネジャー(介護支援専門員)
 5. その他〔具体的に: _____〕

【すべての事業所におうかがいします】

問7 昨年1年間の就職・離職状況を教えてください。(令和3年4月1日~令和4年3月31日)

	常勤	非常勤
①就職者総数	人	人
②離職率	%	%
③就職者総数	人	人

【問7-1は、問7で離職者が1人以上いると答えた事業所におうかがいします】

問7-1 把握している範囲での離職理由について教えてください。(○はいくつでも)

1. 結婚 2. 出産・育児
 3. 家族等の介護・看護 4. 労働時間・勤務体制が負担
 5. 収入が少ない 6. 家族の転勤・転居
 7. 専門性や能力を十分に発揮・向上できない 8. 将来のキャリアが見込めない
 9. 新しい資格を取得した 10. いろいろな職場の経験希望
 11. 起業・開業 12. 心身の不調、高齢
 13. 職場の人間関係に問題 14. 利用者・家族との関係に問題
 15. 法人・事業所の理念や運営に不満 16. 人員整理、勤怠認識、事業不振
 17. その他〔具体的に: _____〕

【すべての事業所におうかがいします】

問8 離職者が出ない工夫を行っているものがあれば、教えてください。(○はいくつでも)

1. 労働時間（時間帯・総労働時間）の希望考慮 2. 時間外労働時間の削減 3. 年次有給休暇等の取得促進 4. 職員の健康教育や身体的健康対策（生活習慣病対策等） 5. 感染症予防対策 6. 職員間における、いじめやハラスメント等への体制整備 7. メンタルヘルズ対策 8. 育児・介護等の休暇制度の活用奨励 9. 子育て支援（託児所を設ける、保育費用の助成など）や介護支援 10. 多様な勤務形態（短時間勤務、短日勤務、交代勤務など）の導入 11. 新人の指導担当・アドバイザーの配置（メンター制度など） 12. キャリアパスの作成と実施 13. 能力や仕事ぶりを評価し、配置や処遇に反映 14. キャリアに即じた給与体系の整備 15. 経営者や役員との意見交換がしやすい職場環境づくり 16. 定期的なミーティング等の実施による、風通しのよい職場環境づくり 17. 福利厚生充実 18. 情報通信機器を活用した業務の効率化、省力化 19. その他（具体的に： 20. 特に行ってない

問9 貴事業所では、人材育成・教育制度を導入していますか。(○は1つ)

1. 導入している 2. 導入の準備をしている 3. 導入を検討中 4. 導入していない

【問9-1は、問9で「1」と答えた事業所におうかがいします】

問9-1 その人材育成・教育制度は何ですか。(○はいくつでも) 1. 職員の資格取得に関する研修 2. 新入職員の技能習得 3. 介護・看護技術に関する研修 4. 医療連携のための研修・交流会 5. 先進事業所との情報交換、職員派遣 6. IT技能の習得 7. メンタルケア等の健康管理講習 8. その他（具体的に：
--

【すべての事業所におうかがいします】

問10 貴事業所では、どのような外国人介護人材を受け入れていますか。在留資格ごとに教えてください。(数字を記入)

	常勤	非常勤	パート・アルバイト
①在留資格「特定活動」(EPA)	人	人	人
②在留資格「介護」	人	人	人
③在留資格「技能実習」	人	人	人
④在留資格「特定技能」1号	人	人	人
⑤外国人留学生	人	人	人
⑥その他、日本人や永住者等の配偶者等	人	人	人

問11 貴事業所の今後の外国人介護人材の活用意向を教えてください。(○は1つ)

1. 現在受け入れており、今後もさらに受け入れて行く 2. 現在受け入れており、今後のことは検討中 3. 現在受け入れているが、今後受け入れるつもりはない 4. 現在受け入れていないが、今後は受け入れて行く 5. 現在受け入れておらず、今後のことは検討中 6. 現在受け入れておらず、今後も受け入れるつもりはない

【問11-1は、問11で「3」または「6」と答えた事業所におうかがいします】

問11-1 今後受け入れるつもりがないとした理由について教えてください。(○はいくつでも)

1. コミュニケーション（日本語能力）の問題があるから 2. 身体介護・生活支援の技術の問題があるから 3. 受入れ前・受入れ後の事業所・施設での対応がわからないから 4. 育成プログラムが未整備であるから 5. 受入コストを捻出できないから 6. 文化の違いや生活習慣の違いがあるから 7. その他（具体的に：
--

ICT機器や介護ロボットの活用について

【すべての事業所におうかがいします】

問 12 貴事業所では、どのような業務でどのようなICT機器（情報通信機器）を活用していますか。業務ごとに活用している機器に○をしてください。(○はいくつでも)

	パソコン	携帯電話	スマートフォン	タブレット端末	その他
利用者情報等の共有					
報酬請求との連携					
ケアプランの作成					
オンライン会議					
科学的介護情報活用(LIFE)					
その他					

【問 13 は、施設・居住系サービス事業所におうかがいします】

問 13 貴事業所では、ロボット技術を活用し、利用者の自立支援や介護者の負担の軽減に役立つ介護機器（介護ロボット）をどのような時に活用していますか。(○はいくつでも)

1. 移乗支援	2. 移動支援
3. 排泄支援	4. 見守り
5. コミュニケーション支援	6. 入浴支援
7. その他（具体的に）	

自立支援・重度化防止について

問 14 貴事業所では、介護予防・日常生活支援総合事業のサービスを提供していますか。(○はいくつでも)

1. 訪問型サービスを提供している	2. 通所型サービスを提供している
3. 提供していない	

問 15 介護予防・日常生活支援総合事業の課題は何ですか。(○はいくつでも)

1. 単価が安く、事業所として取り組むメリットがない
2. 総合事業の制度が理解しにくい
3. 住民主体のサービスが育ちにくい
4. サービスの終結につなげることがむずかしい
5. 特定の日時や曜日を利用希望者が集中する
6. サービスの効果測定が難しい
7. 総合事業のサービスコードが複雑である
8. 利用者宅までの移動や送迎が課題となっている
9. 職員のスキルが不足している
10. その他（具体的に）

- 6 -

医療と介護の連携について

問 16 在宅療養を支える医療と介護の連携の状況についてどのように思っていますか。(○は1つ)

1. 十分連携していると思う	2. ある程度連携していると思う
3. 連携が不十分であると思う	4. ほとんど連携していないと思う

問 17 医療と介護の連携を進める上で、利用者に関する情報の共有をどのような方法で進めたいと思いますか。(○は3つまで)

1. サービス担当者会議
2. 利用者の療養手帳などの紙媒体の資料
3. インターネットやICT（情報ネットワークシステム）
4. 訪問等による顔を合わせての共有
5. 電話による共有
6. FAXによる共有
7. その他（具体的に）

看取り・虐待防止について

問 18 貴事業所は、看取りについてどのように考えていますか。(○は1つ)

1. 看取りは、自宅では困難と考えている
2. 可能な限り自宅で行うが、看取りは医療機関で行うべきである
3. 可能な限り自宅で看取りまで行うべきである
4. 自宅が医療機関か、本人の意思を尊重した看取りが望ましい
5. 自宅が医療機関か、家族の意向を尊重した看取りが望ましい
6. その他（具体的に）

問 19 ACP（アドバンス・ケア・プランニング）を活用したことがありますか。(○は1つ)

1. 活用したことがある	2. 活用したことがない
--------------	--------------

問 20 ACP（アドバンス・ケア・プランニング）をすすめる上で必要なことは何ですか。(○は3つまで)

1. ACPに関する、利用者・家族をはじめとする、区民啓発を進めること
2. 早いタイミングからの意向の確認や話し合いを行うこと
3. 一度だけでなく、継続的に意向の確認や話し合いをすること
4. 日頃から、気持ちを話せる雰囲気や人間関係をつくること
5. 本人の意向を尊重し、最期まで意思決定支援を心がけること
6. 適切なサービス調整や支援ができる多職種での連携を進めること
7. 本人・家族との不一致、家族間の調整にも配慮すること
8. その他（具体的に）

- 7 -

【問 21 は、施設・居住系サービス事業所におうかがいします】

問 21 貴施設の施設運営の課題についてご意見をお書きください。

【すべての事業所におうかがいします】

問 22 貴事業所は、高齢者虐待を防止する取り組みをしていますか。(○は1つ)

1. はい
2. いいえ

【問 22-1 は、問 22 で「1」と答えた事業所におうかがいします】

問 22-1 具体的な取組内容を以下にお書きください。

認知症の方や家族の支援について

問 23 認知症の利用者の状況で実際にあり、大変なことは何ですか。(○は3つまで)

1. 本人や家族が医療機関を受診しない
2. 本人の悪態の確認がとれない
3. 家族が認知症であることを認めない
4. 薬の飲み覚えがあって、服薬管理ができない
5. 介護サービスを利用してもらえない、サービス拒否がある
6. 認知症の症状が急変して緊急対応が必要になる
7. 認知症のため適切な介護サービスが受けられない
8. 消費者被害に遭遇したことがある
9. 虐待の恐れがある
10. 本人と家族間で介護の方針が違ふ
11. 医療的な管理が難しい
12. その他〔具体的に： 〕

問 24 認知症の方の支援にあたり特に必要と思われることは何ですか。(○は3つまで)

1. 認知症の状態に合った適切なサービス提供の流れが示されること
2. 認知症の人を支援するサービスや施設等の社会資源がより増えること
3. 認知症の早期診断を担う医療機関が増えること
4. 地域で、認知症サポーターの活動の輪が広がること
5. かがりつや医療やケアマネジャー（介護支援専門員）の認知症への理解と対応が向上すること
6. おとより相談センター（地域包括支援センター）における認知症支援がより充実すること
7. 認知症の人の家族支援が充実していくこと
8. その他〔具体的に： 〕

問 25 認知症の利用者の家族への支援として特に必要と思われることは何ですか。(○は3つまで)

1. 家族の健康状態や介護負担について把握し、対応すること
2. 家族の困りごとや心配ごとなどの相談にのること
3. 本人の状態や介護の方法について情報を提供すること
4. 家族の仲間が集える場（例えば、認知症カフェや利用者の家族の会など）について情報を提供すること
5. 家族に対する生活支援を行うこと
6. 家族に代わって他機関との調整を行うこと
7. 緊急時の受け入れを行うこと
8. その他〔具体的に： 〕

問 26 地域住民の認知症の理解を促進するために特に必要と思われることは何ですか。(○は3つまで)

1. 認知症サポーター養成研修の実施
2. 認知症カフェの実施
3. 認知症に関する講座の開催など学習機会の提供
4. 地域住民の活動の支援
5. 地域の見守りネットワークへの参加
6. 在宅で生活する認知症の人の家族への相談支援
7. 在宅で生活する認知症の人に対する介護相談や生活支援サービスに関する情報の提供
8. その他〔具体的に： 〕

地域の課題について

- 問 27 利用者の生活支援をしていて、地域の課題だと思われることは何ですか。(〇は3つまで)
- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 必要な介護サービスを身近で利用できる事業所が少ない 2. 相談・支援窓口の認知度が低く、サービスが受けられない高齢者が多い 3. 高齢介護、8050問題など、支援が難しいケースが増えている 4. 単身で身寄りのない高齢者が増えてきており、緊急時の対応等が難しい 5. 高齢マンション等の集合住宅では、地域での見守り・支え合いが難しい 6. インフォーマルサービスを含めた社会資源の情報提供が不足している 7. その他(具体的に:) |
|---|

- 問 28 地域課題の解決のため、必要と思われることは何ですか。(〇は3つまで)
- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 不足している介護サービスの提供が可能な介護事業所の誘致 2. おとしより相談センター(地域包括支援センター)や区との連携強化 3. 介護をしている家族等への相談・支援の充実 4. 地域での見守り・支え合いのネットワークの構築 5. 集合住宅における高齢者の孤立化防止対策 6. インフォーマルサービスを含めた地域資源の把握と区民への情報提供 7. その他(具体的に:) |
|--|

災害時の対応について

- 問 29 貴事業所では、地震などの災害が発生した時の対処方法に関して、発生直後の対応、サービスの早期再開や継続的なサービス提供のためのBCP(業務継続計画)を定めていますか。(〇は1つ)
- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 定めている 2. 定めていないが、今後定める予定である 3. 定めておらず、今後も定める予定はない |
|--|
- 問 30 貴事業所では、地震などの災害が発生した時の避難や安否確認に関する訓練を実施していますか。(〇は1つ)
- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 事業所で訓練を行っている 2. 地域の防災訓練に参加している 3. 行っていない |
|---|

- 問 31 貴事業所では、災害時に備えてどの程度地域と連携していますか。(〇はいくつでも)
- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域のまつりや行事に参加することでつながりをつくっている 2. 事業所内の行事への参加を地域にPRしている 3. 町会・自治会等の防災訓練に参加している 4. 町会・自治会等と災害時における連携に関する取組の決めを交わしている 5. 地域の防災拠点(小中学校など)、避難場所の情報を把握している 6. 介護保険や認知症に関するリーフレットを作成して地域に配布している 7. その他(具体的に:) |
|---|

- 問 32 新型コロナウイルス感染症の拡大により、貴事業所にはどのような影響がありましたか。(〇は3つまで)
- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 利用者に感染者が出た 2. 事業収益が減った 3. 感染拡大期はサービス提供を停止した 4. 新型コロナウイルスを理由とした顧客がいた 5. 職員に感染者が出たため、サービス提供体制の維持に苦慮した 6. オンラインミーティングツールによる会議・面会が定着した 7. モバイル・タブレット端末で利用者情報を共有するようになった 8. 感染症対策に努めたことにより、感染症への対応力が向上した 9. その他(具体的に:) |
|---|

- 問 33 大規模災害が発生した時の対処方法について、課題があればお書きください。
- | |
|--|
| |
|--|

—ご協力ありがとうございました—
このアンケート票は11月9日(水)までに
同封の返信用封筒に入れ、投函してください。(切手は不要です。)

在宅医療・介護に関する調査

区では、令和5年度の「中央区高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画」の策定に向けて、在宅医療と介護の実態と課題を把握し、区民の方が在宅医療や介護サービスが必要になった場合でも、できるだけ住み慣れた地域に住み続けられるよう医療と介護の連携を推進するため、区内の医療機関（病院・診療所、歯科診療所、薬局）を対象に、本調査を実施します。調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいませますようお願い申し上げます。

令和4年10月 中央区

調査について

- ・この調査は、区内の医療機関（病院・診療所、歯科診療所、薬局）にお送りしています。
- ・この調査は無記名方式で行います。回答者が特定されることはありません。
- ・調査結果は、区の高齢者福祉の推進のために利用され、その他の目的で使用されることはありません。
- ・この調査は9ページ、計23問です。

ご記入にあたってのお願い

- ・回答は、医療機関の医師、歯科医師、薬剤師の方がご記入ください。
- ・鉛筆や黒または青のボールペンで記入してください。
- ・回答は、あてはまる番号に○をつけてください。（一部の設問は数字を記入します。）
- ・「その他」に○をつけた場合は、[]内に具体的にその内容をご記入ください。
- ・調査票は令和4年11月現在でご記入いただき、11月9日（水）までに同封の返信用封筒に入れて投函してください。（切手は不要です。）
- ・この調査票は郵送でお送りしますが、パソコン、スマートフォンからも回答可能です。なお、パソコン、スマートフォンから回答いただいた場合は、本調査票の記入・提出は不要です。

パソコン・スマートフォンからの回答方法

- 1 以下のURLかQRコードを読み取り、インターネット回答のサイトにアクセスしてください。
- 2 下記のID・パスワードを使ってログインして回答をお願いします。（ログインできない場合は問い合わせ先までご連絡ください。）

URL : <https://survey-z.com/wix/p2051657696.aspx>

ID : パスワード :

（ID・パスワードとも無作為に設定されていますので、回答者が特定されることはありません。）

【問い合わせ先】

- ★調査の目的・内容について
中央区福祉保健部介護保険課管理係 TEL 03-3546-5642
 - ★調査票の置き方やインターネット回答方法、同封物の不足について
株式会社 生活構造研究所 TEL 0120-335-120(フリーダイヤル)
- 受付時間 午前 10時～午後5時（土日・祝日を除く。）

（この調査は中央区から株式会社生活構造研究所に委託して実施しています。）

貴医療機関について

問1 貴医療機関の種類をお聞きます。(○は1つ)

1. 病院
2. 診療所
3. 歯科診療所
4. 薬局
5. その他〔具体的に: 〕

【問1-1は、問1で「1」または「2」と答えた方におうかがいします】

→問1-1 専門とされている診療科目についてお聞きます。(○は1つ)

1. 内科
2. 神経内科
3. 精神科
4. 外科
5. 整形外科
6. 皮膚科
7. 眼科
8. 耳鼻咽喉科
9. 泌尿器科
10. 婦人科
11. 小児科
12. リハビリテーション科
13. その他〔具体的に: 〕

【すべての方におうかがいします】

問2 貴医療機関の所在地はどこですか。(○は1つ)

1. 京橋地域 2. 日本橋地域（八重洲一丁目を含む） 3. 月島地域

在宅医療の実施状況について

問3 「往診」や「訪問診療」を実施していますか。また、今後実施する意向がありますか。(○は1つ)

1. 実施している
2. 現在は実施していないが、3年以内に実施する意向がある
3. 実施する意向はあるが実施は難しい
4. 実施する意向はない

【問3-1は、問3で「1」と答えた方におうかがいします】

→問3-1 在宅医療の実施状況についてお聞きます。(○はいくつでも)

1. 「往診」※1を単独で実施している
2. 「往診」※1を他の医療機関との連携により実施している
3. 「訪問診療」※2を単独で実施している
4. 「訪問診療」※2を他の医療機関との連携により実施している
5. その他〔具体的に: 〕

※1: 患者の求めに応じて急変時に訪問して行う診療

※2: 通常の困難な患者に定期的に訪問して行う診療

日常的な在宅療養について

問4 貴機関が日常的な在宅療養で大切にしていることは次のどれですか。(〇は3つまで)

1. 利用者本人への丁寧な説明
2. 利用者の意向について家族全体の理解が得られるような説明
3. 支援者間における治療や方向性の共有
4. 早い段階での本人の治療やケアに対する意思の確認
5. 家族と支援者間における本人の意思の確認、共有
6. 関係者全員が、在宅医療・介護サービスのイメージが持てること
7. 緊急時、休日夜間における医療体制の確保
8. 緊急時、休日夜間における介護体制との連携
9. その他〔 〕

問5 現在、関わっているサービス利用者の情報などについて、次の関係機関、職種との連携状況をお聞かせします。(①から⑭それぞれ〇は1つ)

	十分連携 している	ある程度 連携している	連携が不十分 である	ほとんど 連携していない
① 病院	1	2	3	4
② サービス利用者のかかりつけ医	1	2	3	4
③ サービス利用者に必要と考えられる 診療科の医師	1	2	3	4
④ 歯科医師	1	2	3	4
⑤ 薬剤師	1	2	3	4
⑥ 病院の地域連携室 (医療ソーシャルワーカー)	1	2	3	4
⑦ おとしより相談センター (地域包括支援センター)	1	2	3	4
⑧ 訪問看護ステーション	1	2	3	4
⑨ 訪問・通所リハビリテーション	1	2	3	4
⑩ 介護支援専門員 (ケアマネジャー)	1	2	3	4
⑪ 訪問介護	1	2	3	4
⑫ 通所介護 (デイサービス)	1	2	3	4
⑬ 短期入所生活介護 (ショートステイ)	1	2	3	4
⑭ 福祉用具貸与・販売事業者	1	2	3	4
⑮ 地域福祉コーディネーター・ 生活支援コーディネーター	1	2	3	4

問6 日常的な在宅療養について、現在課題になっていることは次のどれですか。
(〇はいくつでも)

1. 24 時間 365 日対応できる医療従事者の確保
2. 専門外の医療行為や疾病に対応できる連携体制
3. 緊急時の入院受入れ、または連携医療機関への入院手配
4. 番取りや急変時の対応に関する知識・技術等の向上
5. 家族の負担を軽減するサービス等の情報提供
6. その他〔 〕

問7 認知症の患者の状況で実際にあり、大変なことは何ですか。(〇は3つまで)

1. 本人や家族が医療機関を受診しない
2. 本人の意思の確認がとれない
3. 家族が認知症であることを認めない
4. 薬の飲み違えがあって、服薬管理ができない
5. 介護サービスを利用してもらえない、サービス拒否がある
6. 認知症の症状が急変して緊急対応が必要になる
7. 認知症のため適切な介護サービスが受けられない
8. 消費者被害に遭遇したことがある
9. 虐待の恐れがある
10. 本人と家族間で介護の方針が違う
11. 医療的な管理が難しい
12. その他〔 〕

問8 介護サービス事業者との連携について、次のようなことを行っていますか。(〇はいくつでも)

1. サービス担当者会議への参加
2. 書面等による、在宅療養者に関する情報の共有
3. ICTツールによる、在宅療養者に関する情報の共有
4. 介護サービス事業者との定期的な情報交換
5. 緊急時の対応方法に関する介護サービス事業者との取り決め
6. その他【具体的に： _____ 〕
7. 上記のような連携は行っていない

【問8-1は、問8で「7」と答えた方におうかがいします】

問8-1 その理由は何ですか。(〇はいくつでも)

1. 介護サービス事業者の医療に関する知識や理解が不足している
2. 介護保険などの福祉の制度がわからない
3. お互いに多忙で連絡がとれない
4. 介護保険サービス事業者との交流の機会がない
5. 連携方法がわからない
6. 連携の重要性をあまり感じない
7. その他【具体的に： _____ 〕

【すべての方におうかがいします】

問9 ケアマネジャー（介護支援専門員）との連携で課題がありますか。(〇は1つ)

1. ある _____
2. ない _____
3. 連携していない _____

【問9-1は、問9で「1」と答えた方におうかがいします】

問9-1 課題と感じていることを具体的にお願いします。

【すべての方におうかがいします】

問10 おとしより相談センター（地域包括支援センター）との連携で課題がありますか。(〇は1つ)

1. ある _____
2. ない _____
3. 連携していない _____

【問10-1は、問10で「1」と答えた方におうかがいします】

問10-1 課題と感じていることを具体的にお願いします。

【すべての方におうかがいします】

問11 訪問看護ステーションとの連携で課題がありますか。(〇は1つ)

1. ある _____
2. ない _____
3. 連携していない _____

【問11-1は、問11で「1」と答えた方におうかがいします】

問11-1 課題と感じていることを具体的にお願いします。

【すべての医師・歯科医師の方におうかがいします】

問12 薬局との連携で課題がありますか。(〇は1つ)

1. ある _____
2. ない _____
3. 連携していない _____

【問12-1は、問12で「1」と答えた方におうかがいします】

問12-1 課題と感じていることを具体的にお願いします。

【すべての方におうかがいします】

問 13 新型コロナウイルス感染症の拡大により、貴機関にはどのような影響がありましたか。
(〇は3つまで)

1. 患者に感染者が出た
2. 収益が減った
3. 感染症大綱にはサービス提供を停止した
4. 新型コロナウイルス感染症を理由とした離職者がいた
5. 職員に感染者が出たため、診療体制の維持に苦慮した
6. オンライン診療が定着した
7. モバイル・タブレット端末で患者情報を共有するようになった
8. 感染症対策に努めたことにより、感染症への対応力が向上した
9. その他【具体的に：】

ICT機器（情報通信機器）の活用について

【すべての方におうかがいします】

問 14 貴機関では、ICT機器（情報通信機器）を使っていますか。(〇は1つ)

1. 使っている
2. 使っていない ⇒ 問 14-2へ

【問 14-1は、問 14で「1」と答えた方におうかがいします】

問 14-1 どのような業務で何を使っていますか。(〇はいくつでも)

	パソコン	携帯電話	スマートフォン	タブレット端末	その他
画像診断・遠隔診断					
電子カルテ連携					
オンライン会議					
報酬請求との連携					
その他					

【問 14-2は、問 14で「2」と答えた方におうかがいします】

問 14-2 使っていない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

1. コストがかかる
2. 職員が使いこなせない
3. 有効活用できるかわからない
4. その他【具体的に：】

看取りについて

問 15 令和3年10月から令和4年9月までの1年間に、在宅で看取った患者数は何人程度ですか。(〇は1つ)

1. 0人
2. 1~5人
3. 6~10人
4. 11~15人
5. 16~20人
6. 21~25人
7. 26人以上

問 16 在宅での看取りの訪問先はどこですか。(〇はいくつでも)

1. 自宅
2. サービス付き高齢者向け住宅
3. 認知症高齢者グループホーム
4. 有料老人ホーム・経費老人ホーム
(認知症対応型共同生活介護)
5. その他【具体的に：】

問 17 どのような条件があれば看取りが可能ですか。(〇はいくつでも)

1. 患者本人の意思表示
2. 看取りに関する指針を患者・家族に説明し同意を得ていること
3. 医師が医学的知見に基づき回復の見込みがないと診断していること
4. 介護者からの24時間の連絡体制
5. その他【具体的に：】

問 18 貴医療機関は、看取りについてどのように考えていますか。(〇は1つ)

1. 看取りは、自宅では困難と考えている
2. 可能な限り自宅で行うが、看取りは医療機関で行うべきである
3. 可能な限り自宅で看取りまで行うべきである
4. 自宅が医療機関か、本人の意思を尊重した看取りが望ましい
5. 自宅が医療機関か、家族の意向を尊重した看取りが望ましい
6. その他【具体的に：】

問 19 貴医療機関で、看取りについて実践していることがこの中にありますか。(〇はいくつでも)

1. 利用者の意思を確認する
2. 家族の意向が一致しているか確認する
3. 家族が看取りの身体的変化について理解できるようにしている
4. 24時間対応ができる体制をつくる
5. 家族以外の支援者(ケアマネジャー等)と情報共有できる環境をつくる
6. その他【具体的に：】

問 20 ACP（アドバンス・ケア・プランニング）を活用したことがありますか、(○は1つ)
 1. 活用したことがある 2. 活用したことがない

問 21 ACP（アドバンス・ケア・プランニング）をすすめる上で必要なことは何ですか、
 (○は3つまで)

1. ACP に関する、利用者・家族をはじめとする、区民啓発を進めること
2. 早いタイミングからの意向の確認や話し合いを行うこと
3. 一度だけでなく、継続的に意向の確認や話し合いをすること
4. 日頃から、気持ちを話せる雰囲気や人間関係をつくること
5. 本人の意向を尊重し、長期まで意思決定支援を心がけること
6. 適切なサービス調整や支援ができる多職種での連携を進めること
7. 本人・家族との不一致、家族間の調整にも配慮すること
8. その他〔具体的に： 〕

更なる地域包括ケアシステム構築について

問 22 医療と介護を一体的に提供し、在宅介護支援を進めていくため、医療機関、介護サービス事業者、行政はどのようなことに取り組むことが必要だと思いますか、(○は3つまで)

1. 訪問看護ステーションを更に充実させる
2. 医療的ケアが必要な人が利用できるショートステイ施設を充実させる
3. 医療的ケアが必要な人が利用できるデイサービス施設を充実させる
4. 医療的ケアや介護が受けられるサービス付き高齢者向け住宅を充実させる
5. 区内の医療機関や介護関係者への連絡可能時間を記した連絡先リストを整備する
6. ICTツールによる、在宅療養者に関する情報の共有を推進する
7. 医療と介護の連携マニュアルを作成する
8. 医療関係者と介護関係者が情報交換できる場を確保する
9. 多職種連携強化のための研修を充実させる
10. おとしより相談センター（地域包括支援センター）などの身近な相談窓口の充実
11. その他〔具体的に： 〕

問 23 在宅療養に対する医療や介護のあり方や看取り、その他の医療・介護保険制度等を
 含め、医療と介護の連携について、ご意見やご要望を自由にお書きください。

—ご協力ありがとうございます—

このアンケート票は 11 月 9 日（水）までに
 同封の返信用封筒に入れ、投函してください。（切手は不要です。）

**中央区高齢者の生活実態調査および
介護サービス利用状況等調査 報告書**

刊行物登録番号

4-097

令和5（2023）年3月発行

発行 中央区福祉保健部 高齢者福祉課・介護保険課
〒104-8404 東京都中央区築地一丁目1番1号
電話：03-3546-5353(高齢者福祉課 直通)
03-3546-5642(介護保険課 直通)



中央区